取扱説明書 基本編

FOMA® P900i

'04.9

Main Menu
メール
iモード
iアプリ
各種設定
マルチメディア
アクセサリ
サービス
電話帳
ユーザデータ
選択

i mode®

ドコモ
W-CDMA方式

このたびは、「FOMA P900i」を
お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
FOMA P900iの取扱説明書は、
「基本編」、「アプリケーション編」の2冊から構成されています。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書「基本編」および
別冊の「アプリケーション編」をよくお読みいただき、
FOMA P900iを正しく、効果的にお使いくださいますようお願いいたします。
FOMA P900iは、あなたの有能なパートナーです。
大切にお取扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンション等の高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモ及び別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性等に関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社
- FOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.
- 本製品はMacromedia, Inc.のMacromedia® Flash™テクノロジーを搭載しています。
  Copyright © 1995-2004 Macromedia, Inc. All rights reserved.
  Macromedia、Flash、Macromedia FlashはMacromedia, Inc.の米国内外における商標または登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 本製品は、インターネット機能としてNetFront v3.0 for FOMAを搭載しています。
  NetFront v3.0は、株式会社ACCESSの製品です。

Copyright © 1996-2004 ACCESS CO.,LTD.

FOMA端末、FOMAカードをお使いになる前に、取扱説明書をよくお読みの上ご使用ください。また、電池パックおよびアダプタ（充電器を含む）をお使いになる前には、機器に添付の個別の取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。なお、取扱説明書にご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせください。

○お問い合わせ先＜DoCoMo インフォメーションセンター＞

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの） 151 （無料）

※一般電話からはご利用になれません。

■一般電話等からの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

※（FOMA）商品については一部取り扱っていない店舗がございます。あらかじめご了承ください。

この「FOMA P900i 取扱説明書 基本編」の本文中においては、「FOMA P900i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

著作権について／商標について

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影したもの、またサイト（番組）の情報やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）などは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情がないにもかかわらず、この範囲を超えて複製や編集、および複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することになり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法はお控えください。
また、FOMA端末を利用して写真等の画像データを複製、編集等する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人で楽しむなどの目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、撮影または記録したものをインターネットのホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

商標・登録商標について

- 「FOMA／フォーマ」「mova／ムーバ」「Freedom Of Mobile multimedia Access」「ｉモード」「ｉアプリ／アイアプリ」「ｉアプリDX」「ｉモーション／アイモーション」「ｉモーションメール／アイモーションメール」「デコメール」「着モーション」「キャラ電」「ｉメロディ／アイメロディ」「mopera／モペラ」「WORLD CALL」「マルチアクセス」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「M-stage Vライブ」「カスタムジャケット」「クイックキャスト」および「FOMA」「mova」「i-mode」「WORLD CALL」「FirstPass」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  ●MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
  ●個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合
  ●MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合
  詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせ下さい。
- 本製品の赤外線通信機能は株式会社ACCESSのIrFront®を搭載しています。
  Copyright © 1996-2004 ACCESS CO., LTD.
- JAVAおよびすべてのJAVA関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- miniSD™はSDアソシエーションの商標です。
- NetFrontおよび NetFront® は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- LCフォント/LCFONT®、エルシーフォント®、LCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。
- T9 Text Input®およびT9ロゴマークはTegic Communications社の登録商標です。
  T9 テキストインプットは全世界において特許を取得または申請しております。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;
  4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773 5,101,501 5,506,865 5,109,390
  5,511,073 5,228,054 5,535,239 5,267,261 5,544,196 5,267,262 5,568,483
  5,337,338 5,600,754 5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569 5,710,784
  5,778,338
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

取扱説明書の構成について

FOMA端末の取扱説明書は、「基本編」、「アプリケーション編」の2冊から構成されています。それぞれの取扱説明書では以下のことについて説明しています。

基本編（本書）

●各部の名称や機能
●FOMAカード
●電池パックの充電方法
●音声電話、テレビ電話のかけかたや受けかた
●電話帳の使いかた
●FOMA端末を便利に使うための各種設定方法
●スケジュール、ToDoの使いかた
●FOMA端末から利用できるネットワークサービス
●「故障かな？」と思ったときの対処方法
●保証とアフターサービス

アプリケーション編

●ｉモードの使いかた
●ｉアプリ、ｉモーションの取り込みかたや使いかた
●キャラ電の使いかた
●ｉモードメール、デコメール（デコレーションメール）の送信方法や受信方法
●ショートメッセージ（SMS）の送信方法や受信方法
●カメラ機能
●イメージビューア、ｉモーションプレーヤー、メロディプレーヤー
●赤外線通信
●miniSDメモリーカードの使いかた
●データ通信

本書の見かたについて

本書ではFOMA端末を正しく簡単にお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて以下のように説明しています。

マークの説明

マーク	説明
お知らせ	各機能を利用する場合に必要な内容、注意事項や参考となる内容を示しています。
次ページにつづく	説明が次のページに続いていることを示しています。

■索引をご活用ください
本書の索引は、重要な用語とともに「機能名称」もまとめております。本書をお読みいただくときに、わからない用語や「機能名称」が出てきたときは、索引をご参照いただくと、より詳しい説明をお読みいただけます。

目次

はじめに

●はじめに

●メニューの選択方法

●ご使用になる前に

基本操作編

●電話のかけかた／受けかた

●テレビ電話のかけかた／受けかた

●電話に出られないときの応対方法を設定する

●電話帳を利用する

目次

●その他の機能を利用する

●マルチアクセス・マルチタスク

ネットワークサービスを利用する

●ドコモのネットワークサービス

文字の入力のしかた

●文字入力のしかた

付録

●付録

■■■FOMA P900iの多彩な機能■■■

FOMA（Freedom Of Mobile multimedia Access）とは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つと認定された「W-CDMA方式」をベースとしたドコモのサービス名称です。

◆大画面テレビ電話 ▶▶P.78

テレビ電話で離れている相手と顔を見ながらリアルタイムで会話することができます。インカメラ・アウトカメラを使い分けることによって相手の顔を見て話すだけでなく、アウトカメラに切り替えて周囲の風景を映すこともできます。あらかじめ遠隔監視の設定をしたFOMA端末を設置しておけば、室内の映像を外出先から確認したり、幼稚園や小学校でのお子さまの様子を離れた場所から確認することができます。また、遠隔地からの授業を受けたり、工事現場や操業状況の管理などを離れた場所から行うことができます。

◆キャラ電 ▶▶アプリケーション編P.104

テレビ電話中に、代替画像としてキャラクタを送信することができます。ボタン操作によりキャラクタに表情や動きを付けることができ、お客様の分身キャラクタとして利用できます。また、キャラ電プレーヤーでキャラ電を表示したり、撮影することもできます。

© 1987, 2004 SQUARE ENIX CO., LTD. All Rights Reserved.

キャラ電プレーヤー

◆進化するカメラ機能 ▶▶アプリケーション編P.258

2つのカメラ（インカメラ・アウトカメラ）を使って、静止画だけでなく、動画も撮影できるすぐれもの。自画像ならインカメラ、風景ならアウトカメラと使い分けができてとっても便利。
カメラ有効画素数128万画素オートフォーカス付CCDカメラ（アウトカメラ）で1280×960ドットの高画質画像が撮影できます。
撮影した静止画や動画は、電話帳や壁紙に登録したり、ｉモードメールに添付して送ることもできます。
また、カメラショートカットから用途に合わせた設定でカメラを起動したり、イメージビューアやｉモーションプレーヤーなどを簡単な操作で起動できます。

カメラショートカット

◆えチャット ▶▶アプリケーション編P.284

音声電話中にカメラで静止画を撮影し、ｉモードメールに添付して相手に送ることができます。
言葉だけでは伝えられない美しい風景やかわいいペットの仕草などを電話を切ることなくお友達に送ることができます。

◆ｉモード　▶▶アプリケーション編P.24

ｉモード端末を使ったオンラインサービスです。情報サービス提供者が提供する各種サービスをご利用いただけるサイト（番組）接続サービス、e-mail（電子メール）とのやりとりもできるｉモードメールや見たいホームページを表示できるインターネット接続などをご利用いただけます。

●ｉモードは、お申し込みが必要な有料サービスです。

◆デコメール（デコレーションメール）

▶▶アプリケーション編P.154

文字の色や大きさ、背景色などを変えたり、本文中に撮影した画像などを挿入したりとさまざまな装飾を加えたｉモードメールを送受信することができます。

◆内蔵ｉアプリ　▶▶アプリケーション編P.88

ファイナルファンタジーなどの内蔵ｉアプリでFOMA端末をより楽しく活用することができます。

© 1987, 2004 SQUARE ENIX CO., LTD. All Rights Reserved.

ファイナルファンタジー

◆着モーション　▶▶P.171

音声電話とテレビ電話の着信音にｉモーションを選択すると、電話がかかってきたときにｉモーションが再生され、音声が流れます。

◆FOMAカード　▶▶P.44

お客様の情報が書き込まれた「FOMAカード」に、電話帳やショートメッセージ（SMS）などのデータを保存しておくことができます。また、FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。

◆カスタムジャケット　▶▶P.361

カスタムジャケット　P01（別売）でFOMA端末のカスタムジャケットを取り替えてカスタマイズできます。

便利な機能

◆ｉアプリDX　▶▶アプリケーション編P.84

ｉアプリが電話帳などのFOMA端末の情報を参照し、その情報をもとに着信音や発着信時の表示を変えたりできます。

◆miniSDメモリーカード　▶▶アプリケーション編P.373

小型、軽量で大きな容量を持つ着脱可能なminiSDメモリーカードに対応。FOMA端末の拡張メモリーとして電話帳・メール・静止画・動画などを保存し、パソコン、PDA、AV機器やフォトプリンターなど多種多様な機器とデータをやりとりすることができます。

◆光るワンプッシュオープン　▶▶P.166

ワンプッシュオープンボタンが点滅して着信を知らせ、FOMA端末を開くだけで電話を受けることができます。

◆プレーヤー・ビューア　▶▶アプリケーション編P.302、336、356

ダウンロードした各種ファイル（静止画・ｉモーション・メロディなど）やカメラで撮影した静止画や動画を再生します。またそれぞれのメディアファイルを一覧表示し、保存・削除をはじめ、タイトル編集などさまざまな管理ができます。

◆イメージ編集　▶▶アプリケーション編P.312

カメラで撮影した静止画などにフレームや文字を合成したり、静止画を回転・反転させるなど、さまざまな装飾を加えることができます。

◆ｉモーション編集　▶▶アプリケーション編P.343

カメラで撮影した動画などから静止画を切り出したり、音声部分のみを編集したり、テロップ（再生中に表示される文字情報）を編集したりできます。

◆赤外線リモコン　▶▶アプリケーション編P.89

FOMA端末をテレビなどのリモコンとして利用できます。

◆バーコードリーダー　▶▶アプリケーション編P.288

バーコード・QRコードを読み取り、読み取った情報を電話番号やメールアドレスなどとして利用できます。
また、QRコード化された画像やメロディを読み取り、保存することができます。

◆テキストリーダー　▶▶アプリケーション編P.295

印刷された英数字を読み取り、電話番号やメールアドレスなどとして利用できます。

その他の機能

◆データ通信 ▶▶アプリケーション編P.388

パケット通信や64Kデータ通信を快適環境で楽しめます。マルチアクセス機能により、音声通話中にもパケット通信ができるすぐれもの。またFOMA端末どうしでの赤外線通信、FOMA端末とパソコン間などでの赤外線通信・FOMA USB接続ケーブルによるデータ転送もできるので、大切なデータのバックアップも楽々です。

◆マルチアクセス ▶▶P.263

FOMA端末では、音声電話とｉモード（またはパケット通信によるデータ通信）を同時に使うことができます。マルチアクセスとは別にショートメッセージサービスも同時に使用できます。
たとえば、
・ｉモードを楽しみながら、お友達と電話でおしゃべりできます。
・通話中にメールを送信することができます。
・通話中に新着メールが届いたときは、電話を切らずにメールを受信することができます。

◆マルチタスク ▶▶P.267

複数のメニュー機能を同時に使用できる「マルチタスク」に対応しています。
たとえば、
・スケジュールの確認をしながら、メールを作成することができます。
・フリーメモを見ながら、メールを作成することができます。

◆Flash画像 ▶▶アプリケーション編P.36

絵や音を利用したアニメーション技術でサイトの表現力がより豊かになります。また、Flash画像を待受画面などに設定することもできます。

◆豊富なネットワークサービス ▶▶P.272

・留守番電話サービス（有料）
●お申し込みが必要となります。
・話中着信サービス（キャッチホン）（有料）
●お申し込みが必要となります。
・転送でんわサービス（無料）
●お申し込みが必要となります。
・デュアルネットワークサービス（有料）
●お申し込みが必要となります。
・ショートメッセージ（SMS）（無料）
●お申し込みは不要です。

安全上のご注意　必ずお守りください

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。		
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	水ぬれ禁止	水にかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の7項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取扱いについて〈共通〉

危険

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、電池パックやその他機器の漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

ACアダプタ　P04　　DCアダプタ　P01（別売）　　電池パック　P05
卓上ホルダ　P05　　車内ホルダ　P05（別売）

●その他互換性のある商品については当社窓口までお問合せください。

警告

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）を入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

注意

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

故障の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、機器の変形、故障の原因となります。
また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

FOMA端末の取扱いについて

警告

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。また、自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

また、航空機内での使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられる場合があります。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴になる可能性があります。

分解、改造をしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。

発熱、発火などの事故または故障の原因となります。

自動車などを運転中に使用しないでください。

安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところに停車させてからご使用ください。

また、走行中の使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられる場合があります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える恐れがあります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

フォトライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

自動車などの運転者に向けてフォトライトを点灯しないでください。

目がくらんで運転ができなくなり、事故の原因となります。

注意

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	材質
コマンドナビゲーションボタン カメラリング	銅の下地にニッケルメッキ(下) クロムメッキ(表面)
ディスプレイ側ケース ヒンジ部	マグネシウム合金(焼付け塗装)
ワンプッシュオープンボタン カスタムジャケットネジ	酸化クロム

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

水ぬれ禁止

FOMA端末を濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

カメラに太陽光などの強い光を、長い時間当てないでください。

カメラレンズの集光作用により、火災が発生する原因となります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口やminiSDメモリーカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、感電、故障の原因となります。

禁止

人の近くや顔を近づけて、ワンプッシュオープンでFOMA端末を開かないでください。

本人や他の人に当たり、けがの原因となります。

電池パックの取扱いについて

■電池パックに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

危険

電池パック内部の液が目のなかに入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

分解、改造をしないでください。また、直接ハンダ付けしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックをFOMA端末に接続するときに、うまく接続できない場合は、無理に接続しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。電池パックの向きを確かめてから接続してください。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックを濡らさないでください。
電池パックに水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告

電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、FOMA端末から取りはずし、使用しないでください。
そのまま使用すると電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

直射日光の強いところや炎天下の車などの高温の場所で使用、放置しないでください。
電池パックを漏液、発熱や性能、寿命を低下させる原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破壊、発火させる原因となります。

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害をおこす原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となることがあります。
不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから当社窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

アダプタ(充電器含む)の取扱いについて

警告

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。また、海外での使用は故障等の原因となります。
ACアダプタ:AC100V
(国内の家庭用交流100Vコンセントのみに接続すること)
DCアダプタ:DC12V・24V
(マイナスアース車専用)

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

アダプタ(充電器含む)のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。
感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

DCアダプタや車載アダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

DCアダプタや車載アダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。
火災の原因となります。

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所においてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

分解、改造はしないでください。
感電、火災、故障の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込む時は、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

警告

ぬれ手禁止

濡れた手でアダプタ（充電器含む）の本体やコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

水ぬれ禁止

アダプタ（充電器含む）を濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

禁 止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

注意

指 示

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）コードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

禁 止

濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となることがあります。

禁 止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いて、行ってください。
感電の原因となります。

FOMAカードの取扱いについて

警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器にFOMAカードを入れないでください。
溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

注意

指示

FOMAカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については、当社窓口までお問い合わせください。

指示

FOMAカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

禁止

FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
故障の原因となります。

禁止

FOMAカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。
溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

禁止

FOMAカード保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。
故障の原因となります。

水ぬれ禁止

FOMAカードを濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が付着すると故障の原因となります。

指示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

禁止

ICを不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

禁止

FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

禁止

ICを傷つけないでください。
故障の原因となります。

禁止

FOMAカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。
溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

禁止

FOMAカードはほこりの多い場所には保管しないでください。
故障の原因となります。

分解禁止

FOMAカードを分解、改造しないでください。
データの消失、故障の原因となります。

miniSDメモリーカードの取扱いについて

警告

禁止

miniSDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
誤って飲み込む恐れがあります。
●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

医用電気機器近くでの取扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会〔旧不要電波問題対策協議会〕）に準ずる。

警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
●手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
●病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
●ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
●医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
●自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

取扱上のお願い

共通のお願い

■水をかけないでください。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）は防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。
なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

■FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

■お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。

●FOMA端末のカメラレンズやディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で行ってください。
また、カメラレンズやディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったりすることがあります。

●アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などでふくと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

■極端な高温、低温は避けてください。

温度は5℃～40℃、湿度は35％～85％の範囲でご使用ください。

■お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■一般の電話機やテレビ・ラジオ等をお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。

故障の原因となります。

■ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折りたたまないでください。

故障、破損の原因となります。

■使用中、充電中、FOMA端末が温かくなることがありますが異常ではありませんので、そのままご使用ください。

電池パックについてのお願い

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

■直射日光があたらず、風通しのよい涼しい場所に保管してください。
長時間使用しないときは、使いきった状態でFOMA端末からはずしてください。

■電池パックは消耗品です。
十分に充電しても使用状態などによっても異なりますが、使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。
不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り付け絶縁してから、当社窓口へお持ちいただくか、電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

■次のような場所では、充電しないでください。
周囲の温度が5℃以下または35℃以上になるところ
湿気、ほこり、振動の多い場所
一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く

■充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。

■DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

FOMAカードについてのお願い

■極端な高温・低温は避けてください。

■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■IC部分の取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。

■ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。

■使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

■他のICカードリーダライタなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■環境保全のため、不要になったFOMAカードは当社窓口にお持ちください。

■お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■お手入れは、乾いた柔らかい布などでふいてください。

●お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

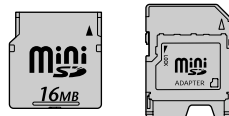
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

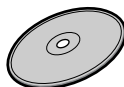
本体付属品およびオプション品について

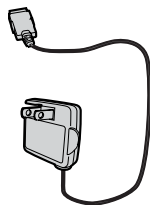
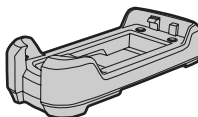
<本体付属品>

●FOMA P900i本体
（保証書、リアカバー付）

●miniSDメモリーカード（16Mバイト）
miniSDメモリーカードアダプタ
（取扱説明書付）

（試供品）

●取扱説明書
・別冊 内蔵ｉアプリガイド有り

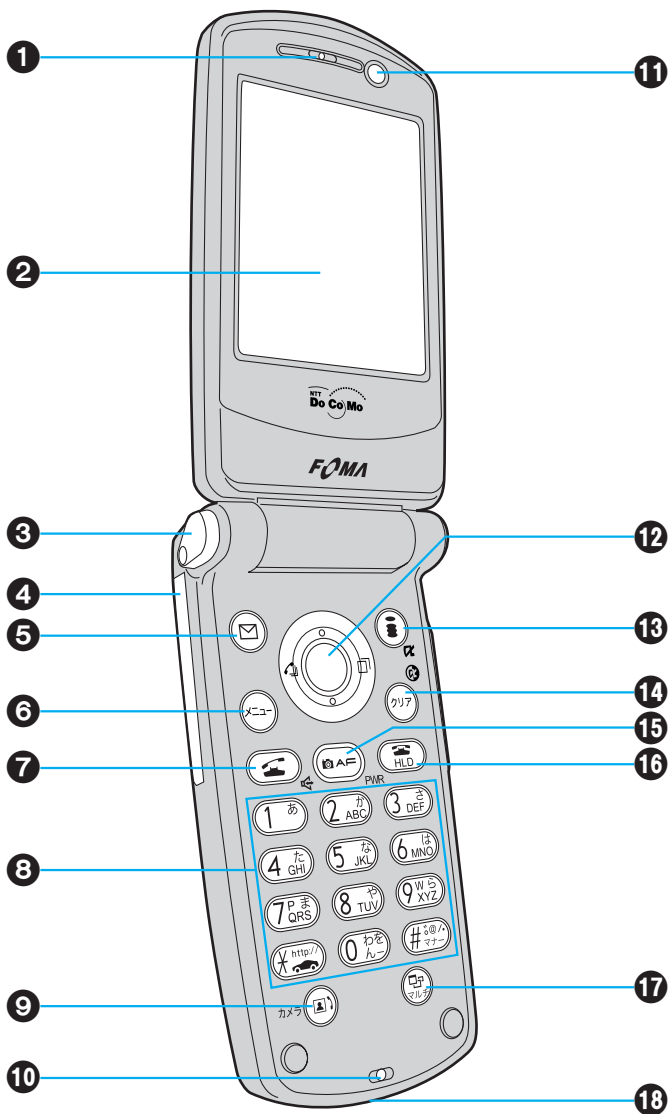
●FOMA P900i用
CD-ROM

<オプション品>

●ACアダプタ　P04
（取扱説明書・保証書付）

●卓上ホルダ　P05
（取扱説明書付）

●電池パック　P05
（取扱説明書付）

●DCアダプタ　P01
●車内ホルダ　P05
●キャリングケース　P017
●カスタムジャケット　P01
●アームスタンド
●平型スイッチ付イヤホンマイク　P01/P02
●平型ステレオイヤホンセット　P01
●イヤホンジャック変換アダプタ　P001
●スイッチ付イヤホンマイク　P001/P002
●ステレオイヤホンセット　P001

※スイッチ付イヤホンマイク・ステレオイヤホンセットは、イヤホンジャック変換アダプタを接続するとご利用になれます。（P.259参照）
※地域によってはお取扱いしていない商品もあります。詳しくは当社営業窓口などへお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

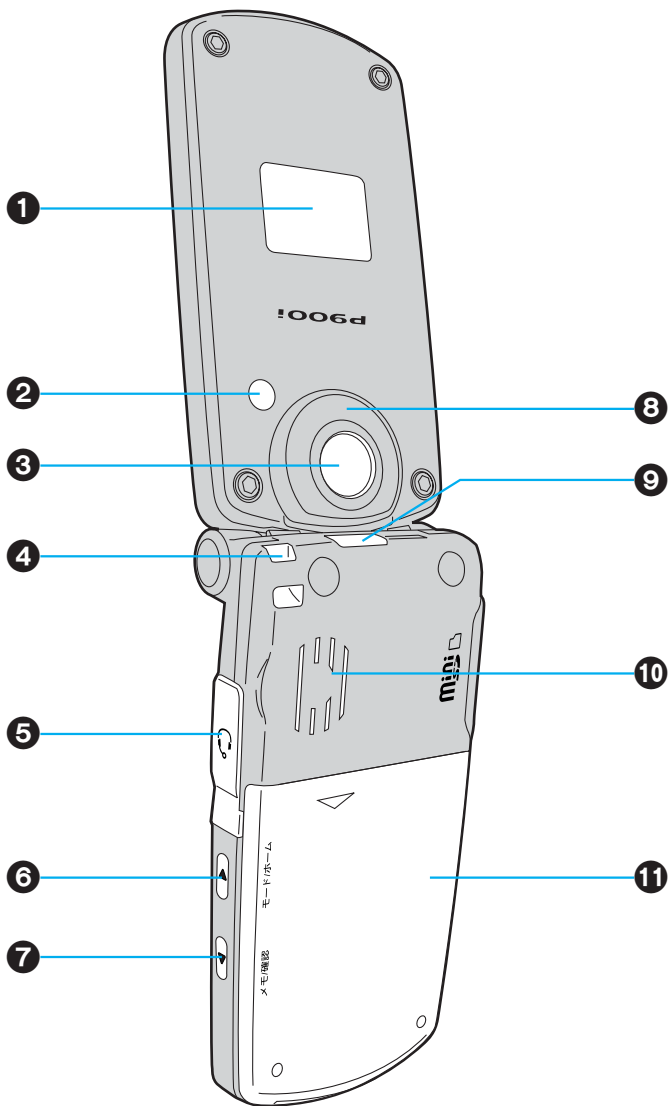
はじめに

各部の名称と機能

●FOMA端末のアンテナは本体に内蔵されています。

サイズ（H×W×D）	約104×50×24mm（折りたたみ時）
質量	約124g（電池パック装着時）

❶受話口
相手の声をここから聞きます。
❷ディスプレイ（表示部）
（P.32参照）
❸ワンプッシュオープンボタン
（P.53参照）
❹miniSDメモリーカード差し込み口
miniSDメモリーカードをここに差し込みます。（アプリケーション編P.374参照）
❺ メールボタン
待受画面で短く押すとメールメニューを表示します。（P.38参照）
1秒以上押すとｉモード問い合わせを行います。（アプリケーション編P.174参照）
また、画面左下に表示されている操作を行うときに押します。（P.34参照）
❻ メニューボタン
メインメニューを表示するときに押します。（P.36参照）
❼ 開始ボタン
電話をかけるときや受けるときに押します。（P.60、71参照）
文字入力中は大文字と小文字を切り替えます。（P.319参照）
1秒以上押すと改行することができます。（P.322参照）
❽ダイヤルボタン
電話番号や文字を入力するときに押します。
・マナーモードを設定するときは＃を1秒以上押します。（P.138参照）
・ドライブモードを設定するときは＊を1秒以上押します。（P.101参照）
・バックライトの点灯／消灯を切り替えるときは5を1秒以上押します。（P.186参照）
❾ テレビ電話／カメラボタン
テレビ電話をかけるときや受けるときに押します。（P.79、84参照）
また、1秒以上押すとカメラが起動します。（アプリケーション編P.264、265、268参照）
❿送話口
自分の声をここから相手に送ります。
⓫インカメラ
テレビ電話時に自分の顔を映します。
また、自分を撮影するときにも使用します。（アプリケーション編P.258参照）
⓬ コマンドナビゲーションボタン
機能操作やメニュー操作を行うときに使用します。（P.31参照）
⓭ ｉモードボタン
待受画面で短く押すとｉモードメニューを表示します。
（アプリケーション編P.34参照）
1秒以上押すとｉアプリのソフト一覧画面が表示されます。
（アプリケーション編P.90参照）
また、画面右下に表示されている操作を行うときに押します。（P.34参照）
⓮ クリアボタン
操作を1つ前の状態に戻すときに押します。
また、入力した文字や電話番号を消すときに押します。
⓯ オートフォーカスボタン
アウトカメラのピントを合わせるときに押します。（アプリケーション編P.270参照）
また、1秒以上押すとカメラが起動します。（アプリケーション編P.264、265、268参照）
⓰ 電源／終了ボタン
電源を入れるときや切るときに2秒以上押します。（P.54参照）
通話を終了するときや応答を保留するとき、各機能を終了するときは短く押します。
⓱ マルチボタン
マルチタスクメニューを表示します。複数の機能が起動中に1秒以上押すと機能が切り替わります。（P.267参照）
⓲外部接続端子
ACアダプタ、DCアダプタ（別売）、FOMA USB接続ケーブル（別売）などを接続します。

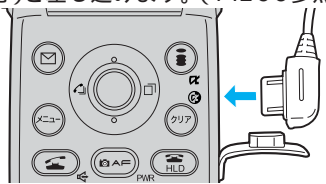
次ページにつづく

❶
❷
❸
❹
❺
❻
❼
❽
❾
❿
⓫
P900i
モード/ホーム
メモ/確認

❶プライベートウィンドウ
さまざまな情報が表示されます。
（P.35参照）

❷フォトライト
暗い所などで撮影するときに使用します。
（アプリケーション編P.277参照）

❸アウトカメラ
テレビ電話時に人や風景を映します。
また、人や風景を撮影するときにも使用します。（アプリケーション編P.258参照）

❹ストラップ取り付け穴
ストラップを取り付けることができます。

❺イヤホンマイク端子
図のように平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を差し込みます。（P.258参照）

❻ ▲ モード／ホームボタン
カメラ起動中に押すと撮影モードを切り替えます。（アプリケーション編P.264、265、268参照）
待受画面で押すとホームURLに設定したインターネットホームページを表示します。（アプリケーション編P.51参照）サイト表示中に押すとページスクロールします。

❼ ▼ メモ／確認ボタン
不在着信・新着メールがあるかないかを確認するときや、伝言メモなどを使用するときに押します。（P.100、104参照）サイト表示中に押すとページスクロールします。

❽着信／充電ランプ
電話の着信時やメールの受信時、通話中に点滅します。（P.160、164参照）
カメラ撮影時に点灯（点滅）します。充電中は赤色に点灯します。

❾赤外線ポート
赤外線通信や赤外線リモコンを利用するときに使用します。
（アプリケーション編P.89、366参照）

❿スピーカ
着信音が鳴ります。また、ハンズフリー設定中は、相手の声をここから聞くこともできます。（P.70参照）

⓫リアカバー
（P.48参照）

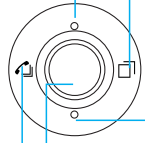
コマンドナビゲーションボタン

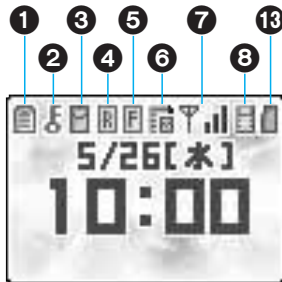
上
・カーソルまたは反転表示を上方向（逆方向）へ移動させます。（押し続けると連続スクロールになります）
・サイト表示中やメールの本文を表示中に画面をスクロールします。
・電話帳機能の選択画面（電話帳メニュー）を表示します。（P.38参照）
・受話音量を上げます。（P.76参照）
・入力した文字をカタカナ、漢字に変換します。（P.315参照）

左／着信履歴
・カーソルを左方向へ移動させます。
・着信履歴を表示します。（P.74参照）
・表示内容を画面単位で前の画面へスクロールさせます。
・サイト表示中に前のページに戻ります。

決定ボタン
・操作を決定します。

右／リダイヤル
・カーソルを右方向へ移動させます。
・リダイヤルを表示します。（P.63参照）
・表示内容を画面単位で次の画面へスクロールさせます。
・サイト表示中に次のページを表示します。

下
・カーソルまたは反転表示を下方向へ移動させます。（押し続けると連続スクロールになります）
・サイト表示中やメールの本文を表示中に画面をスクロールします。
・電話帳検索画面を表示します。
（P.123参照）
・受話音量を下げます。（P.76参照）
・入力した文字を漢字、カタカナに変換します。（P.315参照）

ディスプレイの見かた

■プライベートウィンドウ

ディスプレイの表示について

●ディスプレイやプライベートウィンドウに表示する文字や記号は、一部変形もしくは省略しているものがあります。
●主にお買い上げ時の設定をもとにしていますので、お買い上げ後の設定の変更によりFOMA端末の表示が取扱説明書とは異なった表示になることがあります。
●カラー液晶ディスプレイの製造には精度の高い技術が要求されます。ちょっとした環境の変化等で点灯しなかったり、常時点灯したりする画素ができますが、これはカラー液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。
●本書ではカラー画面を白黒で記載しているため、実際の画面とは色調が異なります。

❶ ：電池レベルを表示します。（P.55参照）

❷ ：オールロック中に表示されます。（P.205参照）
：PIMロック中に表示されます。（P.208参照）
：ダイヤル発信制限中に表示されます。（P.209参照）
：シークレットモード、シークレット専用モード中に表示されます。（P.206参照）
：ダイヤル発信制限中かつPIMロック中に表示されます。
：ダイヤル発信制限中かつシークレットモード、シークレット専用モード中に表示されます。

❸ （ピンク）（グレー）（グレー）（ピンク）
iモードメール、ショートメッセージ（SMS）の状態について表示します。
（アプリケーション編P.12参照）

❹
メッセージR（リクエスト）の状態について表示します。（アプリケーション編P.12参照）

❺
メッセージF（フリー）の状態について表示します。（アプリケーション編P.12参照）

❻ （ピンク）（グレー）
iモードセンターのiモードメール、メッセージ（R/F）の状態について表示します。
（アプリケーション編P.13参照）

❼ ：電波の受信レベル（目安）が表示されます。
（弱い）　（普通）
FOMAサービスエリア外や電波の届いていないところでは「圏外」と表示されます。
：セルフモード中に表示されます。（P.211参照）

❽ ：iモード中に表示されます。（アプリケーション編P.13参照）
：パケット通信中に表示されます。（アプリケーション編P.13参照）

❾ ：SSL通信中に表示されます。（アプリケーション編P.13参照）

❿ ：外部接続端子にFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続すると表示されます。（アプリケーション編P.13参照）

⓫ ：赤外線通信中に表示されます。（アプリケーション編P.13参照）
：赤外線リモコンを実行中に表示されます。（アプリケーション編P.13参照）

⓬ ：音声電話中に表示されます。
：テレビ電話中（64K）に表示されます。
：テレビ電話中（32K）に表示されます。
：64Kデータ通信中に表示されます。（アプリケーション編P.13参照）

⓭
miniSDメモリーカード装着中に表示されます。（アプリケーション編P.13参照）

⓮ ：マルチタスク中に表示されます。
複数の機能が動作している場合は「」が表示されます。（P.267参照）

⓯
バイブレータを「ON」に設定すると表示されます。（P.143参照）

⓰
着信音量を「消去」に設定すると表示されます。（P.77参照）

⓱ ：マナーモード中に表示されます。（P.138参照）
：遠隔監視設定を「ON」にすると表示されます。（P.96参照）

⓲ ：ドライブモード中に表示されます。（P.101参照）

⓳ ：「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームが設定されていると表示されます。
当日のアラームが設定されている場合は「」が表示されます。（P.216参照）

⓴ ～
伝言メモの録音件数（0～5件）を表示します。（P.104参照）

㉑ ～
留守番電話サービスの伝言メッセージの録音件数（1～9件）を表示します。
録音件数が10件以上のときは「」が表示されます。（P.273参照）

㉒ ：バックライトを「OFF」に設定すると表示されます。（P.186参照）

㉓ ：サイドボタン操作を「閉じたとき無効」に設定すると表示されます。（P.212参照）

㉔ ～
TV電話伝言メモの録音件数（0～2件）を表示します。（P.104参照）

㉕
iアプリの状態について表示します。
（アプリケーション編P.13参照）

<表示アイコン説明>

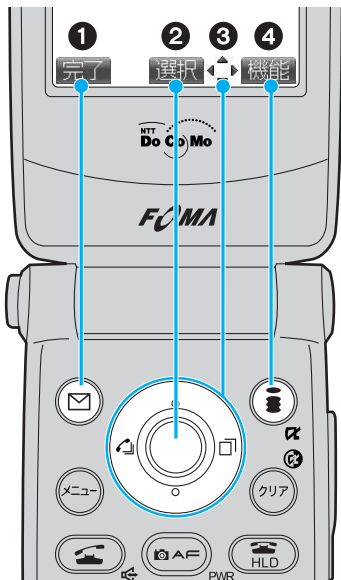
アイコンの説明を表示する

画面の上部に表示されるマーク（ など）をアイコンといいます。それぞれのアイコンの説明を表示します。

▶ディスプレイ▶表示アイコン説明
▶◎でアイコンを選択

選択したアイコンの説明が表示されます。

ナビゲーション表示について

ディスプレイに表示される内容を実行したいときは、以下のように表示に対応するボタンを押します。

■ボタン操作と主な表示例

❶	ボタンで行う操作を表示します。	完了 文字
❷	ボタンで行う操作を表示します。	選択 確定
❸	スクロールや項目の選択が可能な方向を表示しています。	
❹	ボタンで行う操作を表示します。	機能 閉

プライベートウィンドウについて

プライベートウィンドウには、時計やアイコンなどさまざまな情報が以下の例のように表示されます。

<時計>

<スケジュールアラーム>

<着信中>

<発信中>

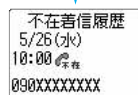
<通話中>

<遠隔監視中>

■不在着信があった場合

FOMA端末を折りたたんでいるときは、プライベートウィンドウに「不在着信あり」のアイコンが表示されます。

▲ を押すたびに不在着信履歴が3件まで表示されます。

●不在着信があったあとに、通常の着信を30件以上受けた場合は、不在着信履歴は表示されません。
●ツールグループ（P.38参照）の機能が動作中は、不在着信履歴は表示されません。
●不在着信履歴を表示すると「不在着信あり」のアイコンは削除されます。

■新着メールがあった場合

FOMA端末を折りたたんでいるときは、プライベートウィンドウに「新着メールあり」のアイコンが表示されます。

▲ を押すたびに受信したメールの受信日時、送信元、題名が3件まで表示されます。

●「プライベートウィンドウ」の「メール表示」を「ON」にしておく必要があります。
●セキュリティが設定されているBOX・フォルダ内のメールの受信日時、送信元、題名は表示されません。
●受信したメールの受信日時、送信元、題名を表示すると「新着メールあり」のアイコンは削除されます。
●複数のメールを同時に受信した場合のみ、2件目、3件目のメールが表示されます。

お知らせ

●FOMA端末を閉じた状態で ▲ または ▼ を押すと、バックライトが点灯します。暗い場所で時刻を確認するときなどに便利です。
●省電力モードになると、プライベートウィンドウの表示が消えます。「照明設定」の「通常時」を「ON」に設定しているときは、▲ または ▼ を押すと、再びプライベートウィンドウが表示されます。

メニュー機能を操作する

FOMA端末は、（メニュー）を使ってメインメニューを呼び出すことで、ｉモードやメール、ｉアプリの実行や各種機能の設定、確認を簡単に行うことができます。

■スクロール選択
メインメニューは、メールグループ、ｉモードグループ、設定グループ、ツールグループに分けられ、それぞれの機能をイメージした大項目アイコンで構成されています。大項目アイコンを選択すると機能の選択画面が中項目として表示され、さらに目的の小項目の選択画面を選択していくと設定画面や確認画面が表示されます。

■メニュー番号選択
機能によっては、メニュー番号を覚えておけば、（メニュー）＋メニュー番号を押すだけで機能をすばやく呼び出すことができます。

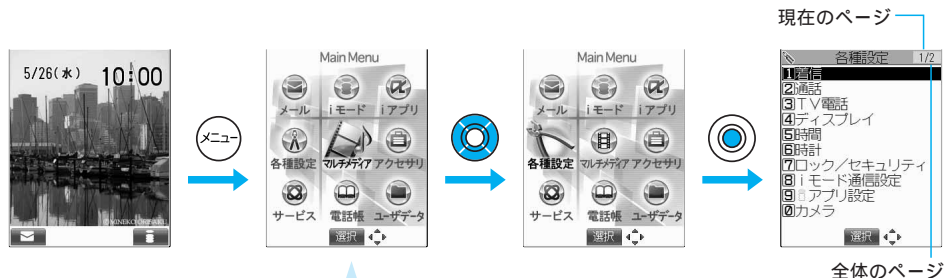
●FOMA端末は、メールグループ、ｉモードグループ、設定グループ、ツールグループの各グループから1つずつと、グループに属さない音声電話など、最大3つの機能を同時に使うことができる「マルチタスク」に対応しています。

スクロール選択

ここでは、「バイブレータ」の機能を選択する方法を例にしてスクロール選択を説明します。

メニュー機能の大項目アイコンを選択します

メインメニューから「各種設定」を選択します。

現在のページ
全体のページ

- 大きく表示されているアイコンが、現在選択されている大項目アイコンです。
- を押すと下のアイコン、 を押すと上のアイコン、 を押すと左のアイコン、 を押すと右のアイコンに移ります。
- 連続移動させるときは を押し続けます。
- 1秒以上ボタンを押さなかった場合は選択しているアイコンの説明ガイダンスが表示されます。(「メニュー画面設定」で説明ガイダンスを表示しないようにすることができます。)
- 15秒以上ボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。

■プライベートメニュー/カメラショートカットについて

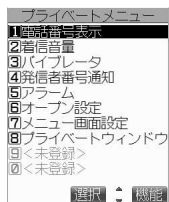
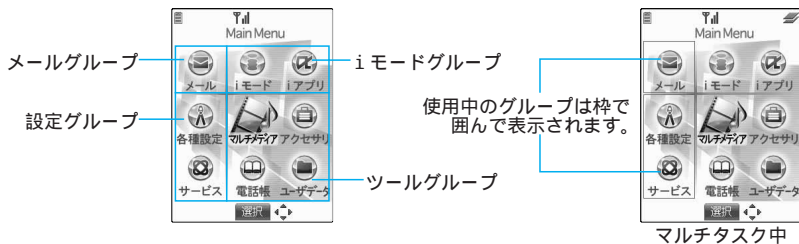
を押すたびに「メインメニュー」→「プライベートメニュー」→「カメラショートカット」の順に画面が切り替わります。

プライベートメニュー ・・・・・よく使う機能を登録し、簡単な操作で呼び出すことができます。(P.241参照)

カメラショートカット ・・・・・用途に合わせた設定でカメラを起動したり、イメージビューアやiモーションプレーヤーなどを簡単な操作で呼び出すことができます。
(アプリケーション編P.16参照)

プライベートメニュー

カメラショートカット

次ページにつづく

■大項目のアイコンについて

●メールグループ（メール機能を使用中のときはメールアイコンが枠で囲んで表示されます。）

メール　：「受信BOX」や「ｉモードメール作成」、「ｉモード問い合わせ」などのメール機能の選択画面（メールメニュー）を表示します。待受画面で ✉ を押して、メールメニューを表示させることもできます。

●ｉモードグループ（使用中の機能があるときはｉモードグループ内が枠で囲んで表示されます。）

ｉモード　：「ｉMenu」や「Bookmark」などのｉモード機能の選択画面（ｉモードメニュー）を表示します。待受画面で ⓘ を押して、ｉモードメニューを表示させることもできます。

ｉアプリ　：「ソフト一覧」や「自動起動設定」などのｉアプリ機能の選択画面（ｉアプリメニュー）を表示します。待受画面で ⓘ を1秒以上押して、ｉアプリソフト一覧を表示させることもできます。

●設定グループ（使用中の機能があるときは設定グループ内が枠で囲んで表示されます。）

各種設定　：「着信」、「通話」、「ディスプレイ」などの各種設定機能の選択画面を表示します。FOMA端末を使いやすくするための機能の画面を呼び出します。

サービス　：「留守番電話」、「転送でんわ」などの選択画面を表示します。ドコモのネットワークサービスを利用するための画面を呼び出します。

●ツールグループ（使用中の機能があるときはツールグループ内が枠で囲んで表示されます。）

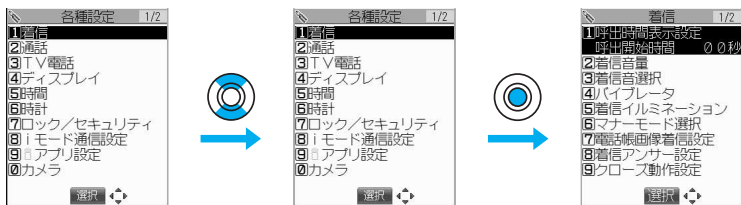
電話帳　：「電話帳登録」、「電話帳検索」などの電話帳機能の選択画面（電話帳メニュー）を表示します。電話番号やアドレスなどを電話帳に登録したり、登録したデータから電話をかけたり、メールを作成する画面を呼び出します。

マルチメディア：「イメージ」、「ｉモーション」、「メロディ」、「キャラ電」のマルチメディア機能の選択画面を表示します。メロディを演奏したり、カメラで撮影した静止画や動画、ダウンロードしたｉモーション、キャラ電などを再生します。

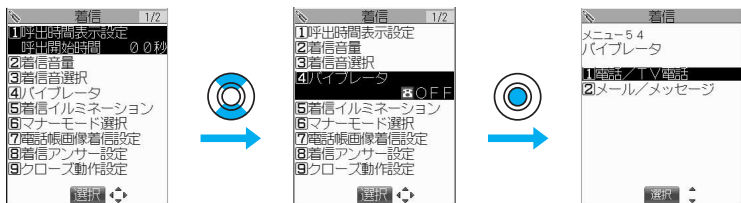
アクセサリ　：「カメラ」、「スケジュール」、「電卓」などのアクセサリ機能の選択画面を表示します。FOMA端末を便利な道具として使う機能の画面を呼び出します。

ユーザデータ　：「電話番号表示」、「着信履歴」、「発信履歴」などのユーザデータ機能の選択画面を表示します。個人的なデータを登録したり確認する画面を呼び出します。

2 メニュー機能の中項目を選択します

「各種設定」から「着信」を選択します。

●反転表示している項目が現在選択されている項目です。
● を押すと下の項目、 を押すと上の項目に選択項目が移ります。
●連続移動させるときは を押し続けます。
●ページ単位でスクロールさせるときは を押します。

3 目的の小項目（機能）を選択します

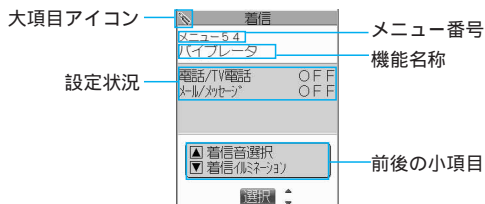
「着信」から「バイブレータ」を選択します。

● を押すと一つ前の小項目、 を押すと次の小項目が表示されます。
● を押し続けると小項目が連続スクロールします。

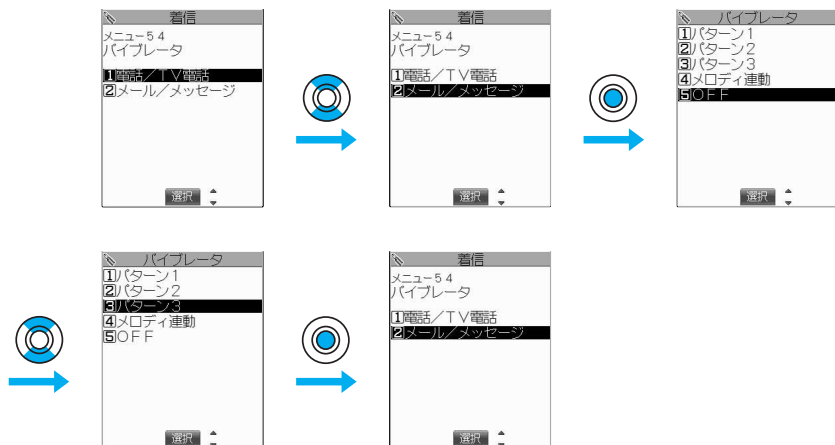
■小項目の選択画面で各機能の設定状況が確認できます

「メニュー画面設定」の「メニュー表示」を「詳細表示」に設定すると、機能の設定状況やメニュー番号を確認することができます。

メニューの選択方法

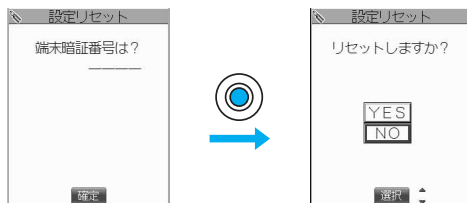
メニュー機能を操作する

次ページにつづく

4 機能の設定や確認をします

選択した各機能の設定や確認を行います。
機能項目によっては、さらに詳細項目を選択する場合があります。操作の例では「メール／メッセージ」のバイブレータを「パターン3」に設定します。

●反転表示している項目が現在選択されている項目です。
●を押すたびに反転表示が下がり、を押すたびに反転表示が上がります。
●連続スクロールさせるときはを押し続けます。
●項目が複数のページにわたるときは、画面の右上に全体のページ数と現在のページ数が表示されます。
●ページ単位でスクロールさせるときはを押します。

■暗証番号の入力画面が表示されるとき
機能項目によっては、機能の設定画面が表示される前に「端末暗証番号」の入力画面が表示されることがあります。機能の設定や確認をするには端末暗証番号の入力が必要になります。
●端末暗証番号についてはP.198参照。

1. 端末暗証番号を入力してを押します。

端末暗証番号入力時はディスプレイに「＿」で表示され、数字は表示されません。

設定リセットの場合

■「YES／NO」または「ON／OFF」を選択する画面のとき

●「YES／NO」の選択画面のとき
1. を押して「YES」または「NO」を選択します。
2. を押します。

設定リセットの場合

●「ON／OFF」の選択画面のとき
1. を押して「ON」または「OFF」を選択します。
2. を押します。

ボタン確認音の場合

お知らせ

●機能を設定するには、操作の例のように一覧表示から選択する方法や「YES／NO」、「ON／OFF」を選択する方法（本ページ参照）、数値を入力する方法などがあります。
●選択できない機能はグレー表示になります。

メニュー番号選択

ここでは、「バイブレータ」の機能を選択する方法を例にしてメニュー番号選択を説明します。

1 メニュー番号で機能を呼び出します

待受画面で (メニュー) 5 4 を押します。

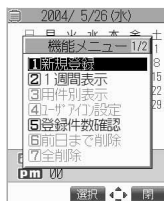
お知らせ

●メニュー番号については「機能一覧表」を参照してください。（P.336参照）

次ページにつづく

■機能メニュー画面について

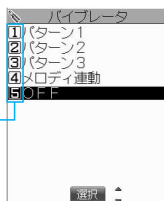
●画面の右下部に 機能 が表示されているときに を押すと、機能メニューが表示されます。
　（機能）を押したときの画面によって、表示される機能メニューの内容は異なります。また、選択できない機能はグレー表示になります。

●それぞれの操作において、登録や編集、削除など操作可能な項目が表示されます。

●項目が複数のページにわたるときは、機能メニュー画面の右上に「現在のページ数／全体のページ数」が表示されます。機能メニュー画面の一番上の項目から を押すと前のページを、一番下の項目から を押すと次のページを表示します。
　機能メニュー画面をページ単位でスクロールさせるときは を押します。

■すばやく項目を選択するために<ダイレクト選択>

項目を選択するときは、表示されている項目番号と同じ数字のダイヤルボタンを押してすばやく選択することもできます。

バイブレータ
1パターン1
2パターン2
3パターン3
4メロディ連動
5OFF
選択

項目番号

■メニュー操作が終わったとき／途中でやめるときは

●メニュー操作が終わったとき
　各機能の設定が終わると小項目の選択画面になります（ただし機能によっては待受画面に戻るものもあります）。各機能の設定が終わったら を押します。メニュー操作を終了して待受画面に戻ります。（マルチタスク中（P.267参照）を除く）

●メニュー操作を途中でやめるとき
　設定を途中でやめるときは を押します。設定中の内容を破棄して待受画面や元の画面に戻ります。
　ただし、設定の項目によっては設定中の内容を破棄するかしないかの確認画面が表示されることがあります。
　また、 を押して操作を1つ前の状態に戻すこともできます。

機能設定の操作

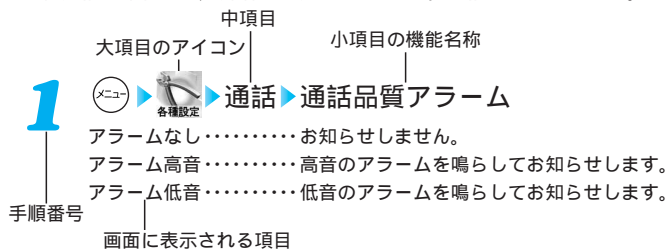
ここでは設定グループの「各種設定」から「通話品質アラーム」を選択し、アラームの種類を設定する方法を例にして、操作を説明します。

この取扱説明書では、操作の方法を次のように説明しています。

中項目
大項目のアイコン
小項目の機能名称

1 (メニュー) ▶ 各種設定 ▶ **通話** ▶ **通話品質アラーム**

アラームなし ･･････････お知らせしません。
アラーム高音 ･･････････高音のアラームを鳴らしてお知らせします。
アラーム低音 ･･････････低音のアラームを鳴らしてお知らせします。

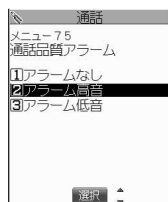
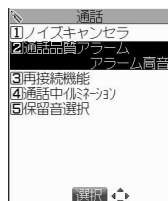
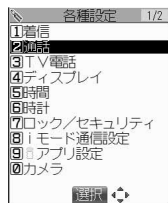
手順番号
画面に表示される項目

実際の操作は

(メニュー)を押します。

メインメニューで◎を押して大項目「各種設定」アイコンを選択し、◎を押します。

中項目の画面で◎を押して「通話」を選択し、◎を押します。

小項目の画面で◎を押して「通話品質アラーム」を選択し、◎を押します。

◎を押して設定するアラームの種類を選択し、◎を押します。

FOMAカードについて

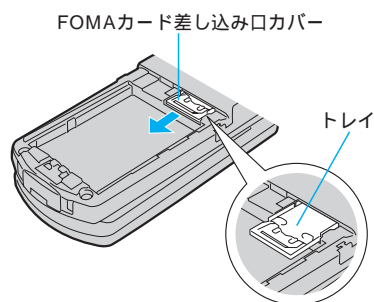
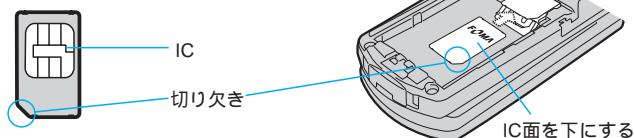
FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。FOMAカードには、電話帳やショートメッセージ（SMS）などのデータを保存することもできます。
FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。
FOMAカードを差し込まないと、FOMA端末で音声電話やテレビ電話、ｉモード、メールの送受信、パケット通信などの通信を利用することができません。
FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定することができます。（P.199参照）
FOMAカードの詳しい取り扱いにつきましては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。
FOMAカードを付け外しする際には、ICに不用意に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。

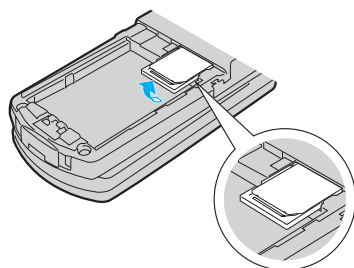
FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

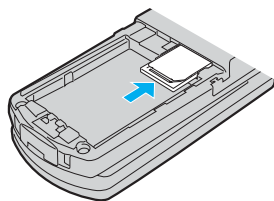
FOMAカードは、電池パックを外してからセットします。（P.48参照）

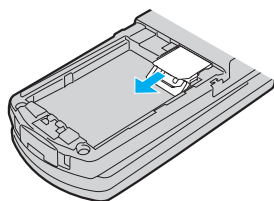
■取り付けかた

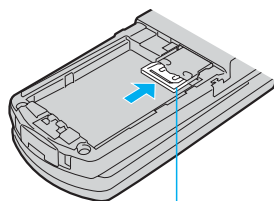
1 **FOMAカード差し込み口カバーを引き出す**

●トレイが止まるところまで引き出します。

2 **IC面を下にしてFOMAカードを差し込む**

3 **FOMAカード差し込み口カバーをトレイと水平になるように戻す**

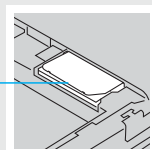
●FOMAカードとFOMAカード差し込み口カバーの切り欠き部分を合わせてください。

4 奥に押し込む

●「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。

■取り外しかた

1 取り付けかたの手順1にしたがってトレイを引き出し、FOMAカードを取り外す

■FOMAカード差し込み口カバーが外れたとき

トレイがFOMA端末に入っている状態で、FOMAカード差し込み口カバーを差し込み口に合わせて、押し込んでください。

お知らせ

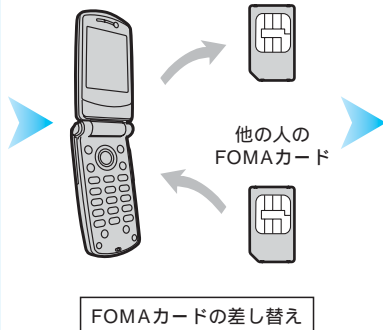
●FOMAカードの付け外しは、電源を切ってから行ってください。
●電池パックを付けるときは、必ずFOMAカードのトレイが出ていないことを確認してください。トレイが出ていると電池パックを付けることができません。無理に付けようとするとFOMAカードやトレイが壊れることがあります。
●FOMAカードがFOMAカード差し込み口カバーに乗り上げたままトレイを押し込むと、動作異常の原因となりますのでご注意ください。

乗り上げた状態

●無理に付けようとするとFOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。
●外したFOMAカードはなくさないようご注意ください。

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。
FOMAカードを挿入した状態で、次のような方法でデータやファイルを取得すると、取得したデータやファイルには自動的にFOMAカード動作制限機能が設定されます。
・サイトやインターネットホームページから画像やメロディなどをダウンロードしたとき
・ファイルが添付されているｉモードメールを受信したとき

●FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、閲覧／再生／起動／編集／メールへの添付／赤外線通信機能によるデータの送信などを実行することができます。
●データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入していなかったり、別のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能により保護されて、取得したデータやファイルは閲覧／再生／起動／編集／メールへの添付／赤外線通信機能によるデータの送信などがFOMA端末で実行できなくなります。

このあとの説明では、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。

●FOMAカードを挿入していなかったり、他の人のFOMAカードを挿入すると次のようなデータやファイルでは、制限を示す「」が表示されます。
・サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディ／画像／ｉアプリ／キャラ電
・サイトやインターネットホームページから取り込んだｉモーション
・ダウンロード辞書
・メロディ／画像／ｉモーション／キャラ電／ダウンロード辞書が含まれている画面メモ
・受信BOX内のｉモードメールに添付されている、または貼り付けられているファイル（メロディ／画像／ｉモーション／キャラ電イメージ／キャラ電ムービー）
・送信BOX／保存BOX内のｉモードメールに添付されているファイル（メロディ／画像／ｉモーション／キャラ電イメージ／キャラ電ムービー） ただし、FOMA端末で撮影／編集したデータは除きます。
・ファイル（メロディ／画像）が添付されている、または貼り付けられているメッセージ（R/F）
※あらかじめ登録されているｉアプリ／キャラ電は、サイトから再びインストールすると本機能の対象になります。

●FOMAカード動作制限機能が設定されている静止画／動画のプレビュー画像は右のように表示されます。

お知らせ

- FOMAカード動作制限機能が設定されると、他の人のFOMAカードに差し替えたときは、本機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定することはできません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定した場合、FOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げ時の設定で動作します。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、お客様が設定した状態に戻ります。
  <例：FOMAカード動作制限機能が設定された「メロディA」を着信音に設定したとき>
  FOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えたときに「着信音選択」で表示される設定内容は「メロディA」になりますが、実際に着信があったときにはお買い上げ時に設定されていた着信音が鳴ります。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、「メロディA」の着信音に戻ります。
- 赤外線通信機能やデータの送受信(OBEX)機能(アプリケーション編P.391参照)を使って受信したデータ、FOMA端末で撮影/編集した静止画/動画には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
- 他の人のFOMAカードを挿入した状態でも、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを移動/削除することは可能です。
- FOMAカード動作制限機能が設定されていると、ｉモードメールのメール詳細画面で反転表示されている文字などを選択して、ｉアプリを起動したりｉモーションを取り込むことができません。

FOMAカードの機能差分について

FOMA端末で「FOMAカード(青色)」をご使用になる場合、次のような「FOMAカード(緑色)」との機能差分がありますのでご注意ください。

機能	FOMAカード(青色)	FOMAカード(緑色)	参照先
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P.120
FirstPassを利用するためのユーザ証明書の操作	利用不可	利用可	アプリケーション編 P.77
WORLD WINGの利用	利用不可	利用可	−

■WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード(緑色)をサービス対応の海外用携帯電話(GSM方式)に差し替えることにより、海外でのご利用時も、日本で契約している携帯電話番号のままで発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

WORLD WINGのご利用にはお申し込みが必要です。詳しくは、下記にお問い合わせください。

●お問い合わせ先<DoCoMo インフォメーションセンター>

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの)151(無料)

※一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合

携帯・PHS OK **0120-800-000**

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

充電する

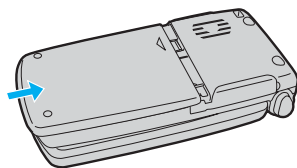
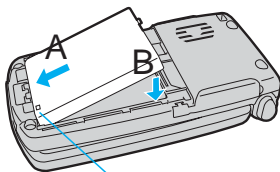
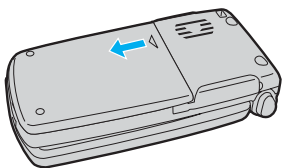
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

■取り付けかた

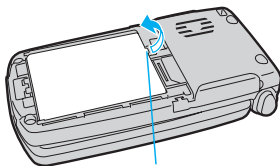
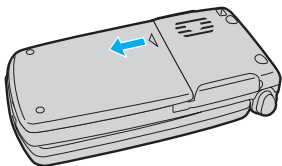
1「▽」部分を押しながら、矢印の方向にスライドさせてリアカバーを取り外す

2「□マーク」を上にしてAの方向に差し込み、Bの方向に押す

●電池パックの突起を本体の溝に確実に合わせます。

3 リアカバーを矢印の方向にスライドさせて取り付ける

■取り外しかた

1「▽」部分を押しながら、矢印の方向にスライドさせてリアカバーを取り外す

2 電池パックのツメを利用して上方向に持ち上げる

お知らせ

●電池パックの交換は、電源を切ってから行ってください。
●電池パックを付けるときは、必ずFOMAカードのトレイが出ていないことを確認してください。トレイが出ていると電池パックを付けることができません。無理に付けようとするとFOMAカードやトレイが壊れることがあります。
●無理に付けようとするとFOMA端末の充電端子が壊れることがあります。
●詳しくは電池パック　P05の取扱説明書をご覧ください。

充電時の注意事項

FOMA端末の性能を十分に発揮するために、FOMA端末専用の電池パック　P05をご利用ください。

電池の寿命は？

●電池は消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
●1回の使用時間が使用開始時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命とお考えください。（電池パックの寿命の目安は、約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります。）

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

充電について

●詳しくはACアダプタ　P04、DCアダプタ　P01（別売）の取扱説明書をご覧ください。
●ACアダプタ、またはDCアダプタで充電するには、電池パックをFOMA端末に付けた状態でないと充電できません。
●充電中でもFOMA端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。
●コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。

電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。

●充電中にFOMA端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わったあとFOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ（または卓上ホルダ）、DCアダプタから外して再度セットし直してください。

次ページにつづく

電池の使用時間の目安

（電池の使用時間は、充電時間や電池の劣化度で異なります。）

連続待受時間	静止時　：約500時間 移動時　：約350時間
連続通話時間	音声電話時　：約150分 テレビ電話時　：約90分

※連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合等）などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくてもｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動させると通話（通信）・待受時間は短くなります。

※静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を折りたたみ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

※移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を折りたたみ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※データ通信やマルチアクセス実行時、ｉアプリのソフトを実行したときも、前述の通話時間や待受時間より短くなります。

電池の充電時間の目安

ACアダプタ	約130分
DCアダプタ	約130分

※充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

お知らせ

●電池残量がなくなったときや電池パックを外したときは、静止画や動画の保存などができない場合があります。

ACアダプタでの充電方法

必ずACアダプタ　P04の取扱説明書もご覧ください。

1 外部接続端子のキャップを開いて、ACアダプタを接続する

●FOMA端末に電池パック　P05を付けておいてください。

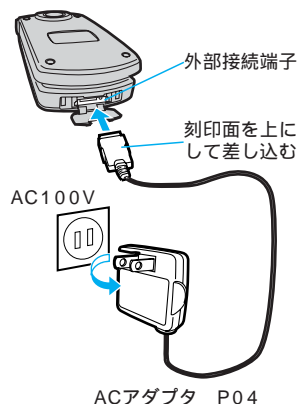
2 ACアダプタのプラグをコンセントへ差し込む

着信／充電ランプが赤く点灯したことを確認してください。

●電源を入れておくと充電中でも電話を受けることができます。（充電時間は長くなります）

●FOMA端末を開いた状態でも充電することができます。

3 充電が完了したらコネクタをFOMA端末から外し、ACアダプタをコンセントから抜く

外部接続端子のキャップを閉じてください。

■充電中・充電完了時の表示について

	着信／充電ランプ	ディスプレイ「▮」表示
充電中	赤く点灯	点滅
充電完了	消灯	点灯

※FOMA端末の電源を切っているときは、プライベートウィンドウに「▮」は表示されません。
電池が切れた状態で充電を開始すると、着信／充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電自体は開始されています。

お知らせ

●FOMA端末の電源が入っていると、充電の開始、終了時に「充電確認音」が「着信音量」の「電話／TV電話」で設定した音量で鳴ります。

●ACアダプタはAC100Vのみに対応しています。

ACアダプタと卓上ホルダでの充電方法

必ずACアダプタ　P04と卓上ホルダ　P05の取扱説明書もご覧ください。

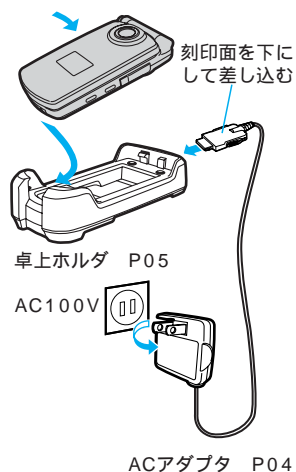
1 ACアダプタを卓上ホルダに接続する

2 ACアダプタのプラグをコンセントへ差し込む

3 FOMA端末を卓上ホルダに差し込む

「カチッ」と音がするまで差し込みます。
着信／充電ランプが赤く点灯したことを確認してください。
●FOMA端末に電池パック　P05を付けておいてください。
●電源を入れておくと充電中でも電話を受けることができます。（充電時間は長くなります）
●FOMA端末を開いた状態でも充電することができます。

4 充電が完了したらFOMA端末を卓上ホルダから取り外す

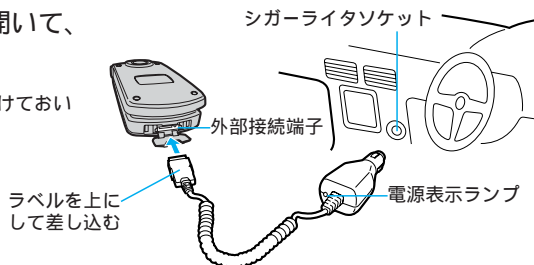
ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。
●充電中・充電完了時の表示についてはP.51参照。

お知らせ

●FOMA端末の電源が入っていると、充電の開始、終了時に「充電確認音」が鳴ります。
●ACアダプタはAC100Vのみに対応しています。
●FOMA端末は、卓上ホルダにしっかり取り付けてください。また、ストラップなどを挟み込まないようにしてください。
●外部接続端子のキャップは閉じたまま充電できます。
●卓上ホルダで、電池パック単体の充電はできません。必ずFOMA端末に電池パックを付けた状態で充電を行ってください。
●長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

DCアダプタでの充電方法

DCアダプタは、FOMA端末に電池パック　P05を付けたまま自動車のシガーライタソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。
必ずDCアダプタ　P01の取扱説明書もご覧ください。

1 外部接続端子のキャップを開いて、DCアダプタを接続する

●FOMA端末に電池パック　P05を付けておいてください。

2 DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットへ差し込む

着信／充電ランプが赤く点灯したことを確認してください。

●電源表示ランプが点灯している場合は、電源を入れておくと充電中でも電話を受けることができます。（充電時間は長くなります）

●FOMA端末を開いた状態でも充電することができます。

3 充電が完了したらコネクタをFOMA端末から外し、DCアダプタのプラグをシガーライタソケットから抜く

外部接続端子のキャップを閉じてください。

●充電中・充電完了時の表示についてはP.51参照。

お知らせ

●FOMA端末の電源が入っていると、充電の開始、終了時に「充電確認音」が鳴ります。

●DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対にご使用にならないでください。

●車種によりDCアダプタを取り付けられない場合があります。またプラグ部が合わない場合は、市販の変換ソケットなどをお求めの上、ご使用ください。

●エンジンを切ったままで使用すると、車のバッテリーを消耗させてしまう場合があります。ご使用の際は、必ずエンジンをかけておいてください。また使用されないときは、シガーライタソケットから外してください。

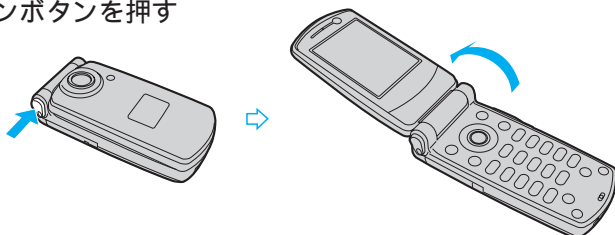
●万一、ヒューズが切れたときは、必ず2Aのヒューズをご使用ください。ヒューズ（2A）は消耗品ですので、交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

<ワンプッシュオープン>

ボタン操作でFOMA端末を開く

閉じた状態からFOMA端末をワンプッシュで簡単に開くことができます。
ボタンを使わず手で開くこともできます。

1 ワンプッシュオープンボタンを押す

FOMA端末が開きます。

お知らせ

●オープン設定（P.166参照）を「着信応答」に設定中は、FOMA端末を閉じているときに電話がかかってくるとワンプッシュオープンボタンが点滅します。点滅する色は変更できません。
点滅中にワンプッシュオープンボタンを押してFOMA端末を開くと、通話を開始します。

●FOMA端末の向きによっては、ボタンを押したときに完全に開かない場合もあります。

●ボタンを押してFOMA端末を開くときは、反動でFOMA端末を落とさないようにご注意ください。

●FOMA端末を閉じるときは手で閉じます。閉じられない場合は一度完全に開いてから閉じてください。

＜電源ON／OFF＞

電源を入れる／切る

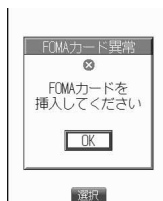
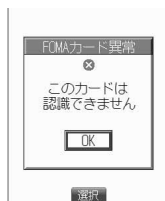
1 HLDを2秒以上押す

FOMAカードが認識されると、待受画面が表示されます。

●画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
●日付時刻が設定されていれば現在の日付時刻が表示されます。
●「圏外」が表示されているときはFOMAサービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。「圏外」が消えるところまで移動してください。
●「PIN設定」の「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定したときは、電源を入れたあと4〜8桁のPIN1コードを入力します。（P.203参照）

＜待受画面＞

圏外
＜圏外表示＞

●FOMAカードを付けていない場合や、FOMAカードに異常がある場合は警告画面が表示されます。

FOMAカード
未装着・破損時

FOMAカード
故障時

■電源を切るには

HLDを2秒以上押す

終了画面が表示され、電源が切れます。

電源を入れた状態で一定時間何も操作をしなかった場合、ディスプレイとプライベートウィンドウの表示がOFFになり、FOMA端末を開いているときはコマンドナビゲーションボタンが5秒間隔で点滅します。何か操作をすると表示がONになります。
●「画面表示設定」の「省電力」を「OFF」に設定すると、無操作で一定時間経過しても、表示がOFFにならないように設定することができます。（P.181参照）

お知らせ

●電話帳の登録件数やメールの保存件数などが多い場合、電源を入れるときのHLDを押す時間が長くなることがあります。
●移動しながら通話すると電波の強さが安定しません。デジタルの特性上、急に通話が切れることがあります。できるだけ 📶 が表示されている状態で使用することをおすすめします。

電池残量の確認のしかた

電池レベル表示は、電池の残量の目安としてご覧ください。

アイコンで確認する

FOMA端末の電源を入れると、画面に現在の電池レベルが自動的に表示されます。

- **十分残っているとき…………**
- **少なくなっているとき………**
- **ほとんど残っていないとき……**

●電池の残量がほとんど残っていないときは、充電することをおすすめします。

画面と音で確認する

現在の電池レベルが、画面に表示されます。レベルに合わせて音でもお知らせします。

1 ▶ ▶ **その他** ▶ **電池残量**

●絵表示は約3秒後に消えます。

●「マナーモード」、「スーパーサイレント」、「オリジナルマナー」に設定中、および「ボタン確認音」が「OFF」に設定されているときや、「着信音量」の「電話／TV電話」が「消去」に設定されているときは音は鳴りません。

十分残っているとき

ピピピッ

少なくなっているとき

ピッピッ

ほとんど残っていないとき

ピッ

※早めに充電を行ってください。

■電池が切れたときは？

右のような画面が表示され、電池切れアラームが約6秒間鳴ります。電池切れアラームを止めるには ▲ 、 ▼ 以外のいずれかのボタンを押してください。約1分後に電源が切れます。

●通話中は、画面とともに「ピピピ…」音によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れます。

●「マナーモード」、「スーパーサイレント」に設定中、および「オリジナルマナー」で「電話着信音量」が「消去」、「低電圧アラーム」が「OFF」に設定されているときは、音は鳴りません。

＜日付時刻設定＞

日付・時刻を合わせる

FOMA端末が内蔵する時計の日付および時刻を設定します。
設定した日付・時刻は待受画面などで表示されます。

▶時計▶日付時刻設定▶年、月、日、時刻を入力

でカーソルを移動し、ダイヤルボタンで入力します。

●年は西暦で入力します。

●時刻は24時間で入力します。
午後9時15分は、2 1 1 5 と押します。

お知らせ

●音声電話中に設定することもできます。

●誤った数値（例えば13月）を入力して を押すと無効になります。正しい値を入力しなおしてください。

●日付時刻設定を行わないと、次の機能がご利用できませんので、ご注意ください。
通話中の現在時刻表示（P.60、78参照）・アラーム（P.213参照）・スケジュール（P.218参照）・ToDo（P.229参照）・ソフトウェア更新（P.364参照）・FirstPassセンターへの接続（アプリケーション編P.77参照）・ｉアプリDXの起動（アプリケーション編P.90参照）・ｉアプリの自動起動（アプリケーション編P.98参照）・SSL通信の認証（アプリケーション編P.30参照）

●FOMA端末は内部にバックアップ電池を装備しております。設定した時刻は、内蔵のバックアップ電池を用いて保持していますので、電池パックを交換するときでも保持されますが、約2週間以上電池パックを外しているとリセットされることがあります。その際は、FOMA端末を充電してから、もう一度日付時刻設定を行ってください。また、お買い上げ後初めてお使いになるときは、FOMA端末に電池パックを付けて充電してください。内蔵のバックアップ電池も充電されます。

●本機能で設定できるのは、2003年1月1日00時00分から2099年12月31日23時59分までです。

●2099年12月31日23時59分に設定すると日付時刻の表示は更新されません。

<発信者番号通知>
相手に自分の電話番号を通知する

FOMA端末は、発信時に相手の電話機へお客様の電話番号をお知らせすることができます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。この機能は、相手の電話機がFOMA端末や携帯電話サービスの端末などのデジタル端末で、発信者番号表示が可能なときだけご利用できます。

電話をかけるときに通知／非通知を設定する

1回の通話のたびに発信者番号を通知するかしないかを設定します。

1 **電話番号を入力**
または、電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示

●リダイヤル・発信履歴・着信履歴一覧画面の機能メニューから設定することはできません。

2 **(i)(機能)▶発番号設定**

通知しない…………電話番号を通知しません。
通知する……………電話番号を通知します。
発番号設定消去………P.291の「発信者番号通知設定」が有効になります。

相手の電話番号の前に「186(または✳31#)」／「184(または#31#)」を付けて電話番号を入力することにより、お客様の電話番号を相手に「通知する」／「通知しない」を選択することもできます。

■発信者番号を通知する場合(「発信者番号通知設定」を「通知しない」に設定しているときに有効)

186(✳31#)+相手先の電話番号+(発信)

■発信者番号を通知しない場合(「発信者番号通知設定」を「通知する」に設定しているときに有効)

184(#31#)+相手先の電話番号+(発信)

お知らせ

●発信者番号を通知するかしないかをネットワークに設定しておくこともできます。(P.291参照)
●電話をかけたときに、発信者番号の通知をお願いするガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知するように設定して再度電話をかけ直してください。

迷惑電話を防止する

FOMA端末では、「ワン切り」などの迷惑電話や、いたずら電話を防止するために、次のような機能を利用できます。

機能	内容	参照先
呼出時間表示設定	設定した時間が経過するまでFOMA端末の呼出動作をしないように設定できます。また、ここで設定した呼出動作開始時間に満たない着信を不在着信履歴に表示しないように設定することもできます。ワンコール程度の着信履歴が表示されなくなりますので、「ワン切り」対策に効果的です。	P.146
登録外着信拒否	電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否するように設定できます。本機能は、電話番号を通知して電話をかけてきた相手に対して有効です。電話番号を通知しないで電話をかけてきた相手に対して着信を拒否する場合は、「非通知着信設定」を設定してください。	P.154
非通知着信設定	電話番号を通知しないで電話をかけてきた相手に対して、着信を拒否するように設定できます。本機能は、非通知の理由ごとに着信を拒否／許可するように設定できます。非通知の理由には、「通知不可能」、「公衆電話」、「非通知設定」があります。	P.155
指定着信拒否	指定した電話番号からの着信を拒否するように設定できます。なお、本機能を設定しても着信履歴には記憶されます。	P.147
迷惑電話ストップサービス	迷惑電話などの通話直後に拒否登録を行うと、以降の着信時にガイダンスを流して着信を拒否します。携帯電話ネットワークで着信を拒否するので、FOMA端末の着信履歴には記憶されません。また、同じ電話番号から電話番号を通知しないで電話をかけてきても着信を拒否することができます。 ●本サービスはお申し込みが必要で、月額使用料がかかります。	P.289

お知らせ

●見知らぬ着信履歴には、おかけ直ししないようご注意ください。特に、相手にお客様の電話番号を通知する設定にしてのおかけ直しは、無用なトラブルの原因となります。
●迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は、「迷惑電話ストップサービス」→「指定着信拒否」→「登録外着信拒否／非通知着信設定」→「呼出時間表示設定」の順になります。

基本操作編

電話をかける

1 相手の市外局番から電話番号を入力する

●同一市内への通話でも、必ず市外局番から電話番号を入力してください。

<例>

市外局番		市内局番		電話番号
03	▶	XXXX	▶	XXXX

●携帯電話にかけるとき

090－XXXX－XXXX 080－XXXX－XXXX	相手の電話番号（11桁）

●PHSにかけるとき

070－XXXX－XXXX	相手の電話番号（11桁）

2 ▶相手が出たら話す

●電話番号は一度消えたあと、右から順に繰り上がってもう一度表示されます。

●FOMA端末は一般の電話機と違って、「ルルル…」という呼び出し音の前に「プップップッ…」という発信音が鳴ります。

●発信中は「」が点滅し、通話中は点灯します。

●電話番号入力後、を押しても電話をかけることができます。

●相手の携帯電話またはPHSの電源が入っていないとき、または相手が電波の届かない場所にいるときには、接続できないことをガイダンスでお知らせします。

●発信者番号通知をお願いする旨のガイダンス（P.292参照）が聞こえたときは、「発信者番号を通知する場合」（P.57参照）の説明にしたがって、「186」または「*31#」を付けておかけ直しください。

●相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえます。を押して、しばらく待ってからおかけ直しください。

3 お話が終わったらで通話を終了する

お知らせ

●ｉモード中またはメールの送受信中でも「マルチアクセス」で電話をかけることができます。

●64Kデータ通信中、テレビ電話中には音声電話はかけられません。

●通話中に通話中以外の画面を表示させた場合、クリアを数回押すと通話中画面に戻ります。通話中画面でを押すと、通話が終了します。

●ビル電話など、ダイヤル市外通話のできない電話機からは、FOMA端末へもかけられません。

●を押してから相手の電話番号を入力しても電話はかけられます。この場合、電話番号を間違えたときはを押して表示を消してからおかけ直しください。

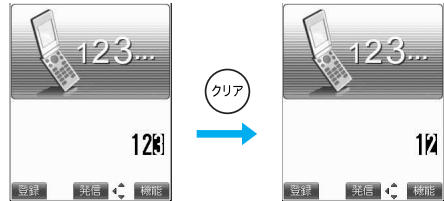
●音声電話中にテレビ電話がかかってきた場合は、すべて「着信拒否」となり電話を受けることはできません。音声電話終了後に「不在着信あり」のアイコンが表示され、着信履歴が残ります。（留守番電話サービス、話中着信サービス（キャッチホン）、転送でんわサービスの契約及び設定により、「不在着信あり」のアイコンは表示されず、着信履歴にも残らない場合があります。）

●「ダイヤル発信制限」「指定発信制限」「セルフモード」を設定中は、電話番号を入力して電話をかけることはできません。

■発信中の表示について

お客様のFOMA端末の電話帳に相手の名前、電話番号が登録されている場合は、相手の名前とアイコンが表示されます。ただし、電話帳に画像が登録されていても、画像は表示されません。
電話帳に電話番号が登録されていない場合は、電話番号が表示されます。
ただし、PIMロック中または「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳のときは、名前が表示されずに電話番号が表示されます。
同じ電話番号で名前が異なる複数の電話帳を登録したときは、検索順(P.128参照)に従って検索を行い、先に表示される電話帳の名前が表示されます。
●デスクトップのアイコンから音声電話をかけた場合は、相手の名前とアイコンは表示されません。

■電話番号を押し間違えたら クリア で訂正します

1文字ずつ訂正するときは、クリア を短く押します。
押すたびに、右端から1文字ずつ数字が消えていきます。
● ◎ を押してカーソルを移動させ、クリア を押すとカーソルの位置の数字が消えます。

すべて訂正するときは、クリア を1秒以上押します。
すべて消え、待受画面に戻ります。
● ◎ を押してカーソルを移動させ、クリア を1秒以上押すと、カーソル上にある数字とカーソルから右にある数字がすべて消えます。

■えチャット

音声電話中の相手に、その場で撮影した静止画や保存されている静止画を送信することができます。
(アプリケーション編P.284参照)

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

電話番号入力中に ≡ (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

操作により実行できない項目があります。

<通話中保留>

通話中に保留にする

通話中の電話を保留にすることができます。

1 通話中▶ クリア （1秒以上）

電話はつながった状態のまま保留されます。

●相手には保留音（エリーゼのために）が流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「通話中保留」で設定した静止画が表示されます。

●スピーカからも保留音が流れます。

●「クローズ動作設定」を「保留」に設定している場合は、通話中にFOMA端末を折りたたんでも保留にすることができます。

2 電話に出られるようになったら で保留を解除する

●テレビ電話で保留を解除する場合は を押します。 を押して保留を解除すると、相手にはカメラ画像が送信されます。 を押して保留を解除すると、相手には「画像選択」の「代替画像」で設定した画像が送信されます。

●「クローズ動作設定」を「保留」に設定し、FOMA端末を折りたたんで保留にしていた場合、FOMA端末を開くか、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続すると電話に出ることができます。
平型スイッチ付イヤホンマイクを接続してテレビ電話に出る場合、相手には「画像選択」の「代替画像」で設定した画像が送信されます。

お知らせ

●通話を保留している間も、通話料金はかかります。

●通話を保留している間に相手が電話を切ると、通話が切れます。

●お買い上げ時には「クローズ動作設定」は「終話」に設定されていますので、通話中にFOMA端末を折りたたむと通話が切れます。

●「通話中イルミネーション」を「OFF」以外に設定している場合、通話中保留中またはミュート中もイルミネーションが点滅します。

＜リダイヤル＞
前にかけた相手にかけ直す

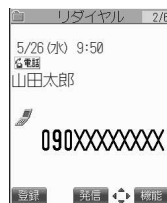
かけた相手の電話番号や名前を記憶します。「日付時刻設定」で日付・時刻を設定しておけば、電話をかけた日付・時刻を「リダイヤル」、「発信履歴」として記憶します。
リダイヤルは最新のデータのみ記憶されます。同じ番号にかけた場合、最新のデータだけが記憶され、古いデータは削除されます。
発信履歴は同じ番号にかけても古いデータは削除されず、新しいデータとして記憶されます。
リダイヤルの記憶件数は音声電話とテレビ電話の発信が30件までです。
発信履歴の記憶件数は音声電話とテレビ電話の発信が30件まで、64Kデータ通信が30件までの合計60件です。

リダイヤルを表示する

1 **待受画面▶**

●テレビ電話中は、リダイヤルを表示することはできません。
●右の画面で を押すと、ページ単位でスクロールします。

2 **リダイヤルを選択▶**

●電話をかけた相手が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。
● を押すたびに、2件前、3件前というようにさかのぼって、30件分まで表示されます。進みすぎたときは、 を押すと戻ります。
●発信日付・時刻の上に表示される番号が大きいほど前にかけたことを示します。
●リダイヤルを表示しているときに （ ）または を押すと、その電話番号に電話（テレビ電話）をかけることができます。
●電話帳に登録する場合は、 （登録）を押します。（P.122参照）

＜リダイヤル詳細画面＞

お知らせ

●リダイヤルが30件を超えたときは、古いものから順に自動的に削除されます。
●「PIMロック」を設定中は、電話帳に名前やアイコンが登録されている相手への電話でも、電話番号だけが記憶されます。
●待受中に （ ）を押して を押すと最新のリダイヤルの電話番号に電話（テレビ電話）をかけることができます。
●「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」、「PIMロック」を設定すると、それまでのリダイヤルはすべて削除されます。ダイヤル発信制限、指定発信制限、PIMロックの設定以後にかけた電話は、リダイヤルに残ります。

発信履歴を表示する

1 ▶**発信履歴**

●テレビ電話中は、発信履歴を表示することはできません。
●右の画面で を押すと、ページ単位でスクロールします。

2 **発信履歴を選択▶**

●電話をかけた相手が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。
● を押すたびに、2件前、3件前というようにさかのぼって、音声電話とテレビ電話の発信が30件まで、64Kデータ通信が30件まで、合計60件まで表示されます。進みすぎたときは、 を押すと戻ります。
●発信日付・時刻の上に表示される番号が大きいほど前にかけたことを示します。

<発信履歴詳細画面>

●発信履歴を表示しているときに （ ）または を押すと、その電話番号に電話（テレビ電話）をかけることができます。
●電話帳に登録する場合は、 （登録）を押します。（P.122参照）

お知らせ

●64Kデータ通信の発信履歴は、FOMA USB接続ケーブル（別売）を使用した場合のみ記憶されます。
●音声電話とテレビ電話、64Kデータ通信の発信履歴がそれぞれ30件を超えたときは、古いものから順に自動的に削除されます。
●「PIMロック」を設定中は、電話帳に名前やアイコンが登録されている相手への電話でも、電話番号だけが記憶されます。
●「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」、「PIMロック」を設定すると、それまでの発信履歴はすべて削除されます。ダイヤル発信制限、指定発信制限、PIMロックの設定以後にかけた電話は、発信履歴に残ります。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

リダイヤル・発信履歴を表示中に （機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	参照
発番号設定	P.57
プレフィックス	P.157
電話帳登録	P.122
デスクトップ貼付	P.65
iモードメール作成	P.65
送信アドレス一覧	P.65
1件削除	P.66
全削除	P.66
通信速度設定	P.81
TV電話画像選択	P.93

操作により実行できない項目があります。

デスクトップ貼付

履歴の電話番号をデスクトップに貼り付けアイコンとして貼り付けることができます。他の貼り付けアイコンと合わせて12件まで貼り付けることができます。

1 **リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示▶(機能)▶デスクトップ貼付▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、を押します。

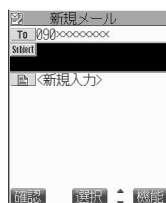
■デスクトップのアイコンから電話をかけるには
1. 待受画面でを押します。
2. でかけたい電話番号のアイコンを選択し、を押します。
電話番号が入力された状態でダイヤル発信の画面が表示されます。(P.60、79参照)

iモードメール作成

電話番号を宛先とした新規メールを作成できます。

1 **電話番号を入力**
または、電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示

2 **(機能)▶iモードメール作成**

以降、アプリケーション編P.146の操作を行ってメールを作成します。

送信アドレス一覧

送信したメールの履歴を表示します。詳細についてはアプリケーション編P.248参照。

1 **リダイヤル・発信履歴を表示▶(機能)▶送信アドレス一覧**

1件削除・全削除

1 **リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示▶ (機能) ▶1件削除・全削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。

お知らせ

●リダイヤル・発信履歴の「全削除」を行うと、リダイヤル・発信履歴の両方がすべて削除されます。「1件削除」を行った場合は、選択したリダイヤルまたは発信履歴のみが削除されます。
●電源を切っても、リダイヤル・発信履歴・着信履歴は削除されません。発信／着信した電話番号などを他の人に見られたくないときは、この操作でリダイヤル・発信履歴・着信履歴を削除してください。

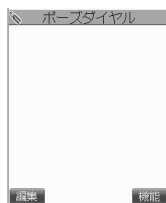
<ポーズダイヤル>

プッシュ信号を手早く送り出す

ポーズダイヤルを利用すると、ポケットベル※へのメッセージ送信やチケットの予約、銀行の残高照会などのサービスを電話で行うときに便利です。
ポーズ（p）を入力すると、ポーズが入力されている箇所で数字を区切りながら送出することができます。
登録できるダイヤルデータは1件で、最大128桁まで入力できます。

ポーズダイヤルを登録する

1 **(メニュー) ▶各種設定▶その他▶ポーズダイヤル▶ (編集)**

●ポーズダイヤル画面の機能メニューから「編集」を選択し、 を押しても手順2の画面が表示されます。
●すでにダイヤルデータが登録されているときは、登録されているダイヤルデータが表示されます。

<ポーズダイヤル画面>

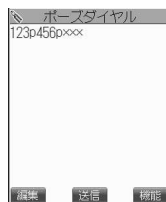
2 **ダイヤルデータを入力▶**

●文字の入力方法についてはP.304参照。
●入力できる文字は、0～9、#、*およびポーズ（p）のみです。
ポーズ（p）は*を1秒以上押して入力します。
●128桁まで入力できます。
●ポーズダイヤルの先頭にポーズ（p）を入力したり、連続して入力したりすることはできません。

※2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

ポーズダイヤルを送信する

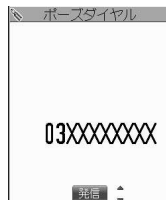
1 **(メニュー)▶各種設定▶その他▶ポーズダイヤル▶(◉)**

●ポーズダイヤル画面の機能メニューから「ポーズダイヤル送信」を選択し、を押しても手順2の画面が表示されます。

2 **電話番号を入力▶(発信)または(◉)**

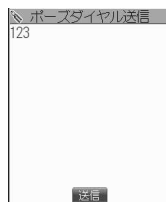
相手に電話がかかり、通話中になるとポーズダイヤルに登録されているダイヤルデータの最初のポーズ（p）までが表示されます。

●相手先の電話番号が電話帳に登録されているときは、(◎)を押して電話帳検索画面から選択して呼び出すことができます。

●(◎)を押して着信履歴、(◎)を押してリダイヤルから検索することもできます。

●電話帳の検索方法についてはP.123参照。

3 **相手が応じたことを確認▶(発信)または(◉)**

最初のポーズ（p）までのダイヤルデータが送出され、次のポーズ（p）までのダイヤルデータが表示されます。

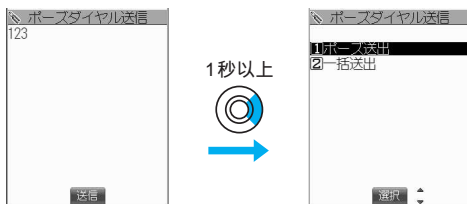
(発信)または(◉)を押すごとに、ポーズ（p）までのダイヤルデータが送出されます。最後の番号を送り終えると通話画面になります。

お知らせ

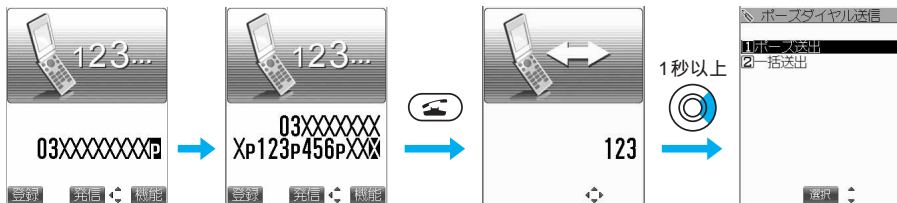
●通話中にポーズダイヤル画面の機能メニューを表示させても、ダイヤルデータを送信できます。

●受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。

次ページにつづく

■ダイヤルデータをまとめて送信するとき

1. P.67手順3の画面で、 を1秒以上押します。
2. 「一括送出」を選択し、 を押します。
   ● 「ポーズ送出」を選択し、 を押すと次のポーズ（p）までのダイヤルデータが送信されます。

■通常の電話番号入力で を1秒以上押してポーズ（p）を入力しても、ポーズダイヤルとして送信できます。

1. 待受画面で相手の電話番号を入力したあと、ポーズ（p）を入力します。
2. 入力後、 を押して電話をかけます。
3. 相手が応じたら を1秒以上押し、メニューから「ポーズ送出」を選択し、 を押すと次のポーズ（p）までの数字が送出されます。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

ポーズダイヤル画面で （機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

編集	P.66
ポーズダイヤル送信	P.67
削除	本ページ参照

操作により実行できない項目があります。

削除

1 **ポーズダイヤル画面▶ （機能）▶削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。

電話のかけかた／受けかた
ポーズダイヤル

<WORLD CALL>

国際電話の利用について

●ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

※FOMAサービスをご契約のお客様はお申し込み不要でご利用いただけます。

■通話方法

009130－010－国番号－市外局番－相手先電話番号➡

※上記の操作方法をFOMA端末の電話帳に登録することができます。

※市外局番が「0」で始まる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。
（ただし、イタリアの一般電話におかけになる場合は「0」が必要です。）

●通話先は世界約220の国と地域です。

●「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせてご請求いたします。

●申込手数料・月額使用料は無料です。

●国際電話ダイヤル手順の変更について
携帯電話等の移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話等から国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。

●海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様※1に対し、上記ダイヤル方法のあとにテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。※2

※1　2004年5月現在、Hutchison3GUK（イギリス）・Hutchison3GHK（香港）と通信可能。

※2　国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

※1･2　詳しくはドコモのホームページをご参照下さい。

	お問い合わせ先<DoCoMo インフォメーションセンター>	
WORLD CALL	ドコモの携帯電話、PHSからの場合 **（局番なしの）151**（無料） ※一般電話からはご利用になれません。	一般電話等からの場合 携帯・PHS OK **0120-800-000** ※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。 ※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

●ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときは、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

簡単な方法で国際電話をかける

お買い上げ時は、「プレフィックス設定」に「WORLD CALL（009130010）」が登録されているので、簡単な方法で国際電話をかけることができます。

1 **国番号ー市外局番ー相手先電話番号を入力**
または、電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示

2 **（機能）▶プレフィックス▶WORLD CALL**

3 **を押す**

国際電話がかかります。

<ハンズフリー>
ハンズフリーに切り替える

通話中にハンズフリーに設定すると、通話中の相手の音声など、通常は受話口から聞こえる音声がスピーカから流れます。

1 **通話中▶（1秒以上）**

ハンズフリー設定中は、「」が表示されます。

- もう一度を1秒以上押すと、ハンズフリーはOFFになります。
- マナーモード設定中でもハンズフリーに切り替えることができます。ハンズフリーをOFFにするか、通話を終了するとマナーモードに戻ります。また、ハンズフリー中にマナーモードを設定しても、音声はスピーカから流れます。

音声電話の場合

テレビ電話の場合

お知らせ

- ハンズフリーを「ON」に設定して通話するときは、必ずFOMA端末を耳から離して使用してください。聴覚に影響を与えたり、耳に傷害を与えたりする可能性があります。
- ハンズフリー通話中、周囲や相手側の雑音が大きい場合は音声が途切れることがあります。

電話を受ける

1 **電話がかかってくると着信音が鳴り、着信／充電ランプとコマンドナビゲーションボタンが点滅する**

●着信／充電ランプの点滅パターンは、「着信イルミネーション」でお好みのパターンに設定することができます。
●「バイブレータ」の「電話／TV電話」を「OFF」以外に設定すれば、着信を着信音と振動でお知らせします。
●マナーモードに設定する（P.138参照）と、着信音は鳴りません。ただし、マナーモード設定中の動作（P.140参照）の設定内容によっては、着信音や振動でお知らせすることもできます。
●FOMA端末を折りたたんでいるときはプライベートウィンドウに情報が表示されます。

2 **で電話に出る**

●電話に出ずに、電話を切りたいときは着信中に（機能）を押して機能メニューを表示させ「着信拒否」を選択し、を押します。
「オープン設定」を「着信応答」に設定し、閉じた状態で着信した場合は、「着信拒否」はできません。
●「通話中イルミネーション」で通話中に着信／充電ランプが点滅するように設定することができます。
●FOMA端末を閉じているときに、エニーキーアンサーのを押して電話に出ると、「クローズ動作設定」を「ミュート」または「終話」に設定していた場合は相手には無音となり、「保留」に設定していた場合は保留音が流れます。FOMA端末を開くと、通話を開始することができます。

■ワンプッシュ応答
FOMA端末を閉じているときに音声電話の着信があった場合は、ワンプッシュオープンボタンを押してFOMA端末を開くだけで音声電話に出ることができます。
●あらかじめ「オープン設定」の「電話」を「着信応答」に設定しておく必要があります。（P.166参照）
●ワンプッシュ応答が可能なときは、着信中にワンプッシュオープンボタンが点滅してお知らせします。
●ワンプッシュオープンボタンを使わずに手で開いても応答できます。

■エニーキーアンサー
かかってきた音声電話に出るときは、以外に～、、、、、、、のいずれかのボタンを押してもすぐに通話状態になります。
●ボタンを押すと着信音だけが止まるように「着信アンサー設定」（P.165参照）で設定することもできます。

3 **お話が終わったらで通話を終了する**

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

電話の着信中に（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

操作により実行できない項目があります。

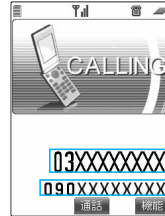
お知らせ

- かかってきた電話は、テレビ電話と合わせて30件まで「着信履歴」に記憶されます。30件をこえた場合、古いものから順に自動的に削除されます。
  相手が発信者番号を通知してきたときは、相手の電話番号が表示されます。また、発信者番号を通知してきた相手が電話帳に登録されているときは、電話番号と名前が表示されます。また、「電話帳画像着信設定」を「ON」に設定していると、電話帳に登録した画像が表示されます。
- 着信中に または を押すと、マナーモードになり、同時に伝言メモへ移り、相手の用件を録音することができます。録音中に電話に出るときは または を押してください。
  （ または を押した時点までの用件は録音されています。また、通話が終わってもマナーモードに設定されたままです）
- メールやメッセージ（R/F）を受信したときも着信／充電ランプとコマンドナビゲーションボタンが点滅します。また、着信／充電ランプはメールやメッセージ（R/F）を受信したときの点滅パターンを「着信イルミネーション」でお好みのパターンに設定することができます。
- お話し中に「ププ…ププ…」という音（通話中着信音）が聞こえることがあります。
  留守番電話サービス、話中着信サービス（キャッチホン）、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただきサービスを「開始」に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作が可能です。
  留守番電話サービス……留守番電話サービスセンターへ転送できます。（P.278参照）
  話中着信サービス（キャッチホン）……通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます。（P.281参照）
  転送でんわサービス……転送登録先へ転送できます。（P.287参照）
- 音声電話中にテレビ電話がかかってきた場合は、すべて「着信拒否」となり電話を受けることはできません。音声電話終了後に「不在着信あり」のアイコンが表示され、着信履歴が残ります。（留守番電話サービス、話中着信サービス（キャッチホン）、転送でんわサービスの契約及び設定により、「不在着信あり」のアイコンは表示されず、着信履歴にも残らない場合があります。）
- 「ドライブモード」に設定中は、着信があっても着信音は鳴らず、着信／充電ランプも点滅しません。着信は不在着信として着信履歴に残ります。

■着信中の表示について

着信中に相手の名前が表示されるとき

相手の電話番号が通知されてきたときに、お客様のFOMA端末の電話帳に電話をかけてきた相手の名前、電話番号および画像が登録されている場合は、相手の名前、電話番号、アイコンまたは画像が表示されます。

また、転送されてきた電話の場合は、発信元と転送元の電話番号が表示されます。（転送元によっては転送元の電話番号が表示されないことがあります。）

電話帳に電話番号が登録されていない場合は、電話をかけてきた相手の電話番号が表示されます。

ただし、PIMロック中または「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳のときは、名前が表示されずに電話番号が表示されます。

同じ電話番号で名前が異なる複数の電話帳を登録したときは、検索順（P.128参照）に従って検索を行い、先に表示される電話帳の名前が表示されます。

着信中に相手の電話番号や名前が表示されないとき

その理由（発信者番号非通知理由）が表示されます。（P.155参照）

■自局番号の表示について

メインメニューから0を押すと、お客様の電話番号（自局番号）を画面に表示させて確認することができます。

●ご自分の個人データ（名前、自宅などの電話番号やメールアドレス）を登録することができます。（P.237参照）

●メールアドレスを登録しているときは、◎を押すとメールアドレスが表示されます。

着信履歴を利用する

かかってきた相手の電話番号や名前を記憶します。「日付時刻設定」で日付・時刻を設定しておけば電話がかかってきた日付・時刻を、また相手の電話番号が通知されてきたときはその番号も着信履歴として記憶します。
記憶件数は音声電話とテレビ電話の着信が30件まで、64Kデータ通信とパケット通信が30件までの合計60件です。

着信履歴を表示する

1 メニュー ▶ ▶ **着信履歴**

全着信・・・・・不在着信を含むすべての着信履歴を表示します。
不在着信・・・不在着信の履歴だけを表示します。
●待受画面で ◎ を押しても右の画面が表示されます。
●テレビ電話中は、着信履歴を表示することはできません。
●右の画面で ◎ を押すと、ページ単位でスクロールします。

全着信を選択した場合

2 **着信履歴を選択** ▶ ◎

●相手が発信者番号を通知してきたときは、相手の電話番号が表示されます。
　また、発信者番号を通知してきた相手が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。
　パケット通信の着信があったときは、発信元の接続先（APN）が表示されます。
●不在着信の場合は、着信日付・時刻の右に呼出時間が表示されます。
● ◎ を押すたびに、2件前、3件前というようにさかのぼって、音声電話とテレビ電話の着信が30件まで、64Kデータ通信とパケット通信が30件まで、合計60件まで表示されます。進みすぎたときは、 ◎ を押すと戻ります。
●着信日付・時刻の上に表示される番号が大きいほど前にかかってきたことを示します。
●着信履歴を表示しているときに（ ）または ◎ を押すと、その相手の電話番号に電話（テレビ電話）をかけることができます。
●電話帳に登録する場合は、 ✉（登録）を押します。（P.122参照）

＜着信履歴詳細画面＞

お知らせ

●音声電話とテレビ電話、64Kデータ通信とパケット通信の着信履歴がそれぞれ30件を超えたときは、古いものから順に自動的に削除されます。
●「呼出時間表示設定」で「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定している場合、呼出動作開始時間内の不在着信は着信履歴には表示されません。
●「PIMロック」を設定中は、電話帳に名前やアイコンが登録されている相手からの電話でも、電話番号だけが記憶されます。
　また、「指定発信制限」を設定中は、「指定発信制限」に設定されている電話帳以外の相手からの電話のとき、その相手が電話帳に登録されていて名前やアイコンが登録されている場合も電話番号だけが記憶されます。
●待受中に（ ）を押して ◎ を押すと最新の着信履歴の電話番号に電話（テレビ電話）をかけることができます。
●64Kデータ通信、パケット通信の着信履歴から電話帳に登録したり、新規メールを作成することはできません。
●「PIMロック」を設定すると、それまでの着信履歴はすべて削除されます。PIMロック設定後の着信は、着信履歴に残ります。
●ダイヤルインをご利用の方からの着信の場合、相手の方のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります。

■リダイヤル・発信履歴・着信履歴の表示について

●「電話」と表示されているとき
音声電話がかかってきた（をかけた）ことをお知らせします。

●「電話」と表示されているとき
テレビ電話がかかってきた（をかけた）ことをお知らせします。

●「不在」と表示されているとき
かかってきた音声電話に出なかったことをお知らせします。

●「不在」と表示されているとき
かかってきたテレビ電話に出なかったことをお知らせします。

●「遠隔」と表示されているとき
遠隔監視の着信があったことをお知らせします。
遠隔監視の不在着信があったときは「不在」が表示されます。

●「伝言」と表示されているとき
「伝言メモ」または「TV電話伝言メモ」に相手の用件が録音されたことをお知らせします。

●「64K」と表示されているとき
64Kデータ通信の発着信があったことをお知らせします。

●「パケット」と表示されているとき
パケット通信の着信があったことをお知らせします。

●「不在」と表示されているとき
64Kデータ通信の着信に出なかったことをお知らせします。

●「不在」と表示されているとき
パケット通信の着信に出なかったことをお知らせします。

●「接続ﾅｼ」と表示されているとき
端末未接続時に64Kデータ通信やパケット通信の着信があったことをお知らせします。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

着信履歴を表示中に（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

発番号設定	P.57
プレフィックス	P.157
呼出時間表示	P.76
電話帳登録	P.122
デスクトップ貼付	P.65
ｉモードメール作成	P.65
受信アドレス一覧	P.76
1件削除	P.66
全削除	P.66
通信速度設定	P.81
TV電話画像選択	P.93

操作により実行できない項目があります。

呼出時間表示

不在着信の呼出時間を表示します。「呼出時間表示設定」で「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定していても、呼出動作開始時間内の不在着信と呼出時間が表示されます。

1 着信履歴を表示▶(機能)▶呼出時間表示

●着信履歴詳細画面・不在着信履歴の機能メニューから「呼出時間表示」を選択することはできません。
●右の画面でを押すと、着信履歴詳細画面が表示されます。

受信アドレス一覧

受信したメールの履歴を表示します。詳細についてはアプリケーション編P.252参照。

1 着信履歴を表示▶(機能)▶受信アドレス一覧

電話のかけかた／受けかた

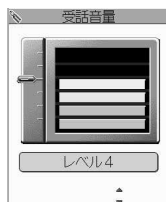
着信履歴
受話音量

＜受話音量＞
相手の声の音量を調節する

お買い上げ時
レベル4

相手の声の大きさをレベル1（最小）～レベル6（最大）の6段階に調節できます。

1 待受中▶（1秒以上）

●受話音量調節画面が表示されると受話口から「ピッ」という音が鳴ります。
●着信中は調節できません。通話中または待受中に調節してください。
●通話中にまたはを1秒以上押しても受話音量調節画面を表示することができます。
テレビ電話中はまたはを短く押しても受話音量調節画面を表示することができます。

<受話音量調節画面>

2 で受話音量を調節

音量を上げるときはまたはを、音量を下げるときはまたはを押します。
●受話音量調節画面の表示後、2秒以内にを押して受話音量を調節してください。
●受話音量調節画面でを1秒以上押すと音量を連続的に調節できます。

<着信音量>

着信音の音量を調節する

お買い上げ時
レベル4

電話がかかってきたときやメールを受信したときに鳴る着信音の大きさを6段階に調節できます。
会議中などで着信音を鳴らせないときに着信音を消したり（消去）、次第に音量を大きくしたりすることもできます（ステップ）。
着信音量を「消去」に設定したときは、電話がかかってきても着信音は鳴りません。着信／充電ランプやコマンドナビゲーションボタンの点滅、プライベートウィンドウや画面の表示でご確認ください。

1 メニュー ▶ 各種設定 ▶ **着信** ▶ **着信音量**

電話／TV電話 ･････････音声電話、テレビ電話がかかってきたときの着信音量を調節します。
メール／メッセージ ････ｉモードメール、メッセージ（R/F）、ショートメッセージ（SMS）を受信したときの着信音量を調節します。

2 **で音量を調節** ▶

ステップ ･･････････････約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で3秒ごとに音量が上がります。
レベル1～6 ･･･････････レベル1が最小でレベル6が最大です。
消去 ･･････････････････着信音が鳴らなくなります。

電話／TV電話の着信音量を調節する場合

●**着信音量を「消去」に設定したときは「」「」「」が表示されます。**
S：SILENT（サイレント）

：電話の着信音量のみ「消去」
：メール／メッセージの着信音量のみ「消去」
：電話・メール／メッセージの着信音量ともに「消去」

お知らせ

●着信中に着信音量を調節することはできません。
●「電話／TV電話」で着信音量を変えると、ボタン確認音の音量も同じように変わります。「ステップ」に設定したときは、レベル2で鳴ります。

テレビ電話について

ドコモのテレビ電話対応端末同士でなら、お互いの映像を見ながら通話できます。

●テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末同士でご利用いただけます。

ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPPで標準化された、3G-324M」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

●3GPP（3rd Generation Partnership Project）：
第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

●3G-324M：
第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。

テレビ電話の通信速度について
64K：通信速度 64kbpsで通信をします。
32K：通信速度 32kbpsで通信をします。

■テレビ電話中の画面について

①…相手のカメラ画像　③…通話時間　⑤…状態表示
②…自分のカメラ画像　④…現在時刻

- ：64K通信中
- ：32K通信中
- ：音声送信／受信中
- ：音声送信／受信失敗※1
- ：映像送信／受信中
- ：映像送信／受信失敗※2
- ：カメラ画像送信中
- ：代替画像送信中
- ：キャラ電通話中
- ：ハンズフリーON
- ：インカメラ使用中
- ：アウトカメラ使用中（接写）
- ：アウトカメラ使用中（風景）
- ：ナイトモード
- ：キャラ電全体アクションモード
- ：キャラ電パーツアクションモード
- ：DTMF送信モード

※1 グレーの「A」
音声の送信に失敗すると、自分の音声が相手に流れません。
音声の受信に失敗すると、相手の音声が流れません。

※2 グレーの「V」
映像の送信に失敗すると、自分のカメラ画像が相手に表示されません。
映像の受信に失敗すると、相手のカメラ画像が表示されません。

音声、映像の送受信に失敗した場合、自動的には復旧しません。再度、電話（テレビ電話）をおかけ直しください。

お知らせ

●設定により、「画像選択」の「代替画像」で設定した画像を送信し、音声だけで通話できます。（P.86参照）
その場合でも音声電話料金ではなくデジタル通信料がかかりますのでご注意ください。
●音声電話中、パケット通信によるデータの送受信中は、テレビ電話をかけることはできません。

テレビ電話をかける

1 相手の電話番号を入力する

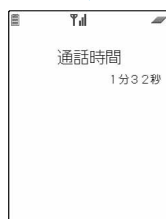
●電話番号入力中の機能メニューから「通信速度設定」を選択し、◎を押して通信速度を設定することができます。（P.81参照）
通信速度設定の優先順位は、「通話ごとの設定」→「電話番号ごとの設定」→「グループごとの設定」の順になります。
●通信速度設定で「64K」または「32K」を選択しても、（発信キー）または◎を押して発信した場合は音声発信になります。

2 （テレビ電話キー）▶相手が出たら話す

●テレビ電話発信中は、「TV64」または「TV32」が点滅し、通話中は点灯します。
●通話中に（発信キー）を1秒以上押すと、ハンズフリーに切り替えることができます。（P.70参照）
●平型スイッチ付イヤホンマイク接続中は、ハンズフリーに切り替えることなく、相手の声をイヤホンから聞くことができます。（P.258参照）
●テレビ電話中に（テレビ電話キー）を押すと、相手には「画像選択」の「代替画像」で設定した画像が表示されます。
もう1度（テレビ電話キー）を押すと、自分のカメラ画像に戻ります。

この画面からデジタル通信料課金が始まります。

3 お話が終わったら（HLD）で通話を終了する

次ページにつづく

テレビ電話がかからなかったときは、接続できなかった理由が表示されます。（通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります）

表示	理由
番号をご確認の上おかけ直しください	電話番号を間違えた場合
お話中です	話し中の場合
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が圏外にいる、または、電源を切っている場合
ドライブモード中です	相手がドライブモード中の場合
接続できませんでした	上記以外の理由の場合

テレビ電話がつながらなかった場合は、自動的に32Kや音声電話に切り替えて再発信します。

	音声自動再発信設定「ON」	音声自動再発信設定「OFF」
64Kで発信してつながらなかった場合	32Kで再発信します。	32Kで再発信します。
32Kで発信してつながらなかった場合	音声電話で再発信します。	再発信しません。

●32Kによるテレビ電話は、ネットワーク状況によって64Kでのテレビ電話が利用できないPHS等の機器と接続するためのものです。64Kでテレビ電話をかけたときでも相手が32Kエリア等の通信環境であった場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。
※32Kでテレビ電話接続をした場合でも、64Kで接続したデジタル通信料と同一になります。

●テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合や、相手がテレビ電話でも圏外や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合で、音声自動再発信設定を「ON」にしているときは、テレビ電話接続前に相手から切断され、音声電話として電話をかけなおします。ただし、ISDN同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324M（P.78参照）に対応していないISDNのテレビ電話等（2004年5月現在）、間違い電話をした場合などは、このような動作にならないことがあります。通信料金が発生する場合もございますので、ご注意ください。

●テレビ電話がいったん通信中になった場合、音声電話への発信動作は行いません。

お知らせ

●「画像選択」の「代替画像」で設定した画像を送信して通話しているときもデジタル通信料がかかります。
●ドコモのテレビ電話端末なら、機種が違ってもテレビ電話で通話できます。
●3G-324M（P.78参照）に対応していないテレビ電話端末とは通話できません。
●FOMA端末から110番・119番・118番へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。
●テレビ電話中は、電話を受けたり、メールやメッセージ（R/F）を受信できません。メール、メッセージ（R/F）はｉモードセンターに保管され、テレビ電話終了後に「ｉモード問い合わせ」で受信できます。ただし、ショートメッセージ（SMS）は、テレビ電話中でも受信できます。
テレビ電話中に電話がかかってくると、テレビ電話終了後に「不在着信あり」のアイコンが表示され、着信履歴が残ります。（留守番電話サービス、話中着信サービス（キャッチホン）、転送でんわサービスの契約及び設定により、「不在着信あり」のアイコンは表示されず、着信履歴にも残らない場合があります。）
●ハンズフリーを「ON」に設定して通話するときは、必ずFOMA端末を耳から離して使用してください。聴覚に影響を与えたり、耳に傷害を与えたりする可能性があります。
●テレビ電話中に、電池が少なくなり「電池充電してください」と表示されているときは、相手には代替画像が表示されます。ただし、代替画像にキャラ電を設定していた場合は、「内蔵」の代替画像が表示されます。
テレビ電話中に充電した場合は、「画像選択」の「代替画像」で設定した画像が表示されます。
●「ダイヤル発信制限」「指定発信制限」「セルフモード」を設定中は電話番号を入力してテレビ電話をかけることはできません。
●ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用することができます。
（P.69参照）

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

電話番号入力中に （機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

操作により実行できない項目があります。

通信速度を通話ごとに設定する

テレビ電話をかけるときの通信速度を、電話番号入力中、リダイヤル・発信履歴・着信履歴表示中の機能メニューから設定します。

1 電話番号を入力
または、リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示

●リダイヤル・発信履歴・着信履歴一覧画面の機能メニューから設定することはできません。

2 （機能）▶通信速度設定

64K ······64Kでテレビ電話発信します。
32K ······32Kでテレビ電話発信します。

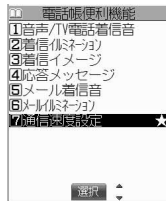
お知らせ

●通信速度設定の優先順位は、「通話ごとの設定」→「電話番号ごとの設定」→「グループごとの設定」の順になります。
●設定が変更されるのは1回の通話（発信）のみです。リダイヤル・発信履歴にも通信速度は記憶されません。
●通信速度を設定したあとに音声電話をかけると、設定は無効になります。

通信速度を電話番号ごとに設定する

テレビ電話をかけるときの通信速度を電話番号ごとに設定します。
FOMA端末（本体）の電話帳に登録されている700件すべての電話番号に設定することができます。ただし、「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には設定できません。

電話帳の詳細画面▶ (機能)▶電話帳便利機能▶通信速度設定

64K ……64Kでテレビ電話発信します。
32K ……32Kでテレビ電話発信します。
「通信速度設定」に「★」マークが付きます。
●電話帳の検索方法についてはP.123参照。

■電話番号の通信速度設定を解除するとき
手順1の画面で「通信速度設定　★」を選択し、◎を押します。
設定が解除されて「★」マークが消えます。

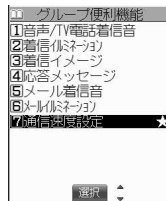
お知らせ

●「ダイヤル発信制限」設定中は、設定できません。
●設定した電話帳の電話番号を変更すると、本機能は解除されますのでご注意ください。
●設定した通信速度を変更するときは、現在の設定を解除してから行います。
●「電話帳便利機能」で電話帳のどの電話番号が設定されているかを確認したり設定を解除することができます。
●電話番号を電話帳から呼び出した場合、通話ごとに通信速度を設定することはできません。

通信速度をグループごとに設定する

テレビ電話をかけるときの通信速度をグループごとに設定します。
FOMA端末（本体）の電話帳に登録されている「グループ00」を除く各グループに設定することができます。ただし、FOMAカードの電話帳には設定できません。
電話番号ごとに通信速度が設定されている場合は、そちらの設定が優先されます。

 ▶グループ設定▶グループを選択▶ **(****)**
▶グループ便利機能▶通信速度設定

64K ……64Kでテレビ電話発信します。
32K ……32Kでテレビ電話発信します。
「通信速度設定」に「★」マークが付きます。

■グループの通信速度設定を解除するとき
手順1の画面で「通信速度設定　★」を選択し、◎を押します。
設定が解除されて「★」マークが消えます。

お知らせ

- 「ダイヤル発信制限」設定中は、設定できません。
- 設定した通信速度を変更するときは、現在の設定を解除してから行います。
- 複数のグループに同じ電話番号が登録されているときは、行検索の検索順で先に呼び出される電話番号のグループに設定されている通信速度が優先されます。
- シークレットデータと通常の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定することができます。
- 「電話帳便利機能」でどのグループが設定されているかを確認したり設定を解除することができます。
- 電話番号を電話帳から呼び出した場合、通話ごとに通信速度を設定することはできません。

テレビ電話を受ける

テレビ電話に応答するとディスプレイには相手の画像と自分の画像が表示されます。自分のカメラ画像を相手に表示しないでテレビ電話を受けることもできます（代替画像応答）。

1 テレビ電話がかかってくると着信音が鳴り、着信／充電ランプとコマンドナビゲーションボタンが点滅する

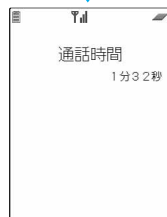
●着信／充電ランプの点滅パターンは、「着信イルミネーション」でお好みのパターンに設定することができます。
●「バイブレータ」の「電話／TV電話」を「OFF」以外に設定すれば、着信を着信音と振動でお知らせします。
●マナーモードに設定する（P.138参照）と、着信音は鳴りません。ただし、マナーモード設定中の動作（P.140参照）の設定内容によっては、着信音や振動でお知らせすることもできます。
●FOMA端末を折りたたんでいるときはプライベートウィンドウに情報が表示されます。

2 （カメラボタン）でテレビ電話に出る

●電話に出ずに、意図的に電話を切りたいときは着信中に（メニュー）（機能）を押して機能メニューを表示させ「着信拒否」を選択し、（決定）を押します。
相手には話中音が流れます。
「オープン設定」を「着信応答」に設定し、閉じた状態で着信した場合は、「着信拒否」はできません。
●自分のカメラ画像を相手に表示しないで通話する（代替画像応答）ときは、（通話）または（決定）を押します。テレビ電話をかけてきた相手には、「画像選択」の「代替画像」で設定した画像が表示されます。
●平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押してテレビ電話に出た場合や、オート着信でテレビ電話に出た場合は、相手には「画像選択」の「代替画像」で設定した画像が送信されます。（P.258、261参照）
●代替画像応答したあとで自分の映像を送信したいときは、（カメラボタン）を押します。
もう1度（カメラボタン）を押すと、代替画像応答に戻ります。
●通話中に（通話）を1秒以上押すと、ハンズフリーに切り替えることができます。（P.70参照）

■ワンプッシュ応答
FOMA端末を閉じているときにテレビ電話の着信があった場合は、ワンプッシュオープンボタンを押してFOMA端末を開くだけでテレビ電話に出ることができます。
●あらかじめ「オープン設定」の「TV電話」を「着信応答」に設定しておく必要があります。（P.166参照）
●ワンプッシュ応答が可能なときは、着信中にワンプッシュオープンボタンが点滅してお知らせします。
●相手には「画像選択」の「代替画像」で設定した画像が送信されます。
●ワンプッシュオープンボタンを使わずに手で開いても応答できます。

■かかってきたテレビ電話に出るとき
自分のカメラ画像で応答する場合・・・・・（カメラボタン）を押します。
代替画像で応答する場合・・・・・・・・・・・・・（通話）または（決定）を押します。
●ボタンを押すと着信音だけが止まるように「着信アンサー設定」（P.165参照）で設定することもできます。（「エニーキーアンサー」は無効になります。）

3 お話が終わったら[HLD]で通話を終了する

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

テレビ電話着信中に [機能] (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

着信拒否	P.84
転送でんわ	P.287

操作により実行できない項目があります。

お知らせ

- 通話中、相手の設定により相手の映像が送信されてこないときは、代替画像が表示されます。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定していても、テレビ電話は留守番電話サービスセンターに接続されず、テレビ電話着信が継続されます。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定していても、転送先を3G-324M（P.78参照）に準拠したテレビ電話対応機（P.78参照）に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけた側には転送中のガイダンスは流れません。
- 「迷惑電話ストップサービス」で拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたときは、着信拒否ガイダンスは流れず、切断されます。
- テレビ電話中は、電話を受けたり、メールやメッセージ（R/F）を受信できません。メール、メッセージ（R/F）はｉモードセンターに保管され、テレビ電話終了後に「ｉモード問い合わせ」で受信できます。ただし、ショートメッセージ（SMS）は、テレビ電話中でも受信できます。
  テレビ電話中に電話がかかってくると、テレビ電話終了後に「不在着信あり」のアイコンが表示され、着信履歴が残ります。（留守番電話サービス、話中着信サービス（キャッチホン）、転送でんわサービスの契約及び設定により、「不在着信あり」のアイコンは表示されず、着信履歴にも残らない場合があります。）
- ハンズフリーを「ON」に設定して通話するときは、必ずFOMA端末を耳から離して使用してください。聴覚に影響を与えたり、耳に傷害を与えたりする可能性があります。
- テレビ電話中に、電池が少なくなり「電池充電してください」と表示されているときは、相手には代替画像が表示されます。ただし、代替画像にキャラ電を設定していた場合は、「内蔵」の代替画像が表示されます。テレビ電話中に充電した場合は、「画像選択」の「代替画像」で設定した画像が表示されます。
- 「ドライブモード」に設定中は、テレビ電話着信があっても着信音は鳴らず、着信／充電ランプも点滅しません。着信は不在着信として着信履歴に残ります。
- 「画像選択」の「代替画像」で設定した画像を送信して通話しているときもデジタル通信料がかかります。

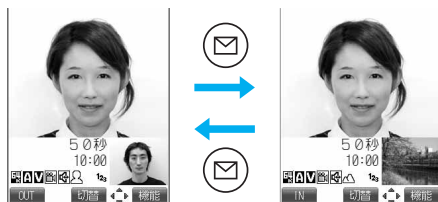
テレビ電話通話中に画面設定を変更する

カメラを切り替える

お買い上げ時
インカメラ

相手に送信するカメラ画像をインカメラの画像からアウトカメラの画像に切り替えることができます。

1 テレビ電話中▶ ✉（OUT）

●もう一度 ✉（IN）を押すと元に戻ります。
●（機能）を押して機能メニューから「アウトカメラ」または「インカメラ」を選択し、◉を押してもカメラが切り替わります。
●ここでの設定は、通話中のテレビ電話にのみ有効です。

お知らせ

●カメラの切り替え時に静止画が表示されますが、相手には送信されません。

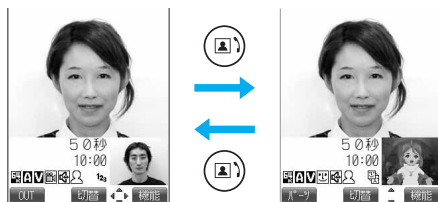
代替画像を送信する

テレビ電話中に相手に送信する画像を、自分のカメラ画像から「画像選択」の「代替画像」で設定した画像に切り替えることができます。

1 テレビ電話中▶

カメラがOFFになり、相手には代替画像が送信されます。
静止画による代替画像送信中は「」が表示されます。ただし、代替画像にキャラ電を設定している場合（キャラ電通話中）は、「」が表示されます。
●もう1度 を押すと、代替画像から自分のカメラ画像に切り替わります。

© 1987, 2004 SQUARE ENIX CO., LTD.
All Rights Reserved.

●代替画像に「キャラ電」を設定しておくと、相手にはキャラ電が送信されます。キャラ電通話中は音声に合わせてキャラ電の口が自動で動きます。また、ボタン操作によりキャラ電にアクションを付けることもできます。（P.90参照）

■代替画像でテレビ電話に出るには

テレビ電話着信中に または ◉ を押してテレビ電話に出ます。
相手には「画像選択」の「代替画像」で設定した画像が送信されます。
●自分のカメラ画像に切り替えるには を押します。

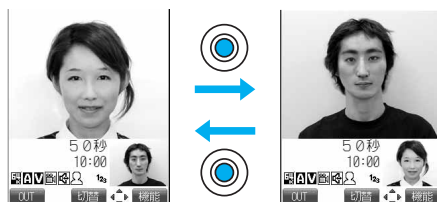
お知らせ

●「画像選択」の「代替画像」で設定した画像を送信して通話しているときもデジタル通信料がかかります。
●お買い上げ時は、テレビ電話の代替画像（キャラ電）が「ブンブン（Dimo）」に設定されています。

画像の表示位置を切り替える

相手の画像と自分の画像の表示位置を切り替えることができます。

1 テレビ電話中▶◎

●もう1度◎を押すと元に戻ります。

ズームする

テレビ電話中に相手に送信するカメラ画像のズームを設定します。テレビ電話中のインカメラの最大倍率は約2.0倍、アウトカメラの最大倍率は約6.6倍です。

1 テレビ電話中▶◎でズームバーを表示

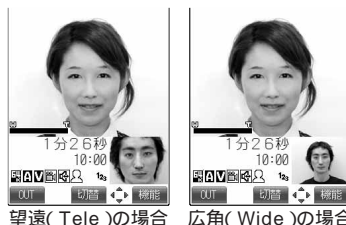
2 ◎でズーム倍率を設定

望遠（◎）、広角（◎）を押すごとにズーム倍率が変わります。

望遠（◎）、広角（◎）を押し続けると、ズーム倍率が連続的に変化します。

● クリア を押すか、2秒以上ズーム操作をしなかった場合、ズームバーの表示が消えます。

望遠（Tele）の場合

広角（Wide）の場合

お知らせ

●テレビ電話を終了した場合は、ズームの設定は元に戻ります。

●相手に送信する画像を代替画像に切り替えたあと、カメラ画像に戻してもズーム倍率は保持されます。

テレビ電話中の機能メニューについて

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

テレビ電話通話中に (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

操作により実行できない項目があります。

TV電話設定(送信画質設定)

お買い上げ時 標準

テレビ電話中の画質を設定します。

1 **テレビ電話中▶ (機能)▶TV電話設定▶送信画質設定**

標準・・・・・・・画質、動きを標準で表示します。
画質優先・・・画質を重視して表示します。
動き優先・・・動きを重視して表示します。
●ここでの設定は、通話中のテレビ電話にのみ有効です。

お知らせ

●「動き優先」は画像に動きがある場合に有効です。動きが少ない場合は「画質優先」に設定すると画質が向上します。
●テレビ電話中に電波状況が悪くなった場合、画像がモザイク表示になるときがあります。

TV電話設定(明るさ)

お買い上げ時 0

テレビ電話中に相手に送るカメラ画像の明るさを5段階(+2/+1/0/−1/−2)で調整します。

1 **テレビ電話中▶ (機能)▶TV電話設定▶明るさ**

+2 ・・・・・・・明るくなります。
+1 ・・・・・・・やや明るくなります。
0 ・・・・・・・・・標準
−1 ・・・・・・・やや暗くなります。
−2 ・・・・・・・暗くなります。
●ここでの設定は、テレビ電話画面と撮影画面(アプリケーション編P.260参照)に反映されます。

TV電話設定（ホワイトバランス設定）

お買い上げ時
オート

テレビ電話中に相手に送るカメラ画像の発色を調整し、より自然な色合いに設定します。

1 **テレビ電話中▶（機能）▶TV電話設定▶ホワイトバランス設定**

晴天・・・・・・・屋外晴天下で通話するとき
曇天・・・・・・・曇天や日陰で通話するとき
オート・・・・・ホワイトバランスを自動で調節します。
電球・・・・・・・電球照明下で通話するとき
●ここでの設定は、テレビ電話画面と撮影画面（アプリケーション編P.260参照）に反映されます。

TV電話設定（色調切替）

お買い上げ時
通常

テレビ電話中に相手に送るカメラ画像の色調を切り替えます。

1 **テレビ電話中▶（機能）▶TV電話設定▶色調切替**

通常・・・・・・・標準の色調
ネガポジ・・・ネガ調に切り替えます。
セピア・・・・・セピア調に切り替えます。
白黒・・・・・・・白黒に切り替えます。
●ここでの設定は、通話中のテレビ電話にのみ有効です。

TV電話設定（ナイトモード）

お買い上げ時
OFF

テレビ電話中のカメラの露光を長くして、暗いところでも相手に送る画像が鮮明になるように設定します。

1 **テレビ電話中▶（機能）▶TV電話設定▶ナイトモード**

ON ・・・・・・・ナイトモードに設定します。
OFF・・・・・・・ナイトモードを解除します。
●ここでの設定は、通話中のテレビ電話にのみ有効です。

TV電話設定（フォーカス設定）

お買い上げ時
風景

テレビ電話中のアウトカメラのフォーカス位置を設定します。

1 **テレビ電話中▶（機能）▶TV電話設定▶フォーカス設定**

接写・・・・・・・フォーカス位置を近く設定します。
風景・・・・・・・フォーカス位置を遠く設定します。
●ここでの設定は、通話中のテレビ電話にのみ有効です。

お知らせ

●インカメラのフォーカス位置を設定することはできません。

キャラ電設定

キャラ電通話の設定をします。

1 **キャラ電通話中▶ⓘ（機能）▶キャラ電設定**

キャラ電切替 ･･････････キャラ電を切り替えます。（アプリケーション編P.106参照）
アクション一覧 ････････キャラ電のアクション一覧を表示します。（アプリケーション編P.107参照）
アクション切替 ････････アクションモードを切り替えます。（アプリケーション編P.107参照）
●ここでの設定は、通話中のテレビ電話にのみ有効です。

照明設定

お買い上げ時
常時点灯

テレビ電話中の画面の照明点灯時間を設定します。

1 **テレビ電話中▶ⓘ（機能）▶照明設定**

常時点灯･･･常時点灯します。
15秒点灯･･約15秒間操作をしないと画面が暗くなります。

フォトライト

お買い上げ時
OFF

アウトカメラの画像を相手に送信しているときにフォトライトを点灯します。

1 **テレビ電話中▶ⓘ（機能）▶フォトライト**

ON ･･･････フォトライトが点灯します。
OFF･･･････フォトライトが消灯します。
●ここでの設定は、通話中のテレビ電話にのみ有効です。

お知らせ

●インカメラの画像や代替画像を相手に送信しているときは、フォトライトは点灯しません。

通話中時間表示

お買い上げ時
ON

テレビ電話中に通話時間を表示するかどうかを設定します。（P.167参照）

1 **テレビ電話中▶ⓘ（機能）▶通話中時間表示**

ON ･･･････通話時間を表示します。
OFF･･･････通話時間を表示しません。

TV電話画面設定

お買い上げ時
画面サイズで表示

テレビ電話中に相手のカメラ画像の表示サイズを設定します。

1 テレビ電話中▶ (i) (機能) ▶TV電話画面設定

等倍表示 ・・・・・・・・・・・・・・相手のカメラ画像の表示サイズで表示します。
画面サイズで表示 ・・・・・・232×192ドットに拡大して表示します。

お知らせ

●画像の表示位置を切り替えている場合は、自分のカメラ画像の表示サイズが設定されます。

DTMF送信

キャラ電通話中にDTMF(プッシュ信号)を送ることができます。

1 キャラ電通話中▶ (i) (機能) ▶DTMF送信

DTMF送信モードになります。ダイヤルデータを入力してDTMF(プッシュ信号)を送ります。

●DTMF送信モードを解除するには、機能メニューから「DTMF解除」を選択し、◎を押します。

© 1987, 2004 SQUARE ENIX CO., LTD.
All Rights Reserved.

お知らせ

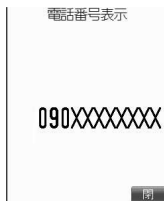
●自分のカメラ画像や静止画による代替画像を送信している場合は、常にDTMF送信モードになります。
●DTMF送信モード中でも(#)を1秒以上押してマナーモードに切り替える操作はできます。
●DTMF送信モード中は、全体アクションモード・パーツアクションモードでのキャラ電操作はできません。

電話番号表示

テレビ電話中に自分の電話番号を表示します。

1 テレビ電話中▶ (i) (機能) ▶電話番号表示

●PIMロック中は「電話番号表示」は選択できません。

電話番号表示
090XXXXXXXX
閉

<送信画質設定>

テレビ電話の画質を設定する

お買い上げ時 標準

テレビ電話中の画質を設定します。

1 ▶ ▶ **TV電話** ▶ **送信画質設定**

標準・・・・・・・画質、動きを標準で表示します。
画質優先・・・画質を重視して表示します。
動き優先・・・動きを重視して表示します。

お知らせ

- ●テレビ電話中に (ⓘ)(機能)を押し、機能メニューから画像品質を設定することもできます。(P.88参照)その場合、設定はそのテレビ電話中のみに有効です。
- ●「動き優先」は画像に動きがある場合に有効です。動きが少ない場合は「画質優先」に設定すると画質が向上します。
- ●テレビ電話中に電波状況が悪くなった場合、画像がモザイク表示になるときがあります。

<発信時自画像送信設定>

テレビ電話をかけたときに自動的にカメラをON／OFFする

テレビ電話をかけたときに、自動的にカメラを「ON」または「OFF」にすることができます。また、テレビ電話の電話番号入力中にカメラのON／OFFや相手に送信する画像を設定することもできます。

カメラのON／OFFを設定する

お買い上げ時 ON

1 ▶ ▶ **TV電話** ▶ **発信時自画像送信設定**

ON ・・・・・・・相手に自分のカメラ画像を送信します。
OFF・・・・・・・相手に自分のカメラ画像は送信せず、自動的に「画像選択」の「代替画像」で設定した代替画像を送信します。

お知らせ

- ●相手に送信する画像の優先順位は、「通話ごとの設定」→「発信時自画像送信設定」の順になります。

通話ごとに設定する

テレビ電話をかけるときに相手に送信する画像を、電話番号入力中、電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴表示中の機能メニューから設定します。

1 **電話番号を入力**
または、電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示

●リダイヤル・発信履歴・着信履歴一覧画面の機能メニューから設定することはできません。

2 **(i)(機能)▶TV電話画像選択**

自画像・・・・・相手に自分のカメラ画像を送信します。
内蔵・・・・・・・FOMA端末にあらかじめ保存されている静止画を相手に送信します。
自作・・・・・・・状態に応じたメッセージと「イメージ貼付」で登録した静止画を合成したものを相手に送信します。（アプリケーション編P.304参照）
キャラ電・・・登録したキャラ電を相手に送信します。（アプリケーション編P.108参照）

お知らせ

●設定が変更されるのは1回の通話（発信）のみです。「発信時自画像送信設定」や「画像選択」の設定は変更されません。また、リダイヤル・発信履歴にも設定は記憶されません。
●「TV電話画像選択」を設定したあとに音声電話をかけると、設定は無効になります。
●PIMロック中など設定した「自作」や「キャラ電」の代替画像が表示できない場合は、「内蔵」の代替画像を送信します。

<画像選択>
テレビ電話の表示を変更する

テレビ電話中にカメラ画像の代わりに相手に送信する画像を設定します。

お買い上げ時	
応答保留	内蔵
通話中保留	内蔵
代替画像	キャラ電
伝言メモ準備	内蔵
伝言メモ録音	内蔵
音声メモ	内蔵

1 **(メニュー)▶(各種設定)▶TV電話▶画像選択**

応答保留・・・・・・・・・・・・・テレビ電話の応答保留中に相手に送信する静止画を設定します。
通話中保留・・・・・・・・・・・テレビ電話の通話保留中に相手に送信する静止画を設定します。
代替画像・・・・・・・・・・・・・テレビ電話のカメラOFF時に相手に送信する代替画像（静止画またはキャラ電）を設定します。
伝言メモ準備・・・・・・・・・TV電話伝言メモの応答メッセージ再生中に相手に送信する静止画を設定します。
伝言メモ録音・・・・・・・・・TV電話伝言メモの録音中に相手に送信する静止画を設定します。
音声メモ・・・・・・・・・・・・・TV電話音声メモの録音中に相手に送信する静止画を設定します。

次ページにつづく

2 画像を選択▶◎

内蔵・・・・・・・FOMA端末にあらかじめ保存されている静止画を相手に送信します。
自作・・・・・・・状態に応じたメッセージと「イメージ貼付」で登録した静止画を合成したものを相手に送信します。（アプリケーション編P.304参照）
キャラ電・・・登録したキャラ電を相手に送信します。（アプリケーション編P.108参照）
（手順1で「代替画像」を選択した場合のみ表示されます。）
設定された項目に「★」マークが付きます。

●「キャラ電」を選択し、✉（デモ）を押すとデモ再生され、キャラ電を確認できます。

お知らせ

●「自作」から「内蔵」、「キャラ電」へ設定を変更しても登録した静止画は削除されません。
●代替画像、通話中保留、音声メモに設定した静止画は自分のFOMA端末と相手の電話機の双方に表示されます。ただし、応答保留時の静止画・保留音、伝言メモの静止画・応答メッセージは相手側にのみ送信されます。
●「自作」の静止画は削除できません。変更する場合は「イメージ貼付」で上書き登録してください。貼付元の静止画を削除しても、相手には静止画が表示（送信）されます。
●PIMロック中など設定した「自作」や「キャラ電」の代替画像が表示できない場合は、「内蔵」の代替画像を送信します。
●お買い上げ時は、テレビ電話の代替画像（キャラ電）が「ブンブン（Dimo）」に設定されています。

<音声自動再発信設定>

メニュー 9 8

テレビ電話がつながらなかった場合に音声電話で再発信する

お買い上げ時 OFF

音声自動再発信設定を「ON」に設定すると、テレビ電話をかけてつながらなかった場合、自動的に通常の音声電話発信動作に切り替えて再発信します。

1 メニュー▶ ▶TV電話▶音声自動再発信設定

ON ・・・・・・・テレビ電話に接続できなかった場合、自動的に音声電話に切り替えて電話をかけます。
OFF・・・・・・・テレビ電話に接続できなかった旨が表示され、待受画面に戻ります。

お知らせ

●音声電話の発信動作に切り替わった場合、かかる通話料金はデジタル通信料ではなく音声電話料金になります。
●テレビ電話がいったん通信中になった場合、音声電話への発信動作は行いません。
●テレビ電話をかけた相手が「使われていない電話番号」、「話し中」、「電波の届かないところにいる」、「電源を切っている」または「ドライブモード」に設定中のためにテレビ電話がつながらなかった場合は、音声自動再発信は行いません。
●音声自動再発信を行った場合、発信履歴に記憶されるのは最後の1件のみです。

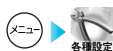
<遠隔監視設定>

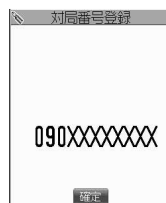
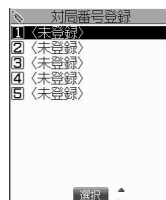
遠隔監視の設定をする

3G-324M（P.78参照）に準拠したテレビ電話機能を持つ電話機から、FOMA端末に対して、遠隔監視をすることができます。
「遠隔監視設定」を「ON」に設定中に、「遠隔監視設定」の「対局番号登録」で登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合、自動的に遠隔監視を受けます。
（FOMA端末は開いた状態で設置してください。）

対局番号登録

お買い上げ時
未登録

テレビ電話がかかってきたときに遠隔監視を自動的に受ける対局番号を最大5件まで設定できます。対局番号が未登録の場合は、遠隔監視設定を「ON」にできません。

1 メニュー▶各種設定▶**TV電話▶遠隔監視設定▶端末暗証番号を入力▶◎▶対局番号登録**

●端末暗証番号についてはP.198参照。

2 **登録する項目を選択▶◎▶電話番号を入力▶◎**

●対局番号に登録したい電話番号をダイヤルボタンを押して入力します。
●0～9、#、*を使用して最大で26桁まで入力することができます。ただし、#、*を使用した場合、相手の発信者番号と一致しないときは、遠隔監視を受けることはできません。
●登録済みの電話番号を変更するときも同様の操作を行います。

■登録した電話番号を削除するとき

1. 手順1の画面で削除する項目を選択し、◎を押します。
2. クリアを1秒以上押します。
   電話番号が削除されます。
3. ◎を押します。

応答時間設定

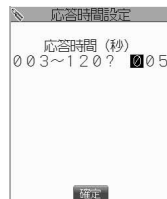
お買い上げ時
5秒（ON設定時）

テレビ電話がかかってきたときに、遠隔監視を受けるまでの応答時間を設定できます。

1 ▶**TV電話**▶**遠隔監視設定**▶**端末暗証番号を入力**▶▶**応答時間設定**

●端末暗証番号についてはP.198参照。

2 **応答時間（秒）を入力**

●「003」～「120」の3桁を入力します。
●設定されている応答時間を変更しない場合は、応答時間を入力せずに ◎ を押します。
●遠隔監視設定、オート着信、伝言メモの応答時間・呼出時間を同じ秒数に設定することはできません。それぞれ違う秒数に設定してください。

遠隔監視の設定

お買い上げ時
OFF

「対局番号登録」で登録した電話番号からかかってきたテレビ電話に遠隔監視として応答するかどうかを設定します。

1 ▶**TV電話**▶**遠隔監視設定**▶**端末暗証番号を入力**▶▶**設定**

ON ‥‥‥「対局番号登録」で登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたら、応答時間経過後、遠隔監視として自動応答します。（対局番号が未登録の場合は設定できません。）
OFF‥‥‥「対局番号登録」で登録した電話番号からテレビ電話がかかってきても、通常のテレビ電話の着信動作をします。

●「ON」に設定すると、マナーモード中は遠隔監視が無効になる旨のメッセージが表示されます。
●端末暗証番号についてはP.198参照。

●遠隔監視設定を「ON」に設定したときは「◙」が表示されます。

遠隔監視を受ける

1 登録した電話番号からテレビ電話がかかってくる

●「遠隔監視設定」の「対局番号登録」で登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたときは、遠隔監視専用の着信音が鳴ります。（着信音を変更することはできません。）
着信音量は「着信音量」で設定したレベルで鳴りますが、「ステップ」または「レベル1」以下に設定している場合は「レベル2」で鳴ります。
●遠隔監視の着信時には、着信イルミネーションの設定によらず点滅色は「グラデーション」、点滅パターンは「固定パターン」となります。
●遠隔監視の着信時は「オープン設定」は無効になり、ワンプッシュオープンボタンは点滅しません。
●遠隔監視設定中でも、自動応答する前に を押すとテレビ電話が始まり、自分のカメラ画像を相手に送信します。
また、 または を押すと、「画像選択」の「代替画像」で設定した画像を相手に送信してテレビ電話を開始します。
●遠隔監視の着信時に を押すと通信が切断され、遠隔監視は行われません。
●遠隔監視を行う（発信）場合は、発信者番号を通知してテレビ電話をかけてください。
●発信者番号が通知されない場合は、遠隔監視着信にならず、テレビ電話着信となります。

2 遠隔監視設定で設定した応答時間経過後、自動的に応答し遠隔監視が始まる

発信時自画像送信設定に関係なくカメラ設定が「ON」になり、自分のカメラ画像と音声を送信します。（代替画像に切り替えることはできません。）
●音声のみの遠隔監視はできません。
●相手のカメラ画像および音声は表示、再生されません。
●遠隔監視中は、 を押して遠隔監視を終了する操作以外はできません。

3 遠隔監視を終了する

テレビ電話発信側、または受信側のどちらかが を押すと、遠隔監視を終了します。

次ページにつづく

お知らせ

- ●遠隔監視は、3G-324M（P.78参照）に準拠したテレビ電話対応機で行うことができます。
- ●マナーモード中、ドライブモード中は、遠隔監視は受けられません。ただし、オールロック中は遠隔監視を受けます。
- ●遠隔監視設定が「ON」で、かつ対局番号からのテレビ電話着信があった場合は、「呼出時間表示設定」、「オート着信」、「伝言メモ」が設定中でも、その呼出時間にかかわらず、遠隔監視設定の呼出時間後に遠隔監視を開始します。
- ●遠隔監視設定が「ON」で、かつ対局番号からのテレビ電話着信があった場合は、遠隔監視の着信履歴が残ります。遠隔監視が実行されなかった場合、テレビ電話の不在着信として着信履歴に残ります。
- ●平型スイッチ付イヤホンマイク接続中に遠隔監視の着信があった場合、「イヤホン切替」を「イヤホン」に設定していてもイヤホンとスピーカの両方から着信音が鳴ります。
  また、自動応答する前に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すとテレビ電話が始まり、「画像選択」の「代替画像」で設定した画像を相手に送信します。
- ●FOMA端末を設置する場合、開いた状態で設置してください。FOMA端末を閉じているときに遠隔監視の着信があった場合、応答時間経過後、遠隔監視の動作となり、代替画像が送信されます。（代替画像にキャラ電を設定している場合でも「内蔵」の代替画像が送信されます。）FOMA端末を開くと、自分のカメラ画像が送信され、通常の遠隔監視を開始します。
- ●遠隔監視中にFOMA端末を折りたたむと、「クローズ動作設定」の設定にしたがって動作します。ただし、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しているときは「クローズ動作設定」は無効になり、FOMA端末を折りたたむと相手には代替画像が送信されます。ただし、代替画像にキャラ電を設定している場合でも「内蔵」の代替画像が送信されます。
- ●遠隔監視中にカメラを切り替えることはできません。
- ●遠隔監視中にDTMF（プッシュ信号）を受けることはできません。
- ●遠隔監視中に音声電話またはテレビ電話を受けることはできません。遠隔監視終了後に「不在着信あり」のアイコンが表示され、着信履歴として残ります。（留守番電話サービス、話中着信サービス（キャッチホン）、転送でんわサービスの契約及び設定により、「不在着信あり」のアイコンは表示されず、着信履歴にも残らない場合があります。）
- ●指定着信許可が他の電話番号に設定されていて、「遠隔監視設定」の「対局番号登録」で登録した電話番号に指定着信許可が設定されていない場合、対局番号からの着信は着信拒否され、遠隔監視は受けられません。
- ●「遠隔監視設定」の「対局番号登録」で登録した電話番号が指定着信拒否に設定されている場合、着信は拒否され、遠隔監視は受けられません。
- ●「登録外着信拒否」が「拒否」に設定されていて、「遠隔監視設定」の「対局番号登録」で登録した電話番号が電話帳に登録されていない場合、着信は拒否され、遠隔監視は受けられません。
- ●遠隔監視の着信に対し、応答保留をすることはできません。
- ●遠隔監視中はプライベートウィンドウに「Remote Monitoring」と表示されます。
- ●転送でんわサービスを利用して遠隔監視を行う場合は、発信元の電話番号を対局番号に登録し、転送先を3G-324M（P.78参照）に準拠したテレビ電話に設定してください。
- ●転送でんわサービスと遠隔監視を同時に設定する場合、遠隔監視を優先させるには、遠隔監視の応答時間を転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。

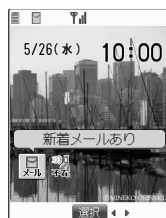
●お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

かかってきた電話に出られなかったとき

かかってきた電話に出られなかったとき（不在着信）や新着メールがあったとき、伝言メモ、TV電話伝言メモ、留守番電話サービスの伝言メッセージが録音されているときは、待受画面に「お知らせアイコン」が表示されます。アイコンを選択してその機能へ移ることができます。

メール：新着メールがあったとき（「新着メールあり」のアイコン）
不在：音声電話の不在着信があったとき（「不在着信あり」のアイコン）
不在：テレビ電話の不在着信があったとき（「不在着信あり」のアイコン）
伝言：伝言メモが録音されたとき（「伝言メモあり」のアイコン）
伝言：TV電話伝言メモが録音されたとき（「TV電話伝言メモあり」のアイコン）
留守：留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っているとき（「留守番電話あり」のアイコン）

1 待受画面▶◎

●HLD または クリア を押すと元の状態に戻ります。

2 ◎でアイコンを選択▶◎

メール：受信メール一覧画面が表示されます。（アプリケーション編P.176参照）
不在：不在着信履歴の画面が表示されます。（P.74参照）
不在：不在着信履歴の画面が表示されます。（P.74参照）
伝言：メモの再生／消去の画面が表示されます。（P.107参照）
伝言：TV電話メモの再生／消去の画面が表示されます。（P.109参照）
留守：留守番電話の画面が表示されます。（P.274参照）

●アイコンを選択すると各アイコンの説明が表示されます。

お知らせ

●「お知らせアイコン」から確認画面を表示する操作の途中で電話をかけることはできません。このとき「アラーム通知設定」を「操作優先」に設定しているときは、アラーム通知もされません。
HLD または クリア を押して待受画面に戻してから操作を行ってください。
●「新着メールあり」のアイコンがないときでも、ｉモードセンターにはFOMA端末で受信されていない新着メールがある場合があります。また、「留守番電話あり」のアイコンがないときでも、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージがある場合があります。
●「お知らせアイコン」はそれぞれの機能を実行すると削除されます。すべての「お知らせアイコン」を削除するには クリア を1秒以上押してください。
●「呼出時間表示設定」の「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定しているときに呼出動作開始時間内の不在着信があった場合は、「不在着信あり」のアイコンは表示されません。

不在着信や新着メールを音と着信／充電ランプで確認する

お買い上げ時 電子音

FOMA端末を折りたたんだ状態で ▼ を押すことで、不在着信・新着メール・伝言メモ・留守番電話があるかないかの確認ができます。

1 メニュー ▶ 各種設定 ▶ 着信 ▶ 確認機能設定

電子音[※1]・・・不在着信や新着メールがあるかないかを電子音と着信／充電ランプの点滅でお知らせします。
ボイス[※2]・・・「新着メールあり」、「不在着信あり」、「伝言メモあり」、「留守番電話あり」の4種類の声と着信／充電ランプの点滅でお知らせします。
OFF・・・・・・・確認の機能をOFFにします。

※1「Language」を「English（英語）」に設定している場合は「ON」と表示されます。
※2「Language」を「English（英語）」に設定している場合は表示されません。

■FOMA端末を折りたたんだ状態で ▼ を押すと

不在着信や新着メールがあるとき
「確認機能設定」を「電子音」に設定している場合、「ピピ、ピピ」という音が鳴り、着信／充電ランプが約5秒間点灯します。
「確認機能設定」を「ボイス」に設定している場合、「新着メールあり」、「不在着信あり」などと声でお知らせし、着信／充電ランプが約5秒間点灯します。
FOMA端末を開くと、「不在着信あり」または「新着メールあり」のアイコンが表示されます。

不在着信や新着メールがないとき
「確認機能設定」を「電子音」に設定している場合、「ピピピ」という音が鳴り、着信／充電ランプが約5秒間点滅します。
「確認機能設定」を「ボイス」に設定している場合、「ピピピ」という音が鳴り、着信／充電ランプが約5秒間点滅します。声でお知らせはしません。

お知らせ

- 本機能を利用するには、「サイドボタン操作」が「閉じた時有効」に設定されている必要があります。
- 本機能は待受画面に「不在着信あり」または「新着メールあり」のアイコンのいずれかが表示されているときに「あり」としてお知らせします。
- FOMA端末を折りたたんでいるときに不在着信などがあった場合はプライベートウィンドウに情報が表示されます。

5/26[木]
10:00
不在

- ｉモードセンターに蓄積されている新着メールを本機能で確認することはできません。
- 不在着信があるときは、「着信イルミネーション」の「電話」で設定されている色で着信／充電ランプが点灯します。新着メールがあるときは、「着信イルミネーション」の「メール」で設定されている色で着信／充電ランプが点灯します。不在着信と新着メールの両方があるときは、それぞれの色が交互に点灯します。
- FOMA端末を開いた状態では確認できません。開いた状態で ▼ を押すと伝言メモ、音声メモの再生（P.107参照）になります。
- 「オールロック」「PIMロック」を設定中は確認できません。
- 「着信音量」の「電話／TV電話」を「消去」に設定しているときは、不在着信・新着メールともに着信／充電ランプでお知らせします。
- 「バイブレータ」の「電話／TV電話」を「OFF」以外に設定しているときは、不在着信・新着メールともに着信／充電ランプと振動でお知らせします。
- 振動でのお知らせは次のようになります。
  - ・不在着信または新着メールがあるとき・・・・・・・・・・・・約1秒間振動
  - ・不在着信も新着メールもないとき・・・・・・・・・・・・・・・・約0.2秒間振動
- 「Language」を「English（英語）」に設定している場合は、「確認機能設定」を「ボイス」に設定することはできません。「確認機能設定」は「ON」または「OFF」の設定となり、「ON」に設定した場合は「電子音」の設定となります。

<応答保留>
すぐに電話に出られないとき保留にする

電話がかかってきたとき、すぐに出られない場合は保留にします。

1 着信中▶HLD

「ピッピッピッ」という音が鳴り、応答保留の状態になります。

- 電話はつながった状態のまま保留されます。
- 相手には「保留音選択」で選択した応答保留音が流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「応答保留」で設定した静止画が表示されます。

2 電話に出られるようになったら で保留を解除する

- テレビ電話で保留を解除する場合は を押します。 を押して保留を解除すると、相手にはカメラ画像が送信されます。 または を押して保留を解除し応答すると、相手には「画像選択」の「代替画像」で設定した画像が送信されます。
- 音声電話を応答保留した場合、 を押しても保留を解除することができます。
  「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定している場合は、0～9、 、 、 、 、 、 、 、 、 を押しても保留を解除することができます。

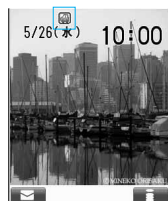
お知らせ

- 応答保留中でも、相手に通話料金はかかります。
- 応答保留中にHLDを押すと、通話が切れます。
- 応答保留中に相手が電話を切ると、通話が切れます。
- 「オープン設定」を「着信応答」に設定し、閉じた状態で着信した場合は、「応答保留」はできません。

<ドライブモード>
ドライブモードを利用する

ドライブモード（運転中ガイダンス機能）は、運転中の安全性を重視した自動応答サービスです。
ドライブモードに設定すると、相手の方に運転中のため電話に出られない旨のガイダンスが流れ通話を終了します。

1 待受中▶ （1秒以上）

ドライブモードに設定され、「 」が表示されます。

■ドライブモードを解除するには

待受中に を1秒以上押します。
ドライブモードが解除され、「 」の表示が消えます。

次ページにつづく

■ドライブモードに設定すると

お客様のFOMA端末に電話がかかってきても着信音は鳴りません。画面には「不在着信あり」のアイコンが表示され、「着信履歴」に記憶されます。また、メールやメッセージ（R/F）を受信したときや、データ通信の着信があったときも着信音は鳴りません。
電話をかけてきた相手の方には運転中のため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。ただし、電源が入っていないときや画面に「圏外」表示が出ているときは、運転中のガイダンスは流れずに「圏外」表示が出ているときと同じガイダンスが流れます。

●ドライブモードを設定して、「留守番電話サービス」も開始に設定しているときは

電話がかかってきても着信音は鳴らずに留守番電話サービスセンターに接続されます。画面には「不在着信あり」のアイコンが表示され、「着信履歴」に記憶されます。
電話をかけてきた相手の方には、運転中のため留守番電話サービスセンターに接続する旨のガイダンスが流れ、自動的に留守番電話サービスセンターに接続されます。
ただし、「留守番電話サービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、ドライブモードガイダンスは流れず、「留守番電話サービス」になります。このとき、電話がかかってきたことを「不在着信あり」のアイコン、「着信履歴」でお知らせできませんのでご注意ください。

●ドライブモードを設定して、「転送でんわサービス」も開始に設定しているときは

お客様のFOMA端末には接続されず、指定した転送先に転送されます。画面には「不在着信あり」のアイコンが表示され、「着信履歴」に記憶されます。
電話をかけてきた相手の方には、運転中のため転送する旨のガイダンスが流れ、自動的に転送されます。
ただし、「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、ドライブモードガイダンスは流れず、「転送でんわサービス」になります。このとき、電話がかかってきたことを「不在着信あり」のアイコン、「着信履歴」でお知らせできませんのでご注意ください。

ドライブモードに設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
留守番電話サービス	相手にドライブモードガイダンスを流したあと、メッセージをお預かりします。	相手に「ドライブモード中です」と表示し、接続しません。
転送でんわサービス	相手にドライブモードガイダンスを流したあと、転送先に転送します。	転送先に転送します。
迷惑電話ストップサービス	ストップ登録されている電話番号からの着信の場合、相手に着信拒否ガイダンスを流します。	相手に「接続できませんでした」と表示し、接続しません。
番号通知お願いサービス	「非通知」で着信の場合、相手に番号通知お願いガイダンスを流します。	相手に「ドライブモード中です」と表示し、接続しません。

お知らせ

●「伝言メモ」をONに設定していてもドライブモードのガイダンスが優先され、「伝言メモ」は無効となりますのでご注意ください。
●ドライブモードの設定／解除ができるのは、待受中のみです。「圏外」表示が出ているときも、設定／解除はできます。
●ドライブモードを設定していても通常どおり電話をかけることができます。
●「番号通知お願いサービス」を「開始」に設定中に「非通知設定」の音声電話着信があったときは、ドライブモードは無効になり、番号通知お願いガイダンスが流れます。

<伝言メモ>

電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモを設定しておくと電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音しておくことができます。「応答メッセージ」や、電話がかかってきてから応答を開始するまでの「呼出時間」を設定できます。
音声電話の場合は5件まで、テレビ電話の場合（TV電話伝言メモ）は2件まで、1件につき約20秒間録音しておくことができます。
TV電話伝言メモは音声のみの録音となり、画像は録画できません。

伝言メモを設定する

お買い上げ時
伝言メモ・・・・・・・・OFF
応答メッセージ・・標準
呼出時間・・・・・・・・8秒（ON設定時）

1 ▶伝言メモ

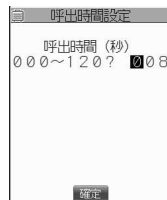
ON ・・・・・・・伝言メモを設定します。
OFF・・・・・・・伝言メモを解除します。設定が終了します。
●すでに音声電話が5件、テレビ電話が2件録音されているときは、伝言メモは動作しません。不要な伝言メモを消去してください。

2 応答メッセージを選択▶◉

標準・・・・・・・・・・・・・・・・・・「ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音の後に20秒以内でお名前とご用件をお話しください。なお、テレビ電話の場合でも音声メッセージのみのお預かりとなります。」と流れます。
プライベート・・・・・・・・・・「せっかく電話をもらったけど、いま出られません。ピーッという発信音の後にメッセージを入れてね。テレビ電話のときも声しか入らないの。ごめんね。」と流れます。
英語・・・・・・・・・・・・・・・・・・「I can t take your call now. Please leave the message. When you call by video phone, you can leave a voice message.」と流れます。
おしゃべり1 ・・・・・・・・・・「おしゃべり機能」で録音したメッセージや音が流れます。録音されていないときは表示されません。
おしゃべり2 ・・・・・・・・・・「おしゃべり機能」で録音したメッセージや音が流れます。録音されていないときは表示されません。
●✉（デモ）を押すと応答メッセージが再生されます。応答メッセージはクリアを押して止めることができます。
マナーモードに設定中は、「マナーモード中 再生しますか？」とメッセージが表示されます。
「YES」を選択し、◉を押すと応答メッセージが流れます。
中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

3 呼出時間（秒）を入力

●「000」～「120」の3桁を入力します。
●設定されている呼出時間を変更しない場合は、呼出時間を入力せずに◉を押します。
●遠隔監視設定、オート着信、伝言メモの応答時間・呼出時間を同じ秒数に設定することはできません。それぞれ違う秒数に設定してください。

次ページにつづく

■着信中でも伝言メモを設定できます<クイック伝言メモ>

電話がかかってきたときに、電話に出られないまたは電話に出たくない場合など、伝言メモが設定されていなくても伝言メモを設定することができます。

着信中に またはを押します。マナーモードに設定されます。

相手には応答メッセージが再生され、伝言メモの録音が開始されます。

- ●すでに音声電話が5件、テレビ電話が2件録音されているときは、伝言メモは動作しません。
- ●「サイドボタン操作」を「閉じたとき無効」に設定している場合、FOMA端末を閉じているときに を押しても伝言メモは動作しません。
- ●テレビ電話の着信中に機能メニューを表示している場合、 を押して伝言メモを動作させることはできません。

■伝言メモを「ON」に設定しているとデスクトップにアイコンが表示されます

「」～「」 音声電話伝言メモの録音件数を表示します。

「」～「」 TV電話伝言メモの録音件数を表示します。

■伝言メモを「ON」に設定しているときに電話がかかってくると

呼出時間経過後、相手には応答メッセージが流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「伝言メモ準備」で設定した静止画が表示されます。

そのあと、録音が始まります。テレビ電話の場合は相手に「画像選択」の「伝言メモ録音」で設定した静止画が表示されます。

録音中は相手の声が受話口から流れます。

録音が終了すると、デスクトップに「不在着信あり」と「伝言メモあり」のアイコンが表示されます。

■応答メッセージが流れているときや、伝言メモの録音中に電話に出るときは またはを押します

テレビ電話の場合 で自分のカメラ画像、 または で「画像選択」の「代替画像」で設定した画像が送信されます。

お知らせ

- ●「圏外」が表示されているときはご利用できません。
- ●「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」を伝言メモと同時に設定しているときは、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間の設定により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの呼出時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。この場合でも、すでに音声電話が5件、テレビ電話が2件録音されているときは、留守番電話または転送でんわとなります。
- ●「呼出時間表示設定」で設定した呼出動作開始時間が伝言メモの呼出時間より長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を呼出動作開始時間よりも長く設定してください。
- ●音声電話の場合は5件、テレビ電話の場合は2件録音されると、次にかけてきた相手の用件を伝言メモで録音することはできません。また、相手に応答メッセージも流れません。次の用件を録音できるようにするには、すでに録音されている伝言メモを消去してください。（P.108、110参照）
- ●伝言メモ録音中は第三者から電話がかかってきても受けることができません。第三者には話中音が流れます。
- ●伝言メモを「ON」に設定していなくても、マナーモード設定中の動作を「オリジナルマナー」に設定し、その設定内容で伝言メモを「ON」にしておけば、マナーモード中は伝言メモで相手の用件を録音できます。

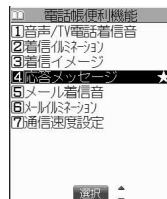
電話番号ごとに応答メッセージを設定する

伝言メモを「ON」に設定中、電話がかかってきたときに、電話番号それぞれに設定した応答メッセージを流します。
FOMA端末（本体）の電話帳に登録されている700件すべての電話番号に設定することができます。ただし、「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には設定できません。

1 電話帳の詳細画面▶(i)（機能）▶電話帳便利機能▶応答メッセージ

●電話帳の検索方法についてはP.123参照。

2 応答メッセージを選択▶◉

「応答メッセージ」に「★」マークが付きます。
●「おしゃべり機能」で録音したメッセージや音を選択することもできます。

■電話番号の応答メッセージを解除するとき
手順2の画面で「応答メッセージ　★」を選択し、◉を押します。
設定が解除されて「★」マークが消えます。

お知らせ

●伝言メモが動作したときの応答メッセージの優先順位は、「電話番号ごとの設定」→「グループごとの設定」→「伝言メモの設定」の順になります。
●「ダイヤル発信制限」設定中は、設定できません。
●「電話帳便利機能」の「応答メッセージ」の設定は相手が発信者番号を通知してこないときは無効になりますのでご注意ください。
「番号通知お願いサービス」を設定しておくと便利です。
●設定した電話番号を変更すると、本機能は解除されますのでご注意ください。
●設定した応答メッセージを変更するときは、現在の設定を解除してから行います。
●「電話帳便利機能」で電話帳のどの電話番号が設定されているかを確認したり設定を解除することができます。

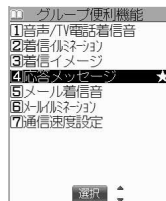
グループごとに応答メッセージを設定する

伝言メモを「ON」に設定中、グループに登録されている相手から電話がかかってきたときに、グループそれぞれに設定した応答メッセージを流します。
FOMA端末（本体）の電話帳に登録されている「グループ00」を除く各グループに設定することができます。ただし、FOMAカードの電話帳には設定できません。
電話番号ごとに応答メッセージが設定されている場合は、そちらの設定が優先されます。

1 メニュー ▶ ▶グループ設定▶グループを選択▶ ⓘ（機能）▶グループ便利機能▶応答メッセージ

2 応答メッセージを選択▶ ◎

「応答メッセージ」に「★」マークが付きます。

●「おしゃべり機能」で録音したメッセージや音を選択することもできます。

■グループの応答メッセージを解除するとき

手順2の画面で「応答メッセージ　★」を選択し、◎ を押します。
設定が解除されて「★」マークが消えます。

電話に出られないときの応対方法を設定する

伝言メモ

お知らせ

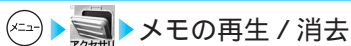
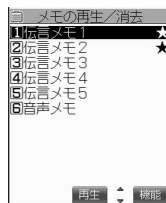
●「ダイヤル発信制限」設定中は、設定できません。
●「グループ便利機能」の「応答メッセージ」の設定は相手が発信者番号を通知してこないときは無効になりますのでご注意ください。
「番号通知お願いサービス」を設定しておくと便利です。
●設定した応答メッセージを変更するときは、現在の設定を解除してから行います。
●複数のグループに同じ電話番号が登録されているときは、行検索の検索順で先に呼び出される電話番号のグループに設定されている応答メッセージが優先されます。
●シークレットデータと通常の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定することができますが、シークレットデータからの着信では設定は無効になりますのでご注意ください。
●「電話帳便利機能」でどのグループが設定されているかを確認したり設定を解除することができます。

<メモの再生／消去>

伝言メモ・音声メモを再生／消去する

伝言メモ、音声メモを再生または消去します。

再生する

1 (メニュー)▶▶**メモの再生／消去**

●録音されている項目には、「★」マークが付きます。

2 **伝言メモまたは音声メモを選択▶(◎)**

「ピッ」という音が鳴って再生が始まります。

● (i)（機能）を押して機能メニューから「再生」を選択し、(◎)を押しても再生が始まります。

●再生が終わると「ピピッ」という音が鳴り、再生中の表示が消えます。

●相手が電話番号を通知してきたときは、再生中に相手の電話番号と録音された日付・時刻および伝言メモ番号が表示されます。また、相手が電話帳に登録されていると名前も表示されます。

※録音された日付・時刻の表示は「日付時刻設定」が設定されているときに限ります。

●伝言メモの再生中、画面に相手の電話番号が表示されているときは(発信)を押して相手の電話番号に電話をかけることができます。

■再生中に操作できます

●**次のメモを再生するとき**

メモの再生中に(▼)を押すと、次に新しい伝言メモを再生します。

一番古い伝言メモを再生したあとに音声メモを再生します。

●**再生を途中で止めるとき**

(◎)、(HLD)または(クリア)を押します。

■ (▼)を使って再生するとき

●**待受画面で(▼)を押します。**

伝言メモのうち、新しいものから再生します。

メモの再生中に(▼)を押すと、次に新しい伝言メモを再生します。

一番古い伝言メモを再生した後に音声メモを再生します。

(▼)を押さないときは、選択したメモの再生が終わるごとに再生の画面が終了します。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

メモの再生／消去の画面で ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

再生	P.107
1件消去	本ページ参照
伝言メモ全消去	本ページ参照
全消去	本ページ参照

操作により実行できない項目があります。

1件消去・伝言メモ全消去・全消去

1 **メモの再生／消去の画面▶ⓘ（機能）**

1件消去 ……………選択した伝言メモまたは音声メモを消去します。
伝言メモ全消去 ………伝言メモをすべて消去します。
全消去 ………………伝言メモ、音声メモをすべて消去します。

●P.107手順2の再生中の画面で ✉（消去）を押しても、1件消去することができます。

2 **YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎ を押します。

■お願い■
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、メモ機能で録音した内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備えメモ機能で録音した内容は、手帳などに控えをお取りくださるようお願いします。（P.363参照）

お知らせ

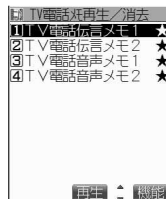
●通話中は伝言メモ、音声メモの消去はできません。

TV電話伝言メモ・TV電話音声メモを再生／消去する

TV電話伝言メモ、TV電話音声メモを再生または消去します。

再生する

1 (メニュー) ▶ ▶ **TV電話メモの再生／消去**

●録音されている項目には、「★」マークが付きます。
●待受画面で ▼ を1秒以上押しても「TV電話メモの再生／消去」の画面が表示されます。

2 **TV電話伝言メモまたはTV電話音声メモを選択** ▶ ◎

●(機能)を押して機能メニューから「再生」を選択し、◎を押しても再生が始まります。
●再生中は録音された日付・時刻および伝言メモ番号が表示されます。
※録音された日付・時刻の表示は「日付時刻設定」が設定されているときに限ります。

■**再生中に操作できます**

●**次のメモを再生するとき**

メモの再生中に ◎ を押すと、次に新しいメモを再生します。
◎ を押すと1つ前のメモを再生します。
(TV電話伝言メモの再生からTV電話音声メモの再生には移行できません。TV電話音声メモの再生からTV電話伝言メモの再生にも移行はできません。)

●**再生を途中で止めるとき**

◎、(クリア)、0～9、＊または＃を押します。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

TV電話メモの再生／消去の画面で (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

再生	P.109
1件消去	本ページ参照
伝言メモ全消去	本ページ参照
音声メモ全消去	本ページ参照
全消去	本ページ参照

操作により実行できない項目があります。

1件消去・伝言メモ全消去・音声メモ全消去・全消去

1 **TV電話メモの再生／消去の画面▶ (機能)**

1件消去 ・・・・・・・・・・・・・・選択したTV電話伝言メモまたはTV電話音声メモを消去します。
伝言メモ全消去 ・・・・・・・・TV電話伝言メモをすべて消去します。
音声メモ全消去 ・・・・・・・・TV電話音声メモをすべて消去します。
全消去 ・・・・・・・・・・・・・・・・TV電話伝言メモ、TV電話音声メモをすべて消去します。

2 **YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。

■お願い■
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、メモ機能で録音した内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備えメモ機能で録音した内容は、手帳などに控えをお取りくださるようお願いします。（P.363参照）

お知らせ

●通話中はTV電話伝言メモ、TV電話音声メモの消去はできません。

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末では、FOMA端末（本体）に登録できる電話帳と、FOMAカードに登録できる電話帳の2種類の電話帳を利用することができます。上手に使い分けて電話帳の管理にお役立てください。

項目		FOMA端末（本体）の電話帳	FOMAカードの電話帳
登録できる件数		電話帳全体で最大700件※	電話帳全体で最大50件
登録内容	名前（フリガナ）の登録	「姓」と「名」に分けて登録（「姓」または「名」のみでの登録も可能）	「名前」で登録
	電話番号の登録	電話帳1件に4番号まで登録可能（ただし、電話帳全体で登録可能な電話番号は700番号までです。）	電話帳1件に1番号まで登録可能（ただし、電話帳全体で登録可能な電話番号は50番号までです。）
	メールアドレスの登録	電話帳1件に3アドレスまで登録可能（ただし、電話帳全体で登録可能なアドレスは700アドレスまでです。）	電話帳1件に1アドレスまで登録可能（ただし、電話帳全体で登録可能なアドレスは50アドレスまでです。）
	アイコンの設定	登録した電話番号ごと、メールアドレスごとに1つずつ設定可能	設定不可
	住所（郵便番号）	1つの電話帳に1件のみ登録可能	設定不可
	メモ	1つの電話帳に1件のみ登録可能	設定不可
	画像	最大70件、1つの電話帳に1件のみ登録可能	設定不可
	グループ分け	00～19の20グループに分類可能	00～10の11グループに分類可能
	メモリ番号	000～699のメモリ番号を設定可能	なし
電話帳検索		フリガナ、名前、電話番号、アドレス（メールアドレス）、メモリ番号、グループ、行、の7通り	フリガナ、名前、電話番号、アドレス（メールアドレス）、グループ、行、の6通り
ツータッチダイヤル		使用可能（メモリ番号000～009に登録した場合）	使用不可
電話帳便利機能	音声／TV電話着信音	登録した電話番号、またはグループごとに設定可能	設定不可
	着信イルミネーション		
	着信イメージ		
	応答メッセージ		
	メール着信音	登録した電話番号、メールアドレス、またはグループごとに設定可能	
	メールイルミネーション		
	通信速度設定	登録した電話番号、またはグループごとに設定可能	
電話帳指定設定	指定発信制限	登録した電話番号ごとに設定可能	設定不可
	指定着信拒否		
	指定着信許可		
	指定転送でんわ		
	指定留守番電話		
シークレットコードの設定		登録した電話番号ごと、メールアドレスごとに設定可能	設定不可
シークレットモード、シークレット専用モードでの登録		登録可能	登録不可

●お客様のFOMAカードを他のFOMA端末にセットして、FOMAカード内の電話帳データをご利用になることもできます。
※各電話帳データの登録内容により、実際に登録できる件数が少なくなる場合があります。

<電話帳登録>

FOMA端末（本体）に電話帳を登録する

FOMA端末（本体）への電話帳の登録は次のステップで行います。

- 電話帳の登録先を選択します
- 姓名とフリガナを入力します
- グループを選択します
- 電話番号を入力してアイコンを選択します
- メールアドレスを入力してアイコンを選択します
- 郵便番号と住所を入力します
- メモを入力します
- 画像を登録します
- メモリ番号を登録します
- 登録を完了します

電話帳の登録先を選択します

▶電話帳登録▶本体

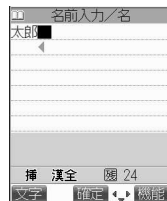
姓名とフリガナを入力します

- **相手の姓名や会社名を、漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などで入力します。**
- **ロシア文字、ギリシャ文字、一部の記号、絵文字、または区点コード一覧にない全角文字はフリガナ入力画面には反映されません。**
- **姓と名を分けて入力します。姓のみの入力、名のみの入力もできます。**
- **フリガナは半角のカタカナ、英字、数字で入力します。（姓、名に「ゎ（小文字）」、「ヮ（小文字）」を入力した場合は「ﾜ（半角大文字）」として表示されます。）**
- **姓と名は合わせて全角16文字まで、フリガナは半角32文字まで入力できます。**

2 姓を入力▶◉▶姓のフリガナを確認▶◉

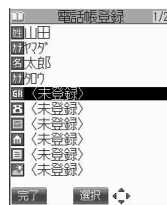
- 文字の入力方法についてはP.304参照。
- 絵文字を入力することもできます。
- 表示されているフリガナでよければ、修正する必要はありません。
- 「フリガナ検索」では、手順2、手順3で登録した姓のフリガナと名のフリガナの組み合わせによって検索します。
- 姓に入力した文字によっては、フリガナの入力を行う必要があります。

3 **名を入力▶◎▶名のフリガナを確認▶◎**

●文字の入力方法についてはP.304参照。
●表示されているフリガナでよければ、修正する必要はありません。
●名に入力した文字によっては、フリガナの入力を行う必要があります。

グループを選択します

●**電話帳を登録するグループを選択します。**
●**「グループ00」～「グループ19」の20のグループがあります。**
●**グループにあらかじめグループ名を登録しておくと便利です。（P.136参照）**
●**「グループ00」にグループ名を登録することはできません。グループとして登録しないときは、「グループ00」を選択します。**

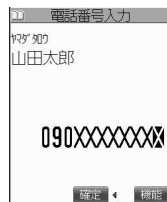
4 **<未登録>▶グループを選択▶◎**

●グループを選択しないで手順15に進んだときは、自動的に「グループ00」に登録されます。

電話番号を入力してアイコンを選択します

●**1つの電話帳に電話番号が4件まで登録できます。**
電話番号は、FOMA端末（本体）の電話帳全体で合計700件まで登録できます。
●**電話番号は市外局番から入力します。**
●**最大で26桁まで入力できます。**
●**入力したそれぞれの電話番号にアイコンを設定することができます。「 」や「 」のようなアイコンを登録しておけば、一目で「携帯電話の番号」「会社の電話番号」などの区別がつきます。**

5 **<未登録>▶電話番号を入力▶◎**

●電話番号がすでに700件登録されているときは「 <未登録>」は表示されません。
● を1秒以上押して、登録する電話番号にポーズ（p）を入力することができます。
ただし、電話番号の先頭にポーズ（p）を入力したり、連続して入力することはできません。また、電話番号の最後に入力したポーズ（p）は登録されません。
●「＊」を電話番号の途中に入力した場合は、電話がかかりません。
ただし、リダイヤル・発信履歴は残ります。
●「＃」を電話番号の途中に入力した場合は、＃と4桁の番号のサービスなどに有効です。

次ページにつづく

6 アイコンを選択▶◉

●電話帳新規登録画面に「☎<追加登録>」が1つ増えます。別の電話番号を登録するときは、「☎<追加登録>」を選択し、手順5～6を繰り返します。

■電話番号アイコン一覧

電話番号	携帯電話	TV電話	自宅	会社	会社FAX	店	工場	代表	直通
マル秘	ホテル	学校	自宅FAX	パソコン	クイックキャスト※	家族	友達・女	友達・男	仲良し
PHS	レストラン	実家	病院						

メールアドレスを入力してアイコンを選択します

●1つの電話帳にメールアドレスが3件まで登録できます。
メールアドレスは、FOMA端末（本体）の電話帳全体で合計700件まで登録できます。
●メールアドレスは半角の英字、数字、記号を使って50文字まで入力できます。
●入力したそれぞれのメールアドレスにアイコンを設定できます。「携帯mail」や「自宅mail」のようなアイコンを登録しておけば、一目で「携帯電話のアドレス」「自宅のアドレス」などの区別がつきます。

7 ✉<未登録>▶メールアドレスを入力▶◉

●メールアドレスがすでに700件登録されているときは「✉<未登録>」は表示されません。
●文字の入力方法についてはP.304参照。
●メールアドレスはドメイン（@マークより後ろの部分）まで正しく登録してください。ただし、「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。

8 アイコンを選択▶◉

●電話帳新規登録画面に「✉<追加登録>」が1つ増えます。別のメールアドレスを登録するときは、「✉<追加登録>」を選択し、手順7～8を繰り返します。

■メールアドレスアイコン一覧

メールアドレス	自宅アドレス	会社アドレス	携帯アドレス	iモードアドレス

※2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

電話帳を利用する

電話帳登録

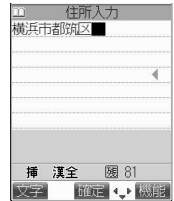
郵便番号と住所を入力します

●郵便番号と住所を入力します。
●郵便番号は7桁まで入力できます。
●住所は全角46文字まで、半角93文字まで入力できます。

9 **<未登録>▶郵便番号を入力▶◎**

●「〒」や「-」(ハイフン)は入力できません。

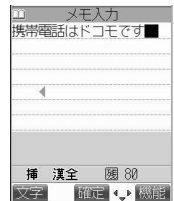
10 **住所を入力▶◎**

●文字の入力方法についてはP.304参照。
●絵文字を入力することもできます。

メモを入力します

●メモは全角50文字まで、半角100文字まで入力できます。

11 **<未登録>▶メモを入力▶◎**

●文字の入力方法についてはP.304参照。
●絵文字を入力することもできます。

次ページにつづく

画像を登録します

●画像を電話帳に登録します。登録した画像は、電話帳詳細表示や、画像を登録した電話帳から着信があったときに表示されます。
●画像は、電話帳登録最大件数700件のうち70件登録できます。

12 <未登録>

イメージ／カメラ ‥‥‥‥‥‥‥‥静止画を「カメラ」フォルダ（アプリケーション編P.302参照）から選択します。
イメージ／ｉモード ‥‥‥‥‥‥‥静止画を「ｉモード」フォルダ（アプリケーション編P.302参照）から選択します。
イメージ／編集 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥静止画を「編集」フォルダ（アプリケーション編P.302参照）から選択します。
イメージ／キャラ電イメージ ‥‥‥静止画を「キャラ電イメージ」フォルダ（アプリケーション編P.302参照）から選択します。
ｉモーション／カメラ ‥‥‥‥‥‥動画を「カメラ」フォルダ（アプリケーション編P.336参照）から選択します。
ｉモーション／編集 ‥‥‥‥‥‥‥動画を「編集」フォルダ（アプリケーション編P.336参照）から選択します。
ｉモーション／キャラ電ムービー ‥動画を「キャラ電ムービー」フォルダ（アプリケーション編P.336参照）から選択します。

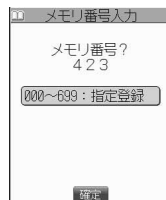
13 画像を選択▶◎

●手順12で「ｉモーション／カメラ」、「ｉモーション／編集」、「ｉモーション／キャラ電ムービー」を選択した場合、✉（デモ）を押すとデモが再生され、ｉモーションを確認できます。（アプリケーション編P.351参照）
●登録できる静止画は最大20KバイトまでのJPEG画像です。ただし、ファイル制限あり（アプリケーション編P.280参照）の静止画は登録できません。
●登録できるｉモーションは、動画サイズがQCIF（176×144）以下のｉモーションです。ただし、テロップのあるｉモーションやカメラで撮影されていないｉモーションなど、登録できないｉモーションもあります。
●88×72ドットより大きい画像を選択した場合、電話帳詳細表示には縮小されて表示されます。
●176×144ドットより大きい画像を選択した場合、着信画面には縮小されて表示されます。
●すでに登録されている画像があるときは上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
上書きする場合は「YES」を選択し、◎を押します。
中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

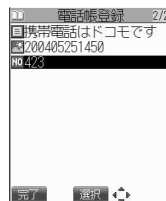
メモリ番号を登録します

●入力した電話帳のデータを登録するメモリ番号を指定します。
●「メモリ番号」には、あらかじめ「010」～「699」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号が入力されています。
「010」～「699」がすべて登録されているときは、「000」～「009」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号が入力されています。
変更する必要がない場合、手順15に進みます。

14 NO▶メモリ番号を入力▶◉

●「000」～「699」の3桁を入力します。

登録を完了します

●入力した各データを登録します。

15 ✉(完了)を押す

電話帳を利用する

電話帳登録

お知らせ

●姓または名のどちらも入力していない場合は、「完了」が表示されず、電話帳の登録ができません。

次ページにつづく

■電話帳に登録できないとき

●入力したメモリ番号が、すでに電話帳に登録されていたときには、「上書きしますか？」と表示されます。「YES」を選択し、◉を押すと、入力したデータが上書き登録されます。
「NO」を選択し、◉を押すと、元のメモリ番号のデータはそのままで、電話帳の登録／編集画面に戻ります。別のメモリ番号を入力してください。
●「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳のメモリ番号と重複したときは登録できません。
●「ダイヤル発信制限」「指定発信制限」「PIMロック」を設定中は電話帳を登録することはできません。

■編集を中断した電話帳があるとき

●電池が切れたとき

電話帳の編集中に電池切れのアラームが鳴ったときは、「電池充電してください」という画面（P.55参照）が表示されます。このとき、編集中の電話帳は自動的に保存されますので、充電して電話帳の編集を続けるか、充電済みの電池パックと交換したあとに、以下の方法で中断した電話帳編集の続きを行ってください。

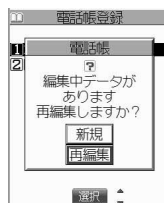
1. メニュー ▶ 電話帳 ▶電話帳登録▶「本体」または「FOMAカード」を選択
●編集を中断した登録先を選択すると、再編集するかどうかの確認の画面が表示されます。

電話帳登録
電話帳
編集中データがあります
再編集しますか？
新規
再編集
選択

2. 再編集をするときは「再編集」を選択
●電話帳編集画面が表示されます。
●新しく他の電話帳を登録するときは「新規」を選択し、◉を押します。この場合、編集中のデータは消去されません。新しい電話帳の登録終了後に電話帳登録を行うと、この確認画面が再度表示されます。

3. 電話帳の編集の続きを行います。
●編集中データとして登録されているのは一番新しい1件です。
●編集中データを呼び出して電話帳の編集の続きを行っているときに、登録しないで編集を中止すると編集中データは消去されます。一度呼び出したら、最後まで登録を行ってください。

●電話がかかってきたり、メールを受信したとき

電話帳の編集中に電話がかかってきたり、メールの受信があったときでも、マルチタスク機能が働くため編集中の電話帳のデータはそのままで応対することができます。
マルチを1秒以上押してメニューを切り替え、電話帳の編集画面に戻ることができます。また、通話やメール機能を終了しても、電話帳の編集画面に戻ります。

●FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。万一に備え、電話帳に登録した内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（アプリケーション編P.373参照）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（アプリケーション編P.462参照）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管することもできます。
●当社窓口にてコピーする際に、FOMA端末の仕様によっては、コピー元の端末に登録されているデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

万一、電話帳などに登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

＜電話帳登録（FOMAカード）＞

FOMAカードに電話帳を登録する

FOMAカードへの電話帳の登録は次のステップで行います。

- 電話帳の登録先を選択します
- 名前とフリガナを入力します
- グループを選択します
- 電話番号を入力します
- メールアドレスを入力します
- 登録を完了します

電話帳の登録先を選択します

1 ▶電話帳登録▶FOMAカード

●FOMAカードについてはP.44参照。

名前とフリガナを入力します

●相手の名前や会社名を、漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などで入力します。
●ロシア文字、ギリシャ文字、一部の記号、または区点コード一覧にない全角文字はフリガナ入力画面には反映されません。
●姓と名は、同時に入力します。
●フリガナは全角カタカナ、半角英数文字で入力します。（名前に「ゎ（小文字）」、「ヮ（小文字）」を入力した場合は「ワ（大文字）」として表示されます。）
●名前（姓と名の区別なし）は、全角文字で10文字、半角英数のみなら21文字まで、フリガナ（姓と名の区別なし）は、全角文字で12文字、半角英数のみなら25文字まで入力できます。（半角カタカナは入力できません。）

2

●文字の入力方法についてはP.304参照。
●表示されているフリガナでよければ、修正する必要はありません。
●「フリガナ検索」では、ここで登録したフリガナによって検索します。
●名前に入力した文字によっては、フリガナの入力を行う必要があります。

次ページにつづく

グループを選択します

- 電話帳を登録するグループを選択します。
- 「グループ00」～「グループ10」の11のグループがあります。
- グループにあらかじめグループ名を登録しておくと便利です。（P.136参照）
- 「グループ00」にグループ名を登録することはできません。グループとして登録しないときは、「グループ00」を選択します。

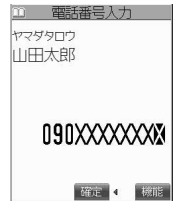
[GR]＜未登録＞▶グループを選択▶◎

- グループを選択しないで手順6に進んだときは、自動的に「グループ00」に登録されます。

電話番号を入力します

- 1つの電話帳に電話番号が1件のみ登録できます。
- 電話番号は市外局番から入力します。
- 「FOMAカード（青色）」をご使用のときは、最大で20桁まで入力できます。
  「FOMAカード（緑色）」をご使用のときは、最大で26桁まで入力できます。

[☎]＜未登録＞▶電話番号を入力▶◎

- [※]を1秒以上押して、登録する電話番号にポーズ（p）を入力することができます。
  ただし、電話番号の先頭にポーズ（p）を入力したり、連続して入力することはできません。また、電話番号の最後に入力したポーズ（p）は登録されません。
- 「※」を電話番号の途中に入力した場合は、電話がかかりません。
  ただし、リダイヤル・発信履歴は残ります。
- 「#」を電話番号の途中に入力した場合は、#と4桁の番号のサービスなどに有効です。

メールアドレスを入力します

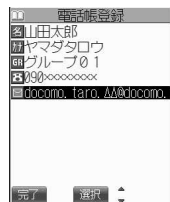
●1つの電話帳にメールアドレスが1件のみ登録できます。
●メールアドレスは半角の英字、数字、記号を使って50文字まで入力できます。

5 **<未登録>▶メールアドレスを入力▶◎**

●文字の入力方法についてはP.304参照。
●メールアドレスはドメイン（@マークより後ろの部分）まで正しく登録してください。ただし、「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。

登録を完了します

●入力した各データを登録します。

6 ✉（）を押す

お知らせ

●名前を入力していない場合は、「完了」が表示されず、電話帳の登録ができません。

リダイヤル、発信履歴、着信履歴から電話帳に登録する

リダイヤル、発信履歴、着信履歴から電話帳に登録したり、電話番号を入力してから電話帳に登録することができます。
すでに登録してある電話帳に追加登録するときは、登録してある電話帳を検索して呼び出してから登録します。
例：FOMA端末（本体）の電話帳に追加登録するとき

1 **電話番号を入力**
または、リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示

2 **(機能) ▶電話帳登録▶本体**

●FOMAカードの電話帳に登録するときは「FOMAカード」を選択します。

3 **追加登録**

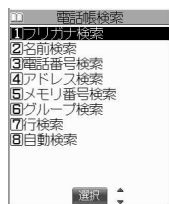
●手順2で「FOMAカード」を選択した場合は、「上書き登録」と表示されます。
●新規に登録するときは「新規登録」を選択し、◉を押したあと「FOMA端末（本体）に電話帳を登録する」（P.112参照）の操作をして登録します。
FOMAカードの電話帳に登録するときは「FOMAカードに電話帳を登録する」（P.119参照）の操作をして登録します。

4 **検索方法を選択▶◉▶電話帳を検索**

●電話帳の検索方法についてはP.123参照。
●手順2でFOMA端末（本体）の電話帳を選択している場合、すでに電話番号が4件登録され、これ以上登録できない電話帳はグレー表示になり選択することができません。

5 **登録する電話帳を選択▶◉▶◉**

電話番号が自動的に入力されます。
以降、「電話帳を修正する」（P.134参照）の操作を行って追加登録します。

■「自動検索」について
●メールの本文やｉモードサイトのページなどで反転表示された情報（電話番号、メールアドレスなど）に名前やフリガナ、電話番号、メールアドレスの情報が付加されているとき（アプリケーション編P.68参照）は、手順4の電話帳検索画面に「自動検索」が表示されます。
「自動検索」を選択し、◉を押すと同じ名前、フリガナの電話帳を検索することができます。

お知らせ

●リダイヤル、発信履歴、着信履歴の発信者番号通知の情報は、電話帳に登録されません。発信者番号通知を設定するときは、電話番号に186（または∗31＃）／184（または＃31＃）を付加してください。（P.57参照）

＜電話帳登録件数＞

電話帳の登録状況を確認する

電話帳に登録している件数と登録可能な件数などを確認することができます。

1 ▶ ▶ **電話帳登録件数**

●本体内電話帳

電話帳……………FOMA端末（本体）に登録されている電話帳の件数を表示します。

シークレット………シークレットモード、シークレット専用モード中は、シークレットデータとして登録されている電話帳の件数を表示します。

画像………………画像の登録件数を表示します。

追加残……………☎：電話番号があと何件登録できるかを表示します。
✉：メールアドレスがあと何件登録できるかを表示します。

●FOMAカード内電話帳

電話帳……………FOMAカードに登録されている電話帳の件数を表示します。

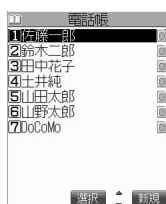
電話帳登録件数
本体
電話帳 77/700
シークレット 20
画像 10/70
追加残 ☎623 ✉630
FOMAカード
電話帳 30/50

電話帳を利用して電話をかける

登録した電話帳は、フリガナ、名前、電話番号、アドレス、メモリ番号、グループ、行（あかさたな順）の7つの検索方法で呼び出すことができます。
「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳は、シークレットモード、シークレット専用モードにしない限り表示されません。
検索する電話帳はFOMA端末（本体）の電話帳とFOMAカードの電話帳の両方が一覧表示されます。

検索方法	検索のポイント
フリガナ検索	相手のフリガナで検索します。（最初の何文字かだけでも検索できます）
名前検索	相手の名前で検索します。（最初の何文字かだけでも検索できます）
電話番号検索	相手の電話番号で検索します。（最初の何桁か、または番号の途中だけでも検索できます）
アドレス検索	相手のメールアドレスで検索します。 （アドレスの先頭、または途中の何文字かだけでも検索できます）
メモリ番号検索	電話帳に登録したときのメモリ番号で検索します。 （FOMAカードの電話帳にはメモリ番号がないため、この検索方法は利用できません）
グループ検索	指定したグループに登録されている電話帳をすべて呼び出します。
行検索	フリガナの行ごとに電話帳を呼び出します。（50音順にすべての電話帳を呼び出すこともできます）

●待受画面で ◎ を押すと電話帳検索画面が表示されます。電話帳検索画面では、前回操作したときに選択した検索方法が、あらかじめ選択されています。

●FOMAカードの電話帳には、一覧画面に「▯」が表示されます。

電話帳を利用する

電話帳登録件数
電話帳を利用して電話をかける

フリガナ検索

フリガナを入力して、登録した電話帳を呼び出します。検索するフリガナはすべてを入力しなくても構いません。

1 メニュー ▶ 電話帳 ▶ **電話帳検索** ▶ **フリガナ検索** ▶ **フリガナの一部を入力** ▶ ◎

- 文字の入力方法についてはP.304参照。
- フリガナは姓・名の順で先頭の文字から入力します。また、すべてを入力しなくても構いません。
- フリガナを入力せず ◎ を押すと、電話帳全検索となり、すべての電話帳の一覧が表示されます。

2 **電話帳を選択** ▶ ◎ ▶ 📞

- 同じ電話帳に複数の電話番号が登録されているときは、詳細画面で ◎ を押して電話番号を選択します。
- 📞 の代わりに ◎ を押しても電話をかけることができます。また、📷 を押すとテレビ電話をかけることができます。

名前検索

名前を入力して、登録した電話帳を呼び出します。検索する名前はすべてを入力しなくても構いません。

1 メニュー ▶ ▶ **電話帳検索** ▶ **名前検索** ▶ **名前の一部を入力** ▶ ◎

- 文字の入力方法についてはP.304参照。
- 名前は姓・名の順で先頭の文字から入力します。また、すべてを入力しなくても構いません。
- 名前を入力せず ◎ を押すと、電話帳全検索となり、すべての電話帳の一覧が表示されます。

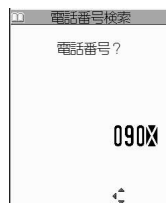
2 **電話帳を選択** ▶ ◎ ▶ 📞

- 同じ電話帳に複数の電話番号が登録されているときは、詳細画面で ◎ を押して電話番号を選択します。
- 📞 の代わりに ◎ を押しても電話をかけることができます。また、📷 を押すとテレビ電話をかけることができます。

電話番号検索

電話番号を入力して、登録した電話帳を呼び出します。最初の数桁および途中の数桁を入力しても検索できます。

▶電話帳検索▶電話番号検索▶電話番号の一部を入力▶

●電話番号はすべてを入力しなくても構いません。
●電話番号を入力せず を押すと、電話帳全検索となり、すべての電話帳の一覧が表示されます。
●待受画面または通話中画面で電話番号の一部を入力し、 を押しても電話帳一覧画面が表示されます。

電話帳を選択▶ ▶

●同じ電話帳に複数の電話番号が登録されているときは、詳細画面で を押して電話番号を選択します。
● の代わりに を押しても電話をかけることができます。また、 を押すとテレビ電話をかけることができます。

アドレス検索

メールアドレスを入力して、登録した電話帳を呼び出します。検索するメールアドレスは最初の数文字および途中の数文字を入力しても検索できます。

▶電話帳検索▶アドレス検索▶メールアドレスの一部を入力▶

●文字の入力方法についてはP.304参照。
●メールアドレスはすべてを入力しなくても構いません。
●メールアドレスを入力せず を押すと、電話帳全検索となり、すべての電話帳の一覧が表示されます。

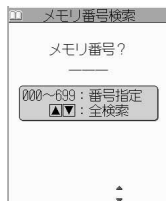
電話帳を選択▶ ▶ ▶

●同じ電話帳に複数の電話番号が登録されているときは、詳細画面で を押して電話番号を選択します。
● の代わりに を押しても電話をかけることができます。また、 を押すとテレビ電話をかけることができます。

メモリ番号検索

メモリ番号を入力して、登録した電話帳を呼び出します。
FOMAカードの電話帳はメモリ番号で検索できません。

1 **メニュー▶電話帳▶電話帳検索▶メモリ番号検索▶メモリ番号を入力**

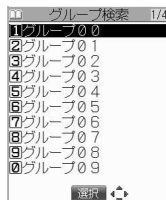
●「000」～「699」の3桁を入力します。
●メモリ番号を入力せずに ◎ を押すと、電話帳全検索となり、すべての電話帳の一覧が表示されます。
●待受画面で 発信 (テレビ電話) を押して ◎ を押すとメモリ番号発信画面が表示されます。メモリ番号を入力すると、そのメモリ番号に登録されている電話番号に電話(テレビ電話)をかけることができます。

2 **電話帳を選択▶◎▶発信**

●同じ電話帳に複数の電話番号が登録されているときは、詳細画面で ◎ を押して電話番号を選択します。
● 発信 の代わりに ◎ を押しても電話をかけることができます。また、 テレビ電話 を押すとテレビ電話をかけることができます。

グループ検索

選択したグループに登録されている電話帳を呼び出します。

1 **メニュー▶電話帳▶電話帳検索▶グループ検索▶グループを選択▶◎**

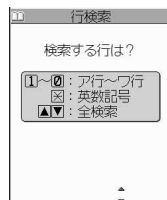
●FOMA端末(本体)の「グループ00」～「グループ19」、FOMAカードの「グループ00」～「グループ10」からグループを選択します。

2 **電話帳を選択▶◎▶発信**

●同じ電話帳に複数の電話番号が登録されているときは、詳細画面で ◎ を押して電話番号を選択します。
● 発信 の代わりに ◎ を押しても電話をかけることができます。また、 テレビ電話 を押すとテレビ電話をかけることができます。

行（あかさたな順）検索

登録された電話帳を、フリガナの頭文字の行または50音順で呼び出します。

1 (メニュー) ▶ ▶ **電話帳検索** ▶ **行検索** ▶ **検索したい行のボタンを押す**

ア行	(1)	ハ行	(6)
カ行	(2)	マ行	(7)
サ行	(3)	ヤ行	(8)
タ行	(4)	ラ行	(9)
ナ行	(5)	ワ、ヲ、ン	(0)
その他（英数記号など）	(＊)		
すべての電話帳を50音順で表示	(▲▼)		

●行のボタンを押さずに (▲▼) を押すと、電話帳全検索となり、すべての電話帳の一覧が表示されます。

2 **電話帳を選択** ▶ (●) ▶ (発信)

●同じ電話帳に複数の電話番号が登録されているときは、詳細画面で (▲▼) を押して電話番号を選択します。

● (発信) の代わりに (●) を押しても電話をかけることができます。また、 (テレビ電話) を押すとテレビ電話をかけることができます。

電話帳を利用する

電話帳を利用して電話をかける

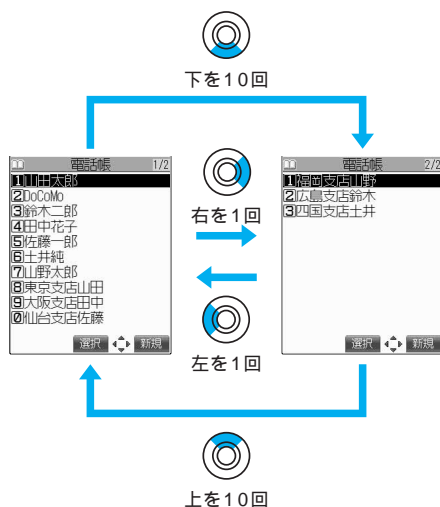
次ページにつづく

■一覧画面からの電話

一覧画面のとき（ ）を押すと、反転している名前に登録されている電話番号へ電話（テレビ電話）がかかります。複数の電話番号が登録されているときは、電話番号の中で1番目に登録されている電話番号に電話がかかります。

■次のページ、前のページへの切り替え

電話帳の一覧画面などで11項目以上あるとき（2ページ以上あるとき）、を押すと次のページ、を押すと前のページが表示されます。

たとえば電話帳の検索結果が11件以上あるときは、を押すと次の10件を表示することができ、より早く目的の名前を探すことができます。

■検索順について

電話帳を登録するときに入力したフリガナによって次のような順で検索します。

フリガナの頭文字がスペースのもの
↓
50音（ア、イ、ウ、エ、オ、・・・ン）
↓
英字（A、a、B、b、・・・Z、z）
↓
数字（0〜9）
↓
記号
↓
フリガナが登録されていないもの

※メモリ番号で検索した場合はメモリ番号順で検索します。

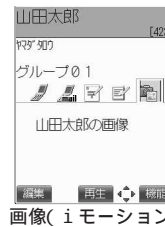
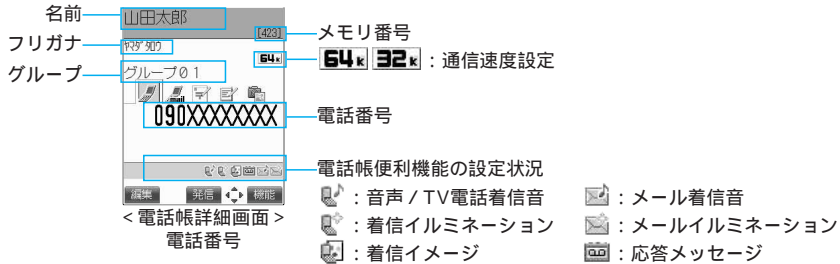
■電話帳の詳細を確認します

1. 詳細を確認する電話帳を表示します。
   ●電話帳の検索方法についてはP.123参照。

2. ◎ を押して電話帳の各項目を表示させ、確認します。

＜電話帳詳細画面＞
電話番号

：音声／TV電話着信音　：メール着信音
：着信イルミネーション　：メールイルミネーション
：着信イメージ　：応答メッセージ

メールアドレス　住所　メモ　画像（静止画）　画像（ｉモーション）

お知らせ

●電話番号やメールアドレスが複数登録されている場合でも、◎ を押して各項目を表示することができます。
●各項目の表示中に ⓘ（機能）を押して機能メニューから電話帳の編集や削除、コピーなど、さまざまな機能を利用することができます。（P.130参照）
●登録されている画像がｉモーションの場合、画像の項目にはｉモーションのタイトルが表示されます。◎ を押すとデモ再生され、ｉモーションを確認できます。（アプリケーション編P.351参照）
●通信速度設定のアイコン、電話帳便利機能の設定状況のアイコンは、電話帳便利機能が設定されていない場合は表示されません。
●FOMAカードに登録された電話帳の場合、住所、メモ、画像は登録できないため、各詳細画面は表示されません。
●FOMAカードに登録された電話帳の場合、メモリ番号は表示されず、「FOMAカード」と表示されます。

FOMAカードの
電話帳詳細画面

電話帳を使いこなす

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

電話帳詳細表示中に (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

操作により実行できない項目があります。

デスクトップ貼付

電話番号やメールアドレスをデスクトップに貼り付けアイコン（P.191参照）として貼り付けます。貼り付けられる電話番号は最大26桁まで、メールアドレスは半角英数文字で50文字までです。

1 電話帳の詳細画面を表示

●電話帳の検索方法についてはP.123参照。

●詳細画面で を押してデスクトップに貼り付ける電話番号またはメールアドレスを表示させます。

2 (機能)▶デスクトップ貼付▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。

電話帳を利用する

ｉモードメール作成

電話帳の詳細画面で選択したメールアドレスを宛先とした新規ｉモードメールを作成できます。

1 電話帳の詳細画面を表示

●電話帳の検索方法についてはP.123参照。
●詳細画面で を押して宛先に指定するメールアドレスを表示させます。

2 （機能）▶ｉモードメール作成

以降、アプリケーション編P.146の操作を行ってメールを作成します。
●詳細画面でメールアドレスを表示させ、 を押しても、選択したメールアドレスを宛先としたｉモードメール作成画面を表示します。

名前コピー（電話番号／メールアドレス／住所／メモコピー）

電話帳の各項目をコピーします。コピーした文字はFOMA端末に記憶されますので、別の位置に貼り付けたり、他の文字入力（編集）画面に貼り付けることができます。（P.320参照）
例：メールアドレスをコピーするとき

1 電話帳の詳細画面を表示

●電話帳の検索方法についてはP.123参照。
●詳細画面で を押してコピーする項目を表示させます。

2 （機能）▶メールアドレスコピー

●表示させた電話帳の項目によって機能メニュー項目（電話番号／メールアドレス／住所／メモコピー）は異なります。ただし、名前コピーはどの項目を表示しているときの機能メニューからでも選択できます。

シークレットコード

シークレットコード登録（アプリケーション編P.192参照）をしている相手にｉモードメールを送るときには、相手のシークレットコードをメールアドレスに添付する必要があります。電話帳のメールアドレスにシークレットコードを設定しておくと、メールを送るときにそのシークレットコードが自動的に添付されます。
また、電話番号だけを宛先に指定し、ｉモード端末にｉモードメールを送るときのために、シークレットコードを設定することができます。
シークレットコードの設定ができるのは、FOMA端末（本体）に登録されている電話帳のみです。FOMAカードの電話帳には、シークレットコードを設定できません。

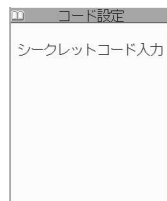
1 電話帳の詳細画面を表示

●電話帳の検索方法についてはP.123参照。
●詳細画面で ◎ を押してシークレットコードを設定する電話番号またはメールアドレスを表示させます。

2 ⓘ（機能）▶シークレットコード▶端末暗証番号を入力▶◎▶コード設定

●端末暗証番号についてはP.198参照。
●シークレットコードを確認する場合は、「コード参照」を選択し、◎ を押します。確認後、クリア を押すと電話帳の詳細画面に戻ります。
●シークレットコードを解除する場合は、「設定解除」を選択し、◎ を押します。シークレットコードが解除され、電話帳の詳細画面に戻ります。

3 4桁のシークレットコードを入力▶YES

設定すると機能メニューの「シークレットコード」に「★」マークが付きます。
●シークレットコードは数字4桁で入力してください。
「0000」は設定できません。
●中止する場合は「NO」を選択し、◎ を押します。

お知らせ

●メール送信先のメールアドレスが「電話番号」または「電話番号@docomo.ne.jp」のときだけにシークレットコードが添付されます。他のメールアドレスにはシークレットコードは添付されません。

FOMAカードへコピー／本体へコピー

電話帳をFOMA端末（本体）からFOMAカードに、または、FOMAカードからFOMA端末（本体）にコピーします。

電話帳の詳細画面を表示

●電話帳の検索方法についてはP.123参照。

ⓘ（機能）▶FOMAカードへコピー・本体へコピー▶YES

●FOMA端末（本体）の電話帳の場合は「FOMAカードへコピー」、FOMAカードの電話帳の場合は「本体へコピー」と表示されます。
●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

お知らせ

●FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末（本体）に登録された2つ目以降の電話番号／メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。また、住所などFOMAカードに登録できないデータもコピーできません。
●FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、絵文字がスペースに変換されます。
●コピー先の電話帳が、すでに最大登録件数まで登録されているときは、機能メニューの「FOMAカードへコピー」、「本体へコピー」はグレー表示となり選択することができません。
●FOMA端末（本体）からFOMAカードへ電話帳をコピーする場合、姓／名は合わせて1つのデータとしてコピーされます。全角10文字まで、半角21文字までのデータがコピーされ、残りのデータはコピーされません。
●FOMA端末（本体）からFOMAカードへ電話帳をコピーする場合、姓／名のフリガナは合わせて1つのデータとしてコピーされます。全角12文字まで、半角25文字までのデータがコピーされ、残りのデータはコピーされません。
●シークレットデータとして登録された電話帳は、シークレットモードまたはシークレット専用モードに設定中でもコピーできません。
●FOMAカードからFOMA端末（本体）へ電話帳をコピーする場合、名前は姓のデータとしてコピーされます。フリガナも同様に姓のフリガナとしてコピーされます。
●FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名が設定されている場合は、電話帳のグループ設定は保持されます。
FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名が設定されていない場合は、グループ00に登録されます。

電話帳を修正する

電話帳の内容を修正します。修正した内容を新しい電話帳として登録することもできます。

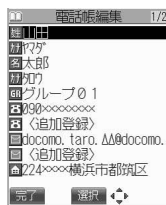
- 修正する電話帳を表示させます
- 項目を選択し内容を修正します
- 修正を完了します

修正する電話帳を表示させます

1 電話帳の詳細画面▶(✉)(編集)

電話帳編集画面が表示されます。

●電話帳の詳細画面で(機能)を押して機能メニューから「電話帳編集」を選択し、◎を押しても電話帳編集画面を表示できます。

●電話帳の検索方法についてはP.123参照。

項目を選択し内容を修正します

2 修正したい項目を選択▶◎▶内容を修正

●修正方法は電話帳の登録と同じです。

姓 ……………………P.112参照
カナ フリガナ ………………P.112、119参照
名 名(名前)………………P.112、119参照
GR グループ ………………P.113、120参照
電話番号(アイコン)………P.113、120参照
メールアドレス(アイコン)…P.114、121参照
住所 ……………………P.115参照
メモ ……………………P.115参照
画像 ……………………P.116参照
NO メモリ番号 ……………P.117参照

●FOMA端末(本体)の電話帳を修正した場合、メモリ番号を変更すると、修正前の電話帳を元の内容のまま残し、修正後の内容を別のメモリ番号で登録することができます。

修正を完了します

3 (完了) ▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。
●FOMAカードの電話帳を修正した場合、上書きするときは「上書き登録」、上書きしないで新しい電話帳として登録するときは「追加登録」を選択し、◎を押します。

お知らせ

●「指定発信制限」に指定している電話番号があるときは、電話帳の修正ができません。「指定発信制限」をすべて解除してから修正してください。

<電話帳削除>

電話帳を削除する

登録されている電話帳を削除します。また、電話番号、メールアドレスなど、各項目ごとに削除することもできます。

1 **電話帳の詳細画面を表示**

●電話帳の検索方法についてはP.123参照。
●電話帳の各項目ごとに削除するときは、詳細画面で◎を押して削除する項目を表示させます。

2 (機能) ▶**電話帳削除**

電話番号削除 ‥‥‥‥‥表示している電話番号を削除します。
メールアドレス削除 ‥‥表示しているメールアドレスを削除します。
住所削除 ‥‥‥‥‥‥‥登録されている住所を削除します。
メモ削除 ‥‥‥‥‥‥‥登録されているメモを削除します。
画像削除 ‥‥‥‥‥‥‥登録されている画像を削除します。
1件削除 ‥‥‥‥‥‥‥電話帳1件全体を削除します。

●表示させた電話帳の項目によって機能メニュー項目（電話番号／メールアドレス／住所／メモ／画像削除）は異なります。ただし、1件削除はどの項目を表示しているときの機能メニューからでも選択できます。

3 **YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

お知らせ

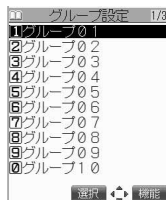
●「指定発信制限」に指定している電話番号があるときは、電話帳を削除することができません。「指定発信制限」をすべて解除してから削除してください。
●「ダイヤル発信制限」が設定されているときは、電話帳を削除することができません。「ダイヤル発信制限」を解除してから削除してください。

グループ名を変更する

電話帳を、「会社」や「友達」のようにおつき合いごとにグループ分けしたり、「野球」や「陶芸」のように趣味で分けたりと、お客様のアイデア次第で用途別に分けられた数冊の電話帳として活用できます。

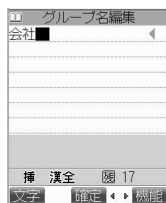
グループ名を変更する

1 ▶グループ設定▶グループを選択▶◎

●FOMAカードのグループには「」が表示されます。
●「グループ00」のグループ名を変更することはできません。

＜グループ設定画面＞

2 グループ名を入力▶◎

●全角10文字まで、半角21文字まで入力できます。
　ただし、FOMAカードのグループ名に全角／半角が混在している場合は、登録を行うと最大10文字になります。
●文字の入力方法についてはP.304参照。
●手順1の画面で機能メニューから「グループ名編集」を選択し、◎を押しても編集画面が表示されます。
●グループ名をすべて削除すると、元のグループ名（「グループ01」～「グループ19」）に戻ります。

グループ名編集
会社
挿　漢全　17
文字　確定　機能

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

グループ設定画面で ◉（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

グループ名編集	本ページ参照
グループ便利機能	P.148
グループ名初期化	本ページ参照

操作により実行できない項目があります。

グループ名初期化

変更したグループ名を元に戻します。

1 グループ設定画面▶◉（機能）▶グループ名初期化▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

お知らせ

●グループ名を変更していないときや、グループ名を削除（初期化）したときは、FOMA端末（本体）の電話帳の場合、「グループ01」～「グループ19」の表示になります。FOMAカードの電話帳の場合、「グループ01」～「グループ10」の表示になります。
●グループ名を初期化しても、グループに設定された「グループ便利機能」は解除されません。
●「ダイヤル発信制限」設定中は、グループ名の変更／確認はできません。

＜ツータッチダイヤル＞
少ないダイヤル操作で電話をかける

よく利用する電話番号は、FOMA端末（本体）の電話帳のメモリ番号「000」～「009」に登録しておくと（P.117参照）ダイヤルボタンの0～9のうち1つを押して、または を押すだけで手早く発信できます。

ダイヤルボタン（0～9）▶

●の代わりに を押しても電話をかけることができます。また、 を押すとテレビ電話をかけることができます。

メモリ番号「003」
に電話をかける場合

お知らせ

●電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号に電話をかけます。
●シークレットモード、シークレット専用モード時は、メモリ番号000～009にシークレットデータで登録された電話帳にツータッチダイヤルで発信することができます。
●「指定発信制限」を設定したときに、メモリ番号000～009の電話帳の1番目の電話番号が「指定発信制限」に指定されていないときは、ツータッチダイヤルは使用できません。
この場合は、設定している指定発信制限を解除するか、メモリ番号000～009の電話帳の1番目の電話番号を指定発信制限に設定する必要があります。
●FOMAカードの電話帳にはメモリ番号がないため、ツータッチダイヤルで発信することはできません。（P.111参照）

<マナーモード>

電話から鳴る音を消す

FOMA端末の音を周囲に出したくないときに、ボタン1つの操作で着信音やボタン確認音などスピーカから出る音を鳴らさないようにできます。
マナーモード設定中の動作は「マナーモード選択」で「マナーモード」、「スーパーサイレント」、「オリジナルマナー」の3種類から選ぶことができます。
「マナーモード」、「スーパーサイレント」設定中、または「オリジナルマナー」で「通話中マイク感度」を「アップ」に設定中は、通話中に小さな声で話しても相手に聞こえる声が大きくなります。

待受中▶#(1秒以上)

●マナーモード選択についてはP.140参照。

■マナーモード設定中の表示
マナーモードに設定中は「」が表示されます。
また、「マナーモード選択」で設定した内容が表示されます。

●「」
「バイブレータ」でお知らせすることを示します。

●「」「」「」
「着信音量」を「消去」に設定していることを示します。

●「」～「」・「」～「」
「伝言メモ」「TV電話伝言メモ」を録音するように設定していることを示します。
数字は録音されている伝言メモ・TV電話伝言メモの件数です。

お知らせ

●マナーモードの設定中に各種メロディを演奏しようとしたときや、ダウンロードしたメロディ(アプリケーション編P.66参照)などを演奏しようとすると、演奏を行うかどうかの確認画面が表示されます。
また、音声つきの動画やｉモーションを再生しようとすると、音声を再生するかどうかの確認画面が表示されます。
演奏や再生を行うと「着信音量」の「電話／TV電話」で設定した音量でメロディまたは音声が鳴ります。「消去」、「ステップ」に設定したときは、メロディはレベル2、動画やｉモーションはレベル1で鳴ります。

■マナーモードを解除するには

#を1秒以上押します。

通話中、呼び出し中は「ピッピッ」という音が鳴り、「解除しました　相手に届く声が普通になります」というメッセージが約2秒間表示されます。ただし、マナーモード設定中の動作を「オリジナルマナー」に設定し、その設定内容で「通話中マイク感度」を「標準」に設定しているときは、「解除しました」と表示されます。

■着信中にマナーモードにするには

着信中に#または▼を押します。

マナーモードになり、同時に「伝言メモ」へ移り、相手の用件を録音することができます。

「伝言メモ」が「ON」に設定されていなくても伝言メモへ移ります。

電話に出るときは（）を押してください。

●伝言メモがすでに5件録音されているとき（テレビ電話の着信の場合はTV電話伝言メモがすでに2件録音されているとき）は、伝言メモには移らずに「マナーモード選択」で設定したマナーモードの動作になります。

●通話が終わってもマナーモードに設定されたままです。マナーモードを解除するときは#を1秒以上押してください。

■通話中、呼び出し中にマナーモードにするには

#を1秒以上押します。

通話中、呼び出し中にマナーモードに設定したときは「設定しました　相手に届く声が大きくなります」というメッセージが約2秒間表示されます。ただし、マナーモード設定中の動作を「オリジナルマナー」に設定し、その設定内容で「通話中マイク感度」を「標準」に設定しているときは、「設定しました」と表示されます。

<マナーモード選択>

マナーモードを選択する

マナーモード設定中の動作を3種類から選択することができます。

マナーモード設定中の動作

	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー
伝言メモ	伝言メモ設定値	伝言メモ設定値	オリジナルマナー設定値
バイブレータ※1	ON	ON	オリジナルマナー設定値
電話着信音量	消去	消去	オリジナルマナー設定値
メール着信音量	消去	消去	オリジナルマナー設定値
アラーム音量	消去	消去	オリジナルマナー設定値
メモ確認音	ON	OFF	オリジナルマナー設定値
ボタン確認音	OFF	OFF	オリジナルマナー設定値
通話中マイク感度	アップ	アップ	オリジナルマナー設定値
低電圧アラーム（電池切れアラーム）	OFF	OFF	オリジナルマナー設定値
着信音選択中の確認音	消去	消去	オリジナルマナー設定値（電話着信音量・メール着信音量）
応答保留音	消去	消去	オリジナルマナー設定値（電話着信音量※2）
通話中保留音	消去	消去	オリジナルマナー設定値（電話着信音量※3）
おしゃべり録音時の確認音	ON	OFF	オリジナルマナー設定値（メモ確認音）
電池残量確認音	消去	消去	消去
不在着信・新着メールの確認音	消去	消去	オリジナルマナー設定値（電話着信音量※2）
各種警告音	消去	消去	消去
スケジュールアラーム	消去	消去	オリジナルマナー設定値（電話着信音量）
静止画・動画の撮影開始音	レベル4	レベル4	レベル4

※1 以下の音を振動でお知らせします。
　着信音・「アラーム」「スケジュール」「ToDo」のアラーム
　　バイブレータのパターンはP.143での設定と同じになります。ただし、P.143の設定を「OFF」にした場合は、「パターン2」で振動します。
　不在着信、新着メールがあるかどうかを確認するときの音
　　不在着信または新着メールがあるとき･･･約1秒間振動
　　不在着信も新着メールもないとき･･･････約0.2秒間振動
※2 電話着信音量が「ステップ」のときはレベル2で鳴ります。
※3 「消去」以外のときはレベル1で鳴ります。

マナーモード・スーパーサイレント

「マナーモード」は電話やメールの着信をバイブレータでお知らせする、標準的なマナーモード設定です。
「スーパーサイレント」は受話口から鳴る確認音なども含め、すべての音を消去する設定です。

1 メニュー ▶ 各種設定 ▶ 着信 ▶ マナーモード選択 ▶ マナーモード・スーパーサイレント

オリジナルマナー

「オリジナルマナー」を選択するとマナーモード設定中の動作をお好みで設定することができます。

お買い上げ時
伝言メモ・・・・・・・・・・OFF
バイブレータ・・・・・・ON
電話着信音量・・・・・・消去
メール着信音量・・・・消去
アラーム音量・・・・・・消去
メモ確認音・・・・・・・・・ON
ボタン確認音・・・・・・OFF
通話中マイク感度・・アップ
低電圧アラーム・・・・OFF

1 メニュー ▶ 各種設定 ▶ 着信 ▶ マナーモード選択 ▶ オリジナルマナー

2 **伝言メモ**

ON ・・・・・・・伝言メモを設定します。
P.103の「伝言メモ」を「OFF」に設定しているときは、呼出時間は12秒になり、変更することはできません。
OFF・・・・・・・伝言メモを解除します。
●伝言メモについてはP.103参照。

3 **バイブレータ**

ON ・・・・・・・電話がかかってきたときやメールを受信したときに振動でお知らせします。
OFF・・・・・・・振動しません。
●バイブレータについてはP.143参照。

4 **電話着信音量 ▶ ◎で音量を調節 ▶ ◎**

音声電話、テレビ電話がかかってきたときの着信音量を調節します。
●着信音量についてはP.77参照。

次ページにつづく

5 メール着信音量▶◎で音量を調節▶◉

ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）、メッセージ（R/F）を受信したときの着信音量を調節します。

6 アラーム音量▶◎で音量を調節▶◉

●アラームについてはP.213参照。

7 メモ確認音

ON ･･･････伝言メモの再生時、音声メモの録音・再生時の確認音を鳴らします。
OFF･･･････伝言メモの再生時、音声メモの録音・再生時の確認音を鳴らしません。

8 ボタン確認音

ON ･･･････ボタン確認音を鳴らします。
OFF･･･････ボタン確認音を鳴らしません。
●ボタン確認音についてはP.176参照。
●ボタン確認音を「ON」に設定していても、電話着信音量を「消去」に設定した場合は、ボタン確認音は鳴りません。

9 通話中マイク感度

標準･･･････通話中のマイクの感度を標準にします。
アップ････通話中のマイクの感度を高くします。

10 低電圧アラーム

ON ･･･････低電圧アラーム（電池切れアラーム）を鳴らします。
OFF･･･････低電圧アラーム（電池切れアラーム）を鳴らしません。
●低電圧アラーム（電池切れアラーム）についてはP.55参照。
●低電圧アラームを「ON」に設定していても、電話着信音量を「消去」に設定した場合は、低電圧アラーム（電池切れアラーム）は鳴りません。

11 ✉（完了）を押す

＜バイブレータ＞

着信を振動で知らせる

お買い上げ時 OFF

電話がかかってきたときやメールを受信したときに振動でお知らせします。
「着信音量」を「消去」以外に設定し、バイブレータを設定したときは、音と振動でお知らせします。「着信音量」を「消去」に設定したときは、振動だけでお知らせします。
バイブレータの振動は、着信音量のレベルにかかわらず、一定の強さとなります。

1   **▶着信▶バイブレータ**

電話／TV電話 ……… 音声電話、テレビ電話がかかってきたときのバイブレータを設定します。
メール／メッセージ …. ｉモードメール、メッセージ（R/F）、ショートメッセージ（SMS）を受信したときのバイブレータを設定します。

2 **バイブレータのパターンを選択▶**

パターン1 …………約0.5秒間振動ON→約0.5秒間振動OFFの繰り返しで振動します。
パターン2 …………約1秒間振動ON→約1秒間振動OFFの繰り返しで振動します。
パターン3 …………約3秒間振動ON→約1秒間振動OFFの繰り返しで振動します。
メロディ連動 ………着信音に合わせて振動します。
OFF ………………振動しません。
●選択中は、確認のため選択しているパターンで振動します。
ただし、「メロディ連動」を選択した場合は、振動しません。

●バイブレータを「OFF」以外に設定したときは「V」「V」「V」が表示されます。
V：VIBRATION（バイブレーション）

V：電話の着信時のみ振動
V：メール／メッセージの受信時のみ振動
V：電話の着信時・メール／メッセージの受信時ともに振動

お知らせ

●「メロディ連動」に設定していても、着信音にｉモーションが設定されている場合は「パターン1」で振動します。
●「メロディ連動」に設定していても、着信音にバイブレータ振動パターンが登録されていない場合は「パターン2」で振動します。
●バイブレータに設定して机などの上に置くと、電話がかかってきたとき振動で落下する恐れがありますのでご注意ください。
●充電するときは、バイブレータ設定の解除をおすすめします。

応用操作編

<呼出時間表示設定>

呼出動作をすぐに開始しないようにする

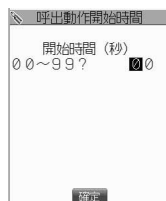
電話帳に電話番号が登録されていない相手から電話がかかってきたとき、すぐに呼出動作が開始しないように設定することができます。

呼出動作開始時間

お買い上げ時
0秒

呼出動作が開始するまでの呼出動作開始時間を設定します。

▶着信▶呼出時間表示設定▶呼出動作開始時間▶開始時間（秒）を入力

- 「00」～「99」の2桁を入力します。
  「00」を入力した場合は、着信と同時に呼出動作を開始します。
- 設定されている開始時間を変更しない場合は、開始時間を入力せずに◉を押します。

時間内不在着信表示

お買い上げ時
表示する

「呼出動作開始時間」で設定した時間内に電話に出なかった着信を着信履歴に表示するかしないかを設定します。

▶着信▶呼出時間表示設定▶時間内不在着信表示

表示する･････････････呼出時間に関わらず、着信履歴に表示します。
表示しない･･･････････呼出時間が呼出動作開始時間内の場合、着信履歴に表示しません。

お知らせ

- 呼出動作とは、着信音・バイブレータが動作し、着信／充電ランプ・ワンプッシュオープンボタンが点灯／点滅する動作のことです。
- シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、本機能で設定した動作になります。
- 電話帳の電話番号に「186／184」を付加して登録した相手から着信した場合も、着信と同時に呼出動作を開始します。
- 呼出動作開始時間が伝言メモの呼出時間より長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を呼出動作開始時間よりも長く設定してください。留守番電話サービス、転送でんわサービス、オート着信の呼出時間でも同様です。

電話帳に指定機能を設定する

FOMA端末（本体）の電話帳には指定機能を設定できます。
ただし、「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には、本機能を設定できません。
「PIMロック」を設定しているときは、「指定着信拒否」、「指定着信許可」は無効になります。

指定発信制限

指定した電話番号以外への電話はかけられないようにする機能です。FOMA端末を業務用としてお使いになるときは、私用電話の防止に有効です。
電話をかけるときは、指定した電話帳を呼び出して を押してください。
電話番号は20件まで指定できます。

お知らせ

●本機能を設定すると、指定した電話番号以外の呼び出しと、指定した電話帳を含む電話帳の登録、修正、FOMAカードへのコピー、および指定した電話番号を含むすべてのダイヤル発信、着信履歴からの発信ができなくなります。
●「指定発信制限」を設定すると、リダイヤル・発信履歴は削除されます。
●「指定発信制限」と同時に「オート表示」を利用するには、「オート表示」に指定した電話番号に「指定発信制限」を設定してください。「指定発信制限」が設定されていない電話番号はオート表示されません。
●指定発信制限設定中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には電話をかけることができます。

指定着信拒否

指定した電話番号からの電話がつながらないようにする機能です。「電話を受けたくない相手」からの電話だけがつながらないようにあらかじめ設定できます。
発信者側には話中音が流れます。
電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」と「非通知着信設定」も合わせて設定することをおすすめします。

お知らせ

●本機能を設定したときでも、指定した電話番号以外からの電話はすべてつながります。
●本機能を設定しているときでも、電話をかけることはできます。
●拒否を設定した電話番号から電話がかかってきたときは、電話がかかってきたことを「着信履歴」でお知らせします。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。このとき、電話がかかってきたことを「着信履歴」でお知らせできませんのでご注意ください。
●ショートメッセージ（SMS）やｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。
●電話帳に登録されている1つの電話番号に対して、「指定着信拒否」と「指定着信許可」を同時に設定することはできません。

指定着信許可

指定した電話番号からの電話だけがつながるようにする機能です。「電話を受けたい相手」からの電話だけがつながるようにあらかじめ設定できます。
電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」も合わせて設定することをおすすめします。

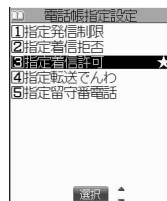
お知らせ

●本機能を設定したとき、指定した電話番号以外からの電話はすべてつながりません。
発信者側には話中音が流れます。
●本機能を設定しているときでも、電話をかけることはできます。
●許可を設定した電話番号以外から電話がかかってきたときは、電話がかかってきたことを「着信履歴」でお知らせします。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。このとき、電話がかかってきたことを「着信履歴」でお知らせできませんのでご注意ください。
●ショートメッセージ（SMS）やｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。
●電話帳に登録されている1つの電話番号に対して、「指定着信拒否」と「指定着信許可」を同時に設定することはできません。

■その他の電話帳指定設定
・指定転送でんわ（P.288参照）
・指定留守番電話（P.279参照）

■電話帳に指定できる便利な機能（電話帳便利機能・グループ便利機能）
次のような機能を電話帳に指定することができます。誰からの電話か、またはメールかが、音や着信／充電ランプの点滅パターンや画像で分かり便利です。「グループ設定」で登録されたグループごとに指定することもできます。また、「通信速度設定」では、テレビ電話発信時の通信速度を設定することができます。
・音声／TV電話着信音（P.172、173参照）
・着信イルミネーション（P.161、162参照）
・着信イメージ（P.182、183参照）
・応答メッセージ（P.105、106参照）
・メール着信音（P.172、173参照）
・メールイルミネーション（P.161、162参照）
・通信速度設定（P.82、83参照）

指定発信制限／指定着信拒否／指定着信許可の設定

1 **電話帳の詳細画面▶(i)(機能)▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶◎**

指定発信制限 ･････････指定発信制限を設定します。
指定着信拒否 ･････････指定着信拒否を設定します。
指定着信許可 ･････････指定着信許可を設定します。
設定された項目に「★」マークが付きます。

- 電話帳の検索方法についてはP.123参照。
- 端末暗証番号についてはP.198参照。
- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、詳細画面で◎を押して電話帳指定設定を設定する電話番号を表示させます。
- 複数の電話番号に指定発信制限を設定したいときは、指定発信制限を設定したあとにクリアを押して電話帳の詳細画面に戻り、◎を押して設定したい電話番号を表示させて操作を行ってください。終話を押して待受画面に戻ると追加設定ができなくなります。追加設定をするときは、すでに設定されている電話番号の指定発信制限を解除し、解除した電話番号も含め、指定発信制限を設定し直してください。

■電話帳指定設定を解除するとき
手順1の画面で「★」マークの付いた電話帳指定設定を選択し、◎を押します。
設定が解除されて「★」マークが消えます。

お知らせ

- 他の機能が動作中は、設定できません。
- 指定着信拒否・指定着信許可を設定した電話帳の電話番号を変更すると、本機能は解除されますのでご注意ください。

<電話帳指定設定>

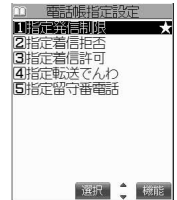
電話帳指定設定を確認／解除する

お買い上げ時
すべて解除

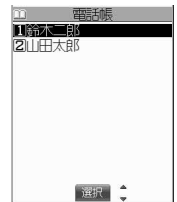
電話番号に設定されている「電話帳指定設定」のそれぞれの設定の確認・解除ができます。「電話帳指定設定」は、FOMA端末（本体）の電話帳に対してのみ設定できます。FOMAカードの電話帳には設定できません。

1 ▶ ▶ **電話帳指定設定** ▶ **端末暗証番号を入力** ▶

指定発信制限 ･･････････P.147参照
指定着信拒否 ･･････････P.147参照
指定着信許可 ･･････････P.148参照
指定転送でんわ ････････P.288参照
指定留守番電話 ････････P.279参照

●設定されている項目には「★」マークが付きます。
●設定されている電話番号がないときは、警告メッセージが表示されます。
●端末暗証番号についてはP.198参照。

<電話帳指定設定画面>

2 **電話帳を選択** ▶

電話帳指定設定が設定されている電話番号が表示されます。

■電話番号ごとに解除するには

1.上記の手順で解除したい電話番号を選択し、◎を押します。
2.「YES」を選択し、◎を押します。
　●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

電話帳指定設定画面で ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

設定確認	本ページ参照
設定解除	本ページ参照

操作により実行できない項目があります。

設定確認

「電話帳指定設定」を設定項目ごとに確認します。

1 電話帳指定設定画面を表示

2 確認したい項目を選択▶ ⓘ（機能）▶設定確認

以降、P.150手順2の操作を行って内容を確認します。

設定解除

「電話帳指定設定」を設定項目ごとに一括して解除します。

1 電話帳指定設定画面を表示

2 解除したい項目を選択▶ ⓘ（機能）▶設定解除▶YES

<例>

P.150手順1の画面から設定解除した場合は「指定発信制限」が設定されている電話帳がすべて解除されます。

●中止する場合は「NO」を選択し、 ◎ を押します。

お知らせ

●指定状況の確認・設定の解除は、待受中に行ってください。通話中や他の機能（ツールグループの各機能）が動作中など、何かの操作をしているときは確認・解除はできません。

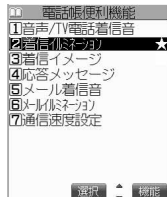
●シークレット登録された電話帳には、「電話帳指定設定」を設定することはできません。

電話帳便利機能を確認／解除する

メニュー 6 2 お買い上げ時 すべて解除

電話番号やメールアドレス、グループに設定されている「電話帳便利機能」のそれぞれの設定状況の確認・解除ができます。「電話帳便利機能」は、FOMA端末（本体）の電話帳に対してのみ設定できます。FOMAカードの電話帳には設定できません。

1 メニュー ▶ 電話帳 ▶ 電話帳便利機能

音声／TV電話着信音 ･････P.172、173参照
着信イルミネーション ････P.161、162参照
着信イメージ ････････････P.182、183参照
応答メッセージ ･･････････P.105、106参照
メール着信音 ････････････P.172、173参照
メールイルミネーション ･･P.161、162参照
通信速度設定 ････････････P.82、83参照

- 設定されている項目には「★」マークが付きます。
- 「音声／TV電話着信音」を選択した場合は、着信音またはｉモーションの種類を選択し、◎ を押します。
- 設定されている電話番号およびメールアドレスがないときは、警告メッセージが表示されます。

＜電話帳便利機能画面＞

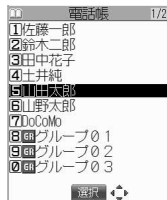
2 確認したい項目を選択 ▶ ◎

- 着信音の選択中は、確認のため着信音が鳴ります。
- 着信イルミネーションの選択中は、選択している色で着信／充電ランプが点灯します。
- 手順1で「音声／TV電話着信音」を選択し、「ｉモーション／カメラ」、「ｉモーション／ｉモード」、「ｉモーション／編集」、「ｉモーション／キャラ電ムービー」を選択した場合、✉（デモ）を押すとデモ再生され、ｉモーションを確認できます。（アプリケーション編P.351参照）

「着信イルミネーション」を選択した場合

3 電話帳を選択 ▶ ◎

電話帳便利機能が設定されている電話番号が表示されます。

- グループ名の前には「GR」が表示されます。グループ名を選択し、 を押すとグループごとに設定を解除します。

■電話番号ごとに解除するには

1.上記の手順で解除したい電話番号を選択し、◎ を押します。
2.「YES」を選択し、◎ を押します。
●中止する場合は「NO」を選択し、◎ を押します。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

電話帳便利機能画面で ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

設定確認	本ページ参照
設定解除	本ページ参照

操作により実行できない項目があります。

設定確認

「電話帳便利機能」を設定項目ごとに確認します。

1 電話帳便利機能画面を表示

2 確認したい項目を選択▶ⓘ（機能）▶設定確認

以降、P.152手順2の操作を行って内容を確認します。

設定解除

「電話帳便利機能」を設定項目ごとに一括して解除します。

1 電話帳便利機能画面を表示

2 解除したい項目を選択▶ⓘ（機能）▶設定解除▶YES

<例>

P.152手順1の画面から設定解除した場合は「着信イルミネーション」が設定されている電話帳とグループがすべて解除されます。

P.152手順2の画面から設定解除した場合は「色1」が設定されている電話帳とグループがすべて解除されます。

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

お知らせ

●「ダイヤル発信制限」設定中は、「電話帳便利機能」の設定確認／解除はできません。
●通話中または「着信音量」が「消去」に設定されているときは、着信音を選択するとき、着信音は鳴りません。
●シークレット登録された電話帳には、「電話帳便利機能」を設定することはできません。

<登録外着信拒否>

電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否する

お買い上げ時 許可

電話帳に電話番号が登録されていない相手からの電話を拒否することができます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」と「非通知着信設定」も合わせて設定することをおすすめします。

▶ロック／セキュリティ▶登録外着信拒否▶端末暗証番号を入力▶

許可・・・・・・・電話帳に登録されていない電話番号からの着信を許可します。
拒否・・・・・・・電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否します。
●端末暗証番号についてはP.198参照。

お知らせ

●シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、この設定に関わらず、着信は拒否されません。
●「電話帳指定設定」の「指定着信拒否」、「指定着信許可」と同時に設定している場合は、「指定着信拒否」、「指定着信許可」が優先されます。
●「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても、電話帳に電話番号が登録されていない相手には、つながりません。
ただし、圏外の地域にいたり、「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定した場合は、「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」が有効になります。
●ショートメッセージ（SMS）やｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。

<非通知着信設定>

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

発信者番号非通知理由の内容によって電話を受ける（許可）か受けない（拒否）かを設定することができます。発信者番号非通知理由には「通知不可能」、「公衆電話」、「非通知設定」の3つがあり、それぞれに許可／拒否を設定できます。

お買い上げ時
通知不可能 ・・・・・・許可／通常着信音と同じ
公衆電話 ・・・・・・・・許可／通常着信音と同じ
非通知設定 ・・・・・・許可／通常着信音と同じ

「許可」に設定した場合は、発信者番号非通知理由によって着信音を選択することができます。
「拒否」に設定した場合は、電話がかかってきても着信音は鳴らず、「不在着信あり」のアイコンが表示されます。（相手には話中音が流れます）

1 ▶ロック／セキュリティ▶非通知着信設定▶端末暗証番号を入力▶◎

通知不可能 ・・・・・・・・・・・・海外からの着信、一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など発信者番号を通知できない相手からかけてきた場合
（ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知される場合もあります。）
公衆電話 ・・・・・・・・・・・・・・NTTの公衆電話、ドコモの自動車公衆電話からの着信など相手が公衆電話からかけてきた場合
非通知設定 ・・・・・・・・・・・・相手が発信者番号を非通知に設定している場合

●端末暗証番号についてはP.198参照。

2 許可・拒否

●「許可」を選択した場合は、P.171手順2から操作を行って着信音またはｉモーションを選択します。「通常着信音と同じ」に設定すると、「着信音選択」の「電話」で設定した着信音になります。発信者番号通知／非通知で着信音を変えないときは、「通常着信音と同じ」にしておきます。

お知らせ

●「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても、拒否に設定した発信者非通知理由の相手には、つながりません。
ただし、圏外の地域にいたり、「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定した場合は、「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」が有効になります。
●ショートメッセージ（SMS）やｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。

＜プレフィックス設定＞

電話番号の先頭に付加する番号を登録する

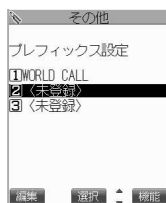
お買い上げ時
WORLD CALL（009130010）

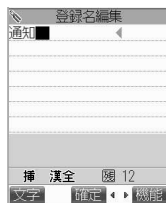
プレフィックスは電話番号の先頭に付加する番号です。例えば、国際発信番号の「009130010」を登録しておくと、機能メニューからプレフィックスを電話番号の先頭に付加して、国際電話をかけることができます。
登録できるプレフィックスは3件で、最大10桁まで入力できます。

プレフィックスを登録／編集する

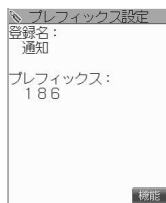
1 （メニュー）▶（各種設定）▶**その他▶プレフィックス設定▶登録／編集する**
項目を選択

●プレフィックス設定の機能メニューから「編集」を選択し、（決定）を押しても手順2の画面が表示されます。
●プレフィックスが登録されているときは、登録されているプレフィックスが表示されます。

2 （メール）（編集）▶**プレフィックス登録名を入力**▶（決定）

●全角8文字まで、半角16文字まで入力できます。
●文字の入力方法についてはP.304参照。

3 **プレフィックス番号を入力**▶（決定）

●入力に使用できるボタンは、0～9、#、＊のみです。
●登録済みのプレフィックスを変更するときも同様の操作を行います。

プレフィックスを確認する

1 （メニュー）▶（各種設定）▶**その他▶プレフィックス設定**
▶プレフィックスを選択▶（決定）

プレフィックスを設定する

プレフィックスを電話番号の先頭に付けます。

1 **電話番号を入力**
または、電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示

2 **(機能)▶プレフィックス**

電話番号入力中の場合

3 **プレフィックスを選択▶◎**

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

プレフィックス設定表示中に (機能)を押すと、以下の項目が表示されます。

編集	P.156
1件削除	本ページ参照
全削除	本ページ参照

操作により実行できない項目があります。

1件削除・全削除

1 **プレフィックス設定を表示▶(機能)▶1件削除・全削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

<サブアドレス設定>

サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時 ON

サブアドレスとはISDNのサブアドレス通知サービスなどを受けるときに必要な番号です。サブアドレス設定を「ON」にしておくと、電話番号のサブアドレス区切記号「＊」以降をサブアドレスとして認識し、特定の電話機やデータ端末を呼び出すことができます。また、「M-stage Vライブ」でコンテンツを選択するときに利用します。

ON ･･･････「＊」以降をサブアドレスと見なします。
OFF･･･････「＊」以降をサブアドレスと見なしません。

お知らせ

●「サブアドレス設定」を「ON」にしていても、電話番号の先頭の「＊」、プレフィックス番号や「186（または＊31＃）」／「184（または＃31＃）」の直後の「＊」はサブアドレス区切記号とは認識されません。

<ノイズキャンセラ>

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

お買い上げ時 ON

FOMA端末は、通話中の周囲の騒音を抑える機能（ノイズキャンセラ）を備えています。お客様の明瞭な声を相手に送ることができるとともに、お客様の受話口から聞こえる相手の声も明瞭な声に調整することができます。

ON ･･･････ノイズキャンセラを設定します。
OFF･･･････ノイズキャンセラを解除します。

お知らせ

●テレビ電話中は常にノイズキャンセラが有効となります。

＜再接続機能＞

再接続するときのアラームを設定する

お買い上げ時
アラームなし

電波の状態が悪くなって音声電話・テレビ電話が途切れた場合に、再接続したときのアラームの鳴りかたを設定します。

1 ▶各種設定▶**通話**▶**再接続機能**

アラームなし ･･････････お知らせしません。
アラーム高音 ･･････････高音のアラームを鳴らしてお知らせします。
アラーム低音 ･･････････低音のアラームを鳴らしてお知らせします。

お知らせ

- ●再接続されるまでの時間（最長約10秒間）も通話料金がかかります。
- ●ご利用状態、電波の状態により再接続が可能な時間は異なります。目安としては約10秒間です。
- ●電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。

＜通話品質アラーム＞

通話が途切れそうなときにアラームで知らせる

お買い上げ時
アラーム高音

音声電話中に電波の状態が悪く、途中で通話が切れそうなとき、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

アラームなし ･･････････お知らせしません。
アラーム高音 ･･････････高音のアラームを鳴らしてお知らせします。
アラーム低音 ･･････････低音のアラームを鳴らしてお知らせします。

お知らせ

- ●急に電波の状態が悪くなったときは、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。
- ●テレビ電話中は通話品質アラームは鳴りません。

<着信イルミネーション>

着信中の着信／充電ランプの点滅を設定する

着信／充電ランプの着信イルミネーションを13種類の中から選ぶことができます。
コマンドナビゲーションボタンの点滅パターンは着信／充電ランプと同じ設定になりますが、点滅色は設定できません。
音声電話、テレビ電話、メール、メッセージリクエスト、メッセージフリーの着信にそれぞれ着信イルミネーションを設定することができます。また、電話番号やメールアドレス、グループからの着信それぞれに着信イルミネーションを設定することもできます。

お買い上げ時
電話……………………色5
TV電話………………色5
メール…………………色1
メッセージリクエスト‥色1
メッセージフリー……色1

各機能に設定できるイルミネーションは次のようになります。
電話およびメール着信時のイルミネーションの優先順位は、「電話番号やメールアドレスごとの設定」→「グループごとの設定」→「着信イルミネーション設定」の順になります。

イルミネーションの種類		内　容	参照先
音声電話の着信	電話番号ごとのイルミネーション	設定した電話番号から着信したとき（発信者番号の通知があるとき）	P.161
	グループごとのイルミネーション	設定したグループに登録されている相手から着信したとき（発信者番号の通知があるとき）	P.162
	電話	音声電話の着信	P.161
テレビ電話の着信	電話番号ごとのイルミネーション	設定した電話番号から着信したとき（発信者番号の通知があるとき）	P.161
	グループごとのイルミネーション	設定したグループに登録されている相手から着信したとき（発信者番号の通知があるとき）	P.162
	TV電話	テレビ電話の着信	P.161
メールの着信	メールアドレスごとのメールイルミネーション	設定したメールアドレスからのメールを受信したとき	P.161
	グループごとのメールイルミネーション	設定したグループに登録されている相手からメールを受信したとき	P.162
	メール	iモードメール、ショートメッセージ（SMS）を受信したとき	P.161
メッセージリクエストの着信		メッセージリクエストを受信したとき	P.161
メッセージフリーの着信		メッセージフリーを受信したとき	P.161

着信イルミネーションを設定する

1 (メニュー) ▶ 各種設定 ▶ **着信** ▶ **着信イルミネーション** ▶ **着信イルミネーション選択**

電話‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥音声電話がかかってきたときの着信イルミネーションを設定します。
TV電話‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥テレビ電話がかかってきたときの着信イルミネーションを設定します。
メール‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥iモードメール、ショートメッセージ（SMS）を受信したときの着信イルミネーションを設定します。
メッセージリクエスト‥メッセージリクエストを受信したときの着信イルミネーションを設定します。
メッセージフリー‥‥‥メッセージフリーを受信したときの着信イルミネーションを設定します。

2 **着信イルミネーションを選択** ▶ ◎

色1～色12 ‥‥‥‥‥‥‥それぞれの色で点滅します。
グラデーション‥‥‥‥色1～色12が順番に点滅します。
●選択中は、確認のため着信／充電ランプが点灯します。

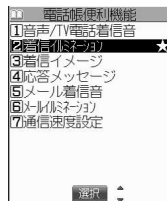
電話番号やメールアドレスごとに設定する

電話がかかってきたときや、メールを受信したときに、電話番号とメールアドレスそれぞれに設定した着信イルミネーションでお知らせします。
FOMA端末（本体）の電話帳に登録されている700件すべての電話番号とメールアドレスに設定することができます。ただし、「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には設定できません。

1 **電話帳の詳細画面** ▶ (機能) ▶ **電話帳便利機能**

着信イルミネーション ‥‥設定した電話番号から音声電話、テレビ電話がかかってきたときの着信イルミネーションを設定します。
メールイルミネーション ‥設定したメールアドレスからiモードメール、ショートメッセージ（SMS）を受信したときの着信イルミネーションを設定します。
●電話帳の検索方法についてはP.123参照。
●詳細画面で ◎ を押して電話帳便利機能を設定する電話番号またはメールアドレスを表示させます。

2 **着信イルミネーションを選択** ▶ ◎

設定された項目に「★」マークが付きます。

■電話番号やメールアドレスの着信イルミネーションを解除するとき
手順2の画面で「着信イルミネーション　★」または「メールイルミネーション　★」を選択し、◎ を押します。
設定が解除されて「★」マークが消えます。

お知らせ

●「ダイヤル発信制限」設定中は、設定できません。
●「電話帳便利機能」の「着信イルミネーション」の設定は相手が発信者番号を通知してこないときは無効になりますのでご注意ください。「番号通知お願いサービス」を設定しておくと便利です。
●設定した電話番号やメールアドレスを変更すると、本機能は解除されますのでご注意ください。
●設定した着信イルミネーションを変更するときは、現在の設定を解除してから行います。
●相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスを電話帳に登録していなくても電話番号が電話帳に登録されていればメールイルミネーションを設定することができます。
●「電話帳便利機能」で電話帳のどの電話番号やメールアドレスが設定されているかを確認したり設定を解除することができます。

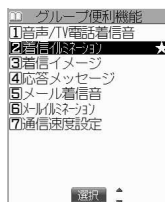
グループごとに設定する

グループに登録されている相手から電話がかかってきたときや、メールを受信したときに、グループそれぞれに設定した着信イルミネーションでお知らせします。
FOMA端末（本体）の電話帳に登録されている「グループ00」を除く各グループに設定することができます。ただし、FOMAカードの電話帳には設定できません。電話番号やメールアドレスごとに着信イルミネーションが設定されている場合は、そちらの設定が優先されます。

1 **メニュー▶電話帳▶グループ設定▶グループを選択▶ (機能)▶グループ便利機能**

着信イルミネーション ‥‥設定したグループから音声電話、テレビ電話がかかってきたときの着信イルミネーションを設定します。
メールイルミネーション ‥設定したグループからｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）を受信したときの着信イルミネーションを設定します。

2 **着信イルミネーションを選択▶**

設定された項目に「★」マークが付きます。

■グループの着信イルミネーションを解除するとき
手順2の画面で「着信イルミネーション ★」または「メールイルミネーション ★」を選択し、を押します。設定が解除されて「★」マークが消えます。

お知らせ

●「ダイヤル発信制限」設定中は、設定できません。
●「グループ便利機能」の「着信イルミネーション」の設定は相手が発信者番号を通知してこないときは無効になりますのでご注意ください。「番号通知お願いサービス」を設定しておくと便利です。
●設定した着信イルミネーションを変更するときは、現在の設定を解除してから行います。
●複数のグループに同じ電話番号やメールアドレスが登録されているときは、行検索の検索順で先に呼び出される電話番号やメールアドレスのグループに設定されている着信イルミネーションが優先されます。
●シークレットデータと通常の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定することができますが、シークレットデータからの着信では設定は無効になりますのでご注意ください。
●「電話帳便利機能」でどのグループが設定されているかを確認したり設定を解除することができます。

点滅パターンを設定する

お買い上げ時
固定パターン

着信イルミネーションの点滅パターンを設定します。

1 **(メニュー)▶(各種設定)▶着信▶着信イルミネーション▶パターン設定**

固定パターン‥‥‥‥‥約0.5秒間点灯→約0.5秒間消灯の繰り返しで点滅します。
メロディ連動‥‥‥‥‥着信音に合わせて点滅します。

お知らせ

●「着信音選択」で「ブザー1」～「ブザー3」に設定している場合は、「固定パターン」に設定しても、「メロディ連動」で点滅します。
●「メロディ連動」に設定していても、着信音にメロディ連動対応の点滅パターンが登録されていない場合は「固定パターン」で点滅します。
●「着信音選択」でｉモーションを着信音に設定している場合は、「固定パターン」で点滅します。

カラー名を変更する

着信イルミネーション「色1」～「色12」のカラー名を変更します。

1 **(メニュー)▶(各種設定)▶着信▶着信イルミネーション▶カラー設定▶カラー名編集▶色を選択▶(決定)**

2 **名前を入力▶(決定)**

●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
●文字の入力方法についてはP.304参照。

お知らせ

●「グラデーション」についてはカラー名の変更はできません。

カラー調節をする

着信イルミネーション「色1」～「色12」のカラー調節をします。

1 **(メニュー)▶(各種設定)▶着信▶着信イルミネーション▶カラー設定▶カラー調節▶色を選択▶(決定)**

2 **(方向)でカラーを調節▶(決定)**

(上下)で色を選択し、(左右)で色調を変更します。

お知らせ

●「グラデーション」についてはカラー調節はできません。色1～色12が順番に点滅します。

<通話中イルミネーション>

通話中の着信／充電ランプの点滅を設定する

お買い上げ時
OFF

通話中の着信／充電ランプの点滅色を設定します。

1 ▶**通話**▶**通話中イルミネーション**

OFF…………………点滅しません。
色1～7 ………………一色で点滅します。
グラデーション1～3 …グラデーションパターンで点滅します。
●選択中は、確認のため着信／充電ランプが点滅します。

お知らせ

●「伝言メモ」の録音中、応答メッセージ再生中、応答保留中も通話中と同じパターンで着信／充電ランプが点滅します。

<保留音選択>

応答保留音を設定する

お買い上げ時
応答保留音1

応答保留中（P.101参照）に相手側に流れるガイダンスを4種類の中から選択することができます。

   ▶**通話**▶**保留音選択**

応答保留音1 ……….「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるかしばらくたってからおかけ直しください。」と流れます。
応答保留音2 ……….「ただいま電話に出ることができません。しばらくたってからおかけ直しください。」と流れます。
おしゃべり1 ……….「おしゃべり機能」で録音した音声が流れます。録音されていないときは表示されません。
おしゃべり2 ……….「おしゃべり機能」で録音した音声が流れます。録音されていないときは表示されません。

お知らせ

●応答保留音選択中に ✉（デモ）を押すと、ガイダンスを最初から聞くことができます。ガイダンスは クリア を押して止めることができます。
マナーモードに設定中は、「マナーモード中です 再生しますか？」とメッセージが表示されます。
「YES」を選択し、◉ を押すとガイダンスが流れます。
中止する場合は「NO」を選択し、◉ を押します。

着信時のボタン動作を設定する

お買い上げ時
エニーキーアンサー

電話がかかってきたとき、 、 以外のボタンで電話を受けたり(エニーキーアンサー)、着信音を止める(クイックサイレント)ように設定できます。
クイックサイレントは、会議中や人混みで電話がかかってきたときなど、すぐに着信音を止められるようにしたいときに便利です。着信音を止めても相手には呼び出し音が鳴っていますので、場所を移動してから電話を受けることができます。

1 メニュー▶各種設定▶着信▶着信アンサー設定

エニーキーアンサー････電話がかかってきたときに、0～9、#、クリア、、、、 を押して電話を受けます。

クイックサイレント････電話がかかってきたときに、0～9、#、クリア、、、、 のいずれかのボタンを押して着信音、バイブレータを止められます。また、「オープン設定」を「着信継続」に設定している場合は、FOMA端末を開いても着信音、バイブレータを止められます。
、 (テレビ電話着信の場合は も含む)を押すと通話ができます。

OFF･･････････････････、 (テレビ電話着信の場合は も含む)を押したときのみ電話を受けることができます。

お知らせ

- テレビ電話がかかってきたときは「エニーキーアンサー」は無効になります。
- 「クイックサイレント」に設定していても、「マナーモード」を設定したときには、「エニーキーアンサー」として機能します。
- エニーキーアンサー／クイックサイレント設定時でも、5を1秒以上押すと、バックライトON/OFF切替となり、エニーキーアンサー／クイックサイレントは働きません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しているときは、「着信アンサー設定」に関わらず、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押しても電話を受けることができます。テレビ電話の場合、相手には「画像選択」の「代替画像」で設定した画像が送信されます。
- 「オープン設定」を「着信応答」に設定している場合は、「着信アンサー設定」に関わらず、FOMA端末を開いて電話を受けることができます。

<オープン設定>
着信中にFOMA端末を開いたときの動作を設定する

お買い上げ時 着信継続

着信中に、FOMA端末を開くだけで通話を開始するかどうかを設定します。
「着信応答」に設定した場合は、ワンプッシュオープンボタンを押してFOMA端末を開いても、通話を開始することができます。**（P.53参照）**

1 **▶着信▶オープン設定**

電話・・・・・・・音声電話がかかってきたときのオープン設定をします。
TV電話・・・・テレビ電話がかかってきたときのオープン設定をします。

2 **着信継続・着信応答**

着信継続・・・FOMA端末を開いても通話を開始しません。
着信応答・・・FOMA端末を開くと通話を開始します。テレビ電話の場合、相手には「画像選択」の「代替画像」で設定した画像が送信されます。

お知らせ

- 「着信応答」に設定して閉じた状態で着信した場合、応答保留（P.101参照）、着信拒否（P.71、84参照）、着信中の留守番電話サービス（P.278参照）、着信中の転送でんわサービス（P.287参照）は利用できません。
- 「着信応答」に設定した場合、FOMA端末を閉じているときは、着信中にワンプッシュオープンボタンが点滅します。点滅する色は変更できません。
- 「呼出時間表示設定」が有効な場合、着信があっても設定した時間内はワンプッシュオープンボタンは点滅しません。

<クローズ動作設定>

通話中にFOMA端末を折りたたんだときの動作を設定する

お買い上げ時 終話

通話中にFOMA端末を折りたたんだときの動作を設定します。

  ▶着信▶クローズ動作設定

ミュート・・・音声をミュート（消音）します。保留音は流れません。
テレビ電話の場合、相手には「画像選択」の「代替画像」で設定した画像が送信されます。
保留・・・・・・・折りたたんでいる間、相手に保留音（エリーゼのために）が流れます。また、スピーカからも保留音が流れます。
テレビ電話中の場合、相手には「画像選択」の「通話中保留」で設定した静止画が送信されます。
終話・・・・・・・通話を終了します。通話中に を押す操作と同じです。

お知らせ

- 本機能は、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは無効になります。音声電話中にFOMA端末を折りたたんでも通話状態は変化しません。テレビ電話中にFOMA端末を折りたたんだ場合は、相手には「画像選択」の「代替画像」で設定した画像が送信され通話が継続します。
- 「終話」に設定していても、FOMA端末を折りたたんだときに、マルチタスク中のｉモードグループの機能やツールグループの機能は終了しません。
- 「終話」に設定し、ｉモード中に通話した電話をFOMA端末を折りたたんで切ったときは、通話をする前のｉモード中の画面に戻ります。
- 「保留」に設定していても、「話中着信サービス（キャッチホン）」をご契約され、通話中に「マルチ接続中」と表示されている場合にFOMA端末を折りたたんだときは「ミュート」の動作となります。

＜通話中時間表示＞

通話時間の表示を設定する

お買い上げ時
ON

「ON」に設定すると通話中に通話時間を表示します。

1 ▶**時間**▶**通話中時間表示**

ON ・・・・・・・通話中に通話時間を表示します。
OFF・・・・・・・通話中に通話時間を表示しません。

■「通話中時間表示」を「ON」に設定した場合

通話中の画面に現在の通話時間を表示します。
また、本機能の設定にかかわらず、日付時刻（P.56参照）が設定されている場合は、現在時刻が表示されます。

音声電話の場合

テレビ電話の場合

お知らせ

●表示される通話時間は目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。
●ｉモード通信、パケット通信の通信時間は表示されません。
●通話時間が「999分59秒」を超えた場合は、「00秒」に戻ります。

<通話時間>

通話時間を確認する

直前の通話時間および積算の通話時間をお知らせします。

1 ▶**時間**▶**通話時間**

前回通話時間 ･････････直前の通話時間を表示します。
音声電話、テレビ電話の区別はされません。

積算通話時間 ･････････積算リセット時から現在までの通話時間を表示します。
音声通話　：音声電話の積算通話時間を表示します。
デジタル通信　：テレビ電話と64Kデータ通信の積算通話時間を表示します。

積算リセット日時 ･･････前回積算リセットを行った日付時刻を表示します。
日付時刻（P.56参照）が設定されていない場合や、日付時刻設定後、積算リセットを1回も行っていない場合は、表示されません。

お知らせ

- 通話時間は、1時間を超えたときも「分」「秒」で表示します。
  例：1時間18分30秒→「78分30秒」
- 通話時間が「9999分59秒」を超えた場合は、「00秒」に戻ります。
- テレビ電話の積算通話時間は、デジタル通信のため、音声電話による「音声通話」ではなく「デジタル通信」として表示されます。
- ｉモード通信、パケット通信の通信時間は含まれません。
- 電源を切ると、前回通話時間は「00秒」に戻りますが、積算通話時間の情報は残ります。
- 表示される通話時間は目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。

<積算リセット>

積算時間をリセットする

前回通話時間および積算通話時間をゼロに戻します。

1 ▶**時間**▶**積算リセット**▶**積算時間リセット**▶**YES**▶**端末暗証番号を入力**▶◉

前回通話時間および積算通話時間がゼロに戻ります。
- 中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。
- 端末暗証番号についてはP.198参照。

<着信音選択>

FOMA端末の着信音を変更する

**他の人の携帯電話などの音とお客様のFOMA端末の着信音を区別するのに役立ちます。
音声電話、テレビ電話、メール、メッセージリクエスト、メッセージフリーの着信にそれぞれ着信音を設定することができます。また、電話番号やメールアドレス、グループからの着信それぞれに着信音を設定することもできます。
音声電話とテレビ電話の着信音にｉモーションを選択すると、電話がかかってきたときにｉモーションが再生され、音声が流れます。（着モーション）**

お買い上げ時
電話・・・・・・・・・・・・・・・・・・ブザー1
TV電話・・・・・・・・・・・・・・・ブザー1
メール・・・・・・・・・・・・・・・・ブザー2
メッセージリクエスト・・ブザー3
メッセージフリー・・・・・・ブザー3

各機能に設定できる着信音は次のようになります。

電話およびメール着信時の着信音の優先順位は、「電話番号やメールアドレスごとの設定」→「グループごとの設定」→「着信音選択」の順になります。また、着信音にｉモーションが選択されている場合は、「画面表示設定」などよりも優先してｉモーションが再生されます。

着信音の種類		内　容	参照先
音声電話の着信	電話番号ごとの着信音	設定した電話番号から着信したとき（発信者番号の通知があるとき）	P.172
	グループごとの着信音	設定したグループに登録されている相手から着信したとき（発信者番号の通知があるとき）	P.173
	電話	音声電話の着信	P.171
テレビ電話の着信	電話番号ごとの着信音	設定した電話番号から着信したとき（発信者番号の通知があるとき）	P.172
	グループごとの着信音	設定したグループに登録されている相手から着信したとき（発信者番号の通知があるとき）	P.173
	TV電話	テレビ電話の着信	P.171
メールの着信	メールアドレスごとのメール着信音	設定したメールアドレスからのメールを受信したとき	P.172
	グループごとのメール着信音	設定したグループに登録されている相手からメールを受信したとき	P.173
	メール	ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）を受信したとき	P.171
メッセージリクエストの着信		メッセージリクエストを受信したとき	P.171
メッセージフリーの着信		メッセージフリーを受信したとき	P.171

次ページにつづく

着信音一覧

表　示	曲　名	作曲者
ブザー1	–	–
ブザー2	–	–
ブザー3	–	–
ファンファーレ※3	ファンファーレ	植松　伸夫
大事なものゲット※3	大事なものゲット	植松　伸夫
効果音1	–	–
効果音2	–	–
効果音3	–	–
効果音4	–	–
効果音5	–	–
効果音6	–	–
オリジナル着信音－1※1 ～ オリジナル着信音－160※1	– ～ –	– ～ –
やさしい気持ち	やさしい気持ち	CHARA
AFRICA	AFRICA	PAICH DAVID PORCARO JEFFREY T
ルパン三世 '79	ルパン三世　'79	大野　雄二
プレリュード※3	プレリュード	植松　伸夫
オープニングテーマ※3	オープニングテーマ	植松　伸夫
月の光	月の光	DEBUSSY CLAUDE ACHILL
I GOT RHYTHM	I GOT RHYTHM	GERSHWIN GEORGE
第九	第九	VAN BEETHOVEN LUDWIG
おしゃべり1※2	–	–
おしゃべり2※2	–	–
OFF（着信音OFF）	–	–

※1　「オリジナル着信音」を登録しているときに曲名が表示されます。
　　最大160曲（データ量によっては最大20曲）まで登録することができます。
※2　「おしゃべり1」「おしゃべり2」を録音しているときに表示されます。
（注）表示・曲名・作曲者のローマ字は大文字で表記しています。
　　作曲者名はJASRACホームページ・コピナビホームページに準拠して表示しています。
　　曲名が長い場合、画面サイズの関係で曲名をすべて表示できないことがあります。

JASRAC 許諾番号：T-03B0317

許諾番号：0001408JRCL

※3 © 1987, 2004 SQUARE ENIX CO., LTD. All Rights Reserved.

着信音を設定する

1 メニュー ▶ 各種設定 ▶ **着信** ▶ **着信音選択**

電話 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・音声電話がかかってきたときの着信音またはｉモーションを設定します。
TV電話 ・・・・・・・・・・・・・・・テレビ電話がかかってきたときの着信音またはｉモーションを設定します。
メール ・・・・・・・・・・・・・・・・ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）を受信したときの着信音を設定します。手順3へ進みます。
メッセージリクエスト・・メッセージリクエストを受信したときの着信音を設定します。手順3へ進みます。
メッセージフリー・・・・・・メッセージフリーを受信したときの着信音を設定します。手順3へ進みます。

2 **着信音またはｉモーションの種類を選択** ▶ ◉

ブザー／効果音／メロディ ・・・・・・・・着信音一覧から選択します。
ｉモーション／カメラ ・・・・・・・・・・・・動画を「カメラ」フォルダ（アプリケーション編P.336参照）から選択します。
ｉモーション／ｉモード ・・・・・・・・・・動画を「ｉモード」フォルダ（アプリケーション編P.336参照）から選択します。
ｉモーション／編集 ・・・・・・・・・・・・・・動画を「編集」フォルダ（アプリケーション編P.336参照）から選択します。
ｉモーション／キャラ電ムービー ・・動画を「キャラ電ムービー」フォルダ（アプリケーション編P.336参照）から選択します。
OFF ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・着信音は鳴りません。設定が終了します。

3 **着信音またはｉモーションを選択** ▶ ◉

●着信音の選択中は、確認のため着信音が鳴ります。
●手順2で「ｉモーション／カメラ」、「ｉモーション／ｉモード」、「ｉモーション／編集」、「ｉモーション／キャラ電ムービー」を選択した場合、✉（デモ）を押すとデモ再生され、ｉモーションを確認できます。（アプリケーション編P.351参照）
●「OFF」を選択すると着信音は鳴りません。

お知らせ

●着信音選択中に流れる着信音の音量は「着信音量」で設定してください。ただし、着信音量を「消去」に設定している場合は着信音は鳴りません。
●ダウンロードしたり、メールに添付されていたり、メールへの添付、FOMA端末外への出力が禁止されているメロディには、あらかじめ演奏部分が指定されていることがあります。そのようなメロディを着信音などに設定したときは指定部分だけが演奏されます。
●相手が発信者番号を通知してこない着信については、「非通知着信設定」で着信音を設定することができます。（P.155参照）
●以下のｉモーションは着信音（着モーション）に設定することができません。
・音声のないｉモーション
・着モーションに対応していないｉモーション
・テロップのあるｉモーション
・再生制限のあるｉモーション
・ｉモーションメールで取得したｉモーション
・手順2で「ｉモーション／カメラ」または「ｉモーション／編集」を選択した場合は、カメラで撮影されていないｉモーション
着モーションに設定できるファイルかどうかは、情報表示でご確認いただけます。
（アプリケーション編P.342参照）

電話番号やメールアドレスごとに設定する

電話がかかってきたときや、メールを受信したときに、電話番号とメールアドレスそれぞれに設定した着信音を鳴らしてお知らせします。
FOMA端末（本体）の電話帳に登録されている700件すべての電話番号とメールアドレスに設定することができます。ただし、「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には設定できません。

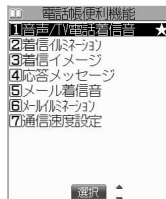
電話帳の詳細画面▶ (機能)▶電話帳便利機能

音声／TV電話着信音 ･･･設定した電話番号から音声電話、テレビ電話がかかってきたときの着信音またはｉモーションを設定します。
以降、P.171手順2から操作を行って着信音またはｉモーションを選択します。

メール着信音 ･････････設定したメールアドレスからｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）を受信したときの着信音を設定します。
以降、P.171手順3の操作を行って着信音を選択します。

設定された項目に「★」マークが付きます。

電話帳便利機能
1 音声／TV電話着信音 ★
2 着信イルミネーション
3 着信イメージ
4 応答メッセージ
5 メール着信音
6 メールイルミネーション
7 通信速度設定
選択

- 電話帳の検索方法についてはP.123参照。
- 詳細画面で を押して電話帳便利機能を設定する電話番号またはメールアドレスを表示させます。

■電話番号やメールアドレスの着信音を解除するとき
手順1の画面で「音声／TV電話着信音　★」または「メール着信音　★」を選択し、 を押します。
設定が解除されて「★」マークが消えます。

お知らせ

- 「ダイヤル発信制限」設定中は、設定できません。
- 「電話帳便利機能」の「音声／TV電話着信音」の設定は相手が発信者番号を通知してこないときは無効になりますのでご注意ください。
  「番号通知お願いサービス」を設定しておくと便利です。
- 設定した電話番号やメールアドレスを変更すると、本機能は解除されますのでご注意ください。
- 設定した着信音を変更するときは、現在の設定を解除してから行います。
- 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスを電話帳に登録していなくても電話番号が電話帳に登録されていればメール着信音を設定することができます。
- 「電話帳便利機能」で電話帳のどの電話番号やメールアドレスが設定されているかを確認したり設定を解除することができます。
- 着信音選択中の着信／充電ランプ、コマンドナビゲーションボタンの点滅パターンは「着信イルミネーション」の設定状況によって変わります。

グループごとに設定する

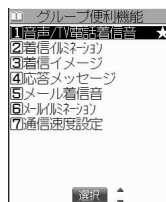
グループに登録されている相手から電話がかかってきたときや、メールを受信したときに、グループそれぞれに設定した着信音を鳴らしてお知らせします。
FOMA端末(本体)の電話帳に登録されている「グループ00」を除く各グループに設定することができます。ただし、FOMAカードの電話帳には設定できません。
電話番号やメールアドレスごとに着信音が設定されている場合は、そちらの設定が優先されます。

1 **メニュー▶電話帳▶グループ設定▶グループを選択▶(機能)▶グループ便利機能**

グループ便利機能
1 音声/TV電話着信音 ★
2 着信イルミネーション
3 着信イメージ
4 応答メッセージ
5 メール着信音
6 メールイルミネーション
7 通信速度設定
選択

音声/TV電話着信音 ･･･設定したグループから音声電話、テレビ電話がかかってきたときの着信音またはｉモーションを設定します。
以降、P.171手順2から操作を行って着信音またはｉモーションを選択します。

メール着信音 ･･････････設定したグループからｉモードメール、ショートメッセージ(SMS)を受信したときの着信音を設定します。
以降、P.171手順3の操作を行って着信音を選択します。

設定された項目に「★」マークが付きます。

■グループの着信音を解除するとき
手順1の画面で「音声/TV電話着信音　★」または「メール着信音　★」を選択し、◉を押します。
設定が解除されて「★」マークが消えます。

お知らせ

- 「ダイヤル発信制限」設定中は、設定できません。
- 「グループ便利機能」の「音声/TV電話着信音」の設定は相手が発信者番号を通知してこないときは無効になりますのでご注意ください。
  「番号通知お願いサービス」を設定しておくと便利です。
- 設定した着信音を変更するときは、現在の設定を解除してから行います。
- 複数のグループに同じ電話番号やメールアドレスが登録されているときは、行検索の検索順で先に呼び出される電話番号やメールアドレスのグループに設定されている着信音が優先されます。
- シークレットデータと通常の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定することができますが、シークレットデータからの着信では設定は無効になり、「着信音選択」で選択した着信音が鳴ります。
- 「電話帳便利機能」でどのグループが設定されているかを確認したり設定を解除することができます。
- 着信音選択中の着信/充電ランプ、コマンドナビゲーションボタンの点滅パターンは「着信イルミネーション」の設定状況によって変わります。

＜おしゃべり機能＞

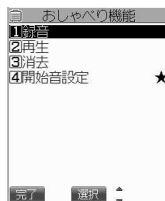
録音した音を着信音などに使用する

お客様の声などを録音して各種着信音、応答保留音、「アラーム」「スケジュール」「ToDo」のアラーム音、伝言メモの応答メッセージに使用することができます。
録音できるのは1件につき約15秒間で、2件までです。

録音する

「おしゃべり1」と「おしゃべり2」にお客様の声などを録音します。

1   **おしゃべり機能▶おしゃべり1・おしゃべり2▶録音**

●何も録音されていない場合は、「再生」「消去」「開始音設定」は表示されません。
●すでに録音されているデータがあるときは上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
上書きする場合は「YES」を選択し、◎を押します。
中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

「ピッ」と鳴って録音が始まります。
●録音を途中でやめるときは◎または クリア を押します。
●録音時間（約15秒間）が終わる5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
録音が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、「おしゃべり1／2録音中」の表示が消えて元の画面に戻ります。

お知らせ

●録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「ToDo」のアラームが鳴ったとき、マルチタスクで画面を切り替えたときには、録音を停止します。（それまでの録音内容は保存されます。）
●録音中に HLD を押すと、録音を停止し、待受画面に戻ります。（それまでの録音内容は保存されます。）

再生する

録音されたデータを再生します。

 ▶おしゃべり機能▶おしゃべり1・おしゃべり2▶再生

再生が始まります。

●再生を途中でやめるときは ◉ 、HLD または クリア を押します。

●再生が終わると「おしゃべり1／2再生中」の表示が消えて元の画面に戻ります。

お知らせ

●マナーモードに設定中は、「マナーモード中です 再生しますか？」と表示されます。
「YES」を選択し、 ◉ を押すと再生が始まります。
中止する場合は「NO」を選択し、 ◉ を押します。

開始音を設定する

お買い上げ時 ON

「おしゃべり1」または「おしゃべり2」が「アラーム」「スケジュール」「ToDo」のアラーム音に設定されている場合、アラームが鳴る前に「ピピッ」という開始音を鳴らすかどうかを設定します。

 ▶おしゃべり機能▶おしゃべり1・おしゃべり2▶開始音設定

ON ・・・・・・・開始音を鳴らします。

OFF・・・・・・・開始音を鳴らしません。

●「ON」に設定されていると、「開始音設定」に「★」マークが付きます。

お知らせ

●「開始音設定」で行った設定は、録音された「おしゃべり1」または「おしゃべり2」を消去しても、保持されます。

消去する

録音されたデータを消去します。

 ▶おしゃべり機能▶おしゃべり1・おしゃべり2▶消去▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、 ◉ を押します。

お知らせ

●おしゃべり機能の設定は他の機能（ツールグループの各機能）が動作中など、何かの操作をしているときは設定できません。

<ボタン確認音>

ボタンを押したときの音を設定する

お買い上げ時
ON

この機能を「ON」に設定すると、ボタンが確実に押されたかどうかを音で確認しながら操作できます。

1 メニュー ▶ 各種設定 ▶ **その他** ▶ **ボタン確認音**

ON ･･･････ボタン確認音を鳴らします。
OFF･･･････ボタン確認音を鳴らしません。

お知らせ

●待受中、音声電話中に設定できます。テレビ電話中には設定できません。
●本機能を「OFF」に設定したときは、次の音も鳴りません。
・各種警告音
・電池残量確認音（P.55参照）
●「着信音量」の「電話／TV電話」で着信音量を変えると、ボタン確認音の音量も同じように変わります。「ステップ」に設定したときは、レベル2で鳴ります。
●以下の場合はボタン確認音は鳴りません。
・着信中
・キャラ電通話中
・応答保留中
・応答保留音再生中
・伝言メモの応答メッセージ再生中
・伝言メモ再生中
・音声メモ再生中
・おしゃべり機能再生中
・動画／ｉモーション再生中
・動画／ｉモーション編集中

<充電確認音>

充電開始／終了時の音を設定する

お買い上げ時
ON

この機能を「ON」に設定すると、充電の開始と終了を音で確認できます。

1 メニュー ▶ 各種設定 ▶ **その他** ▶ **充電確認音**

ON ･･･････充電確認音を鳴らします。
OFF･･･････充電確認音を鳴らしません。

お知らせ

●ドライブモード、マナーモード中や、待受画面以外では充電確認音が「ON」に設定されていても確認音は鳴りません。
●充電確認音は「着信音量」の「電話／TV電話」で設定した音量で鳴ります。

<画面表示設定>

画面の表示を変更する

待受画面、ウェイクアップ画面、電話の発信・着信、メールの送信・受信、問い合わせのときなどに表示する画像を設定します。また、ディスプレイの省電力動作を行うか行わないかを設定します。

待受画面を設定する

お買い上げ時
マリーナ

電話を使っていないときに表示する画像を設定します。
「OFF(画像表示なし)」、「カレンダー」、「内蔵イメージ(6件)」、「イメージ/カメラ」、「イメージ/ｉモード」、「イメージ/編集」、「イメージ/キャラ電イメージ」、「自作アニメ」、「ｉモーション/カメラ」、「ｉモーション/ｉモード」、「ｉモーション/編集」および「ｉモーション/キャラ電ムービー」に登録されている画像の中から選択します。
「内蔵イメージ」、「イメージ/ｉモード」に登録されているアニメーションや「自作アニメ」を設定したときは、FOMA端末を開いたときにアニメーションで表示され、最初の1コマ目が待受画面として表示されます。

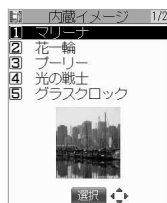
1 メニュー ▶**ディスプレイ**▶**画面表示設定**▶**待受画面**

OFF……待受画面に画像を表示しません。
カレンダー……待受画面にカレンダーを表示します。
内蔵イメージ……FOMA端末(本体)内蔵の静止画やアニメーションから選択します。
イメージ/カメラ……静止画を「カメラ」フォルダ(アプリケーション編P.302参照)から選択します。
イメージ/ｉモード……静止画やアニメーションまたはFlash画像を「ｉモード」フォルダ(アプリケーション編P.302参照)から選択します。
イメージ/編集……静止画を「編集」フォルダ(アプリケーション編P.302参照)から選択します。
イメージ/キャラ電イメージ……静止画を「キャラ電イメージ」フォルダ(アプリケーション編P.302参照)から選択します。
自作アニメ……待受画面に「自作アニメ」(アプリケーション編P.334参照)を表示します。
ｉモーション/カメラ……動画を「カメラ」フォルダ(アプリケーション編P.336参照)から選択します。
ｉモーション/ｉモード……動画を「ｉモード」フォルダ(アプリケーション編P.336参照)から選択します。
ｉモーション/編集……動画を「編集」フォルダ(アプリケーション編P.336参照)から選択します。
ｉモーション/キャラ電ムービー……動画を「キャラ電ムービー」フォルダ(アプリケーション編P.336参照)から選択します。

●「OFF」、「カレンダー」または「自作アニメ」を選択し、◉を押すと設定が終了します。
●「日付時刻設定」で日付・時刻を設定していない場合、「カレンダー」は表示されず、選択することはできません。
●「自作アニメ」を選択し、✉(デモ)を押すとデモ再生され、アニメーションを確認できます。

次ページにつづく

2 画像を選択▶◎

●手順1で「ｉモーション／カメラ」、「ｉモーション／ｉモード」、「ｉモーション／編集」、「ｉモーション／キャラ電ムービー」を選択した場合、✉（デモ）を押すとデモ再生され、ｉモーションを確認できます。（アプリケーション編P.351参照）

内蔵イメージを選択した場合

■カレンダーを設定したときは

待受画面に当月のカレンダーが表示されます。簡単な操作で前後のカレンダーを確認したり、スケジュールの設定（P.218参照）ができるようになります。
祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成13年法律第59号）」に基づいています。（2004年5月現在）

●前後の月のカレンダーを確認します

・待受画面で◎を押したあとに◎を押すと前の月のカレンダーが、◎を押すと次の月のカレンダーが表示されます。
・待受画面にメールアドレスやURLの貼り付けアイコンがデスクトップにあるときは、◎を押すと前回使った貼り付けアイコンまたはカレンダーが選択されます。
◎でカレンダーを選択し、もう一度◎を押してから◎で前の月、次の月のカレンダーを表示します。

●続けてスケジュールの設定ができます

もう一度◎を押すと表示している月の「スケジュール」が設定できます。

■ｉモーションを設定したとき

FOMA端末を開いてもｉモーションは再生されません。最初の1コマ目が待受画面として表示されます。
待受画面でクリアを押すとｉモーションが再生されます。（アプリケーション編P.341参照）

■内蔵イメージの種類

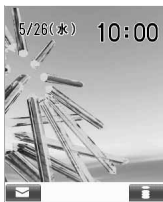
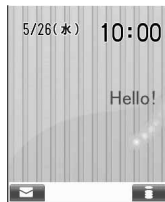
<マリーナ※1>

<花一輪※1>

<プーリー※1>

<光の戦士※2>

<グラスクロック>

<Hello!>

※1 © MINEKO ORISAKU
※2 © 1987, 2004 SQUARE ENIX CO., LTD. All Rights Reserved.

お知らせ

- ｉモーションによっては待受画面に設定できないものもあります。
- 「オート表示」を設定しているときは、オート表示の設定が優先となり、FOMA端末を開いたときに画像は表示されません。
- ｉアプリ待受画面（アプリケーション編P.100参照）を設定すると、「画面表示設定」の「待受画面」で設定した画像は表示されません。

ウェイクアップ画面を設定する

お買い上げ時
Hello!

電源を入れたときに表示するメッセージや静止画またはアニメーションを設定します。
「OFF（ウェイクアップ表示なし）」、「メッセージ」、「内蔵イメージ（6件）」、「イメージ／カメラ」、「イメージ／ｉモード」、「イメージ／編集」、「イメージ／キャラ電イメージ」および「自作アニメ」に登録されている画像の中から選択できます。

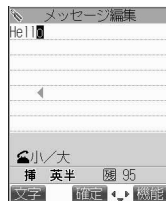
1

▶ウェイクアップ表示▶メッセージ

- ウェイクアップ画面の表示を「OFF」、「内蔵イメージ」、「イメージ／カメラ」、「イメージ／ｉモード」、「イメージ／編集」、「イメージ／キャラ電イメージ」または「自作アニメ」に設定するときは、P.177の操作を行って画像を設定します。ただし、Flash画像は選択できません。

2 **メッセージを入力▶◉**

メッセージを選択した場合

- 全角50文字まで、半角100文字まで入力できます。
- 文字の入力方法についてはP.304参照。

電話発着信時などの画面を設定する

お買い上げ時
スタンダード

「電話発信」、「電話着信」、「メール送信」、「メール受信」、「問い合わせ」の各画面に表示する画像を設定します。
「内蔵イメージ」（3件）、「イメージ／カメラ」、「イメージ／ｉモード」、「イメージ／編集」、「イメージ／キャラ電イメージ」および「自作アニメ」に登録されている静止画またはアニメーションの中から選びます。

1 (メニュー)▶各種設定▶ディスプレイ▶画面表示設定

電話発信 ･･････････････電話をかけているときに表示する画像を設定します。
電話着信 ･･････････････電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。
メール送信 ････････････メールを送信しているときに表示する画像を設定します。
メール受信 ････････････メールやメッセージ（R/F）を受信しているときに表示する画像を設定します。
問い合わせ ････････････「サービス問い合わせ」や「ｉモード問い合わせ」などをしているときに表示する画像を設定します。

以降、P.177の操作を行って画像を設定します。ただし、Flash画像は選択できません。

■内蔵イメージの種類（電話発信）

＜スタンダード＞

＜グラデーション＞

＜イルミネーション＞

お知らせ

●電話着信時の画像の優先順位は、「電話番号ごとの設定」→「グループごとの設定」→「電話帳画像着信設定」→「画面表示設定」の順になります。
●登録できる画像は、画像サイズがVGA（640×480）以下で最大100KバイトまでのJPEG画像、GIF画像です。

省電力モードを設定する

お買い上げ時 ON

ディスプレイとプライベートウィンドウの表示を消して電池の消費を減らす省電力設定のON／OFFを設定します。
「ON」に設定し、待受画面表示時に何も操作をしないで一定時間経過すると表示がOFFになり、FOMA端末を開いているときはコマンドナビゲーションボタンが5秒間隔で点滅します。
省電力モードは、ボタンを押したとき、電話がかかってきたとき、メールやメッセージ(R/F)を受信したとき、アラーム音(アラーム、スケジュール、ToDo、電池切れなど)が鳴ったときやｉアプリのソフトが自動起動したとき、本体を開け閉めしたときには解除されます。

(メニュー)▶各種設定▶ディスプレイ▶画面表示設定▶省電力

ON ・・・・・・・省電力設定をONにします。
OFF・・・・・・・省電力設定をOFFにします。

お知らせ

- 通話中・充電中は、省電力モードには切り替わりません。
- 省電力モードになると、プライベートウィンドウの表示も消えます。「照明設定」の「通常時」を「ON」に設定しているときは、▲ または ▼ を押すと、再びプライベートウィンドウが表示されます。

<電話帳画像着信設定>

着信中に電話帳に登録した画像を表示する

お買い上げ時 ON

電話帳画像着信設定を「ON」に設定すると、相手が通知してきた発信者番号と電話帳に登録した電話番号が同じである場合、電話帳に登録してある画像を表示します。

(メニュー)▶各種設定▶着信▶電話帳画像着信設定

ON ・・・・・・・電話がかかってきたときに電話帳に登録した画像を表示します。
OFF・・・・・・・電話がかかってきたときに電話帳に登録した画像を表示しません。

お知らせ

- 電話着信時の画面表示の優先順位は、「電話番号ごとの設定」→「グループごとの設定」→「電話帳画像着信設定」→「画面表示設定」の順になります。
- 176×144ドットより大きい画像は縮小して表示されます。
- 「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳については、着信時にシークレットモードおよびシークレット専用モードにしていても画像の表示はされません。

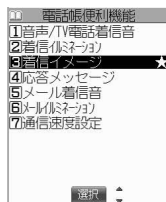
電話番号ごとに設定する

電話がかかってきたときに、電話番号それぞれに設定した静止画またはアニメーションを表示してお知らせします。
FOMA端末（本体）の電話帳に登録されている700件すべての電話番号に設定することができます。ただし、「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には設定できません。

1 電話帳の詳細画面▶ (機能)▶電話帳便利機能▶着信イメージ

カメラ ……………………静止画を「カメラ」フォルダ（アプリケーション編P.302参照）から選択します。
ｉモード …………………静止画やアニメーションを「ｉモード」フォルダ（アプリケーション編P.302参照）から選択します。
編集 ………………………静止画を「編集」フォルダ（アプリケーション編P.302参照）から選択します。
キャラ電イメージ …………静止画を「キャラ電イメージ」フォルダ（アプリケーション編P.302参照）から選択します。
自作アニメ ………………「自作アニメ」（アプリケーション編P.334参照）を表示します。設定が終了します。
●電話帳の検索方法についてはP.123参照。

2 静止画またはアニメーションを選択▶

「着信イメージ」に「★」マークが付きます。

■電話番号の着信イメージを解除するとき
手順2の画面で「着信イメージ　★」を選択し、 を押します。
設定が解除されて「★」マークが消えます。

お知らせ

●「ダイヤル発信制限」設定中は、設定できません。
●「電話帳便利機能」の「着信イメージ」の設定は相手が発信者番号を通知してこないときは無効になりますのでご注意ください。
「番号通知お願いサービス」を設定しておくと便利です。
●設定した電話番号を変更すると、本機能は解除されますのでご注意ください。
●設定した着信イメージを変更するときは、現在の設定を解除してから行います。
●「電話帳便利機能」で電話帳のどの電話番号が設定されているかを確認したり設定を解除することができます。
●登録できる画像は、画像サイズがVGA（640×480）以下で最大100KバイトまでのJPEG画像、GIF画像です。

グループごとに設定する

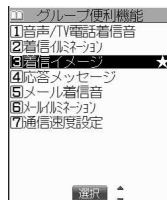
グループに登録されている相手から電話がかかってきたときに、グループそれぞれに設定した静止画またはアニメーションを表示してお知らせします。
FOMA端末(本体)の電話帳に登録されている「グループ00」を除く各グループに設定することができます。ただし、FOMAカードの電話帳には設定できません。
電話番号ごとに着信イメージが設定されている場合は、そちらの設定が優先されます。

1 **メニュー ▶ 電話帳 ▶ グループ設定 ▶ グループを選択 ▶ (機能) ▶ グループ便利機能 ▶ 着信イメージ**

カメラ ……………………静止画を「カメラ」フォルダ(アプリケーション編P.302参照)から選択します。
iモード …………………静止画やアニメーションを「iモード」フォルダ(アプリケーション編P.302参照)から選択します。
編集 ………………………静止画を「編集」フォルダ(アプリケーション編P.302参照)から選択します。
キャラ電イメージ …………静止画を「キャラ電イメージ」フォルダ(アプリケーション編P.302参照)から選択します。
自作アニメ …………………「自作アニメ」(アプリケーション編P.334参照)を表示します。設定が終了します。

2 **静止画またはアニメーションを選択 ▶ ◉**

「着信イメージ」に「★」マークが付きます。

グループ便利機能
1音声/TV電話着信音
2着信イルミネーション
3着信イメージ ★
4応答メッセージ
5メール着信音
6メールイルミネーション
7通信速度設定
選択

■グループの着信イメージを解除するとき
手順2の画面で「着信イメージ　★」を選択し、◉ を押します。
設定が解除されて「★」マークが消えます。

お知らせ

●「ダイヤル発信制限」設定中は、設定できません。
●「グループ便利機能」の「着信イメージ」の設定は相手が発信者番号を通知してこないときは無効になりますのでご注意ください。
「番号通知お願いサービス」を設定しておくと便利です。
●設定した着信イメージを変更するときは、現在の設定を解除してから行います。
●複数のグループに同じ電話番号が登録されているときは、行検索の検索順で先に呼び出される電話番号のグループに設定されている着信イメージが優先されます。
●シークレットデータと通常の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定することができますが、シークレットデータからの着信では設定は無効になりますのでご注意ください。
●「電話帳便利機能」でどのグループが設定されているかを確認したり設定を解除することができます。
●登録できる画像は、画像サイズがVGA(640×480)以下で最大100KバイトまでのJPEG画像、GIF画像です。

<オート表示>
FOMA端末を開くだけで電話番号を表示する

待受画面表示中に折りたたんだFOMA端末を開くと、指定した電話番号を自動的に表示することができます。（）を押すだけで、その電話番号に電話（テレビ電話）をかけることができます。

オート表示を設定する

お買い上げ時
OFF

1 **ディスプレイ▶オート表示**

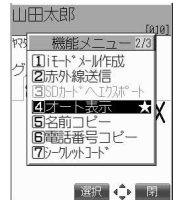
ON ･･････FOMA端末を開くと指定した電話番号が表示されます。
OFF･･････オート表示しません。

お知らせ

- 各機能の操作中や文字などの入力中にFOMA端末を折りたたんで開いたとき、通話中、PIMロック中、オールロック中、シークレット専用モード中はオート表示はされません。
- 「設定リセット」でオート表示は解除されます。また、オート表示に指定した電話番号も解除されます。
- 「オート表示」の電話番号表示中に（1秒以上）、、、または を押すと待受画面に戻ります。
- オート表示中に を押すと、メールメニューが表示されます。
- オート表示中に を押すと、ｉモードメニューが表示されます。

オート表示する電話番号を指定／変更する

1 **電話帳の詳細画面▶（機能）▶オート表示**

オート表示が設定されると、電話帳の機能メニューの「オート表示」に「★」マークが付きます。
- 電話帳の検索方法についてはP.123参照。
- すでに別の電話番号をオート表示に指定しているときは、変更を確認する画面が表示されます。
  「YES」を選択し、を押すと設定を変更することができます。
  中止する場合は「NO」を選択し、を押します。

■オート表示に指定した電話番号を解除するとき
手順1の画面で「オート表示　★」を選択し、を押します。
設定が解除されて「★」マークが消えます。

お知らせ

- オート表示に指定できる電話番号は1件のみです。また、FOMAカードの電話帳に登録された電話番号を指定することはできません。
- 「指定発信制限」と同時に「オート表示」を利用するには、「オート表示」に指定した電話番号に「指定発信制限」を設定してください。「指定発信制限」が設定されていない電話番号はオート表示されません。
- 「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録された電話番号を指定することはできません。

<配色パターン>

メニュー 8 6

画面のカラー配色を変更する

お買い上げ時
クールホワイト

文字や背景など、画面の配色を変更します。5種類(クールホワイト/ライトグレー/ナチュラルオレンジ/クリアブルー/シャイニーレッド)の配色から選択することができます。

1 メニュー▶各種設定▶**ディスプレイ▶配色パターン▶配色パターンを選択▶**

●選択中は、確認のため選択している配色パターンで画面が表示されます。

お知らせ

●複数の色で表示されているアイコンおよび画像の色は変わりません。
●iモード対応のインターネットホームページ(サイト)の色は変わりません。
●ドコモの絵文字の色は変わりません。
●他の機能が動作中は、変更できません。

<照明設定>

ディスプレイとボタンの照明を設定する

ディスプレイ、プライベートウィンドウ、ダイヤルボタンのバックライトの設定をします。

通常時の設定をする

お買い上げ時	
通常時	ON
待受画面省電力モード	ON
待ち時間	5分

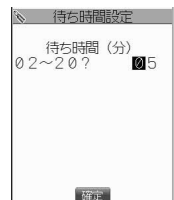
1 メニュー▶▶**ディスプレイ▶照明設定▶通常時**

ON ・・・・・・・通常時にバックライトが点灯します。
FOMA端末を閉じているときに着信などがあった場合は、プライベートウィンドウのバックライトが点灯します。
OFF・・・・・・・通常時にバックライトが点灯しません。

2 **ON・OFF**

ON ・・・・・・・待受画面省電力モードを設定します。
手順3に進み、省電力モードに切り替わるまでの待ち時間を設定します。
OFF・・・・・・・待受画面省電力モードを設定しません。
設定が終了します。

3 **待ち時間(分)を入力**

●「02」~「20」の2桁を入力します。
●設定されている待ち時間を変更しない場合は、待ち時間を入力せずに ◎ を押します。

充電時の設定をする

お買い上げ時
標準

1 ▶**ディスプレイ**▶**照明設定**▶**充電時**

標準・・・・・・・通常時にバックライトが点灯するときと同じ設定で充電中も点灯します。
常時点灯・・・充電中にバックライトを常時点灯します。

範囲を設定する

お買い上げ時
液晶＋ボタン

1 ▶**ディスプレイ**▶**照明設定**▶**範囲**

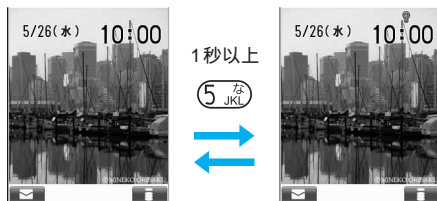
液晶＋ボタン・・・・・・・・・・液晶（ディスプレイ、プライベートウィンドウ）とボタンの両方のバックライトが点灯します。
液晶・・・・・・・・・・・・・・・・・・液晶（ディスプレイ、プライベートウィンドウ）のバックライトのみが点灯します。

明るさを設定する

お買い上げ時
レベル2

1 ▶**ディスプレイ**▶**照明設定**▶**明るさ**

レベル3 ・・・明るい
レベル2 ・・・標準
レベル1 ・・・暗い
●ここでの設定は、ディスプレイのバックライトにのみ有効です。

■バックライトのON／OFFをワンタッチで切り替えるには 5 を1秒以上押します。
●押すたびにON／OFFが切り替わります。
●「通常時」を「OFF」に設定したときは待受画面に「 」が表示されます。
※充電時設定、範囲設定、明るさ設定は変更しません。

お知らせ

●「通常時」を「ON」に設定したときは、着信中は点灯したままとなり、電源を入れたときやボタン操作を行ったとき、FOMA端末を開閉したときなどにバックライトを約15秒間点灯します。カメラ起動中、ｉモーションプレーヤー再生中は常時点灯します。「OFF」に設定すると、バックライトは点灯しません。
●テレビ電話中の画面の照明設定についてはP.90参照。
●ACアダプタなどの外部電源から電源を供給されているときは、通常時のバックライトのON／OFF設定にかかわらず、充電時の設定になります。

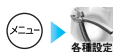
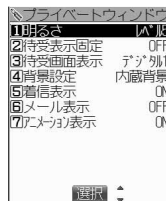
<プライベートウィンドウ>

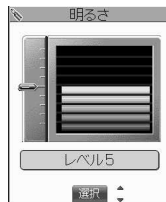
プライベートウィンドウの表示を設定する

お買い上げ時 ON

プライベートウィンドウに相手の電話番号などの情報を表示することができます。

プライベートウィンドウに情報を表示する

お買い上げ時
明るさ ……………レベル5
待受表示固定 ………OFF
待受画面表示 ………デジタル時計1（ピクト表示ON）
背景設定 ……………クリアホワイト
着信表示 ……………ON（画像+着信番号）
メール表示 …………OFF
アニメーション表示 ‥ON（バックライトOFF）

1 メニュー ▶ 各種設定 ▶ ディスプレイ ▶ プライベートウィンドウ ▶ ON

2 明るさ ▶ 明るさを調節 ▶ ◎

レベル1～9で調節できます。
◎を押すと表示が明るく、◎を押すと表示が暗くなります。
●選択している明るさでプライベートウィンドウが表示されます。

<プライベートウィンドウ>

3 待受表示固定

ON ………プライベートウィンドウに「待受画面表示」、「背景設定」で設定した画像のみを表示します。「着信表示」、「メール表示」、「アニメーション表示」は設定できません。

OFF………プライベートウィンドウに「着信表示」、「メール表示」、「アニメーション表示」で設定した情報などを表示します。（P.189参照）

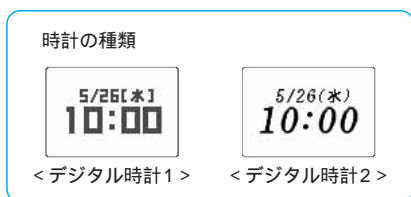
次ページにつづく

4 待受画面表示

デジタル時計1～2 ･････プライベートウィンドウにデジタル時計を表示します。
OFF ･･････････････････プライベートウィンドウに時計を表示しません。

■時計の種類

＜デジタル時計1＞

5/26(水)
10:00
＜デジタル時計2＞

5 ON・OFF

ON ･･････プライベートウィンドウにアイコンを表示します。（P.32参照）
OFF･･････プライベートウィンドウにアイコンを表示しません。

6 背景設定

内蔵背景イメージ ･･････FOMA端末（本体）内蔵の静止画から選択します。
カメラ ･････････････････静止画を「カメラ」フォルダ（アプリケーション編P.302参照）から選択します。
ｉモード ･･･････････････静止画やアニメーションを「ｉモード」フォルダ（アプリケーション編P.302参照）から選択します。
編集 ･･･････････････････静止画を「編集」フォルダ（アプリケーション編P.302参照）から選択します。
キャラ電イメージ ･･････静止画を「キャラ電イメージ」フォルダ（アプリケーション編P.302参照）から選択します。
OFF ･･･････････････････プライベートウィンドウに画像を表示しません。
手順3で「ON」を選択した場合は、設定を終了します。
手順3で「OFF」を選択した場合は、手順8へ進みます。

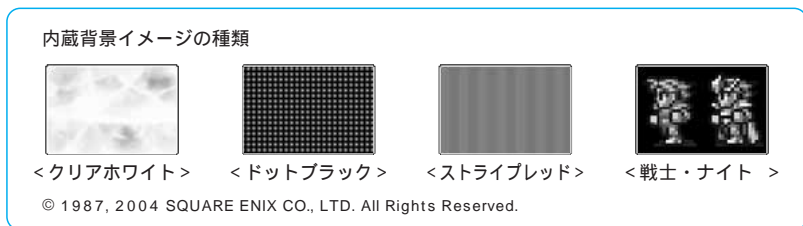
■内蔵背景イメージの種類

＜クリアホワイト＞

＜ドットブラック＞

＜ストライプレッド＞

＜戦士・ナイト※＞

※ © 1987, 2004 SQUARE ENIX CO., LTD. All Rights Reserved.

7 静止画またはアニメーションを選択▶◎

●画像サイズがVGA（640×480）を超える画像は選択できません。
●96×64ドットより大きい画像を選択した場合は、縮小されて表示されます。

8 着信表示

ON……電話をかけてきた相手の電話番号などを着信中にプライベートウィンドウに表示します。（P.35参照）
OFF……電話をかけてきた相手の電話番号などを着信中にプライベートウィンドウに表示しません。手順10に進みます。

9 表示する項目を選択▶◉

画像+着信番号………電話帳に登録されている画像と電話番号(電話帳に登録されている場合は名前)を表示します。
画像のみ……………電話帳に登録されている画像を表示します。
着信番号のみ…………電話番号（電話帳に登録されている場合は名前）を表示します。

10 メール表示

ON ……プライベートウィンドウにメールの受信日時、送信元、題名を表示します。（P.35参照）
OFF……プライベートウィンドウにメールの受信日時、送信元、題名を表示しません。

11 アニメーション表示

ON ……通信中にプライベートウィンドウにアニメーションを表示します。
OFF……通信中にプライベートウィンドウにアニメーションを表示しません。設定を終了します。

12 ON・OFF

ON ……通信中のアニメーション表示のときにバックライトを点灯します。
OFF……通信中のアニメーション表示のときにバックライトを点灯しません。

プライベートウィンドウに情報を表示しない

1 メニュー▶各種設定▶ディスプレイ▶プライベートウィンドウ▶OFF

プライベートウィンドウには何も表示されません。

お知らせ

- 「待受画面表示」を「デジタル時計1～2」に設定した場合は、「時計表示設定」で設定した表示になります。
- 「プライベートウィンドウ」を「OFF」に設定していても、カメラ撮影中の表示、FOMA端末を折りたたんでいる場合の電源を入れたときの表示やソフトウェア更新の表示はプライベートウィンドウに表示されます。
- 「メール表示」を「ON」に設定していても、セキュリティが設定されているBOX・フォルダ内のメールの受信日時、送信元、題名は表示されません。
- 他の機能が動作中は、設定できません。

<フォント設定>

文字（フォント）の設定を変更する

画面に表示する文字をお好みのフォント（書体）に切り替えます。また、文字の太さを3段階から選択することができます。

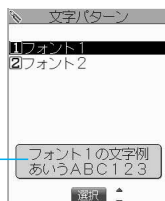
フォントを切り替える

お買い上げ時
フォント1

1 ▶各種設定▶**ディスプレイ▶フォント設定▶文字パターン**

フォント1 …………ゴシック体風のフォントにします。
フォント2 …………丸文字風のフォントにします。

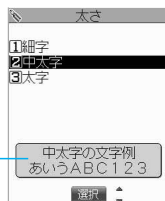
フォント1

フォント2

文字の太さを設定する

お買い上げ時
中太字

1 ▶**ディスプレイ▶フォント設定▶太さ**

細字・・・・・・・文字を細くします。
中太字・・・・・標準の太さ
太字・・・・・・・文字を太くします。

細字　中太字　太字

お知らせ

- フォント2に切り替わるのは、英字（全角、半角）、数字（全角、半角）、ひらがな、カタカナ（全角、半角）、ギリシャ文字、ロシア文字、記述記号、学術記号だけです。漢字など他の文字はすべてフォント1で表示されます。また、電話番号入力や時計表示などの文字も切り替わりません。
- iモードのサイト表示画面、メールの詳細画面、メッセージ（R/F）の詳細画面、iアプリ実行中画面などでは、本機能の設定にかかわらず細字で表示されます。
- 他の機能が動作中は、変更できません。

<デスクトップ>

デスクトップのアイコンを利用する

お買い上げ時 なし

かかってきた電話に出られなかったとき（不在着信）や、新着メールがあったときなどにアイコンでお知らせします。（お知らせアイコン）
また、よく使う電話番号やメールアドレスなどをアイコンとして合計12件まで貼り付けることができます。（貼り付けアイコン）
デスクトップのアイコンからそれぞれの機能に簡単に進むことができます。

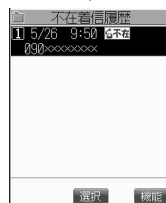
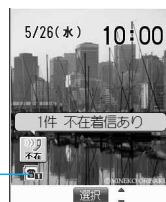
1 待受画面▶◎

前回操作したときに選択したアイコンが、あらかじめ選択されています。

<待受画面>

2 ◎でアイコンを選択▶◎

●「貼り付けアイコン」は5件まで表示されます。
6件以上ある場合は「◀」「▶」が表示されます。

それぞれの機能に進みます。

不在着信のアイコンを選択した場合

お知らせ

●「お知らせアイコン」はそれぞれの機能を実行すると削除されます。すべての「お知らせアイコン」を削除するには クリア を1秒以上押してください。
●「お知らせアイコン」を削除しても「貼り付けアイコン」は削除されません。「貼り付けアイコン」の削除についてはP.195を参照してください。

次ページにつづく

■お知らせアイコン

アイコン	説明	選択したときの動作
メール	新着のｉモードメールやショートメッセージ（SMS）がある場合	受信メール一覧画面が表示されます。（アプリケーション編P.176参照）
不在	かかってきた音声電話に出られなかった場合	不在着信履歴の画面が表示されます。（P.74参照）
不在	かかってきたテレビ電話に出られなかった場合	不在着信履歴の画面が表示されます。（P.74参照）
伝言	伝言メモが録音された場合	メモの再生／消去の画面が表示されます。（P.107参照）
伝言	TV電話伝言メモが録音された場合	TV電話メモの再生／消去の画面が表示されます。（P.109参照）
留守	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが録音された場合	留守番電話の画面が表示されます。（P.274参照）
更新	ソフトウェア更新を行った場合	端末暗証番号入力後、更新完了画面または完了しなかった理由が表示されます。（P.364参照）
アラーム	アラーム通知ができなかった場合	通知できなかったアラームの内容が表示されます。（P.217参照）
ソフト	ｉアプリの自動起動ができなかった場合	ｉアプリの自動起動情報画面が表示されます。（アプリケーション編P.99参照）
エラー	ｉアプリ待受画面でセキュリティーエラーが発生した場合	セキュリティーエラー履歴が表示されます。（アプリケーション編P.91参照）

■貼り付けアイコン

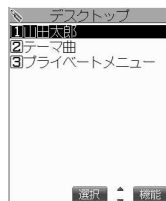
アイコン	説明	選択したときの動作
～	電話番号を貼り付けた場合	電話番号が入力された状態でダイヤル発信の画面が表示されます。（P.60、79参照）
～	iモードメールの送信元や宛先を貼り付けた場合	宛先が入力された状態でiモードメールの作成画面が表示されます。（アプリケーション編P.146参照）
～	ショートメッセージ（SMS）の送信元や宛先を貼り付けた場合	宛先が入力された状態でショートメッセージ（SMS）の作成画面が表示されます。（アプリケーション編P.204参照）
～	サイトのURLを貼り付けた場合	サイトが表示されます。（アプリケーション編P.34参照）
～	iアプリのソフトを貼り付けた場合※	iアプリが起動します。（アプリケーション編P.90参照）
～	イメージを貼り付けた場合※	イメージビューアで表示されます。（アプリケーション編P.302参照）
～	iモーションを貼り付けた場合※	iモーションプレーヤーで再生されます。（アプリケーション編P.336参照）
～	オリジナル着信音を貼り付けた場合※	メロディプレーヤーで再生されます。（アプリケーション編P.356参照）
～	キャラ電を貼り付けた場合※	キャラ電プレーヤーで再生されます。（アプリケーション編P.105参照）
	プライベートメニューを貼り付けた場合	プライベートメニューの画面が表示されます。（P.37参照）
	ToDo機能を貼り付けた場合	ToDoの画面が表示されます。（P.232参照）
	バーコードリーダー機能を貼り付けた場合	バーコードリーダーの画面が表示されます。（アプリケーション編P.288参照）
	テキストリーダー機能を貼り付けた場合	テキストリーダーの画面が表示されます。（アプリケーション編P.295参照）

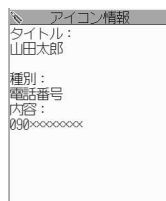
※登録元のデータが削除されたり上書き登録された場合は、貼り付けアイコンは無効になります。

貼り付けアイコンの詳細を確認する

1   **ディスプレイ▶デスクトップ**

デスクトップに貼り付けられている貼り付けアイコンの一覧が表示されます。

●「貼り付けアイコン」が1件もない場合は、何も表示されません。

<貼り付けアイコン一覧画面>

2 **詳細を表示するアイコンを選択▶◎**

電話番号のアイコンを選択した場合

お知らせ

●URLアイコンの詳細画面では◎を押して画面をスクロールし、URLのすべてを確認することができます。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

貼り付けアイコン一覧画面で（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

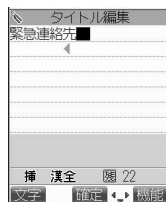
タイトル編集	P.195
1件削除	P.195
全削除	P.195

操作により実行できない項目があります。

タイトル編集

「貼り付けアイコン」のタイトルを編集します。

1 **貼り付けアイコン一覧画面▶(i)(機能)▶タイトル編集▶タイトルを入力▶◉**

●イメージ・ｉモーション・オリジナル着信音・キャラ電を貼り付けた場合は、全角18文字まで、半角36文字まで入力できます。その他の場合は、全角16文字まで、半角32文字まで入力できます。
ただし、アイコンを選択したときに表示されるタイトルは、入力したタイトルの先頭から全角10文字まで、半角20文字までです。
●文字の入力方法についてはP.304参照。

1件削除・全削除

「貼り付けアイコン」を削除します。

1 **貼り付けアイコン一覧画面▶(i)(機能)▶1件削除・全削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

お知らせ

●「貼り付けアイコン」を削除しても、「お知らせアイコン」は削除されません。「お知らせアイコン」の削除についてはP.99を参照してください。

<Language> 画面を英語表示に切り替える

メニュー 1 5

お買い上げ時 Japanese(日本語)

ディスプレイに表示される各機能名やメッセージなどを日本語表示／英語表示に切り替えます。

1 ▶▶**ディスプレイ▶Language**

Japanese(日本語)‥‥日本語表示にします。
English(英語)‥‥‥‥‥英語表示にします。

お知らせ

●他の機能が動作中は、変更できません。
●「Language」の設定が「English(英語)」のときは、「時計表示設定」の「表示方法」の選択肢が「ON」または「OFF」の2項目になります。
●「Language」の設定が「English(英語)」のときは、「確認機能設定」の選択肢が「ON」または「OFF」の2項目になります。

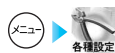
<メニュー画面設定>

メニュー画面の表示を設定する

メインメニューやカメラショートカットのアイコンのガイダンス（P.37参照）を表示しないようにしたり、「各種設定」のメニュー小項目（機能）の表示を詳細表示（P.39参照）にするなど、メニュー表示のしかたを設定します。

ガイダンス表示

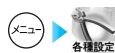
お買い上げ時
ON

メインメニュー大項目アイコンのガイダンス表示を設定します。

1 ▶ ▶ **ディスプレイ ▶ メニュー画面設定 ▶ ガイダンス表示**

ON ・・・・・・・アイコンのガイダンスを表示します。
OFF・・・・・・・アイコンのガイダンスを表示しません。

メニュー表示

お買い上げ時
一覧表示

「各種設定」のメニュー小項目（機能）の表示を設定します。

1 ▶ ▶ **ディスプレイ ▶ メニュー画面設定 ▶ メニュー表示**

詳細表示・・・メニュー小項目に詳細を表示します。
一覧表示・・・メニュー小項目を一覧で表示します。

お知らせ

●「プライベートメニュー」は、本機能の設定にかかわらず常に「一覧表示」になります。

<時計表示設定>

時計の表示を設定する

待受画面の時計表示について設定します。

表示方法

お買い上げ時
日本語

時計表示を日本語表示／英語表示に切り替えます。

   ▶時計▶時計表示設定▶表示方法

日本語※1・・・時計表示の曜日を日本語（日〜土）で表示します。
英語※2・・・・・時計表示の曜日を英語（Sun〜Sat）で表示します。
OFF・・・・・・・時計を表示しません。

※1「Language」を「English（英語）」に設定している場合は表示されません。
※2「Language」を「English（英語）」に設定している場合は「ON」と表示されます。

表示サイズ

お買い上げ時
大きく表示

時計表示のサイズを変更します。

  ▶時計▶時計表示設定▶表示サイズ▶大きく表示・小さく表示

＜大きく表示＞

＜小さく表示＞

お知らせ

●ここでの設定は、プライベートウィンドウの時計表示にも反映されます。

暗証番号について

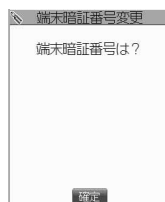
FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種機能用の端末暗証番号の他には、お申し込みいただくネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなど用途ごとに暗証番号、パスワードが活躍します。上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで自由に番号を変更することができます。
以下の機能を利用するときには、端末暗証番号の入力が必要となります。

- 遠隔監視設定
- シークレットコード設定(電話帳)
- 電話帳指定設定
- 登録外着信拒否
- 非通知着信設定
- 積算リセット
- 端末暗証番号の登録・変更
- PIN設定
- オールロック設定・解除
- シークレットモード
- シークレット専用モード
- PIMロック設定・解除
- ダイヤル発信制限設定・解除
- 履歴表示設定
- 電話番号表示の個人データ編集・初期化、全データ表示、メールアドレス1の削除
- 設定リセット
- FOMAカード操作
- 学習辞書リセット
- 個人データ引用
- ダウンロード辞書の全削除
- URL入力履歴全削除
- ブックマーク全削除、フォルダ内全削除、フォルダ削除
- 画面メモ全削除
- iモード設定リセット
- 接続先選択・編集・削除
- 証明書センター接続先選択・編集・削除
- iアプリ全削除
- メッセージ(R/F)全削除
- SMS report全削除
- SMS center設定リセット
- フォルダのセキュリティ設定／解除
- セキュリティ設定されたBOX内を表示するとき
- セキュリティ設定された送受信メールフォルダを自動振分け設定に設定するとき
- 送受信メールフォルダ削除
- 送受信メール・保存メール全削除
- 送受信メールフォルダ内全削除
- メール設定リセット
- バーコードリーダー全削除
- テキストリーダー全削除
- 静止画全削除
- 動画全削除
- キャラ電全削除
- オリジナル着信音全曲削除
- 赤外線全件転送
- データ全件転送
- miniSDメモリーカードの追加・追加全件インポート、上書・上書全件インポート、全件エクスポート
- miniSDメモリーカードのフォーマット・全削除
- ソフトウェア更新

端末暗証番号入力の画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、◎を押します。

端末暗証番号入力時はディスプレイに「_」で表示され、数字は表示されません。
間違った端末暗証番号を入力した場合や、約15秒間何も入力しなかった場合は、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されたあと、端末暗証番号入力の前の画面に戻ります。正しい端末暗証番号を確認してからもう一度操作してください。

ネットワーク暗証番号

ネットワークサービスを利用するときに必要になる暗証番号です。ご契約時に、お客様ご自身であらかじめ4桁のネットワーク暗証番号を設定することができます。ネットワーク暗証番号は、FOMA端末や他の電話機などから変更することはできません。
以下の機能を利用するときには、ネットワーク暗証番号の入力が必要となります。

- 発信者番号通知の設定
- 留守番電話サービスの遠隔操作を行うとき
- 転送でんわサービスの遠隔操作を行うとき
- デュアルネットワーク切替
- ドコモeサイトを利用するとき

PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定することができます。
これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで、自由に番号を変更することができます。
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および各種通信機能の操作が可能となります。
PIN2コードは、サイトやインターネット接続などのオンラインサービスなどで個人認証が必要なときに入力する4～8桁の番号（コード）です。本端末では、ユーザ証明書の操作時（FirstPassを利用するためのユーザ証明書の発行）や、FirstPass対応サイトに接続するとき（アプリケーション編P.77参照）に入力します。
以下の機能を利用するときには、PIN1コード・PIN2コードの入力が必要となります。

PIN1コード
・電源ON時の使用者確認
・PIN1コード入力設定
・PIN1コード変更

PIN2コード
・ユーザ証明書の操作
・FirstPass対応サイトへの接続
・PIN2コード変更

●新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用下さい。PIN1コード、PIN2コードを変更されていない場合は、「0000」となります。

iモードパスワード

メッセージサービス、iモードの有料サービスのお申し込み・解約等を行う際には4桁の「iモードパスワード」が必要になります。
iモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで、自由に番号を変更することができます。（アプリケーション編P.47参照）
（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）

お知らせ

●これらの暗証番号を万一お忘れになったときは、FOMA端末、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、当社窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。
●いたずら防止のため、暗証番号（ネットワーク暗証番号を除く）はご契約後にお好きな番号へ変更してください。また、設定した暗証番号は、メモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
●端末暗証番号は、お申し込みいただくサービスで使用するネットワーク暗証番号とは異なります。ネットワーク暗証番号は、「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」等のご契約時に決めていただくものです。

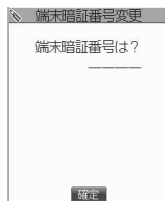
＜端末暗証番号変更＞

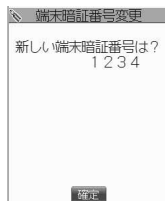
端末暗証番号を変更する

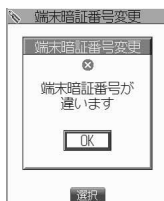
FOMA端末をより便利に使いこなしていただくために、お客様ご自身の各種機能用の端末暗証番号（4〜8桁）に変更しておきましょう。変更した端末暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようにお気をつけください。

1 メニュー ▶ 各種設定 ▶ **ロック／セキュリティ ▶ 端末暗証番号変更**

2 **現在設定されている端末暗証番号を入力 ▶ ◉**

●お買い上げ時などで、初めて入力する場合は「0000」を入力します。

3 **新しい端末暗証番号（4〜8桁）を入力 ▶ ◉ ▶ YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉ を押します。

■端末暗証番号を間違えると

端末暗証番号が必要な機能で、間違った端末暗証番号を入力したときや、一定時間内に入力されなかったときは、警告音が鳴り警告メッセージが表示されます。

お知らせ

●本機能の設定により各種機能用の端末暗証番号が変更されます。

<PIN設定>

PINコードを設定する

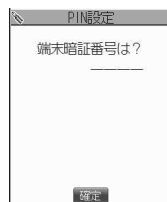
電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定する

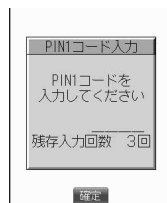
お買い上げ時 OFF

FOMA端末の電源を入れたときに、PIN1コードを入力しなければ使用できないように設定します。

1 メニュー▶各種設定▶ロック／セキュリティ▶PIN設定

2 端末暗証番号を入力▶◎▶PIN1コード入力設定▶ON

●端末暗証番号についてはP.198参照。
●設定を解除するときは「OFF」を選択し、◎を押します。

3 PIN1コードを入力▶◎

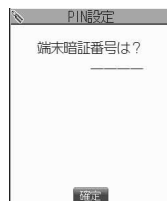
●ご契約時などで、初めて入力する場合は「0000」を入力します。
●入力したPIN1コードは「＿」で表示されます。
●3回誤ったPIN1コードを入力した場合は、PIN1コードがロックされて使えなくなります。
（入力可能な残りの回数は「残存入力回数」として画面に表示されます）
正しいPIN1コードを入力すると、残存入力回数が3回に戻ります。
なお、PINロックの解除についてはP.204を参照してください。

PIN1コードを変更する

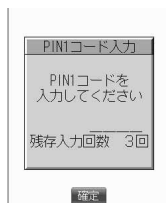
PIN1コードを変更するには、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておく必要があります。

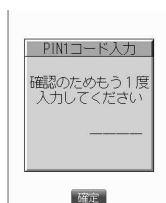
1 メニュー▶各種設定▶ロック／セキュリティ▶PIN設定

2 端末暗証番号を入力▶◎▶PIN1コード変更

●端末暗証番号についてはP.198参照。

次ページにつづく

3 現在設定されているPIN1コードを入力▶◉

●ご契約時などで、初めて入力する場合は「0000」を入力します。
●入力したPIN1コードは「＿」で表示されます。
●3回誤ったPIN1コードを入力した場合は、PIN1コードがロックされて使えなくなります。
（入力可能な残りの回数は「残存入力回数」として画面に表示されます）
正しいPIN1コードを入力すると、残存入力回数が3回に戻ります。
なお、PINロックの解除についてはP.204を参照してください。

4 新しいPIN1コード（4～8桁）を入力▶◉

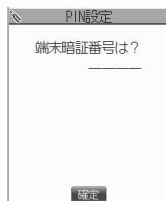
5 新しいPIN1コードを再入力▶◉

お知らせ

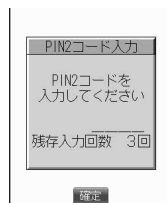
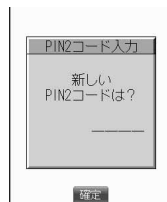
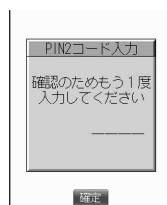
●新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用下さい。PIN1コード、PIN2コードを変更されていない場合は、「0000」となります。

PIN2コードを変更する

1 (メニュー)▶各種設定▶ロック／セキュリティ▶PIN設定

2 端末暗証番号を入力▶◉▶PIN2コード変更

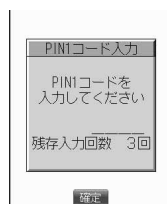
●端末暗証番号についてはP.198参照。

3 現在設定されているPIN2コードを入力▶◎

●ご契約時などで、初めて入力する場合は「0000」を入力します。
●入力したPIN2コードは「＿」で表示されます。
●3回誤ったPIN2コードを入力した場合は、PIN2コードがロックされて使えなくなります。
（入力可能な残りの回数は「残存入力回数」として画面に表示されます）
正しいPIN2コードを入力すると、残存入力回数が3回に戻ります。
なお、PINロックの解除についてはP.204を参照してください。

4 新しいPIN2コード（4〜8桁）を入力▶◎

5 新しいPIN2コードを再入力▶◎

PIN1コードを入力する

「PIN設定」の「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定したときは、電源を入れたあと4〜8桁のPIN1コードを入力します。

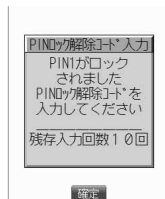
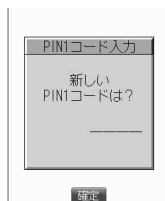
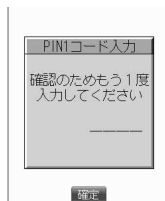
1 HLDを1秒以上押して電源を入れる

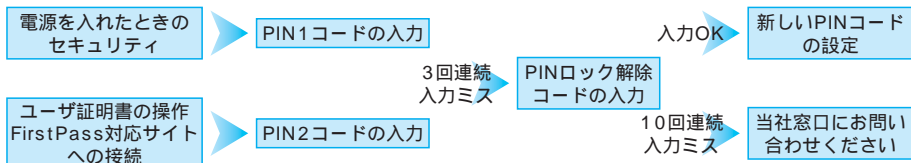
2 PIN1コードを入力▶◎

PIN1コードが正しく入力されると待受画面が表示されます。
●ご契約時などで、初めて入力する場合は「0000」を入力します。
●入力したPIN1コードは「＿」で表示されます。
●3回誤ったPIN1コードを入力した場合は、PIN1コードがロックされて使えなくなります。
（入力可能な残りの回数は「残存入力回数」として画面に表示されます）
正しいPIN1コードを入力すると、残存入力回数が3回に戻ります。
なお、PINロックの解除についてはP.204を参照してください。

PINロックを解除する

PIN1コード／PIN2コードの入力が必要な画面で、3回連続して誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります。その場合は、いったんPIN1コード／PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1コード／PIN2コードを設定する必要があります。

1 PINロック解除コード（8桁）を入力▶◉

●PINロック解除コードについてはFOMAご契約時にお渡しするFOMA契約申込書（お客様控え）をご確認ください。
●入力した解除コードは「＿」で表示されます。

2 新しいPIN1コード／PIN2コード（4～8桁）を入力▶◉

3 新しいPIN1コード／PIN2コードを再入力▶◉

PIN1コード、PIN2コードおよびPINロック解除コードの操作について

FOMAカードの「PIN1コード」「PIN2コード」は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、変更することが可能です。なお、「PIN1コード」「PIN2コード」の入力を3回連続して誤ると自動的にロックされますので、設定した番号はメモを取るなどしてお忘れにならないよう、ご注意ください。
「PINロック解除コード」は、「PIN1コード」「PIN2コード」がロックされた状態を解除するための番号です。「PINロック解除コード」を入力することによりロック状態を解除することができます。
「PINロック解除コード」の入力を10回連続して誤ると自動的にロックされますので、「PINロック解除コード」メモを取るなどしてお忘れにならないよう、ご注意ください。
※PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は当社窓口にお問い合わせください。

<オールロック>
他の人が使用できないようにする

お買い上げ時
解除

オールロックをかけると電源のON/OFF以外の操作ができなくなります。

▶ロック／セキュリティ▶オールロック▶端末暗証番号を入力▶◎

「 」と「オールロック」が表示され、オールロックが設定されます。
●端末暗証番号についてはP.198参照。

■オールロックを解除するとき
待受画面で端末暗証番号を入力し、◎を押します。
「 」と「オールロック」の表示が消え、オールロックが解除されます。

お知らせ

●オールロック中は電話をかけることができません。
（緊急通報110番／119番／118番にも電話をかけることはできません。）
●オールロック中は電話を受けることができません。ただし、遠隔監視を受けることはできます。
●オールロックは電源を切っても解除されません。
●オールロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度の電源ONは可能です。
●オールロックは通話中や他の機能（ツールグループの各機能）が動作中など、何かの操作をしているときは設定できません。
●オールロック中は、メールやメッセージ（R/F）の受信は可能ですが、メール受信中またはメッセージ（R/F）受信中、受信結果の画面は表示されません。オールロック解除後に「 」「 」「 」などのアイコンが表示されます。
●オールロック中は、電話がかかってきても着信動作しません。オールロック解除後、「不在着信」としてアイコンが表示されます。
●オールロック中は、「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」で設定した時刻になってもアラーム通知されません。オールロック解除後、アラーム通知ができなかったときと同様に、待受画面に「未通知アラームあり」のアイコンが表示されます。（P.217参照）
ただし、「アラーム」の場合は、オールロック中に電源をOFFにすると、設定時間になっても電源はONにならず、「未通知アラームあり」のアイコンも表示されません。
●デスクトップにアイコンが貼り付けられている場合、オールロックを設定するとアイコンは表示されなくなります。オールロックを解除すると、アイコンは再び表示されます。
●「 」「 」「 」などが表示されているときにオールロックを設定するとこれらのアイコンは表示されなくなります。オールロックを解除すると、アイコンは再び表示されます。

<シークレットモード><シークレット専用モード>

知られたくない電話帳やスケジュールを守る

お買い上げ時 解除

他の人に知られたくない電話帳やスケジュールは、シークレットモードで登録します。シークレットモードで登録した電話帳やスケジュールは、端末暗証番号を入力しない限り呼び出すことができません。(シークレットモード、シークレット専用モードでは、FOMAカードへの電話帳の登録、シークレットデータのコピーはできません。)
シークレット専用モードにすると、シークレットデータだけを呼び出すことができます。

シークレットモードにする

1   ▶ロック/セキュリティ▶シークレットモード▶端末暗証番号を入力▶◎

「S」が表示され、シークレットモードになります。

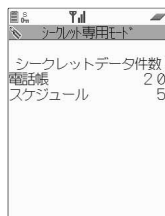
●電話帳またはスケジュールを呼び出した場合、通常の電話帳またはスケジュールでは「S」が点灯したままとなり、シークレットデータのときは「S」が点滅します。

●端末暗証番号についてはP.198参照。

シークレット専用モードにする

1   ▶ロック/セキュリティ▶シークレット専用モード▶端末暗証番号を入力▶◎

「S」が点滅し、シークレットデータ登録件数が表示されたあと、シークレット専用モードになります。

●端末暗証番号についてはP.198参照。

■シークレットモード、シークレット専用モードを解除するとき
待受画面で HLD を押します。
「 」の表示が消え、シークレットモード、シークレット専用モードが解除されます。

■シークレットデータを通常の電話帳・スケジュールに変更するとき
シークレットモードまたはシークレット専用モードで、解除する電話帳・スケジュールの機能メニューから「シークレット解除」を選択し、 を押します。

お知らせ

●シークレットモード、シークレット専用モードで登録できる電話帳はFOMA端末（本体）の電話帳のみです。FOMAカードには登録できません。
●シークレットモード、シークレット専用モード中は電話帳・スケジュールをシークレットデータとして登録します。
シークレットモード、シークレット専用モードでの電話帳・スケジュールの登録、削除などの方法は通常の電話帳・スケジュールと同様です。
シークレットデータとして登録した電話帳・スケジュールは、シークレットモードまたはシークレット専用モードにしない限り、呼び出したり、修正、削除することはできません。
●シークレットモード中に電話帳・スケジュールの修正登録をしたときは、修正登録したデータはシークレットデータになります。
（シークレットモード中に電話番号やメールアドレスの1件を修正登録したときは、修正登録したメモリ番号に登録されているすべての電話番号やメールアドレスがシークレットデータになります。）
●電話帳をメモリ番号「000」～「009」にシークレット登録したときは、シークレットモードまたはシークレット専用モードにしない限り、「ツータッチダイヤル」で電話をかけることはできません。
●シークレットデータを呼び出して電話をかけたときは、「リダイヤル」「発信履歴」には記憶されません。
●シークレットデータ登録した相手が発信者番号を通知して電話をかけてきたときは、「着信履歴」には通知された電話番号が記憶されますが、登録されている名前は記憶されません。
●シークレットデータには、「電話帳便利機能」「電話帳指定設定」「オート表示」を設定することはできません。
●シークレットモード、シークレット専用モードは、 HLD を押したときや電話をかけたときに解除されます。
また、シークレットモード、シークレット専用モード中に、 メニュー 4 0 または メニュー 4 1 を押しても解除されます。
●「オールロック」と「シークレットモード」または「シークレット専用モード」を同時に設定している場合、「オールロック」を解除すると「シークレットモード」または「シークレット専用モード」も解除されます。
●シークレットモード、シークレット専用モード中に または を押し、そのまま発信せずに待受画面に戻った場合、シークレットモード、シークレット専用モードは解除されます。
●他の機能が動作中は設定できません。
●シークレットモード、シークレット専用モードで電話帳／スケジュールの編集中、または電話帳検索の結果表示中に、着信などでシークレットモードまたはシークレット専用モードが解除され、再度電話帳／スケジュールの画面に戻ったときは、操作を続けると端末暗証番号を入力する画面が表示されます。
端末暗証番号を入力し、 を押すと再びシークレットモードまたはシークレット専用モードに設定され、操作を続けることができます。

<PIMロック>
個人情報に関する機能を操作できないようにする

お買い上げ時 解除

個人情報を他人が見たり、改ざんしたりするのを防ぐため、以下の機能が使用できないように設定します。

・伝言メモ	・電話帳	・オート表示	・アラーム	・スケジュール
・ToDo	・電話番号表示	・音声メモ	・フリーメモ	・FOMAカード操作
・ソフトウェア更新	・ｉモード	・ブックマーク	・ｉアプリ	・メール
・メールメンバー	・カメラ	・バーコードリーダー	・テキストリーダー	・イメージ
・ｉモーション	・メロディ	・キャラ電	・miniSDメモリーカード	・データ転送
・おしゃべり機能				

「PIM」とは、「個人情報管理プログラム（Personal Information Manager）」を意味します。

1
▶ロック／セキュリティ▶PIMロック▶端末暗証番号を入力▶◉

「 」が表示され、PIMロックが設定されます。

●端末暗証番号についてはP.198参照。

■PIMロックを解除するとき

上記の手順と同様の操作を行います。

「 」の表示が消え、PIMロックが解除されます。

お知らせ

●PIMロックは通話中や他の機能（ツールグループの各機能）が動作中など、何かの操作をしているときは設定／解除できません。

●PIMロックを設定すると、それまでのリダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に残っているデータはすべて削除されます。PIMロック設定以後に発生する発着信データに関してはすべて残ります。

●PIMロック中は、「設定リセット」もできません。

●PIMロック中は、メールやメッセージ（R/F）の受信は可能ですが、メール受信中またはメッセージ（R/F）受信中、受信結果の画面は表示されません。PIMロック解除後に「 」「 」「 」などのアイコンが表示されます。

●PIMロック中はデスクトップのアイコンを削除することはできません。また、PIMロック中は、「新着メールあり」「未通知アラームあり」「電話番号」「URL」「メールアドレス」など表示されない「お知らせアイコン」「貼り付けアイコン」がありますが、PIMロックを解除すると再表示されます。

●PIMロック中は、「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」で設定した時刻になってもアラーム通知されません。PIMロック解除後、アラーム通知ができなかったときと同様に、待受画面に「未通知アラームあり」のアイコンが表示されます。（P.217参照）ただし、「アラーム」の場合は、PIMロック中に電源をOFFにすると、設定時間になっても電源はONにならず、「未通知アラームあり」のアイコンも表示されません。

●PIMロック中は、電話の着信時にお買い上げ時の着信音が鳴り、変更することはできません。（P.169参照）

●PIMロック中は、待受画面やウェイクアップ画面などにお買い上げ時の画像が表示され、変更することはできません。（P.177参照）

●PIMロック中は、FOMA端末を折りたたんだ状態で を押して「不在着信」、「新着メール」の確認をすることはできません。

●PIMロック中にテレビ電話で代替画像を送信すると、「内蔵」の代替画像が送信されます。

●PIMロック中に「オールロック」を設定すると「 」が消え、「 」が表示されます。

●「PIMロック」と「オールロック」が同時に設定されている場合、解除するときは「オールロック解除」→「PIMロック解除」の順に操作を行ってください。「オールロック」を解除しても、「PIMロック」は解除されません。

<ダイヤル発信制限>

ダイヤルボタンを押して電話をかけられないようにする

お買い上げ時 解除

ダイヤル発信制限を設定するとダイヤルボタンでの発信を禁止します。電話帳の呼び出し発信とそのリダイヤル、発信履歴による発信だけが可能です。
FOMA端末を会社の業務用としてお使いになるときなど、あらかじめ業務に必要な電話番号だけ電話帳に登録し、「ダイヤル発信制限」と「PIN設定」の「PIN1コード入力設定」を組み合わせて設定すると私用電話を防止することができます。

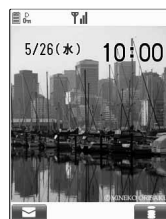
ダイヤル発信制限により制限される操作

○：実行可能なもの　×：実行不可能なもの

電話帳の呼出発信	電話帳の登録・編集	ダイヤルボタンでの発信	リダイヤル・発信履歴による発信	着信履歴による発信
○	×	×	○	×

▶ロック／セキュリティ▶ダイヤル発信制限

▶端末暗証番号を入力▶◎

「 」が表示され、ダイヤル発信制限が設定されます。
●端末暗証番号についてはP.198参照。

■ダイヤル発信制限を解除するとき
上記の手順と同様の操作を行います。
「 」の表示が消え、ダイヤル発信制限が解除されます。

お知らせ

●ダイヤル発信制限中でも緊急通報110番／119番／118番にダイヤルボタンで電話をかけることはできます。
●ダイヤル発信制限の設定／解除は通話中や他の機能（ツールグループの各機能）が動作中など、何かの操作をしているときは設定できません。
●ダイヤル発信制限を設定すると、それまでのリダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に残っているデータはすべて削除されます。ダイヤル発信制限の設定以後に発生する発着信データに関してはすべて残ります。
●ダイヤル発信制限を設定しているときは、宛先を電話帳から呼び出したときと送信アドレス一覧から呼び出したときのみメールを送ることができます。
●ダイヤルボタンで入力した電話番号が電話帳に登録されている電話番号と一致した場合でも、発信することはできません。
●「ダイヤル発信制限」と「PIMロック」が同時に設定されている場合は「 」が表示されます。
●「ダイヤル発信制限」と「シークレットモード」または「シークレット専用モード」が同時に設定されている場合は「 」が表示されます。

<履歴表示設定>

リダイヤル／着信履歴を表示できないようにする

お買い上げ時
ON

着信履歴とリダイヤル・発信履歴の表示をするかしないかを設定することができます。

▶その他▶履歴表示設定▶端末暗証番号を入力▶

着信履歴 ･･････････････着信履歴と受信アドレス一覧の表示を設定します。
リダイヤル／発信履歴 ･･リダイヤル・発信履歴と送信アドレス一覧の表示を設定します。
●端末暗証番号についてはP.198参照。

ON・OFF

ON ･･･････履歴を表示します。
OFF･･･････履歴を表示しません。

お知らせ

●リダイヤルは最新のデータのみ記憶されます。同じ番号にかけた場合、最新のデータだけが記憶され、古いデータは削除されます。
●発信履歴は同じ番号にかけても古いデータは削除されず、新しいデータとして記憶されます。
●着信履歴の履歴表示設定を「OFF」に設定しているときに不在着信があった場合、デスクトップに「不在着信あり」のアイコンが表示されます。その場合、「不在着信あり」のアイコンを選択しても履歴は表示されません。
●着信履歴の履歴表示設定を「OFF」に設定しているときでも伝言メモを再生することができます。

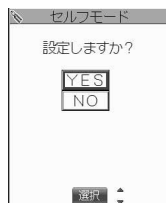
<セルフモード>

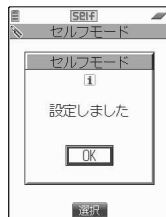
セルフモードを利用する

お買い上げ時 解除

発信、着信、ｉモード通信、パケット通信、赤外線通信など、すべての通話、通信機能が使用できないように設定します。
セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手の方には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合、FOMA端末の電源を切っているときと同様にサービスをご利用になれます。

1 メニュー▶各種設定▶**ロック／セキュリティ**▶**セルフモード**

●カメラショートカットで セルフモード を選択し、◎を押しても右の画面が表示されます。（アプリケーション編P.16参照）

2 **YES**▶**OK**

「Self」が表示され、セルフモードが設定されます。
●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

■**セルフモードを解除するとき**
上記の手順と同様の操作を行います。
「Self」の表示が消え、セルフモードが解除されます。

お知らせ

●セルフモード中でも緊急通報110番／119番／118番に電話をかけることはできます。
●セルフモード中に緊急通報110番／119番／118番に電話をかけた場合、セルフモードは解除されます。
●セルフモード中は、メールやメッセージ（R/F）の受信も行いません。
●セルフモード中に電話がかかってきても、セルフモード解除後「不在着信あり」のアイコンは表示されません。
●セルフモードは通話中や他の機能（ツールグループの各機能）が動作中など、何かの操作をしているときは設定できません。

<サイドボタン操作>

サイドボタンの誤動作を防止する

お買い上げ時
閉じた時有効

FOMA端末を折りたたんだときにサイドボタン（▲、▼）が効かなくなるよう設定します。かばんの中での誤動作が防止できます。

1 メニュー ▶ ▶ その他 ▶ サイドボタン操作

閉じた時有効･･･FOMA端末を折りたたんでいるときのサイドボタン（▲、▼）の機能を有効にします。

閉じた時無効･･･FOMA端末を折りたたんでいるときのサイドボタン（▲、▼）の機能を無効にします。

●「サイドボタン操作」を「閉じた時無効」に設定したときは「SIDE」が表示されます。

「閉じた時無効」を選択した場合

■サイドボタンの有効／無効を簡単に切り替えるには

メニュー を押して http:// を1秒以上押します。

●メインメニューが表示された状態で http:// を1秒以上押すたびに「閉じた時有効／無効」が切り替わります。

お知らせ

●平型スイッチ付イヤホンマイク等の外部機器を接続しているときは、本機能の設定にかかわらずサイドボタンの機能は有効になります。

<アラーム>

アラームを利用する

メニュー 4 4

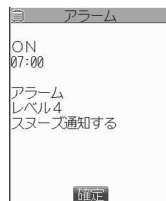
お買い上げ時 OFF

設定した時刻になるとアラーム音とアニメーションでお知らせします。
あらかじめ、「日付時刻設定」で日付・時刻を設定しておいてください。

アラームを登録／編集する

アラームは3件まで登録でき、その中から1件を選択して設定することができます。

1 メニュー ▶ アクセサリ ▶ アラーム

すでにアラームが設定されているときは、設定されている内容が表示されます。

2 ◎を押す

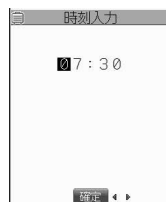
●お買い上げ時などアラームが1件も登録されていない場合は、手順4へ進みます。

3 登録／編集するアラームを選択 ▶ ✉（編集）

●「OFF」を選択した場合、編集は表示されません。

<アラーム一覧画面>

4 アラームを鳴らす時刻を入力 ▶ ◎

●アラーム一覧画面の機能メニューから「編集」を選択し、◎を押しても編集できます。
●時刻は24時間で入力します。

5 繰り返し設定を選択 ▶ ◎

設定なし･･･繰り返さない（1回のみ）設定になります。手順7へ進みます。
毎日･･･････毎日同じアラームを設定します。手順7へ進みます。
曜日指定･･･指定した曜日にアラームを設定します。

次ページにつづく

6 アラームを設定する曜日にチェック▶ ✉ (完了)

◎ を押すごとに「☐」と「☑」が切り替わります。

☑ ‥‥‥‥アラームを設定します。
☐ ‥‥‥‥アラームを設定しません。

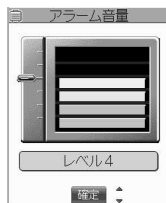
●少なくとも1つの曜日を選択してください。

「曜日指定」を選択した場合

7 アラーム音を選択▶ ◎

●選択中は、確認のためアラーム音が鳴ります。
●アラーム音は「アラーム」、着信音一覧(P.170参照)から選択することができます。
●「OFF」を選択したときは、アラーム音は鳴りません。手順9に進みます。

8 ◎で音量を調節▶ ◎

ステップ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で3秒ごとに音量が上がります。
レベル1～6‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥レベル1が最小でレベル6が最大です。
消去‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥アラーム音が鳴らなくなります。

9 スヌーズ通知する・スヌーズ通知しない

スヌーズ通知する‥‥‥いずれかのボタンを押してアラーム音を止めたあと、☎ を押してスヌーズを解除するまで5分おきに最大6回アラーム音が鳴ります。
スヌーズ通知しない‥‥アラーム音は1回しか鳴りません。

登録したアラームが設定されます。
登録済みの別のアラームを使用できるように設定するには、「アラームを設定する」(P.215参照)の操作を行います。
アラーム一覧画面に、下のアイコンが表示されます。

● D ：毎日繰り返し
● W ：指定曜日繰り返し

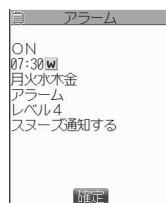
お知らせ

●PIMロック中はアラームの登録、編集をすることはできません。
また、設定した時刻になってもお知らせしません。PIMロック解除後にデスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。
●アラーム通知の設定を同じ時刻にしたときの通知の優先順位は、「アラーム」→「ToDo(通知する)」→「ToDo(事前通知する)」→「スケジュール(通知する)」→「スケジュール(事前通知する)」の順になります。
通知できなかったスケジュールまたはToDoの内容は、デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。
●通話中にアラームが鳴ったときはいずれかのボタンを押すとアラーム音を止めることができます。もう一度いずれかのボタンを押すとスヌーズを含めてアラームを終了し、アラームメッセージが消え通話中の画面になります。
●スヌーズ中に着信があった場合やスケジュール・ToDoのアラーム音が鳴った場合、スヌーズは解除されます。

アラームを設定する

登録したアラームの中から1件を選択して設定することができます。
アラームとして設定できるのは1件のみです。

1 (メニュー) ▶ ▶ **アラーム** ▶ ◉

ON
07:30 W
月火水木金
アラーム
レベル4
スヌーズ通知する
確定

2 **アラームを選択** ▶ ◉

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

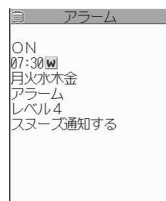
アラーム一覧画面で (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

編集	P.213
詳細表示	本ページを参照
1件解除	本ページを参照
全解除	本ページを参照

操作により実行できない項目があります。

詳細表示

登録済みのアラームの詳細を表示します。

1 **アラーム一覧画面** ▶ (機能) ▶ **詳細表示**

1件解除・全解除

登録済みのアラームを解除します。

1 **アラーム一覧画面** ▶ (機能) ▶ **1件解除・全解除** ▶ **YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

お知らせ

●設定していたアラームを解除した場合、「アラーム」はOFFになります。

次ページにつづく

■「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームを設定しているとデスクトップにアイコンが表示されます

「🔔」・・・・・・・・当日の設定(過ぎた時刻の設定は除く)がある場合に表示されます。
「🔔」・・・・・・・・明日以降の設定のみの場合に表示されます。
※「時計表示設定」の「表示方法」を「OFF」に設定した場合、アイコンは表示されません。

■「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」で設定した時刻になると

設定した時刻になるとアラーム音が約5分間鳴り、「バイブレータ」の「電話/TV電話」で設定した動作で振動してお知らせします。アラームを「スヌーズ通知する」に設定した場合は、(HLD)を押してスヌーズを解除するまで約5分おきに約1分間、最大6回アラーム音が鳴ります。通話中のときは、受話口からアラームが3回繰り返し鳴ります。画面には、設定したアラームメッセージと選択したアイコンに連動したアニメーションが表示されます。

●アラーム音/アラームメッセージ・アニメーションの表示を消すには

いずれかのボタンを押せばアラーム音は停止しますが、アニメーションは静止画になり、アラームメッセージは表示されたまま残ります。もう一度いずれかのボタン(アラームを「スヌーズ通知する」に設定した場合は(HLD))を押すと消すことができます。ただし、FOMA端末を閉じているときは、サイドボタンでスケジュールのアラームメッセージの表示を消すことはできません。また、電話がかかってきたときはアラーム音が停止し、アラームメッセージやアニメーションの表示も消えます。

●操作中は

「アラーム通知設定」で操作中の通知のしかたを設定できます。(P.235参照)
「操作優先」・・・・操作中は通知しません。
「通知優先」・・・・常に通知します。

●電源OFFのときは

<アラーム>
「電源OFF時アラーム通知」で電源を切っているときの通知のしかたを設定できます。
「ON」・・・・自動的に電源をONにして、アラーム通知します。
「OFF」・・・電源はOFFのまま、アラーム通知しません。
<スケジュール・ToDo>
設定した時刻になってもアラーム通知はしません。電源をONにした後も「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。

●マナーモード中は

<アラーム>
設定した時刻になるとバイブレータでお知らせします。ただし、マナーモード設定中の動作を「オリジナルマナー」に設定し、その設定内容で「アラーム音量」を「消去」以外に設定しているときはアラーム音が鳴ります。
<スケジュール・ToDo>
設定した時刻になるとバイブレータとメッセージ表示でお知らせします。ただし、マナーモード設定中の動作を「オリジナルマナー」に設定し、その設定内容で「電話着信音量」を「消去」以外に設定しているときはアラーム音が鳴ります。

●オールロック中は

設定した時刻になってもアラーム通知はしません。オールロック解除後、アラーム通知ができなかったときと同様に、デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されます。(P.217参照)
<アラームのみ>
オールロック中で電源もOFFにしていたときは、電源はONにならず、オールロック解除後も「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。

●PIMロック中は

「アラーム通知設定」の設定にかかわらず、設定した時刻になってもアラーム通知はしません。
PIMロック解除後に「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。

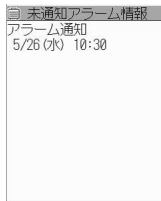
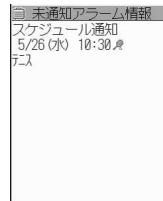
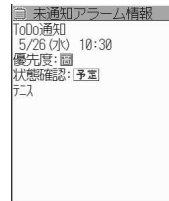
●SD-PIM動作中は

「アラーム通知設定」の設定にかかわらず、設定した時刻になってもアラーム通知はしません。
SD-PIM動作終了後にアラーム通知します。

■「アラーム通知」ができなかったとき

アラーム通知ができなかったときは、デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されます。そのアイコンから通知できなかったアラームの内容（未通知アラーム情報）を確認することができます。
未通知アラーム情報は通知できなかった最新のものを表示します。

1.待受画面で ◎ を押します。
表示されているアイコンが選択できるようになります。
HLD または クリア を押すと元の状態に戻ります。

2. アラーム を選択し、◎ を押します。
「アラーム」の未通知アラーム情報画面には、アラームを登録したときの設定が表示されます。
「スケジュール」の未通知アラーム情報画面には、スケジュール登録したときに設定したスケジュールアイコンが表示されます。
「ToDo」の未通知アラーム情報画面には、ToDoを登録したときに設定した 高 または 低 と状態アイコンが表示されます。
アラーム、スケジュール、ToDoを同じ時刻に設定したときにアラーム通知できなかった場合は、それぞれの内容が表示されます。
未通知アラーム情報を確認すると、「未通知アラームあり」のアイコンは消えます。

アラームの場合

スケジュールの場合

ToDoの場合

お知らせ

●「アラーム通知設定」を「操作優先」に設定している場合、待受画面以外でアラーム時刻になったときはアラーム通知されません。
●「アラーム通知設定」を「通知優先」に設定している場合、発信中にアラーム時刻になったときは相手を呼び出したあとに、着信中にアラーム時刻になったときは通話を開始したあとにお知らせします。
●デスクトップで未通知アラーム情報の内容を確認せずにアイコンを消したいときは、クリア を1秒以上押します。
●アイコンを消すと、その未通知アラーム情報は確認できなくなります。

カレンダーでスケジュールを管理する

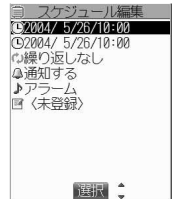
1ヶ月単位または1週間単位でカレンダーを表示し、登録したスケジュールを確認できます。
あらかじめ、「日付時刻設定」で日付・時刻を設定しておいてください。
また、アラーム通知の動作についてはP.216、217を参照してください。

スケジュールを登録する

指定した日付・時刻になるとアラーム音と入力したアラームメッセージ（スケジュール内容）および設定したアイコンに対応したアニメーションで用件をお知らせします。
スケジュールは100件まで登録することができます。また、1日に複数のスケジュールを登録することもできます。

1 ▶ ▶ **スケジュール**

<カレンダー>

2 (機能) ▶ **新規登録** ▶ **スケジュール**

3 ▶ **スケジュールを開始する日付、時刻を入力** ▶

●選択されている日付と現在時刻があらかじめ入力されています。
●時刻は24時間で入力します。

4 ▶ **スケジュールを終了する日付、時刻を入力** ▶

●選択されている日付と現在時刻があらかじめ入力されています。
●時刻は24時間で入力します。

5

設定なし･･･繰り返しなし（1回のみ）設定になります。手順7へ進みます。
毎日･･････毎日同じスケジュールを設定します。手順7へ進みます。
曜日設定･･･指定した曜日にスケジュールを設定します。
●繰り返し（曜日指定／毎日）を設定したスケジュールも1件としてカウントされます。
●「繰り返しなし」（1回のみ）でよければ、設定する必要はありません。

6 スケジュールを設定する曜日にチェック▶ ✉（完了）

「曜日指定」を選択した場合

◎を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

☑・・・・・・・・スケジュールを設定します。
□・・・・・・・・スケジュールを設定しません。

●少なくとも1つの曜日を選択してください。

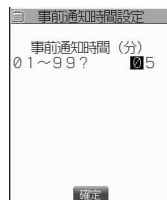
7 🔔

通知する・・・・・・・・・・・・・・設定した時刻になるとアラームで通知します。手順9へ進みます。
事前通知する・・・・・・・・・・設定した時刻の何分か前になるとアラームで通知します。
通知しない・・・・・・・・・・・・通知しません。手順10へ進みます。

●「通知する」でよければ、設定する必要はありません。

8 何分前に通知するかを入力

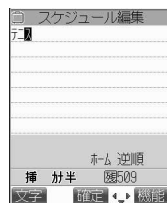
「事前通知する」を選択した場合

●「01」～「99」の2桁を入力します。
●設定されている事前通知時間を変更しない場合は、事前通知時間を入力せずに◎を押します。

9 ♪▶アラーム音を選択▶◎

●選択中は、確認のためアラーム音が鳴ります。通話中に登録するときは、確認のためのアラーム音は鳴りません。
●アラーム音は「アラーム」、着信音一覧（P.170参照）から選択することができます。
●「OFF」を選択した場合、アラーム音は鳴りません。

10 📝▶アラームメッセージ（スケジュール内容）を入力▶◎

●全角256文字まで、半角512文字まで入力できます。
●文字の入力方法についてはP.304参照。

次ページにつづく

11 アイコンを選択▶◎

●ユーザアイコンを設定しているときは～が表示されます。

■スケジュールアイコン一覧

予定　食事　ドライブ　テニス　ゴルフ　病院　デート　カラオケ　会議

外出　飲み会　電車　飛行機　つり　買い物　プライベート　休日　旅行

仕事　誕生日　ユーザアイコン1　ユーザアイコン2　ユーザアイコン3　ユーザアイコン4　ユーザアイコン5

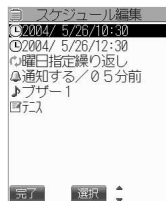
※アラーム通知のとき、選択したアイコンに対応したアニメーションが表示されます。

12 ✉（完了）を押す

設定したスケジュールが登録されます。

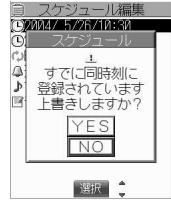
●アラームメッセージ（スケジュール内容）を入力していない場合、完了は表示されません。

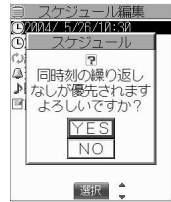
● ：アラームでお知らせ
● D ：毎日繰り返し
● W ：曜日指定繰り返し

■お願い■

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したスケジュールの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したスケジュールの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（アプリケーション編P.373参照）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（アプリケーション編P.462参照）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管することもできます。

■同じ日付の同じ時刻に2つのスケジュールを設定しようとしたときは

●2つのスケジュールがともに「繰り返しなし」(設定なし)またはともに「繰り返し」(毎日／曜日指定)の場合

右の画面が表示されます。
上書きするときは「YES」を選択し、◎を押します。
中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

●「繰り返しなし」(設定なし)のスケジュールと「繰り返し」(毎日／曜日指定)のスケジュールの場合

右の画面が表示されます。
設定するときは「YES」を選択し、◎を押します。
中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

※同時刻に設定できるのは「繰り返し」(毎日／曜日指定)と「繰り返しなし」(設定なし)の組み合わせだけです。このとき「繰り返しなし」のスケジュールが優先されます。

お知らせ

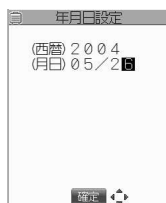
●PIMロック中は、スケジュールの登録、編集はできません。
●待受画面にカレンダーを設定しているときは、カレンダーからスケジュールの設定ができます。(P.178参照)
●設定した日付・時刻を過ぎたスケジュールは自動的には削除されません。
●「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録されたスケジュールは、シークレットモード、シークレット専用モードにしない限り表示されません。また、通常モード時の「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録されたスケジュールのアラーム通知では、シークレットのアニメーションが表示され、アラームメッセージは表示されません。
●「アラーム通知設定」を「通知優先」に設定している場合、発信中にアラーム時刻になったときは相手を呼び出したあとに、着信中にアラーム時刻になったときは通話を開始したあとにお知らせします。
●待受中のときは、「着信音量」の「電話／TV電話」で設定した音量でアラーム音が鳴ります。また、通話中のアラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
●アラーム通知の設定を同じ時刻にしたときの通知の優先順位は、「アラーム」→「ToDo(通知する)」→「ToDo(事前通知する)」→「スケジュール(通知する)」→「スケジュール(事前通知する)」の順になります。通知できなかったスケジュールまたはToDoの内容は、デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。
●「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した時刻(スケジュールの01〜99分前)のみです。スケジュールを設定した日付・時刻にはアラーム通知は行われません。

休日・記念日を登録する

休日と記念日はそれぞれ100件まで登録することができます。1日に登録できるのは、それぞれ1件のみです。

1 **カレンダーを表示▶ (機能)▶新規登録▶休日・記念日**

2 **▶休日または記念日を設定する日付を入力▶**

●選択されている日付があらかじめ入力されています。

3

設定なし･･･繰り返しなし（1回のみ）設定になります。
毎年･･･････毎年同じ休日・記念日を設定します。
●繰り返し（毎年）を設定した休日・記念日も1件としてカウントされます。

4 **▶休日または記念日の内容を入力▶**

●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
●文字の入力方法についてはP.304参照。

5 **(完了)を押す**

設定した休日（ ）・記念日（ ）が登録されます。
● ：毎年繰り返し

スケジュールの管理に利用する

スケジュール

スケジュールの内容を確認する

スケジュール、休日または記念日の内容を確認します。

1 ▶スケジュール

カレンダーが表示されます。

- ●選択されている日付は反転表示されます。
- ●スケジュール（用件別表示中）の機能メニューから「カレンダー表示」を選択し、◎を押してもカレンダーが表示されます。
- ●スケジュールが登録されている日付には「□」（午前）、「■」（午後）が表示されます。土曜日は青色、日曜日・祝日・設定した休日は赤色で表示されます。記念日は赤丸で囲んで表示されます。
- ●その日の午前と午後に設定されているスケジュールの件数と登録されているアイコンを表示します。休日と記念日のアイコンは午後の欄に表示されますが、登録件数には含まれません。
- ●その日の午前と午後に設定されているスケジュールの件数を表示します。
- ●その日に設定されているスケジュール、休日または記念日のアイコンと内容を表示します。

1ヶ月表示

1週間表示

2 確認したい日付を選択▶◎

選択した日付のスケジュールの一覧が時刻順に表示されます。

3 スケジュール、休日または記念日を選択▶◎

スケジュール、休日または記念日の詳細画面が表示されます。

お知らせ

- ●祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成13年法律第59号）」に基づいています。（2004年5月現在）
- ●カレンダー画面では当日の日付の下にアンダーライン「_」が表示されます。
- ●カレンダー表示中、スケジュールの一覧画面で✉（新規）を押し、「スケジュール」、「休日」または「記念日」を選択し、◎を押してもそれぞれの登録画面を表示することができます。
- ●スケジュールの一覧画面、詳細画面で✉（編集）を押して、スケジュールを編集することができます。スケジュールはP.218手順3から、休日と記念日はP.222手順2から操作を行って編集してください。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

カレンダー表示中に (機能)を押すと、以下の項目が表示されます。

操作により実行できない項目があります。

1ヶ月表示・1週間表示

お買い上げ時
1ヶ月表示

カレンダーの1ヶ月表示と1週間表示を切り替えます。

1 **カレンダーを表示▶ (機能)▶1ヶ月表示・1週間表示**

カレンダーの表示が切り替わります。

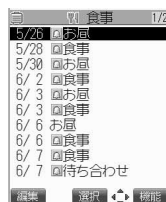
用件別表示

スケジュールを用件別に表示します。

1 **カレンダー・スケジュールを表示▶ (機能)▶用件別表示▶表示したい用件のアイコンを選択▶**

選択したアイコンで登録されているスケジュールの一覧が表示されます。

●スケジュールアイコンについてはP.220参照。

●スケジュールを選択し、 を押すと詳細が表示されます。

■用件別表示からカレンダー表示に戻るとき

用件別表示中に機能メニューから「カレンダー表示」を選択し、 を押します。

お知らせ

●用件別表示では、繰り返しを設定しているスケジュール(「W」または「D」)は1件として表示されます。日付は、今後のスケジュールの中で最も近い日付が表示されます。

ユーザアイコン設定

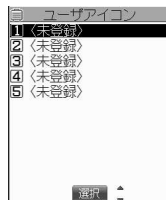
静止画またはアニメーションをユーザアイコンとして設定すると、用件をお知らせするときに画像が表示されます。
ユーザアイコンは5件まで設定でき、アイコン選択の画面では「 」～「 」と表示されます。

1 カレンダー・スケジュールを表示▶ (機能)▶ユーザアイコン設定

●静止画またはアニメーションが1件も登録されていないときは、「ユーザアイコン設定」はグレー表示になり選択することができません。

2 登録したいユーザアイコンを選択▶

カメラ…………………静止画を「カメラ」フォルダ(アプリケーション編P.302参照)から選択します。
ｉモード………………静止画やアニメーションを「ｉモード」フォルダ(アプリケーション編P.302参照)から選択します。
編集……………………静止画を「編集」フォルダ(アプリケーション編P.302参照)から選択します。
キャラ電イメージ……静止画を「キャラ電イメージ」フォルダ(アプリケーション編P.302参照)から選択します。
自作アニメ……………「自作アニメ」(アプリケーション編P.334参照)を表示します。設定を終了します。

●選択したユーザアイコンがスケジュールに使用されている場合は確認画面が表示されます。「YES」を選択し、 を押すと、解除されたアイコンを使用していたスケジュールのアイコンは「 」に変わります。

3 静止画またはアニメーションを選択▶

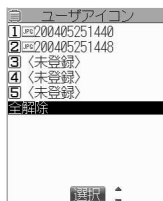
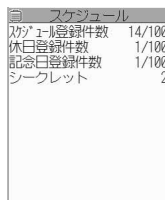
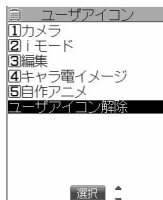
選択した画像が表示されます。
●VGA(640×480)サイズを超える画像や、100Kバイトを超える画像は選択できません。

「カメラ」を選択した場合

次ページにつづく

■ユーザアイコンの設定を解除するとき

●すべて解除するとき

P.225手順2の画面で「全解除」を選択し、◉を押します。
解除の確認画面で「YES」を選択し、◉を押します。
解除されたアイコンを使用していたスケジュールのアイコンは「🕒」に変わります。

●選択したユーザアイコン1件だけを解除するとき

P.225手順2で「ユーザアイコン解除」を選択し、◉を押します。

登録件数確認

登録されているスケジュール、休日、記念日の件数およびシークレットモード、シークレット専用モード中は、シークレットデータとして登録されているスケジュールの件数を表示します。

1 カレンダーを表示▶ⓘ（機能）▶登録件数確認

スケジュールの登録件数が表示されます。

1件削除・前日まで削除・全削除

1 **カレンダー・スケジュールを表示▶ⓘ（機能）▶1件削除・前日まで削除・全削除**

●表示している画面によって選択できる削除方法は異なります。
●「1件削除」を選択した場合は、手順3へ進みます。
●「前日まで削除」を選択すると、カレンダーで選択した日付の前日までのスケジュールが削除されます。

2 **削除する項目を選択▶◎**

スケジュール……………スケジュールが削除されます。
休日…………………………設定した休日が削除されます。
記念日………………………記念日が削除されます。
すべて………………………スケジュール、設定した休日および記念日が削除されます。
●繰り返し（毎日／曜日指定／毎年）が設定されているスケジュール、休日または記念日を「1件削除」しようとしたときは、「繰り返し予定を削除しますか？」の確認画面が表示されます。
繰り返しデータすべて削除するときは「YES」を選択し、◎を押します。
●祝日は「1件削除」でのみ削除できます。「全削除」を選択すると、祝日の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。

3 **YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

デフォルト休日リセット

祝日の設定をお買い上げ時の初期状態に戻します。休日はリセットされません。

1 **カレンダーを表示▶ⓘ（機能）▶デフォルト休日リセット▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

スケジュール表示中にⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

項目	参照
新規登録	P.218
編集	P.228
コピー	P.228
カレンダー表示	P.224
用件別表示	P.224
ユーザアイコン設定	P.225
シークレット解除	P.207
iモードメール作成	P.228
赤外線送信	アプリケーション編P.370
SDカードへエクスポート	アプリケーション編P.378
1件削除	本ページ参照
前日まで削除	本ページ参照
全削除	本ページ参照

操作により実行できない項目があります。

編集

スケジュール、休日または記念日を変更します。

1 **スケジュール・休日・記念日を表示▶ⓘ（機能）▶編集**

以降、スケジュールはP.218手順3から、休日と記念日はP.222手順2から操作を行って編集します。

●祝日は編集できません。

コピー

スケジュール、休日または記念日をコピーして別の日付に登録できます。

1 **スケジュール・休日・記念日を表示▶ⓘ（機能）▶コピー▶貼り付け先の日付、時刻を入力▶◎**

以降、スケジュールはP.218手順4から、休日と記念日はP.222手順3から操作を行って編集します。

●コピー元のスケジュール、休日または記念日に「繰り返し（毎日／曜日指定／毎年）」が設定されていても、貼り付けたスケジュール、休日または記念日は「繰り返しなし」に変更されます。

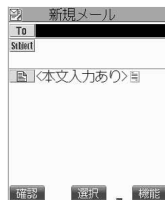
●祝日はコピーできません。

iモードメール作成

スケジュールの日付と内容が本文に入力された新規メールを作成できます。

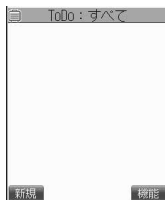
1 **スケジュールを表示▶ⓘ（機能）▶iモードメール作成**

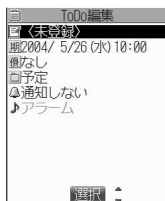
以降、アプリケーション編P.146の操作を行ってメールを作成します。

メニュー 9 5

ToDoでスケジュールを管理する

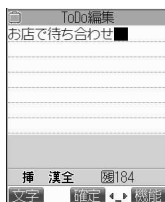
ToDoを最大100件登録してスケジュールを管理することができます。
あらかじめ、「日付時刻設定」で日付・時刻を設定しておいてください。
また、アラーム通知の動作についてはP.216、217を参照してください。

ToDoを登録する

1 ▶ToDo

2 （機能）▶新規登録

●手順1の画面で（新規）を押しても編集画面が表示されます。

3 ▶本文（ToDo内容）を入力▶

●全角100文字まで、半角200文字まで入力できます。
●本文は必ず入力してください。
●文字の入力方法についてはP.304参照。

4 期

直接入力 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥期日（期限）をダイヤルボタンで入力します。
カレンダーから入力 ‥‥期日（期限）をカレンダーから選択します。
なし ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥期日（期限）を設定しません。

■「直接入力」を選択した場合

期日をダイヤルボタンで直接入力し、を押します。

■「カレンダーから入力」を選択した場合

カレンダーが表示されますので、で期日を選択し、を押します。

スケジュール管理に利用する

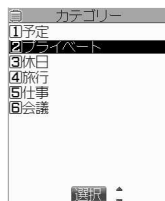
ToDo

次ページにつづく

5 優

高・・・・・・・・・優先度を高く設定します。高が表示されます。
低・・・・・・・・・優先度を低く設定します。低が表示されます。
なし・・・・・・・優先度を設定しません。
●期日順でソートしたときに、同一日付の場合優先度の高い順に表示されます。

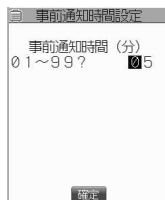
6

予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・カテゴリーを予定に設定します。
プライベート・・・・・・・・・・カテゴリーをプライベートに設定します。
休日・・・・・・・・・・・・・・・・・・カテゴリーを休日に設定します。
旅行・・・・・・・・・・・・・・・・・・カテゴリーを旅行に設定します。
仕事・・・・・・・・・・・・・・・・・・カテゴリーを仕事に設定します。
会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・カテゴリーを会議に設定します。

7

通知する・・・・・・・・・・・・・・設定した時刻になるとアラームで通知します。手順9へ進みます。
事前通知する・・・・・・・・・・設定した時刻の何分か前になるとアラームで通知します。
通知しない・・・・・・・・・・・・通知しません。手順10へ進みます。
●「通知しない」でよければ、設定する必要はありません。

8 何分前に通知するかを入力

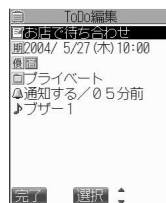
「事前通知する」を選択した場合

●「01」～「99」の2桁を入力します。
●設定されている事前通知時間を変更しない場合は、事前通知時間を入力せずに◎を押します。

9 ♪▶アラーム音を選択▶◎

●選択中は、確認のためアラーム音が鳴ります。通話中に登録するときは、確認のためのアラーム音は鳴りません。
●アラーム音は「アラーム」、着信音一覧（P.170参照）から選択することができます。
●「OFF」を選択した場合、アラーム音は鳴りません。

10 ✉（完了）を押す

設定したToDoが登録されます。

●本文（ToDo内容）を入力していない場合、完了は表示されません。

お知らせ

●PIMロック中は、ToDoの登録、編集はできません。
●「アラーム通知設定」を「通知優先」に設定している場合、発信中にアラーム時刻になったときは相手を呼び出したあとに、着信中にアラーム時刻になったときは通話を開始したあとにお知らせします。
●待受中のときは、「着信音量」の「電話／TV電話」で設定した音量でアラーム音が鳴ります。また、通話中のアラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
●アラーム通知の設定を同じ時刻にしたときの通知の優先順位は、「アラーム」→「ToDo（通知する）」→「ToDo（事前通知する）」→「スケジュール（通知する）」→「スケジュール（事前通知する）」の順になります。通知できなかったスケジュールまたはToDoの内容は、デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。
●「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した時刻（ToDoの０１〜９９分前）のみです。ToDoを設定した日付・時刻にはアラーム通知は行われません。

ToDoを確認する

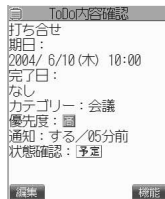
1   **ToDo**

ToDoの一覧が表示されます。

●期日を過ぎているToDoの状態アイコン（P.233参照）は赤色で表示されます。

●高または低が表示されます。優先度が「なし」の場合、アイコンは表示されません。

2 **ToDoを選択▶◉**

選択したToDoの詳細が表示されます。

お知らせ

●ToDoの一覧画面、詳細画面で✉（編集）を押して、ToDoを編集することができます。P.229手順3からの操作を行って編集してください。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

ToDoを表示中に（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

新規登録	P.229
編集	P.233
状態	P.233
カテゴリー別表示	P.233
ソート／フィルタ	P.234
デスクトップ貼付	P.234
赤外線送信	アプリケーション編P.370
SDカードへエクスポート	アプリケーション編P.378
1件削除	P.234
完了済み削除	P.234
全削除	P.234

操作により実行できない項目があります。

編集

ToDoを変更します。

ToDoを表示▶ ⓘ（機能）▶編集

以降、P.229手順3から操作を行ってToDoを編集します。

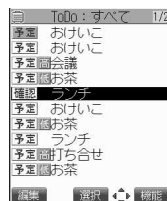
●ToDoの状態が「完了」に設定されていて「完了日」を編集する場合は、「完」を選択し、◎を押してP.229手順4と同様の操作を行います。

●本文は必ず入力してください。

状態

ToDoの状態を設定します。ToDoの一覧では設定した状態が状態アイコンで表示されます。

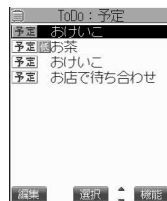
1 ToDoを表示▶ ⓘ（機能）▶状態

予定・・・・・・ToDoの一覧に「予定」が表示されます。
承諾・・・・・・ToDoの一覧に「承諾」が表示されます。
依頼・・・・・・ToDoの一覧に「依頼」が表示されます。
暫定・・・・・・ToDoの一覧に「暫定」が表示されます。
確認・・・・・・ToDoの一覧に「確認」が表示されます。
拒否・・・・・・ToDoの一覧に「拒否」が表示されます。
完了・・・・・・P.229手順4と同様の操作を行います。ToDoの一覧に「完了」が表示されます。
代理・・・・・・ToDoの一覧に「代理」が表示されます。

カテゴリー別表示

ToDoをカテゴリー別に表示します。

1 ToDoを表示▶ ⓘ（機能）▶カテゴリー別表示

すべて・・・・・・・・・・・・・・・・すべてのToDoが表示されます。
予定・・・・・・・・・・・・・・・・・予定で登録されているToDoの一覧が表示されます。
プライベート・・・・・・・・・・プライベートで登録されているToDoの一覧が表示されます。
休日・・・・・・・・・・・・・・・・・休日で登録されているToDoの一覧が表示されます。
旅行・・・・・・・・・・・・・・・・・旅行で登録されているToDoの一覧が表示されます。
仕事・・・・・・・・・・・・・・・・・仕事で登録されているToDoの一覧が表示されます。
会議・・・・・・・・・・・・・・・・・会議で登録されているToDoの一覧が表示されます。

●ToDoを選択し、◎を押すと詳細が表示されます。

ソート／フィルタ

ToDoを並び替えて表示します。また、ToDoを状態別に表示することもできます。

1 **ToDoを表示▶ (i) (機能) ▶ソート／フィルタ**

期日順……………ToDoを期日の古い順に表示します。
完了日順…………ToDoを完了日の古い順に表示します。
登録順……………ToDoを登録の新しい順に表示します。
予定のみ表示……状態が「予定」のToDoのみ登録の新しい順に表示します。
承諾のみ表示……状態が「承諾」のToDoのみ登録の新しい順に表示します。
依頼のみ表示……状態が「依頼」のToDoのみ登録の新しい順に表示します。
暫定のみ表示……状態が「暫定」のToDoのみ登録の新しい順に表示します。
確認のみ表示……状態が「確認」のToDoのみ登録の新しい順に表示します。
拒否のみ表示……状態が「拒否」のToDoのみ登録の新しい順に表示します。
完了のみ表示……状態が「完了」のToDoのみ登録の新しい順に表示します。
代理のみ表示……状態が「代理」のToDoのみ登録の新しい順に表示します。

デスクトップ貼付

ToDo機能をデスクトップに貼り付けます。

1 **ToDoを表示▶ (i) (機能) ▶デスクトップ貼付▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

■**デスクトップのアイコンからToDo機能を呼び出すには**

1. 待受画面で◎を押します。
2. ◎でToDoのアイコンを選択し、◎を押します。

お知らせ

●ToDoの内容をデスクトップに貼り付けることはできません。

1件削除・完了済み削除・全削除

1 **ToDoを表示▶ (i) (機能) ▶1件削除・完了済み削除・全削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。
●状態が「完了」に設定されているToDoを削除するときは「完了済み削除」を選択します。

＜アラーム通知設定＞

アラームで通知するときの状況を設定する

お買い上げ時
通知優先

「アラーム」、「スケジュール」と「ToDo」のアラーム通知を「操作優先」にするか「通知優先」にするかを設定します。

▶時計▶アラーム通知設定

操作優先･･･アラーム通知を操作優先にします。アラーム通知は待受画面表示中にだけ行われます。
通知優先･･･アラーム通知を優先します。FOMA端末を操作しているときや通話中もアラーム通知を行います。

お知らせ

●アラーム通知ができなかったときは、デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されます。

＜電源OFF時アラーム通知＞

電源を切っているときのアラーム通知を設定する

お買い上げ時
ON

電源を切っているときに「アラーム」で設定した時刻になった場合、自動的に電源を入れてアラーム通知するかどうかを設定します。

▶時計▶電源OFF時アラーム通知

ON ･･･････自動的に電源をONにして、アラーム通知します。
OFF･･･････電源はOFFのまま、アラーム通知しません。

お知らせ

●高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「電源OFF時アラーム通知」を「OFF」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。
●この設定は「スケジュール」「ToDo」のアラーム通知には無効です。（P.216参照）
●自動的に電源をONにしてアラーム通知する場合は、アラーム音に「オリジナル着信音」が選択されていても、FOMAカード動作制限機能により「アラーム」で鳴ります。
「オリジナル着信音」以外が選択されている場合は選択した音が鳴ります。

自分の名前やメールアドレスなどを登録する

ご契約の電話番号（自局番号）の他にお客様の個人データとして名前とフリガナ、自宅などの電話番号やメールアドレスなどを登録することができます。電話番号は自局番号の他に3件、メールアドレスは3件まで登録することができます。
自局番号はFOMAカードに登録されている電話番号が表示されます。
また、自局番号以外の項目はFOMA端末に登録されるため、他のFOMAカードをセットしても表示されます。

自局番号を表示する

▶ユーザデータ▶電話番号表示

メールアドレス1が登録されている場合は、◎を押して表示を切り替えることができます。

- 自局番号を変更および削除することはできません。
- 登録済みのすべてのデータを表示するには、「全データ表示」の操作をしてください。
- 通話中に右の画面で（機能）を押し、を押すと、自局番号のダイヤルデータが送信されます。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

電話番号表示で（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

操作により実行できない項目があります。

個人データを登録する

自局番号以外の電話番号・メールアドレス・住所・メモ・画像を登録することができます。メールアドレスを変更（アプリケーション編P.190参照）またはシークレットコードを登録（アプリケーション編P.192参照）したときは、本機能のメールアドレスも変更してください。

1 電話番号表示▶ⓘ（機能）▶個人データ編集▶端末暗証番号を入力▶◎

●端末暗証番号についてはP.198参照。
●「全データ表示」または「個人データ初期化」を操作したあとに「個人データ編集」を選択し、◎を押した場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。

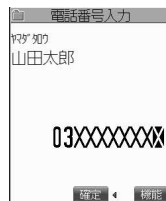
2 姓▶姓を入力▶◎▶姓のフリガナを確認▶◎

●名前は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号などで入力します。姓と名の合計で全角16文字まで、半角32文字まで入力できます。
フリガナは半角のカタカナ、英字、数字、記号で入力します。姓と名の合計で半角32文字まで入力できます。
●文字の入力方法についてはP.304参照。
●表示されているフリガナでよければ、修正する必要はありません。
●姓に入力した文字によっては、フリガナの入力を行う必要があります。

3 名を入力▶◎▶名のフリガナを確認▶◎

●文字の入力方法についてはP.304参照。
●表示されているフリガナでよければ、修正する必要はありません。
●名に入力した文字によっては、フリガナの入力を行う必要があります。

4 ☎<追加登録>▶電話番号を入力▶◎

●26桁まで入力できます。
●(#)を1秒以上押して、登録する電話番号にポーズ（p）を入力することができます。ただし、電話番号の先頭にポーズ（p）を入力したり、連続して入力することはできません。また、電話番号の最後に入力したポーズ（p）は登録されません。

5 アイコンを選択▶◎

●「☎<追加登録>」が1つ増えます。別の電話番号を登録するときは、「☎<追加登録>」を選択し、手順4～5を繰り返します。
●電話番号アイコンについてはP.114参照。

6 <未登録>▶メールアドレスを入力▶◎

●半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。
●文字の入力方法についてはP.304参照。
●本機能で変更するメールアドレスは、電話番号表示で表示するメールアドレスだけです。実際のメールアドレスは変更されません。
実際のメールアドレスを変更またはシークレットコードを登録するときは、アプリケーション編P.190、192を参照してください。

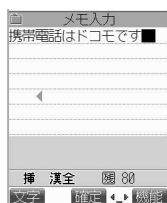
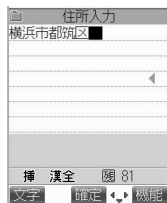
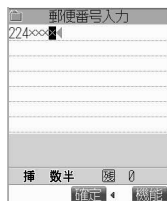
7 アイコンを選択▶◎

●「<追加登録>」が1つ増えます。別のメールアドレスを登録するときは、「<追加登録>」を選択し、手順6～7を繰り返します。
●メールアドレスアイコンについてはP.114参照。

8 <未登録>▶郵便番号を入力▶◎

●7桁まで入力できます。
●「〒」や「-」(ハイフン)は入力できません。

9 住所を入力▶◎

●漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号などで入力します。全角46文字まで、半角93文字まで入力できます。
●文字の入力方法についてはP.304参照。

10 <未登録>▶メモを入力▶◎

●漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号などで入力します。全角50文字まで、半角100文字まで入力できます。
●文字の入力方法についてはP.304参照。

11 <未登録>

カメラ･････････････････静止画を「カメラ」フォルダ(アプリケーション編P.302参照)から選択します。
iモード･･･････････････静止画を「iモード」フォルダ(アプリケーション編P.302参照)から選択します。
編集･･･････････････････静止画を「編集」フォルダ(アプリケーション編P.302参照)から選択します。
キャラ電イメージ･･････静止画を「キャラ電イメージ」フォルダ(アプリケーション編P.302参照)から選択します。

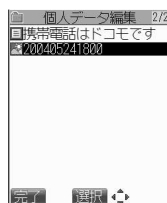
「カメラ」を選択した場合

●88×72ドットより大きい画像を選択した場合は、縮小されて表示されます。
●すでに登録されている画像があるときは上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
上書きする場合は「YES」を選択し、◎を押します。
中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

12 静止画を選択▶◎

●登録できる静止画は最大20KバイトまでのJPEG画像です。ただし、ファイル制限あり（アプリケーション編P.280参照）の静止画は登録できません。

13 ✉（完了）を押す

入力した各データが登録されます。

全データ表示

登録した電話番号やメールアドレスなどをすべて表示します。

1 電話番号表示▶（機能）▶全データ表示▶端末暗証番号を入力▶◎

登録した各データが表示されます。◎でそれぞれの項目を表示します。

●端末暗証番号についてはP.198参照。

名前コピー（電話番号／メールアドレス／住所／メモコピー）

登録されている各項目をコピーします。コピーした文字はFOMA端末に記憶され、別の位置に貼り付けたり、他の文字入力（編集）画面に貼り付けることができます。（P.304参照）
例：メールアドレスをコピーするとき

1 電話番号表示▶（機能）▶メールアドレスコピー

●表示させた項目によって機能メニュー項目（電話番号／メールアドレス／住所／メモコピー）は異なります。ただし、名前コピーはどの項目を表示しているときの機能メニューからでも選択できます。

電話番号／メールアドレス／住所／メモ／画像削除

登録されている項目を各項目ごとに削除します。

1 **電話番号表示▶ (機能)**

電話番号削除 ··········表示している電話番号を削除します。
メールアドレス削除 ····表示しているメールアドレスを削除します。
住所削除 ··············登録されている住所を削除します。
メモ削除 ··············登録されているメモを削除します。
画像削除 ··············登録されている画像を削除します。

●メールアドレス1を削除するとき、端末暗証番号の入力を必要とする場合があります。
その場合は、端末暗証番号を入力し を押します。
●表示させた項目によって機能メニュー項目（電話番号／メールアドレス／住所／メモ／画像削除）は異なります。

2 **YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。

個人データ初期化

個人データとして登録した自局番号以外の電話番号やメールアドレスなど、登録したすべての個人データを初期化（削除）して、お買い上げ時の状態に戻します。

1 **電話番号表示▶ (機能)▶個人データ初期化▶端末暗証番号を入力▶ ▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。
●端末暗証番号についてはP.198参照。
●「全データ表示」を操作したあとに「個人データ初期化」を選択し、 を押した場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。

<プライベートメニュー登録>

オリジナルのメニューを使う

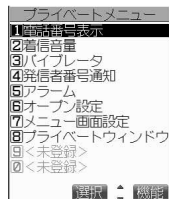
よく使う機能を登録しておけば、「プライベートメニュー」で簡単に呼び出すことができます。
プライベートメニューには、電話帳、各種設定、マルチメディア、アクセサリ、ユーザデータ、サービス、ｉモード、メール、ｉアプリの各機能（P.336参照）から10件まで登録することができます。

お買い上げ時
電話番号表示
着信音量
バイブレータ
発信者番号通知
アラーム
オープン設定
メニュー画面設定
プライベートウィンドウ

プライベートメニューから機能を選択する

1 **メインメニュー▶**（メニュー）

プライベートメニューが表示されます。

プライベートメニュー
1電話番号表示
2着信音量
3バイブレータ
4発信者番号通知
5アラーム
6オープン設定
7メニュー画面設定
8プライベートウィンドウ
9<未登録>
0<未登録>
選択　機能

<プライベートメニュー>

2 **機能を選択▶**（◉）

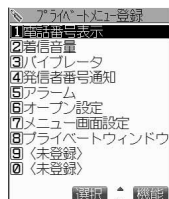
選択した機能の画面が表示されます。

プライベートメニュー一覧を表示する

（メニュー）（5）（2）

1 （メニュー）▶

▶ディスプレイ▶プライベートメニュー登録

プライベートメニュー登録
1電話番号表示
2着信音量
3バイブレータ
4発信者番号通知
5アラーム
6オープン設定
7メニュー画面設定
8プライベートウィンドウ
9〈未登録〉
0〈未登録〉
選択　機能

<プライベートメニュー一覧画面>

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

プライベートメニュー・プライベートメニュー一覧画面で（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

メニュー登録	P.242
デスクトップ貼付	P.242
メニュー初期化	P.242
1件解除	P.242
全解除	P.242

操作により実行できない項目があります。

メニュー登録

プライベートメニューによく使う機能を登録します。

1 プライベートメニュー・プライベートメニュー一覧画面▶(機能)▶メニュー登録▶登録する機能を選択▶◎

定型文をプライベートメニューに登録する場合

プライベートメニューに選択した機能が登録されます。

●プライベートメニュー一覧画面で項目を選択し、◎を押しても登録画面が表示されます。

●◎を押すとメニュー機能の大項目もしくは中項目ごとに登録できる機能が表示されます。◎を押して登録する機能を選択します。

●すでに登録されている機能があるときは上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
上書きする場合は「YES」を選択し、◎を押します。
中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

お知らせ

●「iモード」、「iアプリ」および「メール」はメニュー機能の大項目のみ登録できます。その中の各機能を登録することはできません。

●同じ機能を複数登録することはできません。

●他の機能が動作中は、登録できません。

デスクトップ貼付

プライベートメニューをデスクトップに貼り付けます。

1 プライベートメニュー・プライベートメニュー一覧画面▶(機能)▶デスクトップ貼付▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

■デスクトップのアイコンからプライベートメニューを呼び出すには

1. 待受画面で◎を押します。
2. ◎でプライベートメニューのアイコンを選択し、◎を押します。

●プライベートメニューに機能が1件も登録されていない場合は、登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、◎を押すと登録画面が表示されます。

メニュー初期化・1件解除・全解除

1 プライベートメニュー・プライベートメニュー一覧画面▶(機能)▶メニュー初期化・1件解除・全解除▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

●プライベートメニューをお買い上げ時の項目に戻したいときは、「メニュー初期化」を選択します。

<通話中音声メモ><待受中音声メモ>

相手の声や自分の声を録音する

音声メモには、音声電話中に相手の声を録音する「通話中音声メモ」と、待受中に自分の声を録音する「待受中音声メモ」の2つがあります。
録音できる件数は、「待受中音声メモ」または「通話中音声メモ」のどちらか一方で1件、録音時間は約20秒間です。
また、テレビ電話中に相手の声を録音することもできます。(TV電話音声メモ)
録音できるのは1件につき約20秒間で、2件までです。

通話中に相手の声を録音する

1 通話中▶ [▼] (1秒以上)

「ピッ」と鳴って録音が始まります。
テレビ電話の場合は録音が始まると「●REC」が表示されます。

●音声電話中は以下の操作で「通話中音声メモ」を録音することもできます。
 1. 通話中に [メニュー] を押します。
 2. [アクセサリ] を選択し、[◉] を押します。
 3.「通話中音声メモ」を選択し、[◉] を押します。
●テレビ電話の場合は相手に「画像選択」の「音声メモ」で設定した静止画が表示されます。
●録音を途中でやめるときは [◉] または [▼] (1秒以上)を押します。音声電話の場合は [クリア] を押しても録音が停止します。
●録音時間(約20秒間)が終わる5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
録音が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、通話中の画面に戻ります。

音声電話の場合

テレビ電話の場合

お知らせ

●「通話中音声メモ」「待受中音声メモ」のどちらかがすでに保存されているときに録音をした場合は、再生・未再生にかかわらず上書きされます。
●「TV電話音声メモ」がすでに2件保存されているときに録音をした場合は、再生・未再生にかかわらず最も古い「TV電話音声メモ」が上書きされます。
●機能メニューの各項目の操作中、テレビ電話の保留中などは録音することはできません。
●録音中に [HLD] を押すと、録音を停止し、通話を終了します。
●「通話中音声メモ」の再生についてはP.107参照。
●「TV電話音声メモ」の再生についてはP.109参照。

待受中に自分の声を録音する

1 ▶ ▶ **待受中音声メモ ▶ YES**

「ピッ」と鳴って録音が始まります。送話口に向かってお話しください。

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

●録音を途中でやめるときは◎または クリア を押します。

●録音時間（約20秒間）が終わる5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
録音が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、元の画面に戻ります。

お知らせ

●録音中に電話がかかってきたときやアラーム、スケジュール、ToDoのアラームが鳴ったとき、マルチタスクで画面を切り替えたときには、録音が中断されます。

●録音中に HLD を押すと、録音を停止し、待受画面に戻ります。

●「待受中音声メモ」の再生についてはP.107参照。

＜電卓＞

電卓を使う

メニュー 8 5

電卓を表示し四則演算（＋、－、×、÷）を行うことができます。
小数点やマイナス表示も1桁分として、最大10桁まで表示することができます。

1

電卓

電卓が表示されます。

2 **以下の操作で計算を行う**

キー	操作
○（右）	＋
○（左）	－
○（上）	×
○（下）	÷
◉	＝
✉	小数点
＃	数字の＋／－を切り替えます。
クリア	C（クリア）･･･数字・小数点を入力した場合は表示している数字を取り消します。 四則計算（＋、－、×、÷）・「＝」を入力した場合は計算を取り消します。 Back･････････その他の場合は電卓を終了し、アクセサリ機能の選択画面に戻ります。

■計算の例（15＋20.7を計算します。）

1　5　＋　2　0　.　7　＝　35.7

1　5　○　2　0　✉　7　◉

お知らせ

●計算結果が10桁を超えた場合や0で割り算をするなど誤った計算を行った場合は、「E」を表示します。
●負数で始まる計算や途中に負数の入った計算を行う場合は、数字を入力したあとに ＃ を押して＋／－を切り替えてください。

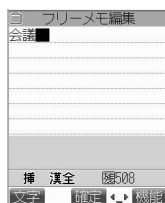
フリーメモを作成する

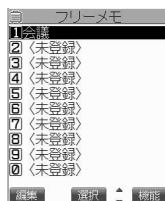
フリーメモは10件まで登録できます。1件あたり全角256文字まで、半角512文字まで入力できます。
フリーメモをスケジュールの予定や、新規メールの本文に貼り付けることもできます。

フリーメモを登録する

1   **フリーメモ**

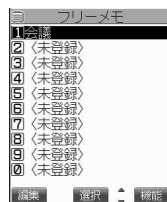
2 **<未登録>を選択▶ ()▶フリーメモを入力▶**

●手順1の画面で機能メニューから「編集」を選択し、 を押しても編集画面が表示されます。
●文字の入力方法についてはP.304参照。

フリーメモを確認する

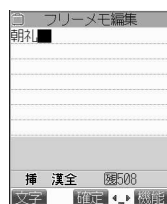
1   **フリーメモ**

2 **フリーメモを選択▶**

●フリーメモが長い場合は、 や で画面をスクロールさせて確認できます。

フリーメモを修正する

1 (メニュー) ▶ (アクセサリ) ▶ **フリーメモ**

2 **フリーメモを選択▶**(◉)**▶**(✉)**(編集)**

3 **フリーメモを修正▶**(◉)

●手順1の画面で(✉)(編集)を押しても編集画面が表示されます。
　また、機能メニューから「編集」を選択し、(◉)を押しても編集画面が表示されます。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

フリーメモ表示中に(i)(機能)を押すと、以下の項目が表示されます。

編集	P.246、本ページ参照
iモードメール作成	P.248
スケジュール作成	P.248
赤外線送信	アプリケーション編P.370
SDカードへエクスポート	アプリケーション編P.378
1件削除	P.248
全削除	P.248

操作により実行できない項目があります。

1件削除・全削除

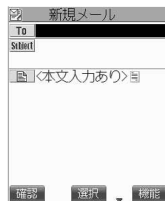
1 **フリーメモを表示▶ (i) (機能) ▶1件削除・全削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

iモードメール作成

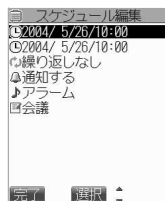
フリーメモの内容が本文に入力された新規メールを作成できます。

1 **フリーメモを表示▶ (i) (機能) ▶ iモードメール作成**

以降、アプリケーション編P.146の操作を行ってメールを作成します。

スケジュール作成

フリーメモの内容が入力された新規スケジュールを作成できます。

1 **フリーメモを表示▶ (i) (機能) ▶スケジュール作成▶スケジュール**

以降、P.218手順3から操作を行ってスケジュールを編集します。

■お願い■
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したフリーメモの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したフリーメモの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（アプリケーション編P.373参照）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（アプリケーション編P.462参照）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管することもできます。

＜設定リセット＞

各種機能の設定をリセットする

各種機能の設定をお買い上げ時の初期状態に戻します。

▶その他▶設定リセット▶端末暗証番号を入力▶◎▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

●端末暗証番号についてはP.198参照。

●設定リセットによる初期状態一覧

	メニュー番号	機能名称	初期状態	参照先
各種設定	着信			
		呼出時間表示設定	呼出動作開始時間　：0秒 時間内不在着信表示　：表示する	P.146
	50	着信音量	レベル4	P.77
	13	着信音選択	電話　：ブザー1 TV電話　：ブザー1 メール　：ブザー2 メッセージリクエスト：ブザー3 メッセージフリー　：ブザー3	P.169
	54	バイブレータ	OFF	P.143
	89	着信イルミネーション	電話　：色5 TV電話　：色5 メール　：色1 メッセージリクエスト：色1 メッセージフリー　：色1 パターン設定　：固定パターン カラー設定　：初期化	P.160
	20	マナーモード選択	マナーモード オリジナルマナーの設定は 伝言メモ　：OFF バイブレータ　：ON 電話着信音量　：消去 メール着信音量　：消去 アラーム音量　：消去 メモ確認音　：ON ボタン確認音　：OFF 通話中マイク感度　：アップ 低電圧アラーム　：OFF	P.140
		電話帳画像着信設定	ON	P.181
	58	着信アンサー設定	エニーキーアンサー	P.165
	18	クローズ動作設定	終話	P.166
	68	ｉモード鳴動時間	ON／5秒	アプリ編
	65	確認機能設定	電子音	P.100
		オープン設定	着信継続	P.166

次ページにつづく

	メニュー番号	機能名称	初期状態	参照先
各種設定	**通話**			
	76	ノイズキャンセラ	ON	P.158
	75	通話品質アラーム	アラーム高音	P.159
	77	再接続機能	アラームなし	P.159
		通話中イルミネーション	OFF	P.164
		保留音選択	応答保留音1	P.164
	TV電話			
		発信時自画像送信設定	ON	P.92
		画像選択	応答保留：内蔵 通話中保留：内蔵 代替画像：キャラ電 伝言メモ準備：内蔵 伝言メモ録音：内蔵 音声メモ：内蔵	P.93
	98	音声自動再発信設定	OFF	P.94
		遠隔監視設定	対局番号登録：未登録 応答時間設定：5秒（ON設定時） 設定：OFF	P.95
	ディスプレイ			
	56	画面表示設定	待受画面：マリーナ ウェイクアップ表示：Hello! 電話発信：スタンダード 電話着信：スタンダード メール送信：スタンダード メール受信：スタンダード 問い合わせ：スタンダード 省電力：ON	P.177
	70	照明設定	通常時：ON（待受画面省電力モードON、待ち時間5分） 充電時：標準 範囲：液晶＋ボタン 明るさ：レベル2	P.185
	86	配色パターン	クールホワイト	P.185
	93	プライベートウィンドウ	設定：ON 明るさ：レベル5 待受表示固定：OFF 待受画面表示：デジタル時計1（ピクト表示ON） 背景設定：クリアホワイト 着信表示：ON（画像＋着信番号） メール表示：OFF アニメーション表示：ON（バックライトOFF）	P.187
	66	フォント設定	文字パターン：フォント1 太さ：中太字	P.190

	メニュー番号	機能名称	初期状態	参照先
各種設定	52	プライベートメニュー登録	電話番号表示 着信音量 バイブレータ 発信者番号通知 アラーム オープン設定 メニュー画面設定 プライベートウィンドウ	P.241
	57	メニュー画面設定	ガイダンス表示：ON メニュー表示　：一覧表示	P.196
	47	オート表示	OFF	P.184
	時間			
	48	通話中時間表示	ON	P.167
	時計			
	39	時計表示設定	表示方法　：日本語 表示サイズ：大きく表示	P.197
		アラーム通知設定	通知優先	P.235
		電源OFF時アラーム通知	ON	P.235
	ロック／セキュリティ			
		セルフモード	解除	P.211
		ダイヤル発信制限	解除	P.209
		登録外着信拒否	許可	P.154
	10	非通知着信設定	すべて許可／通常着信音と同じ	P.155
	iモード通信設定			
		接続待ち時間設定	60秒	アプリ編
		iモード問い合わせ設定	すべて問い合わせる	アプリ編
	81	接続先選択	i-mode	アプリ編
		SMS center設定	ドコモ	アプリ編
		証明書	すべて有効	アプリ編
		証明書センター接続設定	ドコモ	アプリ編
	iアプリ設定			
		ソフト情報表示設定	表示しない	アプリ編
		α照明設定	システム依存	アプリ編
		αバイブレータ	システム依存	アプリ編
	カメラ			
	19	カメラOFF設定	OFF時間指定：5分	アプリ編
	外部オプション			
	51	イヤホン切替	イヤホン＋スピーカ	P.260
	94	オート着信	OFF 呼出時間：6秒（ON設定時）	P.261

次ページにつづく

	メニュー番号	機能名称	初期状態	参照先
各種設定	**その他**			
	30	ボタン確認音	ON	P.176
		充電確認音	ON	P.176
		サイドボタン操作	閉じたとき有効	P.212
	35	文字入力方式	入力モード　　：すべて有効 優先入力方式　：モード1（かな方式） ワード予測　　：ON ガイダンス表示：ON	P.305
		履歴表示設定	ON	P.210
		サブアドレス設定	ON	P.158
		プレフィックス設定	WORLD CALL（009130010）	P.156
マルチメディア	**イメージ**			
		イメージ編集	文字合成　文字色　：16色、黒 フォント：ゴシック体 文字サイズ：通常サイズ	アプリ編
		イメージ貼付	すべて解除	アプリ編
		画像表示設定	標準	アプリ編
		ソート	日時順（新→古）	アプリ編
		一覧表示切替	画像	アプリ編
	iモーション			
		着モーション設定	解除	アプリ編
		画像表示設定	等倍表示	アプリ編
		ソート	日時順（新→古）	アプリ編
		一覧表示切替	名前＋画像	アプリ編
	キャラ電			
		撮影モード	スナップ	アプリ編
		画像表示設定	画面サイズで表示	アプリ編
		記録サイズ設定	QCIF（176×144）	アプリ編
		映像／音声選択	映像＋音声	アプリ編
		記録品質設定	標準モード	アプリ編
アクセサリ	45	スケジュール	1ヶ月表示／ユーザアイコン未登録	P.218
	44	アラーム	OFF	P.213
	55	伝言メモ	伝言メモ　　　：OFF 応答メッセージ：標準 呼出時間　　　：8秒（ON設定時）	P.103
	91	おしゃべり機能	開始音設定：ON	P.174
	カメラ			
		撮影モード	スナップ	アプリ編
		明るさ	±0	アプリ編
		ホワイトバランス	オート	アプリ編

	メニュー番号	機能名称	初期状態	参照先
アクセサリ		色調切替	通常	アプリ編
		インカメラスナップサイズ	QCIF（176×144）	アプリ編
		アウトカメラスナップサイズ	壁紙（240×266）	アプリ編
		連続撮影サイズ	QCIF（176×144）	アプリ編
		動画サイズ	QCIF（176×144）	アプリ編
		スナップ画質	ファイン	アプリ編
		録画画質	標準モード	アプリ編
		SD録画画質	ファイン	アプリ編
		連続撮影モード切替	自動連続撮影	アプリ編
		記録媒体選択	本体	アプリ編
		スナップ制限	メール添付モード	アプリ編
		録画制限	メール添付モード	アプリ編
		ファイル制限	なし	アプリ編
		シャッター音選択	シャッター音1	アプリ編
		ナイトモード	OFF	アプリ編
サービス		着信動作選択	通常着信	P.297
電話帳	62	電話帳便利機能	すべて解除	P.152
	12	電話帳指定設定	すべて解除	P.150
		電話帳検索方法	フリガナ検索	P.123
ユーザデータ	38	定型文	固定定型文初期化	P.326
その他	テレビ電話	照明設定	常時点灯	P.90
		TV電話画面設定	画面サイズで表示	P.91
	1秒以上	受話音量	レベル4	P.76
	1秒以上	マナーモード	解除	P.138
	1秒以上	ドライブモード	解除	P.101

アプリ編…アプリケーション編

お知らせ

- 他の機能が動作中はリセットできません。
- オールロック、PIMロック中はリセットできません。

FOMAカードと本体の間でデータをコピー／削除する

FOMA端末（本体）とFOMAカードの間で、電話帳やショートメッセージ（SMS）のデータをやりとりします。また、FOMA端末（本体）やFOMAカードに記憶している電話帳やショートメッセージ（SMS）のデータを削除します。

データをコピーする

例：電話帳のデータをコピーするとき

1

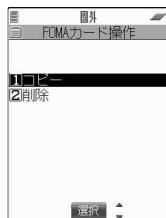
端末暗証番号を入力すると着信ができないようになり、「圏外」が表示されます。端末暗証番号入力前に着信があった場合は、FOMAカード操作を終了します。

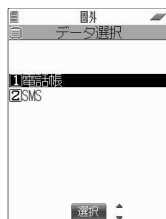
●端末暗証番号については、P.198参照。

2 **コピー**

本体→FOMAカード‥‥FOMA端末（本体）のデータをFOMAカードにコピーします。

FOMAカード→本体‥‥FOMAカードのデータをFOMA端末（本体）にコピーします。

●FOMAカードが差し込まれていなかったり、カードに異常があるときは「本体→FOMAカード」、「FOMAカード→本体」がグレー表示になり、選択できません。

3 **電話帳▶電話帳の検索方法を選択▶◎▶電話帳の一覧画面を表示**

●電話帳の検索方法についてはP.123参照。

4 **コピーするデータにチェック▶✉（完了）**

◎を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

☑‥‥‥‥コピーします。

□‥‥‥‥コピーしません。

●（機能）を押して機能メニューを表示させ「1件選択」または「全選択」を選択し、◎を押してもデータを選択することができます。
また、同様に「1件解除」または「全解除」を選択し、◎を押しても選択を解除することができます。

●（機能）を押して機能メニューを表示させ「コピー開始」を選択し、◎を押してもコピーを開始することができます。

5 **YES**

選択したデータのコピーが開始されます。

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

データを削除する

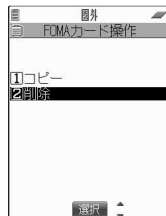
例：ショートメッセージ（SMS）のデータを削除するとき

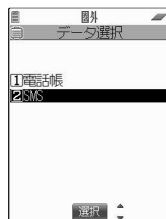
1 (メニュー)▶(アクセサリ)▶**FOMAカード操作▶端末暗証番号を入力▶**◎

端末暗証番号を入力すると着信ができないようになり、「圏外」が表示されます。端末暗証番号入力前に着信があった場合は、FOMAカード操作を終了します。

●端末暗証番号については、P.198参照。

2 **削除**

本体・・・・・・・・・・・・・・・・・・FOMA端末（本体）のデータを削除します。
FOMAカード・・・・・・・・・・FOMAカードのデータを削除します。

3 **SMS**

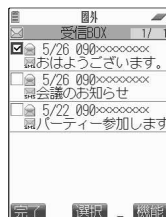
受信BOX ・・受信BOXのデータを削除します。
送信BOX ・・送信BOXのデータを削除します。

4 **フォルダを選択▶**◎

5 **削除するデータにチェック▶**(✉)（完了）

◎を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

☑・・・・・・・・削除します。
□・・・・・・・・削除しません。

● (機能)を押して機能メニューを表示させ「1件選択」を選択し、◎を押してもデータを選択することができます。
また、同様に「1件解除」を選択し、◎を押しても選択を解除することができます。

● (機能)を押して機能メニューを表示させ「削除開始」を選択し、◎を押してもデータを削除することができます。

FOMA端末（本体）を選択した場合

6 **YES**

選択したデータが削除されます。

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

電話帳またはショートメッセージ（SMS）の一覧を表示中に ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

コピー開始	P.254
削除開始	P.255
1件選択	P.254、255
全選択	P.254
1件解除	P.254、255
全解除	P.254
詳細表示	本ページ参照

操作により実行できない項目があります。

詳細表示

コピーまたは削除するデータの詳細を確認します。

1 電話帳またはショートメッセージ（SMS）の一覧画面

▶ⓘ（機能）▶**詳細表示**

電話帳の一覧から選択した場合

お知らせ

- ●データのコピー／削除中は、電話やメールの機能を使うことはできません。また、マルチタスク機能を使って他の機能を起動することもできません。
- ●通話中、ｉモード中、スケジュールを開いているときなど、他の機能を使っているときは、データのコピー／削除はできません。
- ●電話帳のデータは、グループ単位でのコピー／削除はできません。
- ●FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末（本体）に登録された2つ目以降の電話番号／メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。また、住所などFOMAカードに登録できないデータもコピーできません。
- ●FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、絵文字がスペースに変換されます。
- ●データをコピーしても、コピー元のFOMA端末（本体）やFOMAカードのデータは残ります。
- ●SMSレポート（送達通知）（アプリケーション編P.208参照）のみのコピーはできません。
- ●ショートメッセージ（SMS）のデータはBOX単位、フォルダ単位でのコピー／削除はできません。
- ●データのコピー中にコピー先の最大登録（保存）件数を超えたときは、「データがいっぱいです」と表示されます。すでに登録（保存）されたデータの中で不要なものを削除したあと、コピーされなかったデータのコピーをやり直してください。
- ●電話帳、ショートメッセージ（SMS）の全件削除はできません。

<PLMN設定>

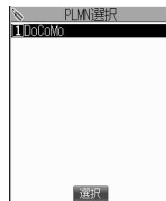
利用する通信事業者を設定する

お買い上げ時
DoCoMo

お客様がご利用になるFOMAサービスを提供するPLMN（通信事業者名）の設定を行います。

※2004年5月現在、「DoCoMo」以外の通信事業者は選択できません。

1 （メニュー）▶▶**その他**▶**PLMN設定**▶**ネットワーク手動選択**▶**利用するPLMN（通信事業者名）を選択**▶◎

選択したPLMN（通信事業者名）が設定されます。

お知らせ

●他の機能が動作中のときは、変更できません。

平型スイッチ付イヤホンマイクで電話を受ける

イヤホンマイク端子（P.31参照）のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）の接続プラグを差し込んでご利用ください。
FOMA端末を折りたたんだ状態でも、利用することができます。

1 着信中▶平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

「ピッ」という音が鳴り、電話がつながります。
テレビ電話の場合、相手には「画像選択」の「代替画像」で設定した画像が送信されます。テレビ電話中に ⓐ を押して代替画像と自分のカメラ画像を切り替えることができます。
●FOMA端末の操作でも、電話を受けることができます。

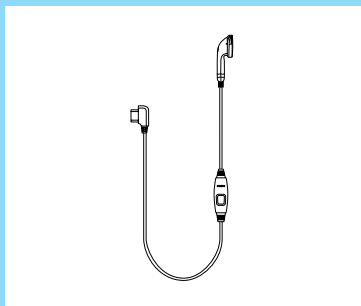
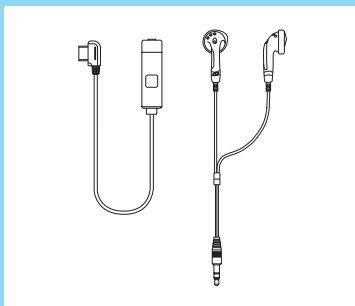
2 お話が終わったら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話を終了する

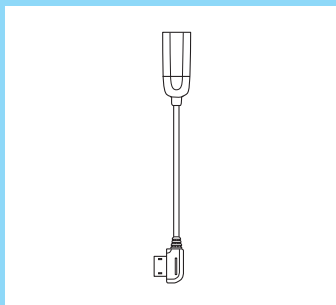
「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

お知らせ

●「イヤホン切替」で平型スイッチ付イヤホンマイクを接続したときに音がスピーカから鳴らないように設定できます。
●「着信音量」を「消去」に設定したときやマナーモードに設定中は、着信音は鳴りません。ただし、マナーモード設定中の機能を「オリジナルマナー」に設定し、その設定内容で「着信音量」を「消去」以外にしているときは音が鳴ります。
●「ボタン確認音」の設定に関係なく、電話がつながったときの音や電話が切れたときの音は鳴ります。
●着信音が鳴ってから平型スイッチ付イヤホンマイクを接続するときに、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。
●応答保留中に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すと、保留を解除することができます。（テレビ電話を応答保留していた場合、「画像選択」の「代替画像」で設定した画像を送信し、テレビ電話を開始します）
●平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチは通話中に ☎ を押す操作の代わりにはなりません。スイッチを1秒以上押すと、通話が切れますのでご注意ください。
●平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを連続して押したり放したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。
●「話中着信サービス（キャッチホン）」をご契約され、通話中に「マルチ接続中」と表示されている場合は、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話する相手を切り替えることができます。ただし、スイッチで終了することはできません。
●通話中に ▲ （音量を上げる）、 ▼ （音量を下げる）を押すと、音量調節ができます。
●平型スイッチ付イヤホンマイク、イヤホンジャック変換アダプタに接続したスイッチ付イヤホンマイクの接続時に着信があった場合、「オート着信」をONに設定していると、呼出時間経過後に自動的に応答します。
●着信中に平型スイッチ付イヤホンマイクを外しても、「オート着信」は有効です。
●平型スイッチ付イヤホンマイク接続中は、ハンズフリーに切り替えてもスピーカから音は鳴りません。

イヤホンマイク端子に接続することのできるオプション品

■平型スイッチ付イヤホンマイク　P01/P02

■平型ステレオイヤホンセット　P01

■イヤホンジャック変換アダプタ　P001

この「イヤホンジャック変換アダプタ　P001」を使うと、以下のオプション品がご利用できるようになります。

●スイッチの使いかたは、平型スイッチ付イヤホンマイクと同じです。

■スイッチ付イヤホンマイク　P001/P002

■ステレオイヤホンセット　P001

※上記の商品については一部取り扱っていない地域がございます。あらかじめご了承ください。

<イヤホン切替>

イヤホンからのみ着信音を鳴らす

お買い上げ時
イヤホン+スピーカ

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続したとき、着信音をスピーカからも鳴らすかどうかを設定することができます。
この設定を行うと、着信音だけでなく、アラーム通知、メロディプレーヤーの再生音なども設定した場所から鳴ります。

▶外部オプション▶イヤホン切替

イヤホン+スピーカ・・・・イヤホンとスピーカの両方から音が鳴ります。
イヤホン・・・・・・・・・・・・・・・イヤホンからのみ音が鳴ります。

お知らせ

●「イヤホン」のみの設定でも、着信中は着信音が鳴って約20秒後にイヤホンとスピーカの両方から鳴ります。ただし、音声電話の着信時、テレビ電話の着信時、パケット着信時、アラーム通知時以外の操作で着信音を鳴らしているときは、約20秒たってもスピーカから音は鳴らずにイヤホンのみから音が鳴ります。
●「イヤホン」のみの設定でも、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続していないときは、スピーカから音が鳴ります。
●平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。
●通話中に平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。

<オート着信>

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

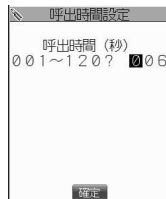
平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときに着信があった場合、設定した呼出時間が経過すると自動的に応答することができます。

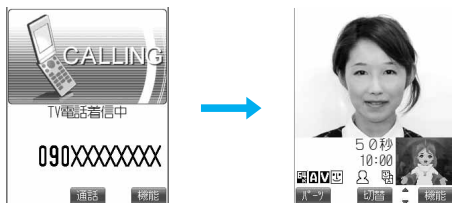
お買い上げ時
オート着信 ・・・・・・OFF
呼出時間 ・・・・・・・・6秒（ON設定時）

1 メニュー ▶ 各種設定 ▶ **外部オプション ▶ オート着信**

ON ・・・・・・・オート着信が設定されます。
OFF・・・・・・・オート着信は設定されません。設定が終了します。

2 **呼出時間（秒）を入力**

●「001」～「120」の3桁を入力します。
●設定されている呼出時間を変更しない場合は、呼出時間を入力せずに ◉ を押します。
●遠隔監視設定、オート着信、伝言メモの応答時間・呼出時間を同じ秒数に設定することはできません。それぞれ違う秒数に設定してください。

■**テレビ電話の場合**
平型スイッチ付イヤホンマイクを接続中で、かつオート着信が「ON」の場合、テレビ電話がかかってきたときに自動的にテレビ電話通信を開始します。

1. テレビ電話がかかってきます。
2. オート着信で設定している呼出時間の経過後、自動的にテレビ電話通信を開始します。
   ●テレビ電話をオート着信した場合、相手には「画像選択」の「代替画像」で設定した画像が送信されます。テレビ電話中に ◙ を押して代替画像と自分のカメラ画像を切り替えることができます。

© 1987, 2004 SQUARE ENIX CO., LTD.
All Rights Reserved.

お知らせ

●留守番電話サービスまたは転送でんわサービスとオート着信を同時に設定する場合、オート着信を優先させるには、オート着信の呼出時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。
●「呼出時間表示設定」で設定した呼出動作開始時間がオート着信の呼出時間より長いと、呼出動作を行わずオート着信に移行します。呼出動作を行ってからオート着信に移行させるには、オート着信の呼出時間を呼出動作開始時間よりも長く設定してください。
●平型スイッチ付イヤホンマイクを着信中に接続しても、オート着信は動作しませんが、着信中に接続を外すとオート着信は動作します。
●64Kデータ通信中は、オート着信は行われません。

FOMA端末から利用できるサービス

ご利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）　午前8時〜午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番+177
警察への緊急連絡通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

お知らせ

- ●コレクトコール（106）をご利用の際には、通話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります。（2004年5月現在）
- ●番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください。（2004年5月現在）
- ●FOMA端末から110番・119番通報の際は発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認等の電話をする場合があるため携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように立ち止まって通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- ●おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- ●一般電話の「転送でんわ」、「ボイスワープ」をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、設定によっては携帯電話などが通話中、サービスエリア外、および電源を切っているときでも、発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- ●116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます）

<マルチアクセス>

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話（電話）とパケット通信（ｉモードやｉモードメール、パソコンをつないだデータ通信など）の2つの通信を同時に行うことのできる機能です。マルチアクセスとは別にショートメッセージ（SMS）も同時に使用することができます。
マルチアクセスの組み合わせパターンについての詳細は、P.346参照。

同時に使用可能な通信機能

FOMA端末では、次のように複数の回線（最大3回線）を同時に使うことができます。

通信機能	回線数
音声通信（電話）	1回線
ｉモード、ｉアプリ、ｉモードメール、パソコンをつないだパケット通信	1回線
ショートメッセージサービス（SMS）	1回線

お知らせ

●マルチアクセス中は、それぞれの通信回線について通信料金がかかります。
●テレビ電話または64Kデータ通信利用時はマルチアクセスを使用することはできません。ただし、ショートメッセージ（SMS）は同時に受信できます。

マルチアクセスで行える主な操作

マルチアクセスで処理できる主な操作は、以下のとおりです。
この表に掲載している以外の組み合わせについては、P.346参照。

現在の通信状態＼新たに発生した通信	電話をかける／受ける（音声電話）	ｉモードを始める	ｉモードメールの送受信	パソコンをつないでパケット通信
通話中（音声電話）	×※1	○（P.264参照）	○（P.264参照）	○（P.265参照）
ｉモード中	○（P.265、266参照）	×	○	×
パソコンをつないでパケット通信中	○（P.265、266参照）	×	×※2	×

※1：話中着信サービス（キャッチホン）などのネットワークサービスを契約されていれば、組み合わせによっては処理ができます。（P.346参照）
※2：ショートメッセージ（SMS）の送受信は可能です。（P.346参照）

通話中にｉモードに接続する

音声電話通話中にｉモードに接続することができます。

1 **音声電話中▶ (メニュー) ▶ (iモード) ▶ ｉ Menu**

電話はつながったままです。

●サイトの接続についてはアプリケーション編P.34参照。

●画面を切り替えるときは (マルチ) を1秒以上押すか、 (マルチ) を押してタスクメニューから切り替えます。（P.269参照）

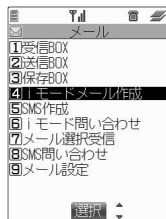
通話中にｉモードメールを送信する

音声電話通話中にメールを送信することができます。

1 **音声電話中▶ (メニュー) ▶**

電話はつながったままです。

●ｉモードメールの作成、送信についてはアプリケーション編P.146参照。
ショートメッセージ（SMS）の作成、送信についてはアプリケーション編P.204参照。

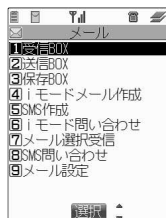
●画面を切り替えるときは (マルチ) を1秒以上押すか、 (マルチ) を押してタスクメニューから切り替えます。（P.269参照）

通話中にｉモードメールを受信する

音声電話通話中にメールを見ることができます。
「 」などが表示され、メールの受信をお知らせします。（アプリケーション編P.12参照）

1 **音声電話中▶ (メニュー) ▶ (メール)**

電話はつながったままです。

●ｉモードメールの見かたについてはアプリケーション編P.176参照。
ショートメッセージ（SMS）の見かたについてはアプリケーション編P.213参照。

●画面を切り替えるときは (マルチ) を1秒以上押すか、 (マルチ) を押してタスクメニューから切り替えます。（P.269参照）

お知らせ

●通話中にｉモードメールやメッセージ（R/F）を受信した場合は、着信音は鳴らず、着信イルミネーションも点滅しません。プライベートウィンドウや「 」などの表示で受信をお知らせします。

●「受信表示設定」で通話中にｉモードメールやメッセージ（R/F）を受信したときに、受信結果画面を表示するように設定することもできます。（アプリケーション編P.244参照）

通話中にパケット通信を行う

音声電話通話中にパケット通信を行うことができます。

1 音声電話中▶パソコンから発信操作を行う

電話はつながったままです。

●パケット通信についてはアプリケーション編P.388参照。

●画面を切り替えるときは マルチ を1秒以上押すか、 マルチ を押してタスクメニューから切り替えます。（P.269参照）

ｉモード中・パケット通信中に電話をかける

ｉモードやパケット通信を継続したまま音声電話をかけることができます。

1 ｉモード中・パケット通信中▶ マルチ ▶待受画面

待受画面が表示されます。

ｉモード中の場合

2 電話をかける

ｉモードやパケット通信は通信中のままです。

●電話のかけかたについてはP.60参照。

●ｉモード中にテレビ電話をかけると、ｉモード接続を切断し、テレビ電話の発信を行います。テレビ電話を終了すると、ｉモードの画面に戻ります。

●パケット通信中にテレビ電話をかけることはできません。

●画面を切り替えるときは マルチ を1秒以上押すか、 マルチ を押してタスクメニューから切り替えます。（P.269参照）

ｉモード中・パケット通信中に電話を受ける

ｉモードやパケット通信を継続したまま音声電話に出ることができます。

1 電話がかかってくると電話着信画面が表示される

2 で電話に出る

ｉモードやパケット通信は通信中のままです。

●電話の受けかたについてはP.71参照。

●テレビ電話を受けることはできません。

●画面を切り替えるときは マルチ を1秒以上押すか、マルチ を押してタスクメニューから切り替えます。（P.269参照）

●電話に出ないでｉモードやパケット通信の画面に戻るには マルチ を1秒以上押します。もう一度 マルチ を1秒以上押すと電話着信画面に戻ります。
相手にはメッセージは流れず、呼出中になります。

<マルチタスク>

マルチタスクについて

マルチタスクとは、メニュー機能（P.36参照）を同時に使うことによって、複数の機能を利用できる機能です。
マルチアクセスとマルチタスクを組み合わせることにより、次の機能を同時に使うことが可能になります。（マルチタスクの組み合わせパターンについては、P.347参照）
最大3つのタスクと音声電話を同時に使うことができます。

- **●メールグループ（ｉモードメール機能、ショートメッセージ（SMS）機能）**
- **●ｉモードグループ（メインメニューの「ｉモードグループ」内のメニュー機能）**
- **●設定グループ（メインメニューの「設定グループ」内のメニュー機能）**
- **●ツールグループ（メインメニューの「ツールグループ」内のメニュー機能）**
- **●その他グループに属さない機能（音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信など）**

ｉモードグループ、設定グループとツールグループは、グループにつき1つのメニュー機能が使えます。メインメニューについてはP.37参照。

新しい機能を実行する

■メインメニューから呼び出します

● (メニュー) を押してメインメニューを表示し、メインメニューの大項目のアイコンを選択するか（P.37参照）、メニュー番号（P.41、336参照）で呼び出します。

■待受画面からメールメニュー・ｉモードメニューを呼び出します

●待受画面が表示されているときは、(ｉ) を押してｉモードメニューを、(✉) を押してメールメニューを直接呼び出すことができます。（P.38参照）

■機能の使用状況を確認するには

・アイコンで確認します

「　」‥‥‥使用している機能が一つのときに表示されます。
「　」‥‥‥複数の機能を使用中に表示されます。

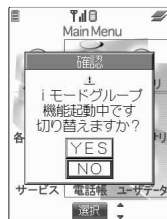
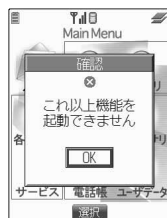
・タスクメニューで確認します

(マルチ) を押します。
現在使用中のメニューが一覧表示されます。
(◎) で選択し、(●) を押してメニューを切り替えることもできます。

マルチアクセス・マルチタスク

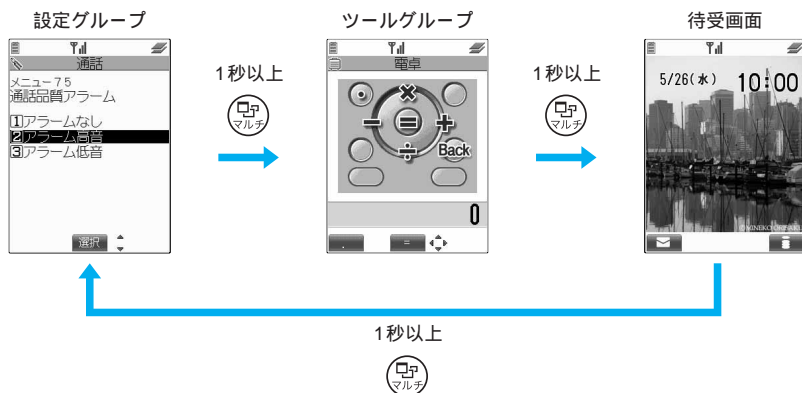
マルチタスク

次ページにつづく

●メニュー機能を呼び出す操作をしたとき、すでに同じグループのメニュー機能が呼び出されている場合は、右のような画面が表示されます。新しいメニュー機能を呼び出すときは「YES」を選択し、◎を押します。元のメニュー機能は終了します。

●すでにタスクを3つ起動しているときに、さらに機能を起動しようとした場合、「これ以上機能を起動できません」と表示されます。

お知らせ

●通話中に他の機能を同時に使っている間でも、通話料金は加算されます。
●他の機能が動作中に着信があった場合、正しく着信動作しないことがあります。その場合、「伝言メモ」や「転送でんわサービス」などが設定した呼出時間よりも短い時間で動作することがあります。
●FOMA端末（本体）とFOMAカード間でのデータのやりとり（P.254参照）、FOMA端末とパソコン間でのデータ転送（アプリケーション編P.391参照）は、マルチタスクでは使用できません。これらのデータ転送を呼び出すときは、必ず他のメニュー機能を終了してください。（P.269参照）

画面を切り替える

●複数のメニュー機能が動作しているときは、(マルチ)を1秒以上押すことで画面を切り替えることができます。
●切り替わる順序は、最近選択したものから新しい順で表示されます。

● (マルチ)を押してタスクメニューを表示し、切り替えることもできます。（P.267参照）
●メインメニュー以外で(メニュー)を1秒以上押すと待受画面が表示されます。

お知らせ

● (マルチ)で画面を切り替えても、動作中のメニュー機能が終了したり、電話が切れたりすることはありません。また、文字入力画面（P.304参照）から他のメニューに切り替え、そのメニューで文字編集などを行っても、タスクを切り替えれば、元の文字編集を続けることができます。
●メインメニュー表示中は、(マルチ)を1秒以上押しても画面が切り替わりません。

機能を終了する

●メニュー機能の画面が表示されている状態で(HLD)を押すと、そのメニュー機能が終了します。
●複数のメニュー機能が動作しているときは、(マルチ)を1秒以上押して画面を切り替えて1つずつ(HLD)を押して終了させます。
●複数のメニュー機能が動作しているときに、(HLD)を繰り返し押すと、表示中のメニュー機能を終了したあとに、タスクの重なっている順に、動作していた機能が終了します。
●タスクメニューで(i)(全End)を押すと、メニュー機能がすべて終了し、待受画面に戻ります。

お知らせ

●FOMA端末の電源を切ると、メニュー機能はすべて終了します。
●他のメニュー機能が動作中にFOMAカード操作、配色パターンなどのメニュー機能を呼び出す操作をすると、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されます。この場合、他のメニュー機能を終了してから、メニュー機能を呼び出す操作をしてください。

ネットワークサービスを利用する

FOMA端末から利用できるネットワークサービス

**FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用できます。
各サービスの概要や利用方法などについては、以下の表の参照先をご覧ください。**

サービス名称	お申し込みの要／不要	月額使用料	参照先
留守番電話サービス	要	有料	P.274
話中着信サービス（キャッチホン）	要	有料	P.280
転送でんわサービス	要	無料	P.284
迷惑電話ストップサービス	要	有料	P.289
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.291
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.292
デュアルネットワークサービス	要	有料	P.294
英語ガイダンス	不要	無料	P.296
サービスダイヤル	不要	無料	P.297
着信動作選択	不要	無料	P.297
通話中着信設定	不要	無料	P.298
遠隔操作設定	不要	無料	P.299
追加サービス	不要	無料	P.300
追加メッセージ	不要	無料	P.302
ドライブモード	不要	無料	P.101
ショートメッセージ（SMS）	不要	無料	アプリケーション編P.204
ｉモード	要	有料	アプリケーション編P.24

お申し込みが必要なサービスについては下記にお問い合わせください。

●お問い合わせ先<DoCoMo インフォメーションセンター>

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

「留守番電話サービス」、「キャッチホンサービス」、「転送でんわサービス」、「迷惑電話ストップサービス」、「WORLD CALL」、「WORLD WING」はドコモeサイトにてお申し込みいただけます。

●ｉモードはこちら　ｉMenu → □料金＆お申込 → ■ドコモeサイト　パケット通信料無料

●パソコンなどはこちら　http://www.nttdocomo.co.jp/ → オンライン手続き／照会サービス → ドコモeサイト　または
http://www.esite.nttdocomo.co.jp/

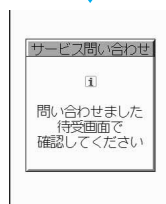
※ｉモードからご利用になる場合、ドコモにお申し込みいただいた「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ｉモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。ただし一部パケット通信料がかかる場合があります。
※パソコンなどからご利用になる場合、「ユーザID」「パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「ユーザID」「パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は上記お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。
※一部ご利用できない料金プランがあります。

お知らせ

●詳しくは「FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド」をご覧ください。
●サービスエリア外や電波の届いていない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
●ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録することができます。（P.300参照）

<サービス問い合わせ>
新しい伝言メッセージがあるか確認する

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っているかどうかを確認します。

 ▶**サービス問い合わせ**

■問い合わせ結果について

●伝言メッセージがあるときは「留守番電話あり」のアイコン（留守）と留守番電話マーク（など）を表示してお知らせします。
●伝言メッセージがあることを示す留守番電話マーク（など）は、留守番電話サービスセンターに電話をかけて伝言メッセージの保存または消去の操作をするか、「留守番アイコン消去」の操作を行うと消去されます。
●留守番電話サービスセンターでお預かりしている伝言メッセージの件数によって、、、…（10件以上）と表示が変わります。
表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生する（1417）ときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
●「件数増加鳴動設定」を設定すると、伝言メッセージが増加したときに着信音が鳴ります。
●伝言メッセージの再生のしかたについてはP.277、278参照。

■「圏外」が表示されているとき
伝言メッセージの問い合わせができません。「圏外」が消える場所でご利用ください。

■通話が途中で途切れたり、電波の状態によっては、問い合わせできないことがありますのでご了承ください。

■サービス問い合わせ後にお預かりしたメッセージは、本機能では確認できないことがあります。

<留守番電話>

留守番電話サービスを利用する

電波の届かない所にいるとき、電源を切っているときなどに、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。
電話をかけてきた方には、応答メッセージでお応えし、伝言メッセージをお預かりします。
日本全国どこからでも伝言メッセージを聞くことができます。
留守番電話サービスは、お申し込みが必要なサービスです。

■留守番電話サービスについて

●伝言メッセージの録音時間は1件あたり約3分間、20件まで録音できます。

●伝言メッセージは最大72時間保存されます。

●電話に出られないことをお伝えするだけの、不在案内機能もあります。

●留守番電話サービスを「開始」に設定していても、通常どおり電話をかけたり、受けたりできます。

●留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音（「着信音選択」で設定した着信音）が約10秒間鳴ります。（お客様の設定も可能です。P.276、278参照。）その間に応答すれば、そのまま通話できます。応答しなかった電話は、留守番電話サービスセンターに接続します。また、待受画面の留守番電話マークや「留守番電話あり」のアイコン、「着信履歴」で着信があったことをお知らせします。

●かかってきた電話をボタン操作だけで留守番電話サービスセンターに接続することができます。また、通話中にかかってきた電話も接続することができます。

●留守番電話サービスは、「転送でんわサービス」を「開始」に設定したときは、自動的に停止状態になります。

●プッシュ式の一般電話、公衆電話などからも、ご契約時に設定した4桁の「ネットワーク暗証番号」で留守番電話サービスの操作ができます。（「遠隔操作設定」の設定にしたがいます。）

●「番号通知お願いサービス」を「開始」に設定中に「非通知設定」の着信があると、番号通知お願いガイダンスが流れます。（留守番電話サービスはご利用になれません。）

●サービスエリア外や電波の届いていない場所では、留守番電話サービスの操作はできません。

●留守番電話サービスを開始に設定していても、テレビ電話がかかってきた場合は留守番電話サービスセンターに接続されず、テレビ電話着信が継続されます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する
ステップ2：電話をかけてきた方が伝言を録音する※
ステップ3：伝言メッセージを再生する

※急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに # を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えることができます。

留守番電話サービスの利用料金

留守番電話サービスをご利用になるには、毎月の使用料とは別に伝言メッセージの再生などにかかる通話料が必要となります。詳しくは「FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド」をご覧ください。

留守番サービス開始

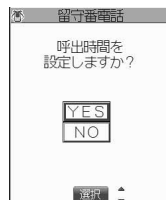
留守番電話サービスの利用を開始します。

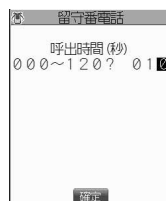
1 メニュー ▶ ▶ 留守番電話 ▶ 留守番サービス開始 ▶ YES

- 中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。
- 留守番電話設定確認画面の機能メニューから「留守番サービス開始」を選択し、◎を押しても YES／NOの確認画面が表示されます。

2 YES

呼出時間の設定画面が表示されます。

- 中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

3 呼出時間（秒）を入力 ▶ ◎

- 「000」～「120」の3桁を入力します。

留守番サービス停止

留守番電話サービスの利用を停止します。

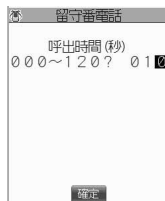
1 ▶ 留守番電話 ▶ 留守番サービス停止 ▶ YES

- 中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。
- 留守番電話設定確認画面の機能メニューから「留守番サービス停止」を選択し、◎を押しても YES／NOの確認画面が表示されます。

留守番呼出時間設定

留守番電話サービスセンターに接続するまでの呼出時間を設定します。呼出時間は0～120秒で設定できます。

1 ▶ ▶**留守番電話**▶**留守番呼出時間設定**▶**呼出時間(秒)を入力**▶◎

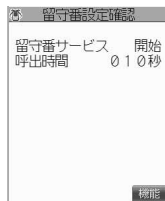
●「000」～「120」の3桁を入力します。
●留守番電話設定確認画面の機能メニューから「呼出時間設定」を選択し、◎を押しても呼出時間の入力画面が表示されます。

お知らせ

●「伝言メモ」を同時に設定しているときに留守番電話サービスを優先させるには、留守番電話サービスの呼出時間を「伝言メモ」の呼出時間よりも短く設定してください。
●「呼出時間表示設定」で設定した呼出動作開始時間が留守番電話サービスの呼出時間より長いと、呼出動作を行わず留守番電話サービスに移行します。呼出動作を行ってから留守番電話サービスに移行させるには、留守番電話サービスの呼出時間を呼出動作開始時間よりも長く設定してください。

留守番設定確認

「留守番サービス開始」、「留守番サービス停止」、「留守番呼出時間設定」の設定内容を確認します。

1 ▶ ▶**留守番電話**▶**留守番設定確認**

●確認が終われば クリア を押します。

<留守番電話設定確認画面>

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

留守番電話設定確認画面で (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

留守番サービス開始	P.275
留守番サービス停止	P.275
呼出時間設定	本ページ参照

操作により実行できない項目があります。

留守番メッセージ再生

留守番電話に録音された伝言メッセージを再生します。

1 (メニュー)▶(サービス)▶**留守番電話▶留守番メッセージ再生▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、(◎)を押します。

2 **音声ガイダンスの指示にしたがって操作する**

お知らせ

●この操作は、通話中に行うことはできません。
●音声ガイダンスにしたがってボタン操作（(0)～(9)、(＊)、(＃)）を行った場合、(HLD)を押しても通話が終わらないことがあります。この場合は(HLD)をもう一度押してください。

留守番サービス設定

留守番電話サービスの設定内容を切り替えます。

1 (メニュー)▶(サービス)▶**留守番電話▶留守番サービス設定▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、(◎)を押します。

2 **音声ガイダンスの指示にしたがって操作する**

お知らせ

●この操作は、通話中に行うことはできません。
●音声ガイダンスにしたがってボタン操作（(0)～(9)、(＊)、(＃)）を行った場合、(HLD)を押しても通話が終わらないことがあります。この場合は(HLD)をもう一度押してください。

件数増加鳴動設定

お買い上げ時
YES

伝言メッセージが増えたときに着信音を鳴らすように設定します。

●件数が増えたときの着信音は、「着信音選択」の「メール」で設定した着信音が約5秒間鳴ります。

1 (メニュー)▶(サービス)▶**留守番電話▶件数増加鳴動設定**

YES ……伝言メッセージが増えたときに着信音を鳴らします。
NO ……伝言メッセージが増えても着信音を鳴らしません。

留守番アイコン消去

待受画面にある留守番電話アイコン（☎など）を消去します。

 ▶**留守番電話**▶**留守番アイコン消去**▶**YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

お知らせ

●留守番電話アイコンを消去しても、留守番電話サービスセンターに保存されているメッセージは消去されません。

着信中の電話を留守番電話サービスセンターに接続する

かかってきた電話を簡単なボタン操作で留守番電話サービスセンターに接続することができます。留守番電話サービスを「開始」に設定していないときでも、この機能を使って留守番電話を利用できます。

着信中▶ⓘ（機能）▶**留守番電話**

かかってきた電話が留守番電話サービスセンターに接続されます。

●着信中にⓘ（機能）を押し、# を押してもかかってきた電話が留守番電話サービスセンターに接続されます。

お知らせ

●「110番（警察への緊急通報）」、「119番（消防・救急への緊急通報）」および「118番（海上で事件・事故が起きたときの緊急通報）」に電話をかけているときは、本機能はご利用できません。

●本機能の手順は、お客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

●「オープン設定」を「着信応答」に設定し、閉じた状態で着信した場合は、本機能はご利用になれません。

●留守番電話サービス未契約の場合は、本機能はご利用になれません。

ボタン操作での留守番電話サービス

FOMA端末のメニュー操作を使わずに、ボタン操作によって留守番電話サービスを利用します。

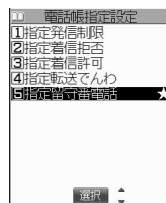
新しい伝言メッセージを再生するには	1 4 1 7 ☎ → **メインメニュー** → 1 → **再生**
保存した伝言メッセージを再生するには	1 4 1 6 ☎ → **メインメニュー** → 1 → **再生**
サービス内容を切り替えるには	1 4 1 6 ☎ → **メインメニュー** → 9 → 1
応答メッセージの変更	1 4 1 6 ☎ → **メインメニュー** → 9 → 2
発信者番号案内を開始／停止するには	1 4 1 6 ☎ → **メインメニュー** → 9 → 3
サービスの開始	1 4 1 1 ☎ → HLD
サービスの停止	1 4 1 0 ☎ → HLD
呼出時間設定	1 4 1 9 ☎ → **設定** → # → HLD

お知らせ

●詳しい操作については、「FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド」をご覧ください。

●音声ガイダンスにしたがってボタン操作（0～9、*、#）を行った場合、HLDを押しても通話が終わらないことがあります。この場合はHLDをもう一度押してください。

指定留守番電話

電話帳に登録されている電話番号からの電話を、留守番電話サービスの開始／停止の設定にかかわらず、留守番電話サービスセンターへ自動的に接続させることができます。
電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」も合わせて設定することをおすすめします。

電話帳の詳細画面▶(機能)▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶◎▶指定留守番電話

「指定留守番電話」に「★」マークが付きます。
●電話帳の検索方法についてはP.123参照。
●端末暗証番号についてはP.198参照。

■指定留守番電話を解除するとき
手順1の画面で「指定留守番電話　★」を選択し、◎を押します。
設定が解除されて「★」マークが消えます。

お知らせ

●電話帳に登録されている1つの電話番号に対して、「指定留守番電話」と「指定転送でんわ」を同時に設定することはできません。
●本機能を設定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから留守番電話サービスセンターに接続します。このとき電話がかかってきたことをデスクトップのアイコン（P.99、191参照）と「着信履歴」でお知らせします。
●留守番電話サービスが未契約の場合は、不在着信となります。
●「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には、指定留守番電話を設定できません。
●指定した電話帳の電話番号を変更すると、本機能は解除されますのでご注意ください。

＜キャッチホン＞

キャッチホンサービスを利用する

通話中に別の電話がかかってきたときに、現在の電話を保留にして新しい電話に出ることができます。
通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。
サービスエリア外や電波の届いていない場所では、話中着信サービス（キャッチホン）の操作はできません。
話中着信サービス（キャッチホン）は、お申し込みが必要なサービスです。

- 「番号通知お願いサービス」を「開始」に設定中に「非通知設定」の着信があると、番号通知お願いガイダンスが流れます。（「キャッチホン」はご利用になれません。）
- 以下のようなときは、話中着信サービス（キャッチホン）は動作しません。
  - 110、119、118、117、104にかけているとき
  - テレビ電話中（着信履歴には不在着信として残ります）
  - 音声電話中にテレビ電話がかかってきたとき（着信履歴には不在着信として残ります）
  - 発信中、および相手を呼び出し中の場合
  - 1411（留守番電話サービスの開始）、1420（転送でんわサービスの停止）など、各種ネットワークサービスの設定を行うために、4桁の電話番号にかけている間
  - 「留守番電話サービス」をご利用のお客様で、メッセージの再生など留守番電話サービスセンターに接続されている間

キャッチホンサービスの利用料金

キャッチホンサービスをご利用になるには、毎月の使用料が必要となります。詳しくは「FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド」をご覧ください。

キャッチホン開始

キャッチホンの利用を開始します。

▶**キャッチホン**▶**キャッチホン開始**▶**YES**

- 中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

お知らせ

- キャッチホンを使用するときは、「着信動作選択」を「通常着信」に設定してください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても通話中にかかってきた電話に応答することができません。

キャッチホン停止

キャッチホンの利用を停止します。

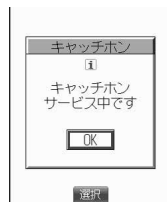
▶**キャッチホン**▶**キャッチホン停止**▶**YES**

- 中止する場合は「NO」を選択し、を押します。

キャッチホン設定確認

キャッチホンの設定内容を確認します。

1 ▶ ▶ **キャッチホン ▶ キャッチホン設定確認**

●確認が終われば ◉ を押します。

通話中にかかってきた電話に出る

お話し中の通話を保留にして、かかってきた電話に出ることができます。

1 通話中に電話がかかってきたら、☎を押す

最初の方との通話は自動的に保留になり、あとからかかってきた電話を受けることができます。

2 あとからかかってきた方との通話が終わったら、☎を押す

最初の方との通話に切り替わります。

●保留中の相手がいるときは「マルチ接続中」と表示されます。

●☎を押すたびに通話する相手を切り替えることもできます。

保留中の電話を終了する

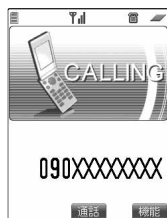
1 **保留中▶(i)(機能)▶保留呼切断**

保留中の方との通話を終了します。

通話を終了して電話に出る

お話し中の通話を終わらせて、かかってきた電話に出ることができます。

1 **通話中に電話がかかってきたら、(HLD)を押す**

かかってきた電話の着信音が鳴ります。

2 **(終話)を押す**

新しくかかってきた電話の方とお話しすることができます。

■お話し中に「ププ…ププ…」という音<通話中着信音>が聞こえるときは

留守番電話サービス、話中着信サービス（キャッチホン）、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただき、サービスを「開始」に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作が可能です。

留守番電話サービス・・・・・・・・・・・・・・・留守番電話サービスセンターへ転送できます。（P.278参照）
話中着信サービス（キャッチホン）・・・通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます。（P.281参照）
転送でんわサービス・・・・・・・・・・・・・・・登録した転送先へ転送できます。（P.287参照）

通話を保留して電話をかける

お話し中の通話を保留にして、新たに別の相手に電話をかけることができます。

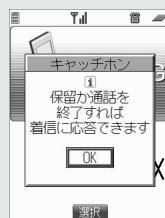
1 お話し中に別の相手の電話番号を入力▶[発信]

新しくかけた相手とお話しができます。
最初の方との通話は自動的に保留されます。
●電話帳を検索して電話番号を入力することもできます。（P.123参照）

2 新しくかけた相手との通話が終わったら、[HLD]を押す

新しくかけた相手との通話が終了します。
●保留中の相手がいるときは「マルチ接続中」と表示されます。
●[発信]を押して通話する相手を切り替えることもできます。

お知らせ

●通話保留中も発信者の方の料金は加算され続けます。
●話中着信サービス（キャッチホン）に加入している場合のみ通話保留中に電話をかけることができます。
●マルチ接続中に別の電話がかかってきた場合、右のような画面が表示されます。
この電話に出るにはお話し中の電話か保留中の電話を切ってから通話します。

<転送でんわ>

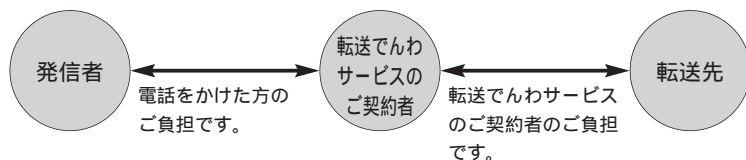
転送でんわサービスを利用する

FOMA端末にかかってきた電話を、ご家庭やオフィスなど、あらかじめ登録しておいた転送先に転送します。
転送でんわサービスは、お申し込みが必要なサービスです。

■転送でんわサービスについて
●転送先として1件登録できます。
●FOMA端末から離れているとき、電波が届かない所にいるとき、電源を切っているときなどでも、自動的に転送されます。
●転送でんわサービスを「開始」に設定していても、通常どおり電話をかけたり、受けたりできます。
●転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音(「着信音選択」で設定した着信音)が約7秒間鳴ります。(お客様の設定も可能です。P.285、287参照)
その間に応答すれば、そのまま通話できます。応答しなかった電話は、転送先に転送します。また「着信履歴」でお知らせします。
●かかってきた電話をボタン操作だけで転送することができます。また、通話中にかかってきた電話も転送することができます。
●転送でんわサービスは、「留守番電話サービス」を「開始」に設定したときは、自動的に停止状態になります。
●プッシュ式の一般電話、公衆電話などからも、ご契約時に設定した4桁の「ネットワーク暗証番号」で転送でんわサービスの操作ができます。(「遠隔操作設定」の設定にしたがいます)
●「番号通知お願いサービス」を「開始」に設定中に「非通知設定」の着信があると、番号通知お願いガイダンスが流れます。(転送でんわサービスはご利用になれません。)
●サービスエリア外や電波の届いていない場所では、転送でんわサービスの操作はできません。
●テレビ電話がかかってきた場合、転送でんわサービスを「開始」に設定していても、転送先を3G-324M(P.78参照)に準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけた側には転送中のガイダンスは流れません。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送先の電話番号を登録する
ステップ2：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ3：お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと指定した転送先へ自動的に転送される

転送でんわサービスの利用料金

※転送を行ったとき、転送でんわサービスを契約している電話機が位置登録しているエリアから転送先までの通話料金は、転送でんわサービスご契約者のご負担となります。
※転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始／停止、呼出時間設定の通話料は無料です。

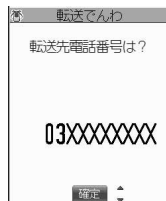
お知らせ

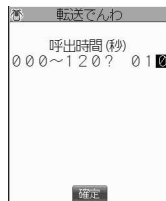
●転送を行ったとき、転送でんわサービスを契約しているFOMA端末が位置登録しているエリアから転送先までの通話料金は、本機能のご契約者のご負担となります。お出かけ先で転送の設定をしたまま、FOMA端末の電源を入れないでいると、本機能の通話料金が高くなることがありますので、ご注意ください。
たとえば、転送先として東京の会社の電話番号を登録し、大阪出張の時に大阪で本機能を開始に設定。その後FOMA端末の電源を切ったままにしておくと、転送されるお客様負担分は大阪から東京の会社までとなります。お出かけ先から戻ってきたら、電源を入れ直してください。位置登録が自動的に行われます。

転送サービス開始

転送でんわサービスの転送先を登録し、利用を開始します。

1 メニュー▶サービス▶転送でんわ▶転送サービス開始▶転送先設定▶転送先の電話番号を入力▶◎

●転送先の電話番号が電話帳に登録されているときは、◎を押して電話帳メニューから検索して入力することもできます。（P.123参照）

2 呼出時間設定▶呼出時間（秒）を入力▶◎

●「000」〜「120」の3桁を入力します。

3 開始▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、を押します。

お知らせ

●転送先として、フリーダイヤルおよび110番などの3桁の電話番号は指定できません。
●転送でんわサービスを開始に設定していても、発信はできます。
●転送でんわサービスを開始に設定している場合、コレクトコール（料金着信払通話）での着信はできません。
●着信中に応答すれば、転送されずに通話することができます。
●電波の届かない場合や、電源が入っていないときは、着信音は鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスのご契約者のご負担となります。
●転送先からの申し出があり、必要なときには、お客様に代わって転送を中止することがありますのでご了承ください。
●PBX、ポケットベル※、FAXを転送先としたとき、かけてきた方に誤解を与えることがありますので、ご注意ください。
●すでに転送先が設定されている場合は、「転送先設定」、「呼出時間設定」を省略することができます。
●「伝言メモ」を同時に設定しているときに転送でんわサービスを優先させるには、転送でんわサービスの呼出時間を「伝言メモ」の呼出時間よりも短く設定してください。
●「遠隔監視」を同時に設定しているときに転送でんわサービスを優先させるには、転送でんわサービスの呼出時間を「遠隔監視」の応答時間よりも短く設定してください。
●「呼出時間表示設定」で設定した呼出動作開始時間が転送でんわサービスの呼出時間より長いと、呼出動作を行わず転送でんわサービスに移行します。呼出動作を行ってから転送でんわサービスに移行させるには、転送でんわサービスの呼出時間を呼出動作開始時間よりも長く設定してください。

※2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

転送サービス停止

転送でんわサービスの利用を停止します。

▶**転送でんわ**▶**転送サービス停止**▶**YES**

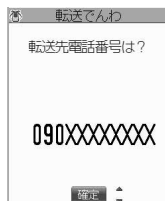
●中止する場合は「NO」を選択し、を押します。

転送先変更

転送先を変更します。

▶**転送でんわ**▶**転送先変更**
▶**転送先の電話番号を入力**▶

転送先変更 ････････････現在転送でんわサービスを使っているときに選択します。
転送先変更+転送開始･･･転送でんわサービス停止中で、転送先の変更と同時に転送でんわサービスを開始したいときに選択します。

●転送先の電話番号が電話帳に登録されているときは、を押して電話帳メニューから検索して入力することもできます。（P.123参照）

転送先通話中時設定

転送先が通話中のときは留守番電話に録音するように設定します。
留守番電話を使うには「留守番電話サービス」のご契約が必要です。

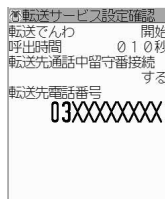
▶**転送でんわ**▶**転送先通話中時設定**▶**YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、を押します。

転送サービス設定確認

転送でんわサービスの設定内容を確認します。

▶**転送でんわ**▶**転送サービス設定確認**

●確認が終われば を押します。

着信中の電話を転送する

かかってきた電話を簡単なボタン操作で「転送先」に設定した電話番号（P.285参照）に転送することができます。転送でんわサービスを「開始」に設定していないときでも、この機能を使って転送できます。

1 着信中▶ [i]（機能）▶転送でんわ

かかってきた電話が転送されます。

お知らせ

- 「110番（警察への緊急通報）」「119番（消防・救急への緊急通報）」および「118番（海上で事件・事故が起きたときの緊急通報）」に電話をかけているときは、本機能はご利用できません。
- 本機能の操作は、お客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。
- 「オープン設定」を「着信応答」に設定し、閉じた状態で着信した場合は、本機能はご利用になれません。
- 転送でんわサービス未契約の場合は、本機能はご利用になれません。

ボタン操作での転送でんわサービス

FOMA端末のメニュー操作を使わずに、ボタン操作によって転送でんわサービスを利用します。

操作	ボタン操作
転送先電話番号の登録	[1] [4] [2] [9] [☎] → メインメニュー → [3] → 転送先電話登録 → [#] → [☎HLD]
転送でんわサービスの開始	[1] [4] [2] [1] [☎] → [☎HLD] ※転送中に別の電話がかかってきたときや、転送先が通話中のときで留守番電話サービスセンターに接続する場合 → [1] → [☎HLD]
転送でんわサービスの停止	[1] [4] [2] [0] [☎] → [☎HLD]
呼出時間設定	[1] [4] [2] [9] [☎] → メインメニュー → [1] → 呼出時間設定 → [#] → [☎HLD]
サービス内容の確認	[1] [4] [2] [9] [☎] → メインメニュー → [4] → 確認 → [☎HLD]

※「留守番電話サービス」を同時にご契約いただいている方のみご利用できます。

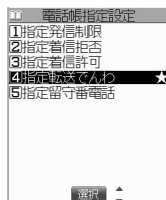
お知らせ

- 詳しくは「FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド」をご覧ください。
- 音声ガイダンスにしたがってボタン操作（[0]～[9]、[*]、[#]）を行った場合、[☎HLD] を押しても通話が終わらないことがあります。この場合は [☎HLD] をもう一度押してください。

指定転送でんわ

指定した電話帳に登録されている電話番号からの電話を、転送でんわサービスの開始／停止の設定にかかわらず、自動的に転送することができます。
電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」も合わせて設定することをおすすめします。

電話帳の詳細画面▶(機能)▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶◎▶指定転送でんわ

「指定転送でんわ」に「★」マークが付きます。
●電話帳の検索方法についてはP.123参照。
●端末暗証番号についてはP.198参照。

■指定転送でんわを解除するとき
手順1の画面で「指定転送でんわ　★」を選択し、◎を押します。
設定が解除されて「★」マークが消えます。

お知らせ

●電話帳に登録されている1つの電話番号に対して、「指定転送でんわ」と「指定留守番電話」を同時に設定することはできません。
●本機能を設定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから転送先に転送します。このとき電話がかかってきたことを「着信履歴」でお知らせします。
●転送先が未設定の場合、転送でんわサービス未契約の場合は、不在着信となります。
●「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には、指定留守番電話を設定できません。
●指定した電話帳の電話番号を変更すると、本機能は解除されますのでご注意ください。

<迷惑電話ストップ>

迷惑電話ストップサービスを利用する

いたずら電話や悪質なセールス電話など、特定の相手からの電話を着信しないように登録します。最大30件登録できます。
サービスエリア外や電波の届いていない場所では、迷惑電話ストップサービスの操作はできません。
迷惑電話ストップサービスは、お申し込みが必要なサービスです。

■迷惑電話ストップサービスに設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名	迷惑電話拒否登録した方からの着信の取扱い
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。（メッセージはお預かりしません）
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。（転送先には転送されません）
話中着信サービス（キャッチホン）	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。
ドライブモード	着信拒否ガイダンスが流れます。（運転中のガイダンスは流れません）

迷惑電話ストップサービスの利用料金

迷惑電話ストップサービスをご利用になるには、毎月の使用料が必要となります。
詳しくは「FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド」をご覧ください。

迷惑電話着信拒否登録

最後にかかってきた相手の電話番号を着信できないように拒否登録します。

▶迷惑電話ストップ▶迷惑電話着信拒否登録▶YES▶OK

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

お知らせ

●あらかじめ相手先の電話番号を指定することはできません。最後に着信通話した相手の電話番号だけが拒否登録できます。着信しても応答しなかった通話やお客様からの発信は登録できません。
電話番号を指定して拒否登録する場合は、ボタン操作で登録してください。（P.290参照）
●発信者番号を通知してこない電話でも拒否登録することができます。（発信者番号通知についてはP.57、291参照）
●国際電話は拒否登録することができない場合があります。
●着信拒否先として登録した相手先の電話番号は、確認や問い合わせをすることはできません。登録した電話番号のメモなどをとっておくことをおすすめします。
●本機能によって着信しなかった場合は、「着信履歴」に記憶されません。
●拒否登録がすでに30件あるときに迷惑電話着信拒否登録を行うと、「登録がいっぱいです　最も古い番号を削除して登録しますか？」というメッセージが表示されます。「YES」を選択し、◉を押すと、最も古い登録を削除し、登録を行います。
●迷惑電話着信拒否登録に登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合、着信拒否ガイダンスは流れず、テレビ電話は切断されます。

迷惑電話1登録削除・迷惑電話全登録削除

1 (メニュー)▶(サービス)▶**迷惑電話ストップ**

迷惑電話1登録削除 ････一番最後に拒否登録した電話番号のみが削除されます。（それ以前の番号を1つだけ削除することはできません。）

迷惑電話全登録削除 ････拒否登録がすべて削除されます。

2 **YES▶OK**

●中止する場合は「NO」を選択し、(◉) を押します。

ボタン操作での迷惑電話ストップサービス

FOMA端末のメニュー操作を使わずに、ボタン操作によって迷惑電話ストップサービスを利用します。
詳しい操作については「FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド」をご覧ください。

1 (1)(4)(4)(発信)**を押す**

操作説明のガイダンスが流れます。

2 **最後にかかってきた相手の電話番号を拒否登録するときは、(2)を押す**

最後に着信した電話番号を拒否登録します。

電話番号を指定して拒否登録するときは、(3)を押す

音声ガイダンスにしたがって電話番号を入力します。

最後に拒否登録した電話番号を削除するときは、(4)を押す

拒否登録の削除を確認するガイダンスが流れます。最後に拒否登録した電話番号を削除するときは続けて(1)を押します。削除を中止するときは(2)を押します。

拒否登録をすべて削除するときは、(9)を押す

拒否登録の削除を確認するガイダンスが流れます。拒否登録しているすべての電話番号を削除するときは続けて(1)を押します。削除を中止するときは(2)を押します。

3 (HLD)**を押す**

お知らせ

●音声ガイダンスにしたがってボタン操作（(0)～(9)、(#)、(*)）を行った場合、(HLD)を押しても通話が終わらないことがあります。この場合は(HLD)をもう一度押してください。

<発信者番号通知>

相手の電話機に自分の電話番号を通知する

FOMA端末は、発信時に相手の電話機へお客様の電話番号をお知らせすることができます。
発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。
この機能は、相手の電話機がFOMA端末や携帯電話サービスの端末などのデジタル端末で、発信者番号表示が可能なときだけご利用できます。
サービスエリア外や電波の届いていない場所では、発信者番号通知の操作はできません。

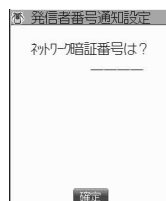
発信者番号通知設定

発信者番号を通知するかしないかをネットワークに設定しておくことができます。

1 メニュー ▶ サービス ▶ **発信者番号通知** ▶ **発信者番号通知設定**

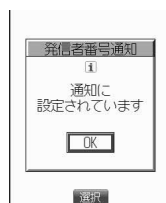
通知する ･････････････電話番号を通知します。
通知しない ････････････電話番号を通知しません。

2 **ネットワーク暗証番号を入力** ▶ ◎

●ネットワーク暗証番号についてはP.198参照。

番号通知設定確認

「発信者番号通知設定」の設定内容を確認します。

1 メニュー ▶ サービス ▶ **発信者番号通知** ▶ **番号通知設定確認**

●確認が終われば ◎ を押します。

お知らせ

●確認時に通信を行いますが、通信料はかかりません。
●1回の通話のたびに発信者番号を通知するかしないかを設定することもできます。(P.57参照)
●電話をかけたときに、発信者番号の通知をお願いするガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知するように設定して再度電話をかけ直してください。

<番号通知お願いサービス>

番号通知お願いサービスを利用する

番号通知お願いサービスとは、発信者番号を通知してこない電話に対して、発信者番号を通知してかけ直すようメッセージで応答するサービスです。迷惑電話や間違い電話などによるトラブルを防ぎ、安心できる携帯電話の活用が可能になります。
サービスエリア外や電波の届いていない場所では、番号通知お願いサービスの操作はできません。
番号通知お願いサービスは、お申し込み不要です。また、月額使用料、工事費とも無料です。

■番号通知お願いサービスが「開始」中の着信と各サービスとの関係

サービス名	発信者番号を通知しない方からの着信の取扱い
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。 （メッセージはお預かりしません）
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。（転送先には転送されません）
話中着信サービス（キャッチホン）	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	ストップ登録されている電話番号からの着信の場合、着信拒否ガイダンスが流れます。
ドライブモード	番号通知お願いガイダンスが流れます。 （運転中のガイダンスは流れません）

お知らせ

●「発信者番号非通知理由」が発信者の意思により発信者番号を通知しない「非通知設定」のときだけ働きます。（「公衆電話」、「通知不可能」は対象外です。ただし、「184」を付けて公衆電話から電話をかけた場合は番号通知お願いガイダンスが流れます。）
●ガイダンスにかかわる通話については、発信者に通話料金がかかります。
●FOMA端末の「非通知着信設定」を「拒否」に設定しているときに本サービスを同時に設定した場合は、本サービスが優先されます。
●本機能の設定・確認は、お客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。なお、本機能の開始／停止、確認の操作には通話料金はかかりません。
●本機能を「開始」に設定中に「非通知設定」の着信があったときは、「着信履歴」に記憶されず、またデスクトップに「不在着信あり」のアイコンは表示されません。
●番号通知お願いサービスは、音声電話でのみの対応です。
●以下のような場合には、番号通知お願いガイダンスは流れません。
・NTT公衆電話や海外からの着信などは、電話番号の通知ができないためガイダンスは流れません。
・発信者が「度数表示サービス」や「料金メーター」をご利用の場合は、番号通知お願いガイダンスは流れません。
・テレビ電話、64Kデータ通信は、番号通知お願いガイダンスは流れず接続されます。

番号通知お願い開始

番号通知お願いサービスの利用を開始します。

1 メニュー ▶ サービス ▶ **番号通知お願いサービス ▶ 番号通知お願い開始 ▶ YES ▶ OK**
●中止する場合は「NO」を選択し、◎ を押します。

番号通知お願い停止

番号通知お願いサービスの利用を停止します。

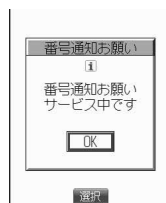
1 **▶番号通知お願いサービス▶番号通知お願い停止▶YES▶OK**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

番号通知お願い確認

番号通知お願いサービスの設定内容を確認します。

1 メニュー▶サービス **▶番号通知お願いサービス▶番号通知お願い確認**

●確認が終われば◉を押します。

ボタン操作での番号通知お願いサービス

FOMA端末のメニュー操作を使わずに、ボタン操作によって番号通知お願いサービスを利用します。詳しい操作については「FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド」をご覧ください。

1 **1 4 8 ☎を押す**

現在の設定が「開始」または「停止」になっている旨のガイダンスが流れます。

2 **1または0を押す**

1 ……サービスを開始します。
0 ……サービスを停止します。
変更後の設定が「開始」または「停止」となる旨のガイダンスが流れます。
●変更前の設定と同じ内容にしたときには、その設定が継続中である旨のガイダンスが流れます。

3 **HLDを押す**

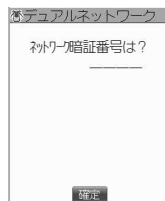
お知らせ

●サービス開始後、発信者番号を通知してこない電話へは、番号通知をお願いする旨のガイダンスが流れます。
●音声ガイダンスにしたがってボタン操作（0～9、＊、#）を行った場合、HLDを押しても通話が終わらないことがあります。この場合はHLDをもう一度押してください。

<デュアルネットワーク>

デュアルネットワークサービスを利用する

デュアルネットワークサービスを利用すると、FOMAでご契約されたひとつの電話番号で、movaもご利用いただくことができます。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。
FOMAのサービスエリア外であっても、movaサービスエリア内ならmovaから電話をかけたり受けたりできます。また、留守番電話のチェックや受信メールの確認などもできます。
ただし、FOMAとmovaを同時にご利用いただくことはできません。
デュアルネットワークサービスは、お申し込みが必要なサービスです。

デュアルネットワークサービスの利用料金

デュアルネットワークサービスをご利用になるには、毎月の使用料が必要となります。
詳しくは「デュアルネットワークサービスガイド」をご覧ください。

デュアルネットワーク切替

FOMA端末がFOMAエリア内にあるとき、FOMA端末を利用できるように切り替え操作ができます。

1 メニュー▶サービス▶デュアルネットワーク▶デュアルネットワーク切替▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

2 ネットワーク暗証番号を入力▶◎

●ネットワーク暗証番号についてはP.198参照。

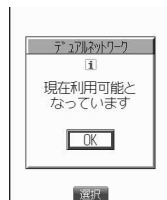
お知らせ

●movaの通信中も切り替えることができます。ただし、movaの通信中に切り替えると通信は切断されます。
●FOMA端末の通信中にこの操作を行うと、通信は強制的に切断されます。
●すでにデュアルネットワーク機能が稼働中の時にこの操作を行うと、「現在利用可能となっています」と表示されます。

デュアルネットワーク状態確認

デュアルネットワークサービスの設定内容を確認します。

1 ▶ ▶**デュアルネットワーク**
▶**デュアルネットワーク状態確認**

●確認が終われば ◉ を押します。

ボタン操作でのデュアルネットワークサービス

FOMA端末のメニュー操作を使わずに、ボタン操作によってデュアルネットワークサービスを利用します。

端末を切り替えるには（利用不可状態の端末から）	1 5 4 0 📞 →**ネットワーク暗証番号入力** →**切替ガイダンス**→ HLD
デュアルネットワーク状態確認（確認したい方の端末から）	1 5 4 6 📞 →**確認**→ HLD

お知らせ

●詳しくは、「デュアルネットワークサービスガイド」をご覧ください。
●音声ガイダンスにしたがってボタン操作（0〜9、*、#）を行った場合、HLD を押しても通話が終わらないことがあります。この場合は HLD をもう1度押してください。

<英語ガイダンス>

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

電話の発信時・着信時にガイダンスを行う場合、ガイダンスの言語を日本語と英語に切り替えることができます。発信時・着信時を別々に設定することもできます。

●発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

ガイダンス設定

ガイダンスを設定します。発信時・着信時に設定できるガイダンスは次の通りです。

発信・着信	ガイダンス言語	説　　明
発信時 （お客様ご自身へのガイダンス）	日本語	日本語でガイダンスします。
	英語	英語でガイダンスします。
着信時 （お客様へ電話をかけてきた方へのガイダンス）	日本語	日本語でガイダンスします。
	日本語＋英語	日本語でガイダンスしたあとに英語でガイダンスします。
	英語＋日本語	英語でガイダンスしたあとに日本語でガイダンスします。

1 (メニュー)▶(サービス)▶**英語ガイダンス**▶**ガイダンス設定**

発信時＋着信時 ········発信時と着信時のガイダンスを一度に設定します。
発信時 ················発信時のガイダンスを設定します。
着信時 ················着信時のガイダンスを設定します。

2 **ガイダンスに設定する言語を選択**▶(◎)▶**YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、(◎)を押します。
●手順1で「発信時＋着信時」を選択した場合は、発信時を設定し、(◎)を押すと着信時設定の画面になります。

ガイダンス設定確認

英語ガイダンスの設定内容を確認します。

1 (メニュー)▶(サービス)▶**英語ガイダンス**▶**ガイダンス設定確認**

●確認が終われば (クリア) を押します。

お知らせ

●本機能の設定・確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。なお、本機能の設定、確認の操作には通話料金はかかりません。

<サービスダイヤル>

サービスダイヤルを利用する

「ドコモ総合案内・受付」(表紙裏参照)や「ドコモ故障問合せ」(P.362参照)に簡単に電話をかけることができます。

総合案内・受付へ電話をかける

 ▶**サービスダイヤル**▶**ドコモ総合案内・受付**▶**YES**

151番に発信します。

●中止する場合は「NO」を選択し、を押します。

故障の問い合わせをする

 ▶ ▶**サービスダイヤル**▶**ドコモ故障問合せ**▶**YES**

113番に発信します。

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

お知らせ

●FOMAカードに「ドコモ総合案内・受付」、「ドコモ故障問合せ」が登録されていない場合は、本機能はご利用になれません。

●表示される画面や発信する番号は、FOMAカードにより異なる場合があります。

<着信動作選択>

通話中にかかってきた電話の対処を選択する

お買い上げ時
通常着信

「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」または「話中着信サービス(キャッチホン)」をご契約されているお客様の通話中に別の電話がかかってきた場合、かかってきた電話をどのように扱うかを選択できます。
「留守番電話サービスに接続する」、「登録してある転送先に転送する」、「着信を拒否して呼び出さない」、「着信する」のいずれかが選択できます。

 ▶**着信動作選択**

留守番電話 ……通話中にかかってきた電話を留守番電話サービスに接続します。
転送でんわ ……通話中にかかってきた電話をあらかじめ登録されている番号に転送します。
着信拒否 ………着信を拒否して呼び出さないようにします。
通常着信 ………着信動作します。留守番電話サービス、話中着信サービス(キャッチホン)、転送でんわサービスが「開始」に設定されているときは、その設定にしたがいます。

お知らせ

●留守番電話サービス(P.274参照)、話中着信サービス(キャッチホン)(P.280参照)、転送でんわサービス(P.284参照)は、あらかじめご契約が必要なサービスです。

<通話中着信設定>

通話中着信設定を開始／停止する

着信動作選択で選択した機能の使用を開始／停止したり、設定内容を確認できます。

通話中着信設定開始

着信動作の使用を開始します。

▶通話中着信設定▶通話中着信設定開始▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、を押します。

通話中着信設定停止

着信動作の使用を停止します。

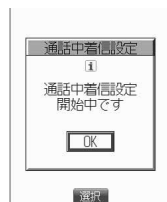
▶通話中着信設定▶通話中着信設定停止▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

通話中着信設定確認

着信動作の設定内容を確認します。

▶通話中着信設定▶通話中着信設定確認

●確認が終われば◎を押します。

お知らせ

●本機能の設定・確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。なお、本機能の開始／停止、確認の操作には通話料金はかかりません。

●留守番電話サービス（P.274参照）、転送でんわサービス（P.284参照）をご契約いただくと、本機能は「開始」に設定されます。

遠隔操作を設定する

留守番電話サービス（P.274参照）や転送でんわサービス（P.284参照）などのサービスを公衆電話などFOMA端末以外の機器から遠隔操作するかどうかを設定します。

遠隔操作開始

遠隔操作サービスの利用を開始します。

▶**遠隔操作設定**▶**遠隔操作開始**▶**YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、を押します。

遠隔操作停止

遠隔操作サービスの利用を停止します。

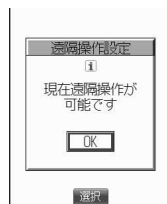
▶**遠隔操作設定**▶**遠隔操作停止**▶**YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、を押します。

遠隔操作設定確認

遠隔操作の設定内容を確認します。

▶**遠隔操作設定**▶**遠隔操作設定確認**

●確認が終われば ◎ を押します。

お知らせ

●本機能の設定・確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。なお、本機能の開始／停止、確認の操作には通話料金はかかりません。

●留守番電話サービス（P.274参照）、転送でんわサービス（P.284参照）のご契約時には、本機能は「停止」に設定されています。

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときに、新しいネットワークサービスを10件まで登録できます。

サービスを登録／変更する

1 ▶追加サービス

<追加サービス一覧画面>

2 <未登録>を選択▶ (機能) ▶設定追加

●登録済みのサービスを変更するときは「設定変更」を選択し、 を押します。

3 サービス名を入力▶

●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
●文字の入力方法についてはP.304参照。

4 特番・USSD

追加するサービス内容によって「特番」または「USSD」を選択します。

5 特番またはサービスコード（USSD）を入力▶ ▶YES

●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。

「特番」を選択した場合

ドコモのネットワークサービス

追加サービス

お知らせ

●サービスを利用する場合には、ドコモから通知される「特番」または「サービスコード」の確認・入力が必要です。
特番……………………サービスセンターに接続するための番号です。
サービスコード（USSD）…FOMA端末ではUSSDとして入力します。サービスセンターに通知するためのコードです。

登録したサービスを利用する

1 メニュー▶サービス▶**追加サービス▶サービスを選択▶**◉

2 ◉**を押す**

サービスセンターに発信します。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

追加サービス一覧画面で (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

設定追加	P.300
設定変更	P.300
1件削除	本ページ参照
全削除	本ページ参照

操作により実行できない項目があります。

1件削除・全削除

1 **追加サービス一覧画面▶ (機能) ▶1件削除・全削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◉を押します。

<追加メッセージ>
メッセージを登録して利用する

追加したサービスを実行したとき、サービスセンターから返ってくるコード（USSD）に対応したメッセージを10件まで登録できます。登録したコードが応答として返ってきたときにメッセージが表示されます。

メッセージを登録／変更する

1 メニュー ▶ サービス ▶ **追加メッセージ ▶ メッセージを選択** ▶

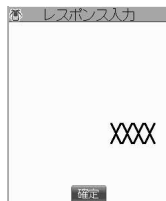
●登録内容を変更するときは、登録済みのメッセージを選択し、◎を押します。

＜追加メッセージ一覧画面＞

2 **メッセージを入力** ▶ ◎

●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
●文字の入力方法についてはP.304参照。

3 **コード（USSD）を入力** ▶ ◎

●ドコモから通知されたコード（USSD）を入力します。
●0～9、#、*を使用して最大で20桁まで入力することができます。

4 **YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

追加メッセージ一覧画面で ⓘ（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

1件削除	本ページ参照
全削除	本ページ参照

操作により実行できない項目があります。

1件削除・全削除

1 **追加メッセージ一覧画面 ▶ ⓘ（機能）▶ 1件削除・全削除 ▶ YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

文字の入力のしかた

<文字入力>

文字を入力する

FOMA端末では、ダイヤルボタンを使って文字を入力することができます。
文字の入力は「電話帳登録」、「フリーメモ」や「ｉモードメール」などの機能を利用するときに必要となりますので、あらかじめ入力の方法を覚えておきましょう。

文字入力画面

文字入力（編集）画面には、そのときの入力モードなどの情報やガイダンスなど以下のようなものが表示されています。ガイダンスを非表示にすることもできます。（P.313参照）

■ガイダンス

▲▼変換　：◎を押して文字を変換できるときに表示します。（P.315参照）

▲▼全件 ▲▼検索　：電話帳の検索画面で、◎を押して検索できるときに表示します。（P.123参照）

◀▶▲▼領域　：文字をコピー（切り取り）するときに表示します。（P.319、320参照）

小／大　：を押すと、入力した文字の大文字⇔小文字切り替えができます。（P.319参照）

長押 改行　：を1秒以上押すと、改行マーク（↲）が入力できます。（P.322参照）

固定入力 固定終了　：モード3（T9入力）選択時に を押してT9入力／固定入力を切り替えます。（P.312参照）

ホーム 逆順　：モード1（かな方式）で文字を入力中に、▲を押して入力した文字を1つ前の文字に戻すことができるときに表示します。

■情報表示

2／T9／固　：モード2（2タッチ方式）（P.308参照）／モード3（T9方式）（P.309参照）／固定入力（P.312参照）のときに表示します。

挿／上　：挿入／上書きモードを表示します。（P.323参照）

漢／ｶﾅ／英／数／区：文字入力モードを表示します。（P.306参照）

全／半　：全角／半角を表示します。（P.319参照）

小　：小文字のときに表示します。（P.319参照）

残　：入力可能な残り文字数をバイト数で表示します。（残文字数表示）

入　：FOMAカードの電話帳登録時、ショートメッセージ（SMS）の本文入力時に入力済みの文字数を文字数単位で表示します。

お知らせ

● ｉモードメールの本文を入力するときは、ダイヤルボタンを押すと文字入力（編集）画面が表示され、区点入力、ワード予測、入力モード切替などの機能が使用できます。

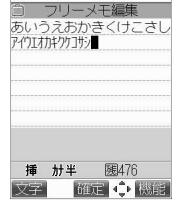
■残文字数、入力可能文字数表示について

文字入力（編集）画面の文字数は以下の規則にしたがってカウントされます。各文字入力（編集）画面では、その機能で入力可能な文字数最後の印としてエンドマーク「◀」が表示されるので、入力の目安にしてください。

●文字数は、半角1文字が1バイト、全角1文字が2バイトとしてカウントされます。

●全角文字は、半角文字2文字分になります。

全角：あいうえお　5文字（カウントは10バイト）

半角：ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺ　10文字（カウントは10バイト）

■文字の組み合わせについて

文字入力の際は、文字の組み合わせに注意してください。

<例>「ﾄﾞｺﾓ」を半角カナ入力モードで、「の携帯電話」を漢字ひらがな入力モードで入力したとき

ﾄﾞｺﾓの携帯電話（画面に表示される文字数は9文字）

1 1 1 1 2 2 2 2 2（カウントは14バイト、半角文字14文字分）

●半角文字の濁点「ﾞ」半濁点「ﾟ」は、1文字分としてカウントされます。

また、全角文字は、半角文字2文字分としてカウントされます。

■スクロールについて

文字入力（編集）画面では、◎で行単位、▼ ▲ でページ単位でスクロールすることができます。

漢字変換の候補リスト表示画面では、◎で行単位、◎または ▼ ▲ でページ単位でスクロールすることができます。

文字入力方式を選択する

メニュー 3 5

お買い上げ時	
モード1	ON
モード2	ON
モード3	ON
優先入力方式設定	モード1

文字入力方式には、次の3種類の方式があります。

●モード1（かな方式）（P.306参照）

1つのボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すたびに文字が替わる方式

●モード2（2タッチ方式）（P.308参照）

2つの数字の組み合わせで文字を入力する方式

●モード3（T9方式）（P.309参照）

1つのボタンを押すごとに、そのボタンに割り当てられた文字の候補が表示され、その中から選択する方式

1 メニュー ▶ ▶ **その他 ▶ 文字入力方式 ▶ 入力モード**

2 **使用するモードにチェック ▶ ✉（完了）**

◎を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

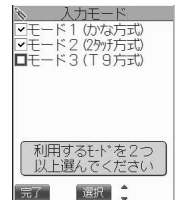
☑・・・・・・・・使用します。

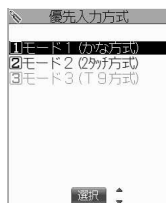
□・・・・・・・・使用しません。

●少なくとも2つのモードを選択してください。

文字入力

文字入力のしかた

次ページにつづく

3 優先的に使うモードを選択▶◎

●手順2で選択しなかったモードは、ここでは選択できません。

■文字入力（編集）画面での切り替え方法

文字入力（編集）画面では、以下の2つの方法でモードを切り替えることができます。

●✉（文字）を1秒以上押します。

押すごとに、モード1→モード2→モード3→モード1…と切り替わります。

●文字入力（編集）画面を表示中に（機能）を押して機能メニューから「入力モード切替」を選択し、モードを選択します。（P.325参照）

モード1（かな方式）で入力モードを切り替える

✉（文字）を押すたびに「漢字ひらがな」→「カタカナ」→「英字」→「数字」の順に入力モードが切り替わります。

1 文字入力（編集）画面▶✉（文字）

●全角／半角を切り替えるときは（機能）を押して機能メニューから「全角切替」または「半角切替」を選択し、◎を押します。

●全角のみで使える文字と、全角でも半角でも使える文字があります。

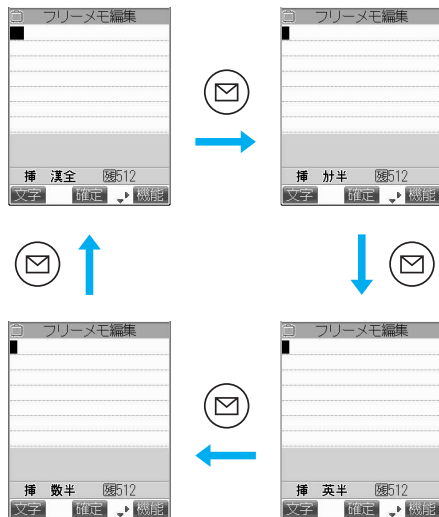
全角のみで使える文字

ひらがな、漢字、絵文字

全角でも半角でも使える文字

カタカナ、英字、数字、記号

文字入力

文字入力のしかた

モード1で入力できる文字

<例>「う」を入力するには、「漢字ひらがな入力モード」にして 1あ を3回押します。
「B」を入力するには、「英字入力モード」にして 2かABC を2回押します。

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カタカナ入力モード	英字入力モード	数字入力モード
1あ	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	?!-/¥&*()#゛゜♥☎※1	1
2かABC	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc	2
3さDEF	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef	3
4たGHI	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi	4
5なJKL	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl	5
6はMNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno	6
7まPQRS	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs	7
8やTUV	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv	8
9らWXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
0わをんー	わをんーゎ	ワヲンーヮ※2	ー	0
*http://	ー※3	ー	.ne.jp .co.jp .ac.jp※4 www. .com .html http:// https:// @docomo.ne.jp	* .ne.jp .co.jp .ac.jp※4 www. .com .html http:// https:// @docomo.ne.jp
#゛@/マナー	゛゜、。・！？※5	゛゜、。・！？※5	.@/!?(),-_:'~※6&¥	#.@/!?(),-_:'~※6&¥

※1：SMS本文入力時のみ有効です。「♥」「☎」は常に全角文字、その他は常に半角文字として表示されます。
※2：「ワ」の小文字は全角入力でのみ入力できます。
※3：「漢字ひらがな入力モード」で *http:// を押すと「区点入力モード」に切り替わります。
※4：全角に切り替えた場合は表示されません。（数字入力モードの「＊」は除く）
※5：「漢字ひらがな入力モード」と全角の「カナ入力モード」の場合は、「゛」「゜」を付けることができる文字のときだけ「゛」「゜」が表示されます。ユーザ辞書の読み入力（P.330参照）とFOMAカードへの電話帳登録のフリガナ入力（P.119参照）のときは「、」「。」「・」「！」「？」は入力できません。
※6：全角モード時は「￣」になります。
（網掛け）：小文字は次の2つの方法で入力することができます。
大文字を入力したあとに（キー）を押して小文字に変換する。
「大文字／小文字切替」を行ったあとに入力する。（P.319参照）

お知らせ

●記号・絵文字の入力についてはP.322参照。

モード2（2タッチ方式）で入力モードを切り替える

（文字）を押すたびに「全角」と「半角」が切り替わります。

1 **文字入力（編集）画面▶（文字）**

●（機能）を押して機能メニューから「全角切替」または「半角切替」を選択し、◎を押しても入力モードが切り替わります。

●全角のみで使える文字と、全角でも半角でも使える文字があります。

全角のみで使える文字
ひらがな、漢字、絵文字

全角でも半角でも使える文字
カタカナ、英字、数字、記号

モード2で入力できる文字

<例>「う」を入力するには、「全角入力モード」にして 1 3 と押します。
全角の「B」を入力するには、「全角入力モード」にして 1 7 と押します。
半角の「B」を入力するには、「半角入力モード」にして 1 7 と押します。

全角入力モード

ボタン 1桁目	2桁目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ ぁ	い ぃ	う ぅ	え ぇ	お ぉ	A a	B b	C c	D d	E e
2	か	き	く	け	こ	F f	G g	H h	I i	J j
3	さ	し	す	せ	そ	K k	L l	M m	N n	O o
4	た	ち	つ っ	て	と	P p	Q q	R r	S s	T t
5	な	に	ぬ	ね	の	U u	V v	W w	X x	Y y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z z	？	！	ー	／
7	ま	み	む	め	も	¥	＆		☎※2	
8	や ゃ	（	ゆ ゅ	）	よ ょ	＊	＃	SP	♥※2	切替 切替※1
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ ゎ	を	ん	゛※3 、	゜※3 。	6	7	8	9	0

半角入力モード

ボタン 1桁目	2桁目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ ｧ	ｲ ｨ	ｳ ｩ	ｴ ｪ	ｵ ｫ	A a	B b	C c	D d	E e
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F f	G g	H h	I i	J j
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K k	L l	M m	N n	O o
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ ｯ	ﾃ	ﾄ	P p	Q q	R r	S s	T t
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U u	V v	W w	X x	Y y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z z	?	!	-	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎※2	
8	ﾔ ｬ	(	ﾕ ｭ	)	ﾖ ｮ	*	#	SP	♥※2	切替 切替※1
9	ﾗ @	ﾘ /	ﾙ -	ﾚ _	ﾛ :	1 .ne.jp	2 .co.jp	3 .ac.jp	4 @docomo.ne.jp	5
0	ﾜ ~	ｦ '	ﾝ	ﾞ ,	ﾟ .	6 www.	7 .com	8 .html	9 http://	0 https://

※1：8 0 を押すと大文字入力モード（上段）と小文字入力モード（下段）とが切り替わります。
また、大文字を入力したあとに を押して小文字に変更することもできます。
※2：「フリーメモ」や「定型文」の登録など、「絵文字入力」（P.322参照）ができるときだけ使えます。
「☎」「♥」は常に全角文字として表示されます。
SMS本文入力時は「絵文字入力」はできませんが「☎」「♥」は入力できます。
※3：「全角入力モード」の場合は、「゛」「゜」を付けることができる文字のときだけ「゛」「゜」が表示されます。
そのほかの文字に「゛」「゜」を入力するとスペースが入力されます。
SP：スペースが入力されます。

お知らせ

- FOMAカードの電話帳登録時のフリガナ入力では、全角入力時にひらがなの代わりに、カタカナの入力が可能です。
- 一部、モード2の入力が利用できない場合があります。その場合はモード1で入力してください。
- 記号・絵文字の入力についてはP.322参照。

モード3（T9方式）で入力する

このモードを利用すると、少ないボタン操作で文字の入力ができます。
たとえば“あした”という読みを入力するとき、モード1（かな方式）では1を1回、3を2回、4を1回押して入力しますが、モード3（T9方式）では、1 3 4と入力したい行のボタンをそれぞれ1回押します。
1つのボタンに行の文字が割り当ててあり（P.310参照）、ボタンを押すごとに読み候補が表示され、その中から読み候補を選択して入力します。
モード3での入力を手助けする機能に、「読み編集」と「固定入力」があります。
「読み編集」は入力した読み候補を編集するときに使います。「固定入力」は入力したい読みをダイレクトに入力するときに使います。また、モード3（T9方式）とワード予測（P.313参照）を連動させると入力の手間が省けます。
（文字）を押すたびに「漢字ひらがな」→「カタカナ」→「英字」→「数字」の順に入力モードが切り替わりますが、モード3（T9方式）が働くのは「漢字ひらがな」と「カタカナ」モードのみです。「英字」と「数字」モードでは自動的にモード1となります。

例：「遠藤」と入力するとき

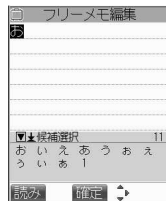
文字入力（編集）画面▶1

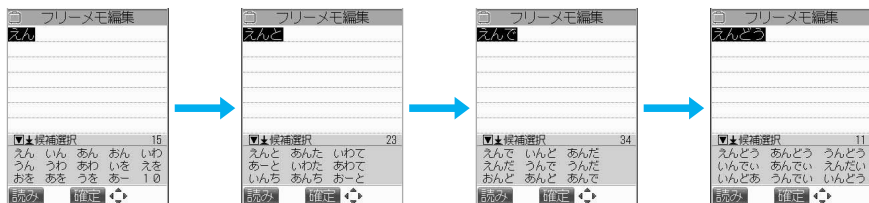
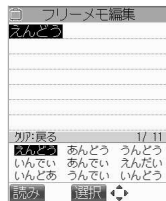
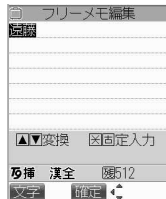
ガイダンス内にあ行の候補が表示されます。

- 候補が表示されていない状態で＊を押すと、固定入力になります。（P.312参照）
- 全角／半角を切り替えるときは（機能）を押して機能メニューから「全角切替」または「半角切替」を選択し、を押します。
- 全角のみで使える文字と、全角でも半角でも使える文字があります。

全角のみで使える文字
ひらがな、漢字、絵文字

全角でも半角でも使える文字
カタカナ、英字、数字、記号

2 0▶4▶#▶1

ボタンを押すごとに、文字を組み合わせた候補が表示されます。

3

4 で漢字に変換

モード3で入力できる文字

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード
1 あ	あいうえおぁぃぅぇぉ1	アイウエオァィゥェォ1
2 か ABC	かきくけこ2	カキクケコ2
3 さ DEF	さしすせそ3	サシスセソ3
4 た GHI	たちつてとっ4	タチツテトッ4
5 な JKL	なにぬねの5	ナニヌネノ5
6 は MNO	はひふへほ6	ハヒフヘホ6
7 ま PQRS	まみむめも7	マミムメモ7
8 や TUV	やゆよゃゅょ8	ヤユヨャュョ8
9 ら WXYZ	らりるれろ9	ラリルレロ9
0 わを ん―	わをんゎー0	ワヲンヮ※1ー0
* http://	※2	※2
# ゛゜@ マナー	゛゜、。・！？※3	゛゜、。・！？※3

※1：「ヮ（小文字）」は全角入力でのみ入力できます。
※2：「読み編集」または「固定入力」に切り替えられます。（P.311、312参照）
※3：全角で「゛」「゜」を付けることができる文字のときだけ「゛」「゜」が表示されます。

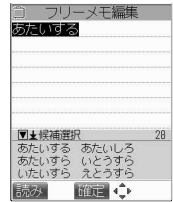
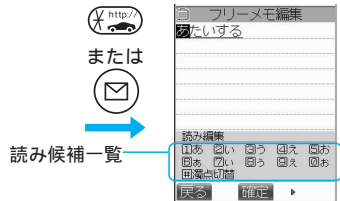
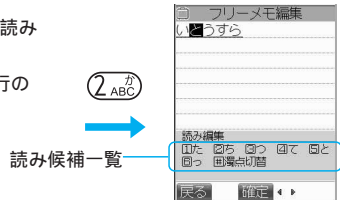
お知らせ

●記号・絵文字の入力についてはP.322参照。
●区点コードの入力は ⓘ（機能）を押して機能メニューから選択します。

■読み編集

読み候補の一覧を表示中に(＊) または (✉) (読み) を押すと、読み候補を編集できます。

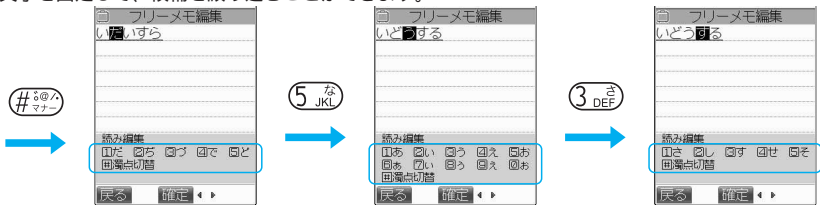
<例：「あたいする」という読み候補を「いどうする」にする場合>

1. モード3（T9方式）で読み候補「あたいする」を入力します。
（P.309参照）

2. (＊) または (✉) (読み) を押します。
カーソルが読み候補の先頭に移動します。

3. (◎) で編集したい文字を選択し、読み候補一覧から入力したい読みの番号を押します。
編集したい文字を選択すると、読み候補には選択された文字の行の読みの番号が表示されます。
（ここでは「あ」を「い」にするために (2) を押します）

4. 濁点・半濁点を付ける場合は (#) を押します。同様にして読み候補を編集します。
（ここでは「ど」を入力するために (#) (5) を、「う」を入力するために (3) を押します）
読み候補の編集を中止するときは、(＊) または (✉) (戻る) を押します。このとき候補表示は、読み編集した文字を固定して、候補を絞り込むことができます。

5. 読みの編集を終了するときは、(◎) を押します。
(◎) を押して漢字、ひらがな、カタカナなどに変換します。

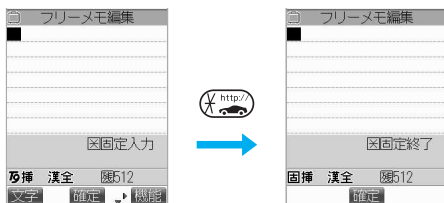
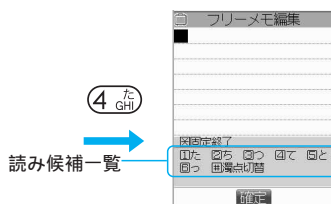
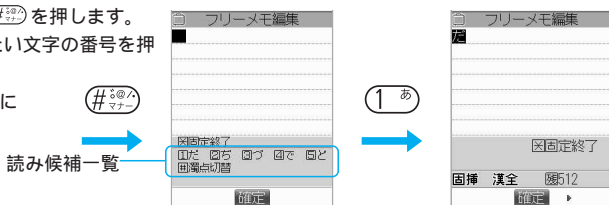
文字入力

文字入力のしかた

次ページにつづく

■固定入力

文字入力（編集）画面表示中に、読み候補一覧が表示されていない状態で ✱ を押すと、固定入力ができます。固定入力では、文字を1文字ずつ入力できます。

<例：「だて」という読みを入力する場合>

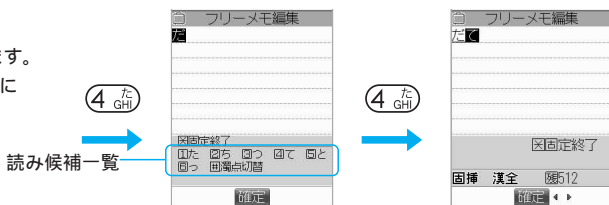
1. モード3（T9方式）の文字入力（編集）画面で ✱ を押します。

2. 入力したい文字の行の番号を押します。（P.310参照）
読み候補一覧にその行の読みの番号が表示されます。

3. 濁点・半濁点を付ける場合は # を押します。
次に読み候補一覧から選択したい文字の番号を押します。
（ここでは「だ」を入力するために # 1 を押します）

4. 同様にして読み候補を編集します。
（ここでは「て」を入力するために 4 4 を押します）
固定入力を終了するときは、✱ を押します。

5. 読みの編集を終了するときは、◉ を押します。
◎ を押して漢字、ひらがな、カタカナなどに変換します。

文字入力

文字入力のしかた

ワード予測を使う

メニュー 3 5　お買い上げ時 ON

ワード予測とは、一度入力した文字列を自動的に記憶し、その後同じ読みの文字を入力したときに、記憶した文字列や定型文の候補の中から選択することができる機能です。

1 メニュー **その他▶文字入力方式▶ワード予測**

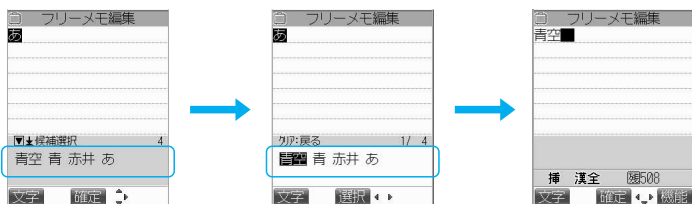
ON ・・・・・・・ワード予測を行います。
OFF・・・・・・・ワード予測を行いません。
●文字入力（編集）画面を表示中に（機能）を押し、機能メニューから「ワード予測ON」または「ワード予測OFF」を選択しても、ワード予測のON／OFFの設定ができます。

■ワード予測を使った例
1.「あ」と入力します。
ガイダンスに候補が表示されます。

2. を1秒以上押します。
候補にカーソルが移動します。

3. を押して候補を選択し、を押します。

ガイダンスを表示する

お買い上げ時 ON

文字入力（編集）画面のガイダンス（P.304参照）を表示するかしないかの設定をします。

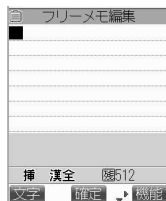
1 メニュー **その他▶文字入力方式▶ガイダンス表示**

ON ・・・・・・・ガイダンスを表示します。
OFF・・・・・・・ガイダンスを表示しません。

文字を入力する

例：フリーメモに「トドの嶋」と入力するとき

1 ▶   ▶ **フリーメモ**

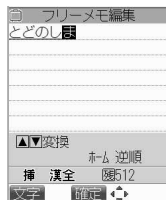
2 ✉（編集）で文字入力（編集）画面を表示

3 **ひらがなを入力**

<モード1のとき>

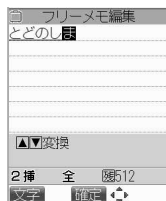
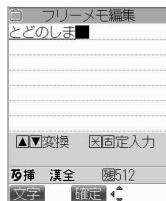
と→ 4を5回、◎を1回
ど→ 4を5回、#を1回
の→ 5を5回
し→ 3を2回
ま→ 7を1回

●同じボタンで入力する文字が続く場合は、◎を押すか、もう一度同じボタンを1秒以上押し、次の文字を入力します。
●大文字／小文字を切り替える場合は文字を入力後 を押します。

<モード2のとき>

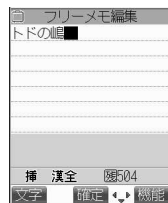
と→ 4 5
ど→ 4 5、0 4
の→ 5 5
し→ 3 2
ま→ 7 1

●モード2の場合、1桁のみ入力して確定してもその文字は消去されます。2桁で入力してください。

<モード3のとき>

と→ 4
ど→ 4 #
の→ 5
し→ 3
ま→ 7

●モード3の場合、目安の文字が候補に出るよう選択範囲を◎で反転させたり、¥を押して読み編集に切り替えたりします。

4 で文字を変換

●目的の文字に変換されない場合は、 を押して変換対象となる文字を反転させ、 を目的の文字が出るまで数回押します。
また、濁点や半濁点を外したり、読み方を変えて（音読み・訓読みなど）入力し直してください。
● を何度か押すと、変換候補の一覧が表示されるので、目的の文字を選択します。
●変換せずにそのまま確定する場合は、 を押さずに を押します。
●文字を確定すると次の文字が反転します。

5 で文字を確定

6 同様に残りの文字を確定

■ユーザ辞書について
FOMA端末には、お好きな読みかたで変換できる単語を100件まで登録できる「ユーザ辞書」（P.330参照）があります。「ユーザ辞書」を活用することによって、文章の入力を簡単に行うことができます。

お知らせ

●FOMA端末は連文節変換を行います。変換するためのひらがなは最大20文字まで入力することができ、6文節までを一括変換します。
●一度に変換できない2文字以上の漢字は、1文字ずつ変換してください。
●変換できる漢字には限りがあるため、変換できない漢字もあります。変換できない漢字は区点コードを使って入力（P.323参照）することができます。入力できるのは、JIS第一水準漢字、第二水準漢字の6355文字です。
●複雑な漢字は一部を変形もしくは省略しています。
●ひらがなを入力するときは、変換候補から選ぶ方法と漢字に変換する前に を押す方法があります。

次ページにつづく

■文字の修正、削除

●文字を挿入するとき

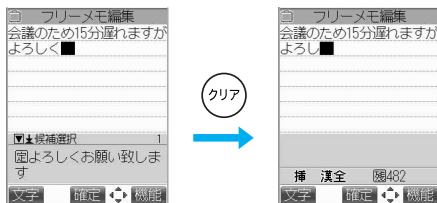
挿入モードのときは、◎を押して挿入したい位置の1つ右の文字にカーソルを合わせ、文字を入力します。

文字はカーソルの位置に挿入されます。

●文字を削除するとき

◎を押して削除したい文字にカーソルを合わせ、クリアを押します。

カーソル上の文字が削除されます。

カーソル以降に文字がないときは、カーソルの左側の1文字が削除されます。

お知らせ

●カーソル以降に文字がある場合、クリアを1秒以上押すと、カーソル上とカーソル以降の文字がすべて削除されます。

カーソル以降に文字がない場合、クリアを1秒以上押すと、カーソルの左側の文字がすべて削除されます。

■入力中、編集中のデータについて

●電池が切れたとき

「フリーメモ」、新規メール（アプリケーション編P.146参照）の文字編集中などに電池量が少なくなると、自動的に文字編集を終了し電池切れアラームが鳴ります。編集中のデータは自動的に確定して保存されますので、充電するか、充電済みの電池パックと交換したあとにもう一度編集することができます。ただし、編集中のデータや変換中などの確定していない文字は保存されません。

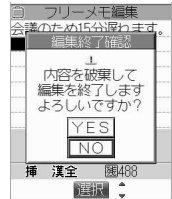
●[HLD]を押したとき

電話帳の編集中やスケジュールの編集中、新規メール（アプリケーション編P.146参照）の作成中などに[HLD]を押したときは、編集を終了するかどうかの確認画面が表示されます。

・**編集中の内容を破棄して終わるとき**

「YES」を選択し、[◎]を押します。
編集中のデータを破棄して編集前の画面または待受画面に戻ります。
※[HLD]を押しても、データを破棄して編集前の画面または待受画面に戻ります。

・**編集を続けるとき**

「NO」を選択し、[◎]を押します。
編集中のデータはそのままで元の画面に戻ります。
※[クリア]を押しても元の画面に戻ります。
※データを編集していないときは、確認画面は表示されません。

●マルチタスク機能を利用したとき

文字編集の途中でマルチタスク機能を利用して、他の文字入力（編集）画面に切り替えた場合でも、元の文字編集途中の画面はそのまま保持されます。タスクを切り替えれば、元の文字編集を行うことができます。

●電話がかかってきたり、メール着信があったとき

文字編集中に電話がかかってきたり、メール着信があっても、マルチタスク機能が働くため編集中データはそのままで応対することができます。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

文字入力（編集）中に ◉（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

操作により実行できない項目があります。

●メール本文入力画面での機能メニューについてはアプリケーション編P.156参照。

絵文字記号入力

絵文字や記号を文字入力（編集）画面に表示しながら入力することができます。

1 文字入力（編集）画面▶◉（機能）▶絵文字記号入力

●文字入力（編集）画面で、絵文字または記号を入れたい場所にカーソルを移動しておきます。

2 絵文字または記号を選択▶◉

選択した絵文字や記号が入力されます。手順2を繰り返して他の絵文字や記号を入力できます。

● ✉（絵記）を押して絵文字や記号の一覧画面を切り替えることができます。

●絵文字の一覧についてはP.345参照。

●記号の一覧についてはP.345参照。

3 入力が終わったら クリア を押す

大文字／小文字切替

1 文字入力（編集）画面▶ⓘ（機能）▶大文字切替・小文字切替

●現在大文字モードの場合は「小文字切替」、小文字モードの場合は「大文字切替」と表示されます。
●入力中に小文字のある文字のボタンを押したあと［⌫］を押しても小文字になります。
●モード2のときは、［8］［0］を押して大文字入力モードと小文字入力モードを切り替えることもできます。

全角／半角切替

1 文字入力（編集）画面▶ⓘ（機能）▶全角切替・半角切替

●現在全角モードの場合は「半角切替」、半角モードの場合は「全角切替」と表示されます。
●モード2のときは［✉］（文字）を押して全角と半角を切り替えることもできます。

コピー

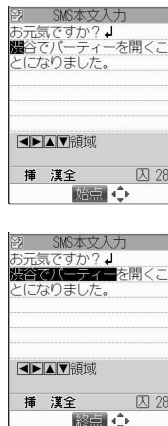
メールやフリーメモなどの文字列を、最大全角1024文字まで、半角2048文字までコピーすることができます。

1 文字入力（編集）画面▶ⓘ（機能）▶コピー

2 コピー開始位置を選択▶◉

●メールの本文をコピーする場合は、ⓘ（全選択）を押し、「YES」を選択して◉を押すとすべての文字をコピーすることができます。

SMS本文入力
お元気ですか？
渋谷でパーティーを開くことになりました。
◀▶▲▼領域
挿 漢全 28
始点

3 コピー終わり位置を選択▶◉

お知らせ

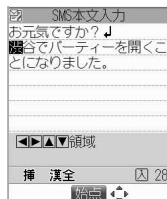
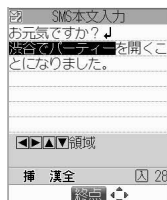
●「コピー」として文字を記憶できるのは1件のみです。新しく「コピー」または「切り取り」をすると前に記憶していた文字は上書きされます。

切り取り

メールやフリーメモなどの文字列を、最大全角1024文字まで、半角2048文字まで切り取ることができます。

1 文字入力(編集)画面▶(i)(機能)▶切り取り

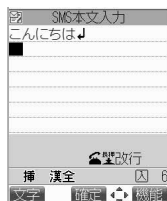
2 切り取り開始位置を選択▶◉

●メールの本文を切り取る場合は、(i)(全選択)を押し、「YES」を選択して◉を押すとすべての文字を切り取ることができます。

3 切り取り終わり位置を選択▶◉

お知らせ

●「切り取り」として文字を記憶できるのは1件のみです。新しく「コピー」または「切り取り」をすると前に記憶していた文字は上書きされます。

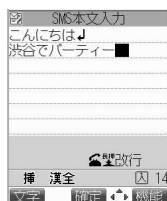
貼り付け

コピーした文字や切り取りした文字列を、最大全角1024文字まで、半角2048文字まで貼り付けることができます。

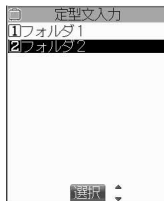
1 文字入力(編集)画面▶カーソルを貼り付け開始位置へ移動

2 (i)(機能)▶貼り付け

●上書きモードに設定されていると、貼り付けた文字によって上書きされます。(P.323参照)

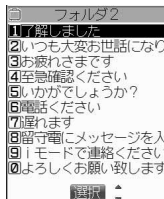
●貼り付けするときに、入力可能な文字数を超えた場合は、「文字数がオーバーしますがよろしいですか？」の確認画面が表示されます。
「YES」を選択し、◉を押すと入力可能な範囲まで貼り付けられます。
「NO」を選択した場合は貼り付けされず、元の文字入力画面に戻ります。

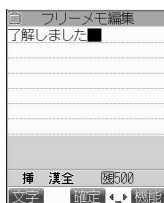
●貼り付ける文字が貼り付け先に入力できない場合は、「入力できない文字はスペースにしました」と表示され、半角スペースに置き換えて表示されます。

定型文入力

1 **文字入力（編集）画面▶ⓘ（機能）▶定型文入力**

●文字入力（編集）画面で、定型文を入れたい場所にカーソルを移動しておきます。

2 **フォルダを選択▶◎▶定型文を選択▶◎**

●フォルダ1とフォルダ2には固定定型文があらかじめ登録されています。

●フォルダ3～5は、定型文が登録されていない場合は表示されません。

3 **◎を押す**

●定型文の一覧についてはP.327参照。

お知らせ

●定型文は以下の文字編集のときに、呼び出して入力することができます。
- 「画面表示設定」のウェイクアップ
- 「スケジュール」
- 「ToDo」
- 「フリーメモ」
- 定型文の編集画面・フォルダ名編集画面
- ｉモードのテキストボックスの編集画面
- ｉアプリでの文字編集
- ｉモードメールの題名・本文・冒頭文・署名・引用符・題名振分けの編集画面

●固定定型文は入力モードによって呼び出される内容（表現）が異なります。

モード1／3‥漢字ひらがな入力モードのときは、漢字ひらがな表現で呼び出されます。
漢字ひらがな入力モード以外のときは、半角カタカナ表現で呼び出されます。

モード2 ‥‥‥全角入力モードのときは、漢字ひらがな表現で呼び出されます。
半角入力モードのときは、半角カタカナ表現で呼び出されます。

なお、自作の定型文は入力モードにかかわらず登録された内容で呼び出されます。

●定型文を入力したときに各文字編集の登録可能な文字数を超えたときは、「文字数がオーバーしますがよろしいですか？」の確認画面が表示されます。

「YES」を選択し、◎を押すと文字が貼り付けられ、登録可能な文字数を超えた文字が文末（右端）より削除されます。

「NO」を選択したときは定型文は入力されずに元の文字入力画面に戻ります。

スペース入力

1 文字入力（編集）画面▶ⓘ（機能）▶スペース入力

●文字入力（編集）画面で、スペースを入れたい位置の1つ右の文字にカーソルを移動しておきます。
●入力されるスペースのサイズは全角／半角切替のモードにより、全角モードなら全角スペース、半角モードなら半角スペースとなります。

改行入力

ｉモードのテキストボックスやｉモードメールの本文、冒頭文、署名、引用符などを入力しているときに改行マーク「↲」を入力し、文章を改行することができます。

1 文字入力（編集）画面▶ⓘ（機能）▶改行入力

●文字入力（編集）画面で、改行を入れたい位置の1つ右の文字にカーソルを移動しておきます。
●（通話）を1秒以上押しても「↲」が入力されます。

お知らせ

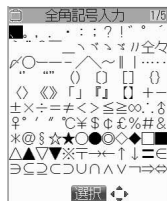
●「↲」は、他の文字と同じように削除したり上書きしたりすることができます。
●「↲」は、全角1文字分としてカウントされます。
●ｉモードのテキストボックスの編集では、改行マークの入力ができない場合があります。

記号入力

1 文字入力（編集）画面▶ⓘ（機能）▶記号入力

●文字入力（編集）画面で、記号を入れたい場所にカーソルを移動しておきます。

2 記号を選択▶◎

●記号の一覧についてはP.345参照。

お知らせ

●半角のみ入力できるときには、半角の記号のみが表示されます。メールアドレスの登録、アドレスでの検索、ｉモードメールの宛先の入力、URL入力や「接続先選択」の接続先名称などのときは、使える記号だけが表示されます。

絵文字入力

1 文字入力（編集）画面▶ⓘ（機能）▶絵文字入力

●文字入力（編集）画面で、絵文字を入れたい場所にカーソルを移動しておきます。

2 絵文字を選択▶◎

●絵文字の一覧についてはP.345参照。

お知らせ

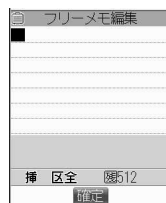
●絵文字は「フリーメモ」、「定型文」の登録、「ｉモードメール」の作成時などの文字編集時に入力できます。

区点入力

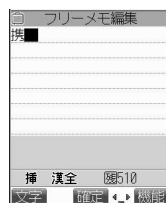
区点コード一覧表（P.340参照）にある文字・数字・記号を入力することができます。
例：「携」（区点コード2340）を入力するとき

1 文字入力（編集）画面▶ⓘ（機能）▶区点入力

区点入力モードに切り替わり、画面左下に「区」と表示されます。

● 「モード1」の漢字ひらがなモード、「モード2」の全角モードの場合は、㊋を押しても区点入力モードに切り替わります。

2 区点コード（2 3 4 0）を入力

入力した区点コードに対応した文字が表示され、元の入力モードに戻ります。

●入力した区点コードに対応する文字がないときは、スペースが入力されます。

挿入／上書きモード

1 文字入力（編集）画面▶ⓘ（機能）▶挿入モード・上書きモード

●現在挿入モードの場合は「上書きモード」、上書きモードの場合は「挿入モード」と表示されます。

●上書きモードの状態で文字入力（編集）画面を終了し、再度文字入力（編集）画面にしたときは挿入モードになります。上書きモードにはその都度切り替えてください。

■挿入／上書きモードについて

＜挿入モード＞

すでに入力されている文字と文字の間に、新たに入力した文字を挿入します。
画面の左下には「挿」と表示されます。

＜上書きモード＞

すでに入力されている文字を、新たに入力した文字に置き換えます。
画面の左下には「上」と表示されます。

電話帳引用

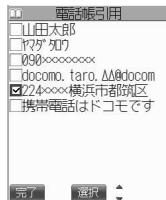
文字入力（編集）画面で電話帳を呼び出し、その内容を最大全角269文字まで、半角538文字まで引用できます。引用できる項目は以下のとおりです。
＜FOMA端末内＞
名前、フリガナ、電話番号1～4、メールアドレス1～3、住所、メモ
＜FOMAカード内＞
名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス

1 文字入力（編集）画面▶ⓘ（機能）▶電話帳引用▶グループ検索・行検索

●「電話帳引用」では、「グループ検索」と「行検索」のみで電話帳を検索します。
●電話帳のグループ検索についてはP.126、行検索についてはP.127参照。

2 引用する電話帳を検索▶◉

3 引用する項目にチェック▶✉（完了）

◉を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。
☑・・・・・・・・引用します。
□・・・・・・・・引用しません。
●引用するときに、入力可能な文字数を超えた場合は、「文字数がオーバーしますがよろしいですか？」の確認画面が表示されます。
「YES」を選択し、◉を押すと入力可能な範囲まで貼り付けられます。
「NO」を選択した場合は引用されず、元の文字入力画面に戻ります。

お知らせ

●PIMロック中は使用できません。
●住所を引用する場合、郵便番号の「〒」や「-」は引用されません。

個人データ引用

文字入力(編集)画面でお客様の個人データを呼び出し、その内容を最大全角269文字まで、半角538文字まで引用します。引用できる項目は以下のとおりです。
名前、フリガナ、電話番号1～4、メールアドレス1～3、住所、メモ

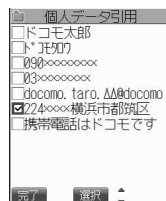
1 文字入力(編集)画面▶(機能)▶個人データ引用▶端末暗証番号を入力▶◎

●端末暗証番号についてはP.198参照。

2 引用する項目にチェック▶✉(完了)

◎を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

☑・・・・・・・・引用します。
□・・・・・・・・引用しません。

●引用するときに、入力可能な文字数を超えた場合は、「文字数がオーバーしますがよろしいですか？」の確認画面が表示されます。
「YES」を選択し、◎を押すと入力可能な範囲まで貼り付けられます。
「NO」を選択した場合は引用されず、元の文字入力画面に戻ります。

お知らせ

●PIMロック中は使用できません。
●住所を引用する場合、郵便番号の「〒」や「-」は引用されません。

入力モード切替

入力モードの切り替えを行います。

1 文字入力(編集)画面▶(機能)▶入力モード切替▶入力モードを選択▶◎

●文字入力(編集)画面で、✉を1秒以上押しても、モードを切り替えることができます。
押すごとに、「モード1」→「モード2」→「モード3」→「モード1」…と切り替わります。

JUMP

文字入力(編集)画面で、カーソルを文章の文頭および文末にJUMPさせます。

1 文字入力(編集)画面▶(機能)▶JUMP▶文頭へJUMP・文末へJUMP

● 「文末」とは、エンドマーク「◀」のことではなく、入力文字中の最終文字(スペース、改行含む)のことです。

<学習辞書リセット>
学習辞書を初期状態に戻す

一度入力した文字列を自動的に記憶し、変換時の候補にする機能（学習辞書）をお買い上げ時の初期状態に戻します。

1 **その他▶学習辞書リセット▶端末暗証番号を入力▶**

T9／ワード予測 ･･･････モード3（T9方式）の読み候補とワード予測の候補を初期状態に戻します。
かな漢字変換 ･･････････文字入力時の変換候補を初期状態に戻します。
●端末暗証番号についてはP.198参照。

2 **YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。

<定型文>
定型文を使用する

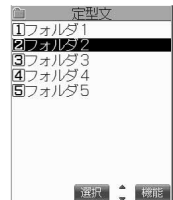
定型文は以下の文字編集のときに、呼び出して入力することができます。

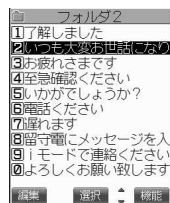
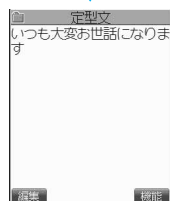
- **「画面表示設定」のウェイクアップ**
- **「スケジュール」**
- **「ToDo」**
- **「フリーメモ」**
- **ｉモードのテキストボックスの編集画面**
- **ｉアプリでの文字編集**
- **ｉモードメールの題名・本文・冒頭文・署名・引用符・題名振分けの編集画面**

また、定型文の編集画面、定型文のフォルダ名編集画面でも呼び出すことができます。
定型文は5つのフォルダに分かれていて、フォルダ1とフォルダ2には各10件の固定定型文が登録されています。フォルダ3〜5には自作の定型文を各10件登録することができます。固定定型文は変更することもできます。変更した固定定型文と合わせて最大50件の自作の定型文を登録することができます。
フォルダ名を変更して定型文を目的別に分けて登録することができます。

定型文を表示する

1   **定型文**

フォルダ1〜2 ･････････あらかじめ登録されている固定定型文を確認または変更します。
フォルダ3〜5 ･････････自作の定型文を登録します。

<定型文フォルダ一覧画面>

2 定型文を選択▶◎

<定型文一覧画面>

<定型文画面>

●フォルダ1（固定定型文）

No.	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
1	ごめんなさい	ｺﾞﾒﾝﾅｻｲ
2	ありがとう	ｱﾘｶﾞﾄｳ
3	おめでとう！	ｵﾒﾃﾞﾄｳ!
4	時間だよ！	ｼﾞｶﾝﾀﾞﾖ!
5	もう少し待ってて	ﾓｳｽｺｼﾏｯﾃﾃ
6	今着いた！	ｲﾏﾂｲﾀ!
7	予定変更！	ﾖﾃｲﾍﾝｺｳ!
8	どこにいるの？	ﾄﾞｺﾆｲﾙﾉ?
9	がんばってね	ｶﾞﾝﾊﾞｯﾃﾈ
0	なにしてるの？	ﾅﾆｼﾃﾙﾉ?

●フォルダ2（固定定型文）

No.	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
1	了解しました	ﾘｮｳｶｲｼﾏｼﾀ
2	いつも大変お世話になります	ｲﾂﾓﾀｲﾍﾝｵｾﾜﾆﾅﾘﾏｽ
3	お疲れさまです	ｵﾂｶﾚｻﾏﾃﾞｽ
4	至急確認ください	ｼｷｭｳｶｸﾆﾝｸﾀﾞｻｲ
5	いかがでしょうか？	ｲｶｶﾞﾃﾞｼｮｳｶ?
6	電話ください	ﾃﾞﾝﾜｸﾀﾞｻｲ
7	遅れます	ｵｸﾚﾏｽ
8	留守電にメッセージを入れてください	ﾙｽﾃﾞﾝﾆﾒｯｾｰｼﾞｦｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
9	ｉモードで連絡ください	ｉﾓｰﾄﾞﾃﾞﾚﾝﾗｸｸﾀﾞｻｲ
0	よろしくお願い致します	ﾖﾛｼｸｵﾈｶﾞｲｲﾀｼﾏｽ

次ページにつづく

お知らせ

- メールの題名・本文・冒頭文・署名・引用符に使用する自作の定型文を作成するときは、「半角カタカナ」と「絵文字」は使わないでください。正しく表示されない場合があります。（ｉモードメール同士では絵文字を使うことができます。）
- 固定定型文は、文字入力方式（P.305参照）がモード1（かな方式）またはモード3（T9方式）の「漢字ひらがな入力モード」、モード2（2タッチ方式）の「全角入力モード」のときに「漢字ひらがな表現」で呼び出され、それ以外のときは「半角カタカナ表現」で呼び出されます。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

定型文フォルダ一覧画面で（機能）を押すと、以下の項目が表示されます。

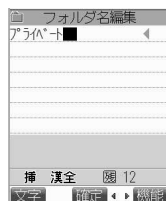
フォルダ名編集	本ページ参照
フォルダ名初期化	本ページ参照

操作により実行できない項目があります。

フォルダ名編集

フォルダ名を変更します。

1 定型文フォルダ一覧画面▶（機能）▶フォルダ名編集▶フォルダ名を入力▶

- 全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
- 文字の入力方法についてはP.304参照。
- フォルダ名をすべて削除した場合は、お買い上げ時のフォルダ名に戻ります。

フォルダ名初期化

変更したフォルダ名を初期化してお買い上げ時のフォルダ名に戻します。

1 定型文フォルダ一覧画面▶（機能）▶フォルダ名初期化▶YES

- 中止する場合は「NO」を選択し、を押します。

定型文

文字入力のしかた

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

定型文一覧画面・定型文画面を表示中に (機能)を押すと、以下の項目が表示されます。

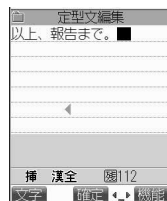
編集	本ページ参照
1件削除	本ページ参照
全削除	本ページ参照

操作により実行できない項目があります。

編集

定型文を変更します。

1 **定型文一覧画面・定型文画面▶ (機能)▶編集▶定型文を入力▶**

●全角64文字まで、半角128文字まで入力できます。
●文字の入力方法についてはP.304参照。
●定型文一覧画面・定型文画面で (編集)を押しても定型文を編集することができます。
●固定定型文をすべて削除した場合は、お買い上げ時の固定定型文に戻ります。

1件削除・全削除

1 **定型文一覧画面・定型文画面▶ (機能)▶1件削除・全削除▶YES**

「全削除」を選択した場合は、フォルダ内すべての定型文が削除されます。ただし、変更した固定定型文(フォルダ1またはフォルダ2)は、お買い上げ時の固定定型文に戻ります。
●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。
●変更した固定定型文を削除した場合は、お買い上げ時の固定定型文に戻ります。

<ユーザ辞書>

ユーザ辞書に単語を登録する

お好きな読みかたで変換できる単語をユーザ辞書に100件まで登録できます。1件あたり全角10文字まで、半角20文字まで登録できます。読みはひらがなで10文字まで登録できます。

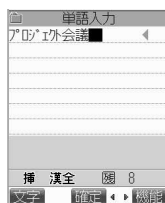
ユーザ辞書を登録する

1 ▶ ▶ **ユーザ辞書** ▶ **<新規登録>**

●ユーザ辞書に100件登録済みの場合は、<新規登録>は表示されません。

2 **単語を入力** ▶ ◎

●文字の入力方法についてはP.304参照。

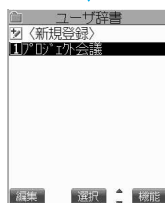
●絵文字や改行、定型文は、入力できません。スペースは、自動的につめて登録されます。

3 **読みを入力** ▶ ◎

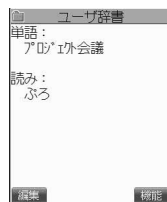
●絵文字や改行、定型文は入力できません。スペースは自動的につめて登録されます。

●読みの入力で記号(゛゜、。・!?)を登録することはできません。
ただし、「゛」や「゜」を付けることができる文字のときには「゛」や「゜」は登録できます。

登録した単語が一番上に追加されます。

ユーザ辞書

文字入力のしかた

ユーザ辞書を確認する

1 ▶ ▶ **ユーザ辞書▶ユーザ辞書を選択▶**◎

◆◇◆**機能メニュー**◆◇◆

ユーザ辞書表示中に (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

編集	本ページ参照
1件削除	本ページ参照
全削除	本ページ参照

操作により実行できない項目があります。

編集

ユーザ辞書を変更します。

1 **ユーザ辞書を表示▶ (機能) ▶編集**

以降、P.330手順2から操作を行ってユーザ辞書を編集します。

●ユーザ辞書表示中に (編集) を押してもユーザ辞書を編集することができます。

1件削除・全削除

1 **ユーザ辞書を表示▶ (機能) ▶1件削除・全削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、◎ を押します。

ユーザ辞書

文字入力のしかた

<ダウンロード辞書>

ダウンロードした辞書を使用する

ダウンロード辞書を使用する

サイトからダウンロードした辞書を有効にします。（辞書のダウンロードについてはアプリケーション編P.67参照）すでに有効に設定されている辞書を選択した場合は、無効に設定します。辞書は5つまで保管でき、そのうち2つまで有効にできます。

1 メニュー▶ユーザデータ▶**ダウンロード辞書**▶**ダウンロード辞書を選択**▶◎

選択したダウンロード辞書が有効になり、「★」マークが付きます。

●ダウンロード辞書の機能メニューから「辞書ファイル設定」を選択し、を押しても辞書が有効になります。

■ダウンロード辞書を解除するとき

手順1の画面で「★」マークの付いたダウンロード辞書を選択し、◎を押します。
設定が解除されて「★」マークが消えます。

◆◇◆機能メニュー◆◇◆

ダウンロード辞書表示中に (機能) を押すと、以下の項目が表示されます。

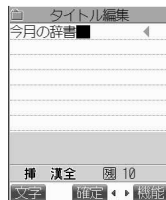
項目	参照
タイトル編集	P.333
辞書ファイル設定	本ページ参照
辞書情報	P.333
1件削除	P.333
全削除	P.333

操作により実行できない項目があります。

タイトル編集

辞書のタイトルを変更します。

1 **ダウンロード辞書を表示▶ (機能)▶タイトル編集▶タイトルを入力▶**

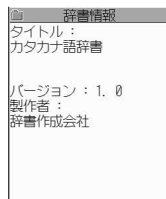
●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
●文字の入力方法についてはP.304参照。

お知らせ

●タイトルをすべて削除して を押した場合は、元のタイトルに戻ります。

辞書情報

ダウンロードした辞書のタイトル・バージョン・製作者情報を表示します。

1 **ダウンロード辞書を表示▶ (機能)▶辞書情報**

●確認が終われば クリア を押します。

1件削除・全削除

1 **ダウンロード辞書▶ (機能)▶1件削除・全削除▶YES**

●中止する場合は「NO」を選択し、 を押します。
●「全削除」の場合は、端末暗証番号を入力し、 を押します。

付録

機能一覧表

	メニュー	機能名称	概要	参照先
メール	—	受信BOX	受信したｉモードメール・ショートメッセージ（SMS）を表示します	アプリ編
	—	送信BOX	送信したｉモードメール・ショートメッセージ（SMS）を表示します	アプリ編
	—	保存BOX	送信せずに保存したｉモードメール・ショートメッセージ（SMS）の一覧を表示します	アプリ編
	—	ｉモードメール作成	新しくｉモードメールを作成します	アプリ編
	—	SMS作成	新しくショートメッセージ（SMS）を作成します	アプリ編
	—	ｉモード問い合わせ	ｉモードセンターにｉモードメールやメッセージ（R/F）が届いていないか問い合わせます	アプリ編
	—	メール選択受信	ｉモードメールを選択して受信します	アプリ編
	—	SMS問い合わせ	SMSセンターにショートメッセージ（SMS）が届いていないか問い合わせます	アプリ編
	—	メール設定	メール機能に関する設定画面を表示します	アプリ編
ｉモード	—	ｉMenu	ｉモードセンターに接続し、ｉMenuを表示します	アプリ編
	—	Bookmark	お気に入りのホームページアドレスを登録しておくと次回から直接アクセスできます	アプリ編
	—	画面メモ	保存したｉモードの画面を見ることができます	アプリ編
	—	ラストURL	最後に表示したサイトやインターネットホームページを表示します	アプリ編
	—	Internet	アドレスを直接入力することでインターネットホームページにアクセスすることができます	アプリ編
	—	メッセージ	受信したメッセージ（R/F）の一覧を表示します	アプリ編
	—	ｉモード問い合わせ	ｉモードセンターにｉモードメールやメッセージ（R/F）が届いていないか問い合わせます	アプリ編
	—	ユーザ証明書操作	FirstPassセンターに接続します	アプリ編
	—	ｉモード設定	サイト・インターネットに関する各種設定画面を表示します	アプリ編
ｉアプリ	—	ソフト一覧	保存されているｉアプリの一覧を表示します	アプリ編
	—	自動起動設定	ｉアプリを自動起動するかどうかを設定します	アプリ編
	—	ｉアプリ実行情報	ｉアプリの起動情報などを表示します	アプリ編
各種設定	着信			
	—	呼出時間表示設定	呼出動作をすぐに開始しないようにします	P.146
	50	着信音量	着信音の音量を調節します	P.77
	13	着信音選択	着信音を選択します	P.169
	54	バイブレータ	着信を振動でお知らせします	P.143
	89	着信イルミネーション	着信／充電ランプとコマンドナビゲーションボタンの点滅パターンを設定します	P.160
	20	マナーモード選択	マナーモード中の動作を設定します	P.140
	—	電話帳画像着信設定	着信中に電話帳に登録した画像を表示します	P.181
	58	着信アンサー設定	着信中にボタンを押したときの動作を設定します	P.165
	18	クローズ動作設定	通話中にFOMA端末を折りたたんだときの動作を設定します	P.166
	68	ｉモード鳴動時間	ｉモードメール・ショートメッセージ（SMS）・メッセージ（R/F）受信時に着信音が鳴る時間を設定します	アプリ編
	65	確認機能設定	FOMA端末を折りたたんでいるときの不在着信や新着メールの確認方法を設定します	P.100
	—	オープン設定	着信中にFOMA端末を開いたときの動作を設定します	P.166

メニュー	機能名称	概要	参照先
通話			
76	ノイズキャンセラ	周囲の騒音を抑えて、送受話音を明確にします	P.158
75	通話品質アラーム	電波状態が悪く、途中で通話が終了する恐れのあるときにアラーム音が鳴ってお知らせします	P.159
77	再接続機能	電波状態が悪く、途中で通話が途切れたときの再接続のアラーム音を設定します	P.159
－	通話中イルミネーション	通話中の着信／充電ランプの点滅を設定します	P.164
－	保留音選択	応答保留中に相手に流れる音を設定します	P.164
TV電話			
－	送信画質設定	テレビ電話の画質を設定します	P.92
－	発信時自画像送信設定	テレビ電話をかけたときに自動的にカメラをON／OFFします	P.92
－	画像選択	テレビ電話中に相手に送信する画像を設定します	P.93
98	音声自動再発信設定	テレビ電話をかけてつながらなかった場合、自動的に音声電話発信動作に切り替えて再発信します	P.94
－	遠隔監視設定	遠隔監視の設定をします	P.95
ディスプレイ			
56	画面表示設定	待受画面やウェイクアップ画面など、FOMA端末の画面に表示する画像を設定します	P.177
70	照明設定	バックライトの設定をします	P.185
86	配色パターン	画面の配色を変更します	P.185
93	プライベートウィンドウ	プライベートウィンドウの表示を設定します	P.187
66	フォント設定	画面に表示する文字のフォントを切り替えます	P.190
63	デスクトップ	貼り付けアイコンのタイトルを変更したり、削除したりします	P.191
15	Language	表示を日本語または英語に切り替えます	P.195
52	プライベートメニュー登録	よく使う機能をプライベートメニューに登録します	P.241
57	メニュー画面設定	メニュー表示のしかたを設定します	P.196
47	オート表示	FOMA端末を開くだけで、よくかける電話番号を表示するようにします	P.184
36	表示アイコン説明	画面の上部に表示されるアイコンの説明を表示します	P.34
時間			
61	通話時間	通話時間を確認します	P.168
60	積算リセット	積算通話時間をゼロに戻します	P.168
48	通話中時間表示	通話中に通話時間を表示します	P.167
時計			
31	日付時刻設定	日付・時刻を設定します	P.56
39	時計表示設定	時計表示の表示方法、表示サイズを設定します	P.197
－	アラーム通知設定	アラームで通知するときの状態を設定します	P.235
－	電源OFF時アラーム通知	電源を切っているときのアラーム通知を設定します	P.235
ロック／セキュリティ			
－	オールロック	電源ON／OFF以外の操作をできないようにします	P.205
－	PIMロック	個人情報に関する機能を操作できないようにします	P.208
－	セルフモード	発着信などの通信ができないようにします	P.211
－	ダイヤル発信制限	ダイヤルボタンでの発信ができないようにします	P.209
－	登録外着信拒否	電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否します	P.154
10	非通知着信設定	発信者番号非通知理由によって電話を受ける、受けないを設定します	P.155
29	端末暗証番号変更	端末暗証番号を変更します	P.200
－	PIN設定	PIN1コード・PIN2コードについて設定します	P.201

各種設定

次ページにつづく

	メニュー	機能名称	概要	参照先
各種設定	40	シークレットモード	シークレットモードに切り替えます	P.206
	41	シークレット専用モード	シークレット専用モードに切り替えます	P.206
	ｉモード通信設定			
	―	接続待ち時間設定	ｉモードの接続待ち時間を設定します	アプリ編
	―	ｉモード問い合わせ設定	ｉモードセンターに問い合わせる項目を設定します	アプリ編
	81	接続先選択	ｉモード以外のサービスを受けるときの接続先を設定します	アプリ編
	―	SMS center設定	ショートメッセージセンターへの接続について設定します	アプリ編
	―	証明書	SSL証明書の設定をします	アプリ編
	―	証明書センター接続設定	ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します	アプリ編
	ｉアプリ設定			
	―	ソフト情報表示設定	ｉアプリをダウンロードするときにソフト情報を表示するかどうか設定します	アプリ編
	―	α照明設定	ｉアプリ起動中のバックライト点灯のしかたを設定します	アプリ編
	―	αバイブレータ	ｉアプリ起動中のバイブレータ動作のしかたを設定します	アプリ編
	カメラ			
	19	カメラOFF設定	自動的にカメラがOFFになるまでの時間を設定します	アプリ編
	外部オプション			
	51	イヤホン切替	イヤホンマイク接続時に着信音の鳴る場所を設定します	P.260
	94	オート着信	イヤホンマイク接続時に自動的に応答するように設定します	P.261
	その他			
	30	ボタン確認音	ボタンを押したときの音を設定します	P.176
	―	充電確認音	充電の開始、終了時の音を設定します	P.176
	71	電池残量	電池レベルを画面と音で確認します	P.55
	―	サイドボタン操作	FOMA端末を折りたたんだときのサイドボタンの有効／無効を設定します	P.212
	35	文字入力方式	文字入力方式を選択します	P.305
	―	履歴表示設定	履歴の表示について設定します	P.210
	84	ポーズダイヤル	プッシュ信号を使って様々な操作をします	P.66
	―	サブアドレス設定	サブアドレスについて設定します	P.158
	―	プレフィックス設定	電話番号の先頭に付けるプレフィックス番号について設定します	P.156
	―	PLMN設定	通信事業者名を設定します	P.257
	―	学習辞書リセット	学習辞書をリセットします	P.326
	23	設定リセット	各種機能の設定をリセットします	P.249
	―	ソフトウェア更新	FOMA端末のソフトウェアを新しいソフトウェアに更新します	P.364
マルチメディア	46	イメージ	静止画を表示します	アプリ編
	―	ｉモーション	動画を再生します	アプリ編
	16	メロディ	メロディを再生します	アプリ編
	―	キャラ電	キャラ電を表示します	アプリ編
アクセサリ	―	カメラ	カメラを起動します	アプリ編
	―	バーコードリーダー	カメラを使ってバーコード・QRコードを読み取ります	アプリ編
	―	テキストリーダー	カメラを使って印刷された文字列を読み取ります	アプリ編
	45	スケジュール	カレンダーでスケジュールを管理します	P.218
	44	アラーム	アラームを利用します	P.213
	95	ToDo	ToDoでスケジュールを管理します	P.229
	42	フリーメモ	フリーメモを作成します	P.246

	メニュー	機能名称	概要	参照先
アクセサリ	85	電卓	電卓として利用します	P.245
	―	メモの再生／消去	音声メモ、伝言メモを再生／消去します	P.107
	―	TV電話メモの再生／消去	TV電話音声メモ、TV電話伝言メモを再生／消去します	P.109
	55	伝言メモ	伝言メモについて設定します	P.103
	43	待受中音声メモ	待受中に自分の声を録音します	P.244
	―	通話中音声メモ	通話中に相手の声を録音します	P.243
	91	おしゃべり機能	録音した音を着信音などに使用します	P.174
	79	赤外線通信	赤外線を使ってデータをやりとりします	アプリ編
	―	SD-PIM	FOMA端末内のデータをminiSDメモリーカードに保存します	アプリ編
	―	FOMAカード操作	FOMA端末（本体）とFOMAカードの間でデータをやりとりします	P.254
	―	電話帳画像転送	赤外線やデータリンクソフトで電話帳を転送したときに、画像も転送するかどうかを設定します	アプリ編
サービス	25	サービス問い合わせ	留守番電話サービスセンターに新しい伝言メッセージがあるか確認します	P.273
	17	発信者番号通知	電話番号を相手の電話機に通知するかしないかを設定します	P.291
	―	留守番電話	留守番電話サービスの設定をします	P.274
	―	キャッチホン	話中着信サービス（キャッチホン）の設定をします	P.280
	―	転送でんわ	転送でんわサービスの設定をします	P.284
	―	迷惑電話ストップ	迷惑電話ストップサービスの設定をします	P.289
	―	番号通知お願いサービス	番号通知お願いサービスの設定をします	P.292
	―	着信動作選択	通話中にかかってきた電話をどのように扱うか設定します	P.297
	―	通話中着信設定	選択した着信動作の機能を動作させるかどうかを設定します	P.298
	―	遠隔操作設定	留守番電話サービスや転送でんわサービスなど操作を、FOMA端末以外の機器から遠隔操作するかどうかを設定します	P.299
	―	デュアルネットワーク	デュアルネットワークサービスの設定をします	P.294
	―	英語ガイダンス	ネットワークサービスの音声ガイダンスを日本語または英語に切り替えます	P.296
	―	追加サービス	新しいネットワークサービスが追加提供されたときに、新しいサービスを登録します	P.300
	―	サービスダイヤル	「ドコモ総合案内・受付」や「ドコモ故障問合せ」に発信します	P.297
	―	追加メッセージ	サービスセンターから返ってくるコード（USSD）に対応したメッセージを登録します	P.302
電話帳	―	電話帳登録	電話帳を登録します	P.112
	―	電話帳検索	電話帳を呼び出します	P.123
	22	電話帳登録件数	電話帳の登録状況を確認します	P.123
	62	電話帳便利機能	電話帳便利機能の設定状況を確認します	P.152
	12	電話帳指定設定	電話帳指定設定の設定状況を確認します	P.150
	26	グループ設定	電話帳のグループ名を登録します	P.136
ユーザデータ	0	電話番号表示	お客様の個人データを登録します	P.236
	24	着信履歴	電話がかかってきた日付・時刻などをお知らせします	P.74
	―	発信履歴	電話をかけた日付・時刻などをお知らせします	P.64
	97	メールメンバー	複数のメールアドレスをグループにして登録します	アプリ編
	38	定型文	自作の定型文を登録します	P.326
	82	ユーザ辞書	よく使う単語を辞書に登録します	P.330
	―	ダウンロード辞書	サイトからダウンロードした辞書を使用します	P.332

アプリ編…アプリケーション編

区点コード一覧表

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡		≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138		≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	【あ】									
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	【い】									
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	【う】									
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	【え】									
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	【お】									
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	【か】									
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	【き】									
207						企	伎	危	喜	器

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	【く】									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	【け】									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	【こ】									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	【さ】									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐

<区点コード一覧表の見かた>

最初に「区点1〜3桁目」の数字を入力してから、次に「区点4桁目」の数字を入力します。

●区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
【し】										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
【す】										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
【せ】										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
【そ】										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
【た】										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
【ち】										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
【つ】										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
【て】										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
【と】										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
【な】										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
【に】										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
【ぬ】										
390									濡	
【ね】										
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
【の】										
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
【は】										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
【ひ】										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
【ふ】										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
【へ】										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
【ほ】										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
【ま】										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
【み】										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	

次ページにつづく

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	【　む　】									
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	【　め　】									
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	【　も　】									
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	【　や　】									
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	【　ゆ　】									
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	【　よ　】									
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	【　ら　】									
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	【　り　】									
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	【　る　】									
466	瑠	塁	涙	累	類					
	【　れ　】									
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	【　ろ　】									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	【　わ　】									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	競	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦

区点コード一覧表

付録

区点 1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹

区点 1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫

区点 1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

記号入力変換表

文字入力(編集)画面で「きごう」と入力して変換すると記号の候補が表示されます。また、次のような文字を入力して変換すると、記号を入力することができます。

入力文字	記号
あっと あっとまーく	@
いこーる	＝
えん	¥
おす	♂
おなじ	々
おなじく	〃
おんぷ	♪
かける	×
かっこ	（） 〔〕 ［］ ｛｝ 〈〉 《》 「」 『』 【】 ‘ ’ “ ” () 〈〉 [] {} 「」

入力文字	記号
から	～
こめ	※
ころん	：
こんま	，
さんかく	△▲▽▼
しゃせん	／＼
しかく	□■◇◆
たす	＋
どう	ヽヾゝゞ〃々
ぱーせんと	％

入力文字	記号
ひく	－
ひしがた	◇◆
ほし	☆★
まる	○●◎
むげん	∞
めす	♀
やじるし	→←↑↓
ゆうびん	〒
るーと	√
わる	÷

顔文字入力変換表

文字入力(編集)画面で「かお」または「かおもじ」と入力して変換すると顔文字の候補が表示されます。また、次のような文字を入力して変換すると、顔文字を入力することができます。

入力文字	顔文字
ありがと ありがとう	m(_ _)m
ばんざい	＼(^O^)／
わーい	(^O^)
おーい	(^O^)／
ぶい	(^^)v
ぎゃはは	(^Q^)/^
あは	(o^o^o)
にこ	(^-^)
にこ	(*^_^*)
ちゅ	(^3^)/
ちゅ	(^ε^)-☆Chu!!
わくわく	o(^-^)o
ういんく	(^_-)
さよなら	(^_^)/~
がんば	p(^^)q
ね	(^.^)b

入力文字	顔文字
ぽりぽり	(^^ゞ
ひやあせ	(^o^;
あせあせ	(;^_^A
びくっ	(*_*)
どき	(◎-◎;)
え	(@_@;)
めがてん	(・・;)
はてな	(・・?)
きらーん	(☆。☆)
しくしく	(T_T)
さよなら	(T_T)/~
いたた	(>_<)
えーん	(;_;)
なぜ	(?_?)
がーん	(̄□ ̄;)!!
えへん	(̄^ ̄)
む	(ー_ーメ)

入力文字	顔文字
いかり	(｀´)
むか	(;-_-+
こそこそ	(･_･｜
じーっ	(-_-)
きこえない	｜(-_-)｜
こまったもんだ	(̄～ ̄)ξ
ぶたー	)^o^(
こあら	(ーQー)
いっぷく	(^!^)y~
いっぷく	(^.^)y-~~~
ほし	☆彡
ねてる	(-_-)zz
ねむい	＼(~o~)／
めも	φ(..)
うん	(°_°)(。_。)
かんぱい	(^^)／▽☆▽＼(^^)
ども	＼(^_^)(^_^)／

記号一覧表

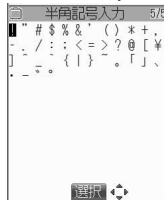
入力した記号は、下の＜半角記号入力（5/5）＞は半角で入力されますが、その他は全角文字としてカウントされます。半角文字しか入力できない文字入力モードの機能メニューから「記号入力」を選択すると、半角記号（5/5）しか表示されません。
記号の入力方法についてはP.322参照。

＜全角記号入力（1/5）＞

＜全角記号入力（2/5）＞

＜全角記号入力（3/5）＞

＜特殊記号入力（4/5）＞

＜半角記号入力（5/5）＞

絵文字一覧表

入力した絵文字はすべて全角文字としてカウントされます。
絵文字の入力方法についてはP.322参照。

＜絵文字1入力（1/3）＞

＜絵文字1入力（2/3）＞

＜絵文字2入力（3/3）＞

お知らせ

●＜絵文字2入力（3／3）＞は対応機種以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると、正しく表示されません。

マルチアクセスの組み合わせについて

通信イベント＼通信状態	音声電話		テレビ電話		iモード	iモードメール		ショートメッセージ（SMS）	
	発信	着信	発信	着信	接続	発信	着信	発信	着信
音声電話	①	②	×	×	⑤	⑤	⑥	⑤	⑥
テレビ電話	－	×	－	×	－	－	×	－	⑥
iモード	③	④	⑧	×	－	○	⑥	○	⑥
iモードメール	③	④	⑧	×	－	－	×	－	⑥※1
ショートメッセージ（SMS）	③	④	○	○	⑤	－	⑥※1	－	⑥
iアプリ※2	×	④	×	×	－	×	⑥	×	⑥
iアプリソフト動作中	⑦	④	⑧	×	－	○	⑥	⑤	⑥
パケット通信（データ通信）	③	④	－	×	×	×	－	○	⑥
64Kデータ通信	×	×※3	×	×	×	×	×	○	⑥

通信イベント＼通信状態	iアプリ	iアプリソフト動作中	パケット通信（データ通信）		64Kデータ通信	
	発信	発信	発信	着信	発信	着信
音声電話	×	×	○	○	×	×※4
テレビ電話	－	－	×	×	×	×
iモード	－	－	×	－	×	×
iモードメール	－	－	×	－	×	×
ショートメッセージ（SMS）	⑤	⑤	○	○	○	○
iアプリ※2	－	－	×	－	×	×
iアプリソフト動作中	－	－	×	－	×	×
パケット通信（データ通信）	×	×	－	－	－	－
64Kデータ通信	×	×	－	－	－	×

○　：現在の通信状態を維持したまま、発生した通信を同時に処理（単独での通信と同じ動作）することができます。
×　：発生した通信は拒否され、現在の通信状態を継続します。
－　：機能的に実現しない組み合わせです。
①　：話中着信サービス（キャッチホン）を契約されていれば、現在の音声電話を保留にして音声発信することができます。
②　：最大音声回線数＋1の状態のとき、留守番電話、話中着信サービス（キャッチホン）、転送でんわを起動することができます。（P.274、280、284参照）
③　：メニュー機能の切り替え（P.269参照）後、待受画面から音声発信することができます。
④　：メニューが切り替わり、音声着信画面を表示します。
⑤　：メニュー機能の切り替え（P.269参照）後、各アプリケーションから通信することができます。
⑥　：画面に を表示して受信をお知らせします。
⑦　：メニュー機能の切り替え（P.269参照）によりiアプリを中断し、発信することができます。
⑧　：テレビ電話の発信時（Phone To 機能含む）は、iモード接続を切断しテレビ電話を発信します。
※1：iモードメールとショートメッセージ（SMS）は1回線ずつ同時使用が可能です。
※2：iアプリのバージョンアップ、iアプリをダウンロード中の場合です。
※3：話中着信サービス（キャッチホン）を契約されていれば、64Kデータ通信を終了したあとに、着信した音声電話を受けることができます。
※4：話中着信サービス（キャッチホン）を契約されていれば、音声電話を終了したあとに、着信した64Kデータ通信に応答することができます。

マルチタスクの組み合わせについて

同じグループの機能が競合したときは、起動中の機能を切り替える画面が表示されます。（表中の　　部分）

発生した機能 ／ 使用中の機能	音声電話	テレビ電話	メール	iモードグループ		設定グループ		ツールグループ				メインメニュー／プライベートメニュー／カメラショートカット
				iモード	iアプリ	各種設定	サービス	マルチメディア	アクセサリ※1	電話帳	ユーザデータ	
音声電話	－	×	○	○	×	○※2	○※10	×	○※3	○※9	○※4	○
テレビ電話	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
メール	○	○※5	－	○	○	○※2	○	○	○	○※9	○	○
iモード	○	○※5	○	－	×	○※2	○	○	○	○※9	○	○
iアプリ	○	○※5	○	×	－	○※2	○	○	○	○※9	○	○
各種設定	○	○※5	○	○	○	－	×	○	○	○※9	○	○
サービス	○	○※5	○	○	○	×	－	○	○	○※9	○	○
マルチメディア※6	○	○※5	○	○	○	○※2	○	－	×	×	×	○
アクセサリ※1	○※7	○※5※7	○※8	○	○	○※2	○	×	－	×	×	○
電話帳	○	○※5	○	○	○	○※2	○	×	×	－	×	○
ユーザデータ	○	○※5	○	○	○	○※2	○	×	×	×	－	○

－：機能的に実現しない組み合わせです。　○：起動できます。　×：起動できません。

※1 ：「おしゃべり機能」、「赤外線通信」、「SD-PIM」、「FOMAカード操作」はマルチタスクで起動することはできません。
※2 ：機能によっては利用できません。
※3 ：通話中に起動できるアクセサリは、「カメラ（静止画撮影のみ）」、「バーコードリーダー」、「テキストリーダー」、「スケジュール」、「ToDo」、「フリーメモ」、「電卓」、「通話中音声メモ」の各機能だけです。
※4 ：通話中に起動できるユーザデータは、「電話番号表示」、「着信履歴」、「発信履歴」、「メールメンバー」の各機能だけです。
※5 ：待受画面からテレビ電話をかけることは可能ですが、テレビ電話中に機能を切り替えることはできません。
※6 ：イメージビューア、iモーションプレーヤー、メロディプレーヤー、キャラ電プレーヤー使用中にマルチタスクで機能を切り替えた場合、再生、表示は終了します。
iモーション編集中に機能を切り替えることはできません。
※7 ：メモ（TV電話メモ）の再生中、待受中音声メモを録音中に着信があった場合は、再生／録音を停止します。「バーコードリーダー」、「テキストリーダー」でデータの認識中に着信があった場合は、認識中のデータを破棄します。
※8 ：「受信表示設定」を「通知優先」に設定している場合は、「バーコードリーダー」、「テキストリーダー」でデータの認識中にメールを受信すると、認識中のデータを破棄します。
※9 ：「電話帳指定設定」は起動できません。
※10：通話中に「発信者番号通知」は起動できません。

故障かな？と思ったら、まずチェック

症　状	チェックする箇所	参照先
FOMA端末の電源が入らない （FOMA端末が使えない）	●電池が正しく取り付けられていますか。 ●電池切れになっていませんか。 ●デュアルネットワークサービスでmovaが利用可能になっている場合、FOMAのサービスで利用できないものがあります。FOMAが利用可能になっていますか。詳しくは「デュアルネットワークサービスガイド」をご覧ください。	P.48 P.55 P.294
ダイヤルボタンを押しても発信できない	●ダイヤル発信制限を設定していませんか。 ●指定発信制限を設定していませんか。 ●オールロックを設定していませんか。 ●セルフモードを設定していませんか。	P.209 P.147 P.205 P.211
ダイヤルしたが話中音（プープー音）がでてつながらない	●市外局番を忘れていませんか。 ●発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。 ●「圏外」の表示がでていませんか。	P.60 P.54
「圏外」が表示されて話中音（プープー音）がでる	●サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。	P.54
「 」と「オールロック」が表示され、ボタンを押しても動作しない	●オールロックを設定していませんか。	P.205
FOMA端末を折りたたんでいるときに、サイドボタンを押しても動作しない	●サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定していませんか。	P.212
ピピピ…という警告音が鳴っている	●電池が少なくなっています。 （充電してください）	P.55
充電ができない （FOMA端末の着信／充電ランプが点灯しない）	●FOMA端末に電池パックが正しく取り付けられていますか。 ●アダプタの電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか。 ●アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。 （ACアダプタをご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダにしっかりと接続されていますか。）	P.48 P.49
ディスプレイが暗くなり、何も表示されない	●省電力モードになっていませんか。	P.54 P.181
メールを受信したときに、異なる着信音が鳴る	●電話帳便利機能でメールアドレスごとにメール着信音を設定した相手からのメールではありませんか。 ●グループ設定でメール着信音を設定したグループに登録されている相手からのメールではありませんか。	P.172 P.173
各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する	●画像やメロディなどの取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されていますか。	P.46

こんな表示が出たときは

表　示	説　　明	参照先
アイコン、コンテンツはコピーできません	画像やメロディなどはコピーできません。	－
空きメモリがないため登録できません	電話番号またはメールアドレスがすでに700件登録されています。不要な電話番号またはメールアドレスを削除してから操作してください。	P.134, 135
空き容量がないため問い合わせできませんでした	FOMA端末内とFOMAカード内のメールがいっぱいです。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから再度操作してください。	アプリ編 P.176, 227, 230
アクション一覧がありません	キャラ電にアクションの一覧がありません。	－
宛先をご確認ください	宛先が正しくありません。宛先を確認してから再度操作してください。	アプリ編 P.204
宛先を入力してください	宛先が入力されていません。宛先を入力してから再度操作してください。	アプリ編 P.146, 154, 204
イメージがいっぱいです	画像が最大保存件数まで登録されているため、これ以上登録できません。不要な画像を削除してください。	アプリ編 P.332
イメージが表示できません	画像データが不正なため表示できません。	－
イメージが保存されていません	画像が1件も登録されていません。	－
イメージはありません	設定できる画像が1件もありません。画像を登録してから再度操作してください。	－
引用符を挿入することにより文末が削除されます	引用符を挿入すると10000バイトを超えたため、本文の最後が削除されました。	－
映像が再生できません	非対応データのため映像が再生できません。	－
映像／音声が再生できません	非対応データのため映像や音声が再生できません。	－
映像／テキストが再生できません	非対応データのため映像やテロップが再生できません。	－
エクスポートできません	エクスポート処理前にminiSDメモリーカードが抜かれたか、miniSDメモリーカードが異常です。miniSDメモリーカードを装着してから再度操作するかminiSDメモリーカードをチェックディスクしてください。	アプリ編 P.374, 382
えチャットはありません	えチャットメールを受信していないため表示できません。えチャットメールを受信してから再度操作してください。	－
エラーが発生しました　終了します	カメラ起動中にエラーが発生しました。再度カメラを起動してください。	アプリ編 P.264, 268
遠隔監視応答時間と同じ秒数のため設定できません	遠隔監視設定、オート着信、伝言メモの応答時間・呼出時間を同じ秒数に設定することはできません。それぞれ違う秒数に設定してください。	P.96, 103, 261
遠隔操作可能なサービスは未契約です	留守番電話サービス・転送でんわサービスなど遠隔操作可能なサービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	P.272
応答がありませんでした	ショートメッセージセンターからの応答がないため問い合わせできませんでした。再度操作してください。	－
応答がありませんでした（408）	サイトやインターネットホームページからの応答がないため接続できませんでした。再度操作してください。	－
オート着信呼出時間と同じ秒数のため設定できません	遠隔監視設定、オート着信、伝言メモの応答時間・呼出時間を同じ秒数に設定することはできません。それぞれ違う秒数に設定してください。	P.96, 103, 261
同じメールフォルダのソフトが既にあるためダウンロードできません	すでに同じメール連動型ｉアプリがダウンロードされています。	－
同じURLが登録されています	すでに登録されているブックマークと同じURLを受信しました。	－
オリジナル着信音がいっぱいです	オリジナル着信音が最大保存件数まで登録されているため、これ以上登録できません。不要なオリジナル着信音を削除してください。	アプリ編 P.363
オリジナル着信音はありません	オリジナル着信音が1件も登録されていません。	－
音声が再生できません	非対応データのため音声が再生できません。	－
音声／テキストが再生できません	非対応データのため音声やテロップが再生できません。	－
該当するデータはありません	該当するデータが1件もありません。	－
外部機器接続中です　起動できません	パソコンなどの外部機器と接続中のためソフトウェア更新ができません。	－
書換え失敗しました Rewrite failed	ソフトウェア更新に失敗しました。当社窓口にお問い合わせください。	P.362

次ページにつづく

表　示	説　　明	参照先
書き換えできません	シークレットデータとして登録した電話帳や「オート表示」に設定した電話帳のメモリ番号と同じメモリ番号のため登録できません。違うメモリ番号に登録してください。	P.112
書き込みできません	miniSDメモリーカードがライトプロテクトされているため書き込みできません。外部機器などでminiSDメモリーカードのライトプロテクトを解除してから再度操作してください。	－
画像に誤りがあり正しく動作しません	容量不足またはエラーが発生したため正しく動作しません。	－
カメラ異常/CameraTrouble	テレビ電話中にエラーが発生しました。	－
起動できません	すでに同じメール連動型ｉアプリが起動中です。	－
起動に失敗しました	ｉアプリDXの起動に失敗しました。	－
キャッチホン未契約です	話中着信サービス(キャッチホン)に契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	P.272
キャラ電がありません	キャラ電が1件も登録されていません。	－
記録エラーです	記録時にエラーが発生したため記録できません。	－
圏外です	電波が届いていません。電波の強いところで再度操作してください。	－
件数オーバーです	保存件数がいっぱいのため保存できません。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	アプリ編P.332, 354
件数オーバーです　移動できません	保存件数がいっぱいのため移動できません。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	アプリ編P.332, 354
件数オーバーです　インポートできません	保存件数がいっぱいのためインポートできません。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	アプリ編P.332, 354
件数オーバーです　エクスポートできません	保存件数がいっぱいのためエクスポートできません。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	アプリ編P.332, 354
更新期間は終了しました	更新期間が終了したためソフトウェア更新ができません。	－
このイメージは表示できません	画像データが不正なため表示できません。	－
このイメージは保存できません	画像データが不正なため保存できません。	－
このカードでは無効な機能です	挿入されているFOMAカードで操作できない機能です。	－
このカードは使用できません	FOMA P900iでは使用できないメモリーカードです。miniSDメモリーカードをご利用ください。	－
このカードは認識できません	FOMAカードにエラーが発生したか、PINロック解除コードがロックされています。当社窓口にお問い合わせください。	P.362
この画像はアイテムとして使用できません	画像が規定のサイズではありません。	－
この画像は保存できません	正常に表示できなかった画像のため保存できません。また、正常に表示された場合でも、ファイルの形式によっては保存できない場合があります。	－
この言葉は設定できません　記号等消してください	登録できない文字が使われているためユーザ辞書に登録できません。	－
このサイトとのSSL通信は無効です	改ざんされたSSL証明書を受信したため接続できませんでした。	－
このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？	サポート外のSSL証明書を受信しました。接続する場合は「YES」を選択し、◉を押します。	－
このサイトの安全性が確認できません　SSL通信を切断します	サポート外のSSL証明書を受信したため接続できませんでした。	－
このサイトは安全でない可能性があります　接続しますか？	SSL証明書の期限が切れています。接続する場合は「YES」を選択し、◉を押します。	－
このサイトは安全でない可能性があります　SSL通信を切断します	SSL証明書の期限が切れているため接続できませんでした。	－
この辞書は保存できません	サイトから取得した辞書データが不正なため保存できません。	－
このスケジュールは登録できません	すでに登録されているスケジュールと同日時のスケジュールを受信しました。	－
この接続先の安全性が確認できません　接続しますか？	FOMA端末にある証明書の有効期限が切れています。	－
この接続先の安全性が確認できません　SSL通信を切断します	FOMA端末にある証明書の有効期限が切れているため、SSL通信が切断されました。	－
この接続先は安全でない可能性があります　接続しますか？	サイトの証明書とアクセスしているドメイン名が違うため認証できません。	－
この接続先は安全でない可能性があります　SSL通信を切断します	サイトの証明書とアクセスしているドメイン名が違うため、SSL通信が切断されました。	－
このデータは再生できません	ｉモーションデータが不正なため再生できません。	－
このデータは登録できません	登録できないデータを受信しました。	－

表　示	説　　明	参照先
このデータは貼り付けできません	電話番号表示で使用できない文字を貼り付けようとしています。貼り付ける文字を確認してから再度操作してください。	P.319
このデータは保存できません	サイトから取得したキャラ電やｉモーションデータが不正なため、または再生制限期限を超えたｉモーションのため保存できません。	－
このデータを取得するためには日付時刻設定をしてください	日付時刻設定が設定されていないため、再生期限制限または再生期間制限があるｉモーションは取得できません。日付時刻設定で日付・時刻を設定してください。	P.56
このファイルは表示できません	対応していないファイルのため表示できません。	－
このページは表示できません	不正なデータを取得したため表示できません。	－
このメロディは再生できません	メロディデータが不正なため再生できません。	－
このメロディは保存できません	メロディデータが不正なため保存できません。	－
このｉモーションは再生期限が切れました	再生期限が切れているため再生できません。	－
このｉモーションは再生できません	ｉモーションのデータが不正なため再生できません。	－
このｉモーションは保存できません	ｉモーションのデータが不正なため保存できません。	－
このｉモーションを再生するためにはｉモーションタイプ設定を変更してください	ｉモーションタイプ設定を「標準・ストリーミングタイプ」に設定してから再度操作してください。	アプリ編 P.117
コピーした文字列は貼り付けできない場合があります	コピー（切り取り）した文字の文字数が全角1024文字、半角2048文字を超えています。全角1024文字、半角2048文字までコピー（切り取り）されます。	－
これ以上機能を起動できません	マルチタスクで使用できる最大数の機能が起動しています。使っていない機能を終了してから再度操作してください。	P.269
これ以上保護できません	すでに最大保護可能件数まで保護されているためこれ以上保護できません。他のデータの保護を解除してから再度操作してください。	アプリ編 P.62, 125, 227
サーバーが混み合っています	サーバが混み合っているため接続できません。しばらくしてから再度操作してください。	－
サービス未契約です	ｉモードサービスに契約されていないため、ｉモードに接続できません。	－
サイズオーバー　メール添付できません	データのサイズが大きすぎるためメールに添付できません。	－
再生エラーです	撮影した動画を再生時にエラーが発生したため、再生を終了しました。	－
再生エラー発生　終了します	ｉモーション再生時にエラーが発生したため、再生を終了しました。	－
再生可能回数が終了しました　削除しますか？	再生可能回数が終了しているため再生できません。	－
再生可能期限が切れました　削除しますか？	再生可能期限が切れたためｉモーションを再生できません。	－
再生可能日前です　再生できません	再生可能日前のためｉモーションを再生できません。	－
再生期限が切れたため再生できません	再生可能期限または再生可能期間を超えたためｉモーションを再生できません。	－
再生期限が切れたため保存できません	再生可能期限または再生可能期間を超えたためｉモーションを保存できません。	－
再生制限データに誤りがあるため取得できません	ｉモーションの再生制限データに誤りがあるため取得できません。	－
最大サイズを超えたので中断しました	データ量が最大サイズを超えたので正常にダウンロードできませんでした。	－
	サイトやインターネットホームページのサイズが大きいため受信を中断し、取得できた分のみ表示します。	－
最大サイズを超えるため表示できません	添付されている画像のデータ量が大きすぎるため表示できません。	－
サイトが移動しました（301）	サイトのURLが変更されています。ブックマークや貼り付けアイコン、ホームURLに登録している場合は登録し直してください。	－
サイトに接続できませんでした（403）	サイトやインターネットホームページに接続できません。	－
削除される添付ファイルがあります	FOMA端末外への出力が禁止されているファイルは転送できません。	－
作成可能サイズを超えるため一部削除されます	宛先・題名・本文のいずれか（または複数）が入力可能文字数を超えていたため、一部削除されました。	－
撮影画像は保存されません	記録媒体がminiSDメモリーカードに設定されていて、miniSDメモリーカードにエラーが発生したため、撮影した静止画は保存されません。	－

次ページにつづく

表　示	説　明	参照先
シークレットデータのため呼び出せません	シークレットモードまたはシークレット専用モードに切り替えていないため呼び出しができません。シークレットモードまたはシークレット専用モードに切り替えてから操作してください。	P.206
自作アニメは設定されていません	自作アニメが設定されていません。自作アニメを設定してから再度操作してください。	アプリ編 P.334
指定サイトがみつかりません(404)	サイトやインターネットホームページが存在しないか、URLが間違っている可能性があります。URLを確認してから再度操作してください。	アプリ編 P.48
指定サイトに表示データがありません(204)	サイトやインターネットホームページに表示データがないため接続できません。	―
指定されたイメージがありません	表示する画像がFOMA端末内にありません。	―
指定されたキャラ電がありません	起動するキャラ電がFOMA端末内にありません。	―
指定されたソフトがありません	サイトやメール、赤外線から起動するｉアプリがFOMA端末内にありません。	―
指定されたソフトが起動できません	サイトやメールからFOMA端末内のｉアプリが起動できませんでした。	―
指定されたソフトが起動できませんでした	サイトやメール、赤外線からFOMA端末内のｉアプリが起動できませんでした。	―
指定されたデータがありません	表示するスケジュールがありません。	―
指定されたメロディがありません	再生するメロディがFOMA端末内にありません。	―
指定されたｉモーションがありません	再生するｉモーションがFOMA端末内にありません。	―
指定したサイズのイメージがありません	サイズに合ったフレームがありません。	―
指定したサイトへは接続できませんでした(504)	サーバからの応答がなかったため接続できません。	―
指定着信許可　すでに20件設定されています	指定着信許可がすでに20件設定されています。不要な電話帳指定設定を解除してから再度操作してください。	P.150
指定着信拒否　すでに20件設定されています	指定着信拒否がすでに20件設定されています。不要な電話帳指定設定を解除してから再度操作してください。	P.150
指定転送でんわ　すでに20件設定されています	指定転送でんわがすでに20件設定されています。不要な電話帳指定設定を解除してから再度操作してください。	P.150
指定の宛先には送信できません	宛先が正しくありません。宛先を正しく入力してから送信してください。	アプリ編 P.146, 204
指定発信制限　すでに20件設定されています	指定発信制限がすでに20件設定されています。不要な電話帳指定設定を解除してから再度操作してください。	P.150
指定発信制限設定中です	指定発信制限が設定されています。指定発信制限を解除してから再度操作してください。	P.150
指定留守番電話　すでに20件設定されています	指定留守番電話がすでに20件設定されています。不要な電話帳指定設定を解除してから再度操作してください。	P.150
しばらくお待ちください	ユーザ証明書を操作中のため接続できません。ユーザ証明書の操作を終了してから再度操作してください。	―
	回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。	―
受信アドレス一覧はありません	受信したメールの履歴が1件もありません。	―
受信できませんでした	接続先選択で設定した接続先アドレスが間違っているため選択受信できません。接続先選択の設定を確認してから再度操作してください。	アプリ編 P.74
受信メールがいっぱいです	FOMA端末内の受信メールがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから再度操作してください。	アプリ編 P.176, 227, 230
取得できなかったメッセージがあります	FOMA端末内の受信メールがいっぱいになったため、一部のメールが受信できませんでした。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから再度操作してください。	アプリ編 P.176, 227, 230
取得できませんでした	ｉモーションの保存期限が切れているか、または接続が途中で中断したため取得できませんでした。	―
	問い合わせが中断または中止されました。再度操作してください。	―
スケジュールがいっぱいです	FOMA端末内のスケジュールがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なスケジュールを削除してから再度操作してください。	P.227
スケジュール登録できません	スケジュールで設定できない日時が設定されています。日時を設定し直してください。	P.228
すでに100件登録されています	スケジュールまたはToDoがすでに100件登録されています。不要なスケジュールまたはToDoを削除してから再度操作してください。	P.227, 234
すでに2件設定されています	ダウンロード辞書がすでに2件設定されています。不要なダウンロード辞書を解除してから再度操作してください。	P.332

表　示	説　　明	参照先
すでに3件自動起動設定済みです	自動起動できるソフトがすでに3件設定されています。自動起動設定しているソフトを解除してから再度操作してください。	アプリ編P.98
すでに50件登録されています	FOMAカードの電話帳がすでに50件登録されています。不要な電話帳を削除してから再度操作してください。	P.135
すでに700件登録されています	電話帳がすでに700件登録されています。不要な電話帳を削除してから再度操作してください。	P.135
すでに70件登録されています	電話帳の画像がすでに70件登録されています。不要な電話帳登録画像を削除してから再度操作してください。	P.135
すでに最大件数録音されています	すでに音声電話が5件、テレビ電話が2件録音されています。不要な伝言メモを削除してください。	P.108, 110
すでに設定されています	すでに設定されているため設定できません	－
すでに他の機能が起動中です　起動できません	マルチタスクで同時に起動できない機能です。使っていない機能を終了してから再度操作してください。	P.269
すでに他の機能が起動中です　設定できません	マルチタスクで同時に起動できない機能です。使っていない機能を終了してから再度操作してください。	P.269
すでに登録されています	すでに登録されているため登録できません	－
すでに貼り付けられています	すでにデスクトップに貼り付けられています。待受画面で確認してください。	P.191
すべて保護のため削除できません	すべて保護されているため削除できません。保護を解除してから再度操作してください。	アプリ編P.62, 125, 227
セキュリティエラーのため終了しました	メール連動型ｉアプリが強制終了しました。	－
セキュリティエラーのためｉアプリ待受画面を解除しました	メール連動型ｉアプリが強制終了しました。	－
セキュリティが設定されているため削除できません	送信または受信のどちらかのｉアプリメール用フォルダにセキュリティが設定されているため削除できません。セキュリティを解除してから再度操作してください。	アプリ編P.221
セキュリティ設定中のため削除できません	送信または受信のどちらかのｉアプリメール用フォルダにセキュリティが設定されているため削除できません。セキュリティを解除してから再度操作してください。	アプリ編P.221
セキュリティ設定中のためダウンロードできません	メールセキュリティが設定中のためソフトをダウンロードできません。メールセキュリティを解除してから再度操作してください。	アプリ編P.244
接続が中断されました	回線が混雑しているか、通信エラーが発生したため接続が中断されました。しばらくしてから再度操作してください。	－
接続できません	接続先選択で設定した接続先アドレスが間違っているため接続できません。接続先選択の設定を確認してから再度操作してください。	－
	ユーザ証明書を操作中のため接続できません。ユーザ証明書の操作を終了してから再度操作してください。	－
	電波が弱いため接続できません。電波の強いところで再度操作してください。	－
接続できませんでした	ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。	－
設定可能なイメージはありません	設定できる画像が1件もありません。画像を登録してから再度操作してください。	－
設定可能なｉモーションはありません	設定できるｉモーションが1件もありません。ｉモーションを登録してから再度操作してください。	－
設定されていません	電話帳指定設定・電話帳便利機能に設定されている電話番号・メールアドレスが1件もありません。電話番号・メールアドレスを設定してから再度操作してください。	P.147
	自作アニメが設定されていません。自作アニメを設定してから再度操作してください。	アプリ編P.334
設定されている電話番号はありません	電話帳指定設定・電話帳便利機能に設定されている電話番号が1件もありません。電話番号を設定してから再度操作してください。	P.147
設定されているメールアドレスはありません	電話帳便利機能に設定されているメールアドレスが1件もありません。メールアドレスを設定してから再度操作してください。	P.148
設定時間内に接続できませんでした	接続待ち時間設定で設定した時間内に接続できませんでした。設定を変更するか、再度操作してください。	アプリ編P.73
セルフモード設定中です	セルフモードが設定されています。セルフモードを解除してから再度操作してください。	P.211
全件インポートできませんでした	全件インポート時にエラーが発生しました。	－
全件エクスポートできませんでした	全件エクスポート時にエラーが発生しました。	－
全削除できません	miniSDメモリーカード内のデータを全削除するときにエラーが発生しました。	－

次ページにつづく

表　示	説　明	参照先
選択できません	終点が始点よりも前、もしくは始点と同じ位置となっています。終点は始点より後ろを選択してください。	アプリ編 P.345, 348
選択動作が中断されました	選択操作中に新しいメールやメッセージを受信したため操作が中断されました。再度操作してください。	−
操作できませんでした	エラーが発生したため操作できませんでした。	−
操作内容をご確認ください	エラーが発生したため操作できませんでした。	−
送信アドレス一覧はありません	送信したメールの履歴が1件もありません。	−
送信先にデータを登録できません	送信相手がデータをロックしています。	−
送信先のデータがいっぱいです	送信相手のデータがいっぱいです。	−
送信できない宛先があります	いくつかの宛先が正しくありません。宛先を正しく入力してから送信してください。	アプリ編 P.146
送信できなかった宛先があります	同報メールで複数の宛先に送信した場合に、送信できなかった宛先があります。	−
送信できませんでした(XXX)	メールが正しく送信できませんでした。	−
送信できませんでした(552)	メールが正しく送信できませんでした。	−
送信できませんでした　宛先を確認してください(451)	メールが正しく送信できませんでした。宛先を確認してから再度操作してください。	アプリ編 P.146
送信できませんでした　送信先のメールがいっぱいです(551)	送信相手のメールがいっぱいです。	−
送信プレビューで確認後送信してください	プレビューを表示してからメールを送信してください。	アプリ編 P.148
送信メールがいっぱいです	FOMA端末内の送信メールがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なメールを削除するか保護を解除してから再度操作してください。	アプリ編 P.227, 230
そのソフトは最新です	目的のソフトが更新されていないため実行できません。	−
ソフトウェア更新機能起動中です起動できません	ソフトウェア更新中は利用できない機能です。ソフトウェア更新が終了してから再度操作してください。	−
ソフトに誤りがあります	ソフトのデータが不正なためダウンロードやバージョンアップができません。	−
ソフトに誤りがあるためダウンロードできません	ソフトのデータが不正なためダウンロードやバージョンアップができません。	−
ソフトに継続動作できない障害が発生しました	ｉアプリ起動中や実行中にエラーが発生しました。	−
対応機種ではありません	ダウンロードやバージョンアップしようとしているソフトがFOMA端末に対応していません。	−
対応ソフトがあるため削除できません	対応するメール連動型ｉアプリがあるため削除できません。	−
対応ソフトが削除されていますフォルダ内表示を参照してください	対応するメール連動型ｉアプリが削除されています。	−
対局番号を登録してください	対局番号を登録していないため遠隔監視設定を「ON」にすることができません。対局番号を登録してから再度操作してください。	P.95
代替画像のキャラ電がありません	代替画像に設定したキャラ電がありません。キャラ電を代替画像に設定してから再度操作してください。	アプリ編 P.108
ダイヤル発信制限設定中です	ダイヤル発信制限が設定されています。ダイヤル発信制限を解除してから再度操作してください。	P.209
ダウンロードが中断されました	接続が途中で中断したためダウンロードできませんでした。再度操作してください。	−
ダウンロード済みです	同じバージョンのソフトがすでにダウンロードされています。	−
ダウンロードできませんでした	他の機能が動作中、またはデータが不正なためダウンロードできません。	−
ダウンロードできませんでした更新を中止します	ダウンロードに失敗したためソフトウェア更新ができませんでした。再度ソフトウェア更新を実行してください。	P.364
正しく再生できませんでした	FLASH画像再生中にエラーが発生しました	−
正しく表示できない画像があります	表示できない画像が含まれています。	−
端末暗証番号が違います	入力した端末暗証番号が間違っています。正しい端末暗証番号を入力してください。	P.198
端末暗証番号は4～8桁です	入力した端末暗証番号が間違っています。正しい端末暗証番号を入力してください。	P.198
着信履歴はありません	着信履歴が1件もありません。	−
中断されました	エラーが発生したため赤外線送信が中断されました。	−
中断しました	エラーが発生したため赤外線送信が中断されました。	−
通信が許可されていません	通信設定が「通信しない」に設定されています。通信設定を「通信する」に設定してから再度操作してください。	アプリ編 P.94

表　示	説　　明	参照先
通信機能起動中　タスクメニューから全終了できません	タスクメニューからすべてのメニュー機能を終了できません。通信を終了してから再度操作してください。	－
通信機能のためタスクメニューから終了できません	タスクメニューからひとつのメニュー機能を終了できません。通信を終了してから再度操作してください。	－
通信中です　操作できません	通信中のため操作できませんでした。通信を終了してから操作してください。	－
通信できませんでした	OBEX通信時にエラーが発生しました。	－
通信に失敗しました	サーバ通信時にエラーが発生しました。	－
通話中です　起動できません	通話中は利用できない機能です。通話を終了してから再度操作してください。	P.60, 71, 79, 85
通話中です　切り替えできません	通話中は利用できない機能です。通話を終了してから再度操作してください。	P.60, 71, 79, 85
通話中です　操作できません	通話中は利用できない機能です。通話を終了してから再度操作してください。	P.60, 71, 79, 85
通話中です　ｉモーションは再生できません	通話中はｉモーションを再生できません。通話を終了してから再度操作してください。	P.60, 71, 79, 85
通話中のため発信できません	通話中は利用できない機能です。通話を終了してから再度操作してください。	P.60, 71, 79, 85
データがいっぱいです	FOMAカード内のデータがいっぱいです。不要なデータを削除してから再度操作してください。	P.255
データ結合できませんでした	読み取ったデータを結合できませんでした。今まで読み込んだデータは破棄されます。	－
データ取得が中断されました	ｉモーション取得中に他の機能が動作中、またはエラーが発生したため取得できませんでした。	－
データ取得できませんでした	ｉモーションデータが不正なため取得できません。	－
データ通信中です　起動できません	データ通信中は利用できない機能です。データ通信を終了してから再度操作してください。	アプリ編P.460
データ通信中です　切り替えできません	データ通信中は利用できない機能です。データ通信を終了してから再度操作してください。	アプリ編P.460
データはありません	呼出先にはデータが1件もありません。	－
テキストが再生できません	非対応データのためテロップが再生できません。	－
デスクトップがいっぱいです	デスクトップに貼り付けアイコンがすでに12件登録されています。不要な貼り付けアイコンを削除してから再度操作してください。	P.195
デスクトップがいっぱいです　貼り付けできません	デスクトップに貼り付けアイコンがすでに12件登録されています。不要な貼り付けアイコンを削除してから再度操作してください。	P.195
デュアルネットワークサービス未契約です	デュアルネットワークサービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	P.272
伝言メモ呼出時間と同じ秒数のため設定できません	遠隔監視設定、オート着信、伝言メモの応答時間・呼出時間を同じ秒数に設定することはできません。それぞれ違う秒数に設定してください。	P.96, 103, 261
転送サービス未契約です	転送でんわサービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	P.272
転送先番号が未登録です	転送先の電話番号が設定されていません。転送先の電話番号を登録してから再度操作してください。	P.285
転送先番号を設定してください	転送先の電話番号が設定されていません。転送先の電話番号を登録してから再度操作してください。	P.285
電池残量が不足しています	電池残量が不足しているため操作できません。充電してから再度操作してください。	P.51, 52
電池充電してください	電池残量が不足しているため操作できません。充電してから再度操作してください。	P.51, 52
添付に失敗しました	画像の切り出し処理に失敗したため添付できませんでした。	－
添付のファイルはｉモードに送信できません	大容量画像はｉモード端末に送信することはできません。宛先をパソコンなどのメールアドレスに変更して再度操作してください。	アプリ編P.146
添付ファイルが削除されます	ファイルが添付されているメールを返信・送信する場合や再編集する場合、添付ファイルは削除されます。	－
添付ファイルを登録できません	登録できないファイルが添付されたメールを受信しました。	－
電話帳がいっぱいです	FOMA端末内の電話帳がいっぱいになったため受信できませんでした。不要な電話帳を削除してから再度操作してください。	P.135
電話帳画像／動画がいっぱいのため画像以外を登録しました	電話帳の画像がいっぱいになったため一部の画像が登録できませんでした。	－
電話帳登録できません	読み取ったデータが不正なため登録できません。	－
電話帳に登録がないため起動できません	通話相手の電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されていません。登録してから再度操作してください。	P.112, 119

次ページにつづく

表　示	説　明	参照先
電話帳に登録されていません	メールアドレスが電話帳に登録されていないため電話をかけることができません。	－
電話帳に登録できません	ダイヤル発信制限設定中のため登録できません。ダイヤル発信制限を解除してから再度操作してください。	P.209
電話番号が通知されていないため起動できません	電話番号が通知されていません。電話番号を通知してから再度操作してください。	P.57
電話番号の一部が登録できませんでした	電話番号が正しくコピーできませんでした。	－
電話を終了すれば64Kデータ通信に応答できます	音声電話中に64Kデータ通信に応答することはできません。音声電話を終了してから64Kデータ通信に応答してください。	P.60, 71
問い合わせできませんでした	正常に問い合わせすることができませんでした。再度操作してください。	－
登録されていません	データが登録されていません。データを登録してから再度操作してください。	－
登録中です　しばらくしてからご利用ください(554)	データ登録中のため操作できません。しばらくしてから再度操作してください。	－
登録できません	スケジュールで設定できない日時が設定されています。日時を設定し直してください。	P.218
登録できませんでした	迷惑電話着信拒否登録に失敗しました。再度操作してください。	P.289
入力形式が正しくありません	入力したUSSDが間違っています。正しいUSSDを入力してください。	P.300
入力値が上限を超えています	CIFサイズ(352×288ドット)を超えるため拡大できません。CIFサイズ以内の倍率を入力してください。	アプリ編 P.317
入力データまたはURLが長すぎます	入力した文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから再度送信してください。	アプリ編 P.48
入力データをご確認ください(205)	入力内容が間違っています。入力内容を確認してから再度操作してください。	－
認証タイプに未対応です(401)	対応していない認証タイプのため接続できません。	－
認証できませんでした	認証エラーが発生しました。	－
ネットワーク暗証番号が誤っています	入力したネットワーク暗証番号が間違っています。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。	P.198
バージョンアップが中断されました	接続が途中で中断したためバージョンアップできませんでした。再度操作してください。	－
バージョンアップできませんでした	データが不正なためバージョンアップできません。	－
パケット通信中のため接続できません	パケット通信中は利用できない機能です。パケット通信を終了してから再度操作してください。	アプリ編 P.428, 459
パケット通信中のため発信できません	パケット通信中は利用できない機能です。パケット通信を終了してから再度操作してください。	アプリ編 P.428, 459
パスワードをご確認ください(401)	認証に失敗しました。「YES」を選択し、◉を押してから再度操作してください。	－
発信に失敗しました	エラーが発生したため発信できませんでした。	－
発信履歴はありません	発信履歴が1件もありません。	－
貼付設定済みです	貼付しようとしている画像と同じ画像がすでに貼付されています。	－
貼付設定できません	ファイルサイズまたはファイル形式が対応していないため貼付できません。	－
非対応コードです　読み取りできません	対応していないコードのため読み取りできません。	－
非対応データのため再生できません	対応していないｉモーションのため再生できません。	－
非対応データのため取得できません	ｉモーションデータが対応していないため取得できません。	－
非対応のデータが含まれています	対応していないデータが含まれています。	－
非対応ファイルがあります　削除できません	対応していないデータがあるため削除できません。	－
日付時刻設定を行ってください	日付時刻設定が設定されていません。日付時刻設定を設定してから再度操作してください。	P.56
日付日時設定を行ってください	日付時刻設定が設定されていません。日付時刻設定を設定してから再度操作してください。	P.56
ファイルがあります　削除できません	フォルダ内にファイルがあるためフォルダを削除できません。	－
ファイルの保存に失敗しました	エラーが発生したためファイルを保存できませんでした。	－
ファイル名変更できません	ピリオドから始まるファイル名や半角英数字以外の禁止文字を含んだファイル名には変更できません。正しいファイル名を入力してから再度操作してください。	アプリ編 P.325
フォルダ名を入力してください	フォルダ名が入力されていません。フォルダ名を入力してから再度操作してください。	アプリ編 P.330

表　示	説　明	参照先
表示できません	対応するソフトが起動中です。ソフトを終了してから再度操作してください。	アプリ編 P.91
フリーメモいっぱいです	FOMA端末内のフリーメモがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なフリーメモを削除してから再度操作してください。	P.248
フリーメモがいっぱいです	FOMA端末内のフリーメモがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なフリーメモを削除してから再度操作してください。	P.248
振分け条件がいっぱいのため登録できません	すでに最大件数設定されています。不要な設定を削除してから再度操作してください。	アプリ編 P.241
編集可能サイズを超えています XXXKバイト以下に切り出してください	ファイルサイズが大きすぎるため編集できません。「iモーション切り出し」を実行後、再度操作してください。	アプリ編 P.345
編集中のため削除できません	他の機能で使用しているため削除できません。他の機能を終了してから再度操作してください。	－
編集に失敗しました	編集中にエラーが発生しました。	－
保護のため削除できません	保護されているため削除できません。保護を解除してから再度操作してください。	アプリ編 P.62, 125, 227
保護メールがあるため削除できません	iアプリメール用フォルダ内に保護メールがあるためフォルダを削除できません。保護を解除してから再度操作してください。	アプリ編 P.227
保護メールがあるためフォルダを削除できません	フォルダ内に保護メールがあるためフォルダを削除できません。保護を解除してから再度操作してください。	アプリ編 P.227
保存可能サイズを超えているため設定できません	設定できる1ファイルあたりのファイルサイズを超えてしまうため設定できません。	－
保存可能サイズを超えているため保存できません	登録できる1ファイルあたりのファイルサイズを超えているため登録できません。	－
保存先設定できません	フォルダ内に保存できる空き番号が存在しないため設定できません。	－
保存済みです	同じ再生期限付きのiモーションがすでに保存されています。	－
保存に失敗しました	保存時にエラーが発生しました。	－
保存メールがいっぱいです	メール保存件数が10件を超えるためメール作成ができません。保存メールを削除または送信してから再度操作してください。	アプリ編 P.169, 230
本機で使用できるフォーマットがされていません	FOMA P900i未対応フォーマットのminiSDメモリーカードです。FOMA P900iでフォーマットしてください。	アプリ編 P.381
本体の空き容量がないため取得できませんでした	FOMA端末内のメールがいっぱいです。FOMA端末内の不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから再度操作してください。	アプリ編 P.176, 227, 230
本体の空き容量がないため問い合わせできませんでした	FOMA端末内のメールがいっぱいのため問い合わせできません。FOMA端末内の不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから再度操作してください。	アプリ編 P.176, 227, 230
本文編集できません	添付ファイルが10Kバイト（10000バイト）あるため、本文を入力することができません。	－
マナーモードのため再生できません	マナーモード中のため音声のみのiモーションを再生できません。マナーモードを解除してから再度操作してください。	P.138
未入力メールは保存できません	宛先・本文・題名に何も入力されてなく、ファイルも添付されていない場合は保存できません。	－
未入力SMSは保存できません	宛先や本文に何も入力されていない場合は保存できません。	－
無効なデータを受信しました **無効なデータを受信しました（301）** **無効なデータを受信しました（302）** **無効なデータを受信しました（553）** **無効なデータを受信しました（XXX）**	受信したデータにエラーがあるため表示できません。受信したデータは破棄されます。 （XXX）には3桁の数字が表示されます。	－
迷惑電話ストップサービス未契約です	迷惑電話ストップサービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	P.272
メール作成できません	メール作成時にエラーが発生しました。	－
メールセキュリティ設定中のため起動できません	メールセキュリティが設定されています。メールセキュリティを解除してから再度操作してください。	アプリ編 P.244
メール選択受信設定が受信しないに設定されています	メール選択受信設定を「ON」に設定してから再度操作してください。	アプリ編 P.171
メールフォルダ数がいっぱいのためダウンロードできません	フォルダ数が最大件数まで作成されているため、メール連動型iアプリをダウンロードできません。不要なフォルダを削除してから再度操作してください。	アプリ編 P.222
メールフォルダ利用中のため削除できません	対応するソフトが使用中です。ソフトを終了してから再度操作してください。	アプリ編 P.91

次ページにつづく

表　示	説　　明	参照先
メールフォルダ利用中のためダウンロードできません	対応するソフトが使用中です。ソフトを終了してから再度操作してください。	アプリ編 P.91
メール本文最大サイズを超えています　削除してください	メールのサイズが10000バイトを超えました。本文を短くしてください。	アプリ編 P.146
メモリ不足です	メモリが不足したため処理を中断します。	－
メモリ不足です　更新を中止します	メモリが不足したため処理を中断します。	－
メモリ不足です　ｉモードメニューに戻ります	メモリが不足したため処理を中断します。◉を押すとｉモードメニューに戻ります。	－
メモリ不足のため表示できません	メモリが不足したため処理を中断します。	－
メロディがいっぱいです	FOMA端末内のメロディがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なメロディを削除してから再度操作してください。	アプリ編 P.363
メロディが設定されていません	プログラム編集がされていない状態でプログラムを演奏しようとしたときに表示します。プログラムを編集後、プログラム演奏してください。	アプリ編 P.358
メロディが保存されていません	オリジナル着信音が1件も登録されていません。	－
メロディはありません	オリジナル着信音が1件も登録されていません。	－
もう一つの電話機が利用中のため切替えできませんでした	movaが通信中のため切り替えできません。movaの通信を終了してから再度操作してください。	－
文字数オーバーのため文末を削除します	ｉモーションを添付するために必要な文字数（全角100文字分、半角200文字分）が空いていなかったため、文末の文字を削除します。	－
文字数オーバーのため冒頭文／署名を貼り付けできません	冒頭文や署名を貼り付けると、10000バイトを超えるため貼り付けできません。	－
文字数がオーバーしています	読み取った文字の文字数が全角128文字、半角256文字を超えています。全角128文字、半角256文字まで表示されます。	－
文字数がオーバーするため署名を貼り付けできません	署名を貼り付けると10000バイトを超えるため貼り付けできません。本文を短くするか、または添付ファイルを削除してから再度操作してください。	アプリ編 P.146, 166
文字数がオーバーするため入力できません	入力可能な文字数を超えるため入力できません。	－
文字数がオーバーするため冒頭文を貼り付けできません	冒頭文を貼り付けると10000バイトを超えるため貼り付けできません。本文を短くするか、または添付ファイルを削除してから再度操作してください。	アプリ編 P.146, 166
容量がいっぱいです　空きがないためこれ以上受信できません	FOMA端末内とFOMAカード内のメールがいっぱいです。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除して、問い合わせを行ってください。	アプリ編 P.176, 227, 230
	FOMA端末内の受信メールがいっぱいです。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから再度操作してください。	アプリ編 P.176, 227, 230
容量不足です	保存容量がいっぱいのため操作できません。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	アプリ編 P.332, 354
容量不足です　移動できません	容量不足のためファイルを移動できません。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	アプリ編 P.332, 354
容量不足です　インポートできません	保存容量がいっぱいのためインポートできません。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	アプリ編 P.332, 354
容量不足です　エクスポートできません	保存容量がいっぱいのためエクスポートできません。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	アプリ編 P.332, 354
容量不足です　作成できません	容量不足のためフォルダを作成できません。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	アプリ編 P.332, 354
容量不足です　撮影した画像は保存されません	容量不足のため撮影した静止画は保存されません。	－
容量不足です　設定できません	容量不足のためファイル制限を設定することができません。またはタイトルを変更できません。不要なファイルを削除してください。	アプリ編 P.332, 354
容量不足です　タイトル変更できません	容量不足のためタイトルを変更できません。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	アプリ編 P.332, 354
容量不足のため取得できません	ｉモーションが貼り付けられているメールが保護されているか、または受信BOXの容量が不足しているためｉモーションを取得できません。メールの保護を解除するか、または不要なメールを削除するなどしてから再度操作してください。	アプリ編 P.227, 230
読み込みエラーです	miniSDメモリーカードの情報読み込み中にminiSDメモリーカードが抜かれました。miniSDメモリーカードを装着してから再度操作してください。	アプリ編 P.374
読み込みデータが欠落している可能性があります	読み取ったデータに不正がありました。	－
読み込みに失敗しました　終了します	動画再生時にエラーが発生しました。	－
	miniSDメモリーカードの情報読み込み中にminiSDメモリーカードが抜かれました。miniSDメモリーカードを装着してから再度操作してください。	アプリ編 P.374

表　示	説　　明	参照先
読み取りできませんでした	読み取りに失敗しました。	－
予約がいっぱいです	予約がいっぱいのためソフトウェア更新の予約設定ができません。しばらくたってから再度予約設定を実行してください。	P.367
リダイヤルはありません	リダイヤルが1件もありません。	－
利用可能なイメージがありません	サイズに合ったフレームがありません。	－
履歴表示OFF設定中です	履歴表示設定の「着信履歴」または「リダイヤル／発信履歴」が「OFF」に設定されています。設定を「ON」にしてから再度操作してください。	P.210
留守番および転送サービス未契約です	留守番電話サービスまたは転送でんわサービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	P.272
留守番サービス未契約です	留守番電話サービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	P.272
録音されていません	音声メモまたは伝言メモが録音されていません。音声メモを録音するか、伝言メモが録音されてから再度操作してください。	P.103, 243
Bookmark登録できません	ブックマーク登録時にエラーが発生しました。	－
Bookmarkがいっぱいです	すでにブックマークが最大保存件数まで登録されているためこれ以上登録できません。不要なブックマークを削除してください。	アプリ編 P.57
FOMAカードが異なるため起動できませんでした	FOMAカード動作制限機能によりｉアプリを起動できません。ｉアプリダウンロード時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。	P.44
FOMAカードが異なるためご利用できません	FOMAカード動作制限機能により操作できません。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカード挿入してから再度操作してください。	P.44
FOMAカードが異なるため指定されたソフトが起動できません	FOMAカード動作制限機能によりｉアプリを起動できません。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。	P.44
FOMAカードが異なるため指定されたソフトが起動できませんでした	FOMAカード動作制限機能によりｉアプリを起動できません。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。	P.44
FOMAカードが異なるため取得できません	FOMAカード動作制限機能によりｉモーションを再生できません。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。	P.44
FOMAカードが挿入されていないため取得できません	FOMAカードが挿入されていないためｉモーションを再生できません。FOMAカードを挿入してから再度操作してください。	P.44
FOMAカードの空き容量がないため取得できませんでした	FOMAカード内のメールがいっぱいです。FOMAカード内の不要なメールを削除するか、FOMA端末内に移動してください。	アプリ編 P.219, 230
FOMAカードのSMSがいっぱいになりました	FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）がいっぱいです。不要なショートメッセージ（SMS）を削除してから再度操作してください。	P.255
FOMAカード読み込み中　起動できません	FOMAカード読み込み中のため操作できません。しばらくしてから再度操作してください。	－
FOMAカード読み込み中です	FOMAカード読み込み中のため操作できません。しばらくしてから再度操作してください。	－
FOMAカード読み込み中です 起動できません	FOMAカード読み込み中のため操作できません。しばらくしてから再度操作してください。	－
FOMAカードを挿入してください	FOMAカードが挿入されていません。FOMAカードを挿入してから再度操作してください。	P.44
ｉアプリ To 設定されていません	ｉアプリ To 設定で「サイトからｉアプリ To」「メールからｉアプリ To」「赤外線からｉアプリ To」にチェックが付いていないため、端末内のｉアプリを起動できません。チェックを付けてから再度操作してください。	アプリ編 P.94
ｉモーションがいっぱいです	ｉモーションが最大保存件数まで登録されているため、これ以上登録できません。不要なｉモーションを削除してください。	アプリ編 P.354
ｉモーションが保存されていません	ｉモーションが1件もありません。	－
ｉモーション再生サイズを超えています	データ量が最大サイズを超えたので取得できませんでした。	－
ｉモーション再生サイズを超えました	データ量が最大サイズを超えたので取得できませんでした。	－
ｉモーション最大サイズを超えています	データ量が最大サイズを超えたので取得できませんでした。	－
ｉモーション最大サイズを超えました	データ量が最大サイズを超えたので取得できませんでした。	－
ｉモーション取得できませんでした	ｉモーションデータが不正なため取得できません。	－
ｉモーションはありません	ｉモーションが1件もありません。	－
ｉモード中です　設定できません	ｉモード接続中に接続先を変更することはできません。ｉモードを終了してから再度操作してください。	アプリ編 P.34

次ページにつづく

表　示	説　　明	参照先
iモード問い合わせがすべて無効に設定されています	iモード問い合わせ設定の項目すべてにチェックが付いていません。問い合わせる項目にチェックを付けてから再度操作してください。	－
PIMファイルが保存されていません	miniSDメモリーカード内に電話帳やスケジュールなどがありません。	－
PIMロック設定中です	PIMロックが設定されています。PIMロックを解除してから再度操作してください。	P.208
PINロック解除コードが認証できませんでした	PINロック解除コードを10回間違えるとPINロック解除コードがロックされます。当社窓口にお問い合わせください。	P.362
PINロック解除コードがロックされています	PINロック解除コードを10回間違えるとPINロック解除コードがロックされます。当社窓口にお問い合わせください。	P.362
PINロック解除コードがロックされました	PINロック解除コードを10回間違えるとPINロック解除コードがロックされます。当社窓口にお問い合わせください。	P.362
PIN1コードが認証できませんでした	PIN1コードを3回間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。	P.204
PIN1コードがロックされています	PIN1コードを3回間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。	P.204
PIN2コードが認証できませんでした	PIN2コードを3回間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。	P.204
PIN2コードがロックされています	PIN2コードを3回間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。	P.204
SDカードが挿入されていません	miniSDメモリーカードが正しく装着されていません。miniSDメモリーカードを正しく装着してから再度操作してください。	アプリ編 P.374
SDカードが抜かれました	miniSDメモリーカードの操作中にminiSDメモリーカードが抜かれました。miniSDメモリーカードを装着してから再度操作してください。	アプリ編 P.374
SDカードに書き込み保護がかけられています	miniSDメモリーカードがライトプロテクトされているため書き込みできません。外部機器などでminiSDメモリーカードのライトプロテクトを解除してから再度操作してください。	－
SDカードの交換またはチェックディスクを行ってください	miniSDメモリーカードのフォーマットが異常です。miniSDメモリーカードをチェックディスクしてください。	アプリ編 P.382
SDカードの交換またはチェックディスクをおすすめします	miniSDメモリーカードのフォーマットが異常です。miniSDメモリーカードをチェックディスクしてください。	アプリ編 P.382
SDカードの情報取得中です	miniSDメモリーカード認識処理中のためminiSDメモリーカードは操作できません。miniSDメモリーカード装着後は、しばらく待ってから操作してください。	－
SDカードのチェックディスクができませんでした	SDチェックディスク中にエラーが発生しました。再度miniSDメモリーカードをチェックディスクしてください。	アプリ編 P.382
SDカードのフォーマットができませんでした	SDフォーマット中にエラーが発生しました。再度miniSDメモリーカードをフォーマットしてください。	アプリ編 P.381
SMS center設定を確認してください	SMS center設定で設定したショートメッセージセンターのアドレスが正しくありません。設定を確認してから再度操作してください。	アプリ編 P.218
SSL通信が切断されました	改ざんされたSSL証明書を受信したか、SSLエラーが発生したため接続できません。	－
SSL通信が無効です	サーバの認証エラーのため接続できません。	－
SSL通信が無効に設定されています	証明書設定でそのサーバのSSL証明書が「無効」に設定されています。設定を「有効」にしてから再度操作してください。	アプリ編 P.76
Toの宛先を設定してください	「To」に宛先が入力されていません。「To」に宛先を入力してから再度操作してください。	アプリ編 P.151
ToDoがいっぱいです	FOMA端末内のToDoがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なToDoを削除してから再度操作してください。	P.234
TV電話中です　切り替えできません	テレビ電話中は利用できない機能です。テレビ電話を終了してから再度操作してください。	P.79, 85
TV電話中のため発信できません	テレビ電話中は利用できない機能です。テレビ電話を終了してから再度操作してください。	P.79, 85
TV電話通信中です	テレビ電話中は利用できない機能です。テレビ電話を終了してから再度操作してください。	P.79, 85
TV電話通信中です　起動できません	テレビ電話中は利用できない機能です。テレビ電話を終了してから再度操作してください。	P.79, 85
URLが長すぎて登録できません	サイトのURLの文字数が256文字を超えるため登録できません。	－
URLが長すぎて貼り付けできません	サイトのURLの文字数が256文字を超えるため貼り付けできません。	－
URLに誤りがあります	URL入力時に「http://」または「https://」が入力されていません。正しく入力してから再度操作してください。	アプリ編 P.48

表　示	説　明	参照先
1件インポートできませんでした	1件インポート時にエラーが発生しました。	－
1件エクスポートできませんでした	1件エクスポート時にエラーが発生しました。	－
1件削除できません	miniSDメモリーカード内のデータを1件削除するときにエラーが発生しました。	－
64Kデータ通信中です　起動できません	64Kデータ通信中のため操作できません。64Kデータ通信を終了してから再度操作してください。	アプリ編 P.460
64Kデータ通信中のため送信できません	64Kデータ通信中のため操作できません。64Kデータ通信を終了してから再度操作してください。	アプリ編 P.460
64Kデータ通信中のため発信できません	64Kデータ通信中のため操作できません。64Kデータ通信を終了してから再度操作してください。	アプリ編 P.460

アプリ編…アプリケーション編

●エラーメッセージの中の「(数字)」は、ｉモードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

カスタムジャケットについて

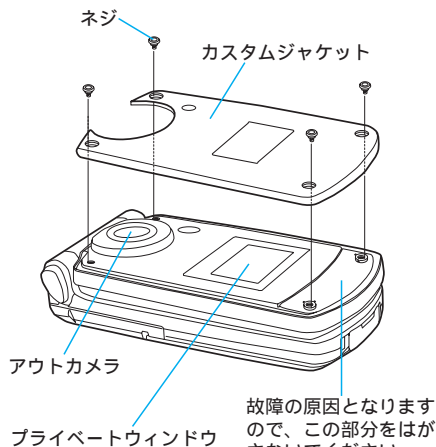
カスタムジャケット　P01（別売）でFOMA端末のカスタムジャケットを新しいカスタムジャケットに取り替えることができます。
詳しくはカスタムジャケット　P01の取扱説明書をご覧ください。
※カスタムジャケットを取り替えるときは、必ず電源を切ってから行ってください。

■取り外しかた

1 **FOMA端末の4本のネジを外し、カスタムジャケットを取り外す**

■取り付けかた

1 **外したネジまたはカスタムジャケットに添付の4本のネジを使用して、新しいカスタムジャケットを確実に取り付ける**

ネジがゆるまないように注意して取り付けてください。
このときFOMA端末を傷つけないようにご注意ください。また、カスタムジャケットとFOMA端末の間にごみが入らないようにしてください。

お知らせ

●カスタムジャケットの付け外しをするときは、カスタムジャケット　P01に添付の専用ドライバを使用してください。
●カスタムジャケットを外した状態でFOMA端末を使用しないでください。
●無理な取り扱いをすると破損する場合がありますので、ご注意ください。
●カスタムジャケットを外したFOMA端末のプライベートウィンドウやアウトカメラなどに触れないようにしてください。
●カスタムジャケット　P01については一部取り扱っていない店舗がございます。あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス

保証について

●FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
●この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

◎調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、下記の連絡先にご連絡のうえ、ご相談ください。

■お問い合わせ先（ドコモグループ各社）

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

※なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。
※お問い合わせの結果、修理が必要な場合
　ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

◎保証期間内は

・保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
・故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷等は有償修理となります。
・ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

◎次の場合は、修理できないことがあります。

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗等による腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外ですので有償修理となります。

◎保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有償修理いたします。

◎部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、上記の連絡先へお問い合わせください。

◎**お願い**

●FOMA端末および付属品の改造はおやめください。

・火災・けが・故障の原因となります。

・FOMA端末・FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末・FOMAカードは使用できません。

・改造（部品の交換・改造・塗装等）が施された場合は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。

・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。

●FOMA端末に貼付されている銘板シールは、剥がさないでください。
銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意に剥がされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

●各種機能のON／OFF設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度、設定を行ってくださるようお願いします。

●FOMA端末の受話口部やスピーカに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

●電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によって修理できないことがあります。

◎**メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて**

・お客様ご自身で携帯電話機等に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。

・携帯電話を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータ等が変化・消失等する場合があります。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらデータ等は一部を除き交換後の製品に移し替えることができません。当社はこれらの責任を負うものではありません。

<ソフトウェア更新>

ソフトウェア更新について

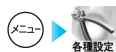
FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。

※ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料となります。

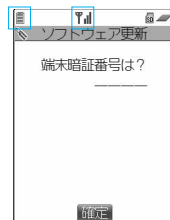
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモホームページ及びｉMenuの「お知らせ&ヘルプ」にてご案内させて頂きます。

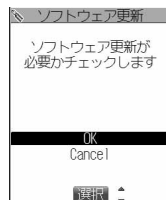
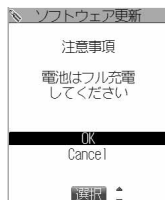
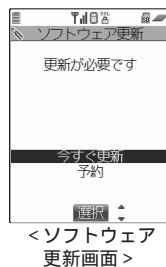
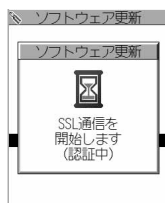
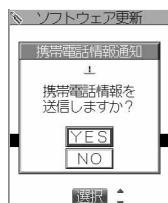
【即時更新】：更新したいときすぐに更新を行います。

【予約更新】：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

- ●「接続先選択」をｉモード以外に設定（アプリケーション編P.74参照）している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
- ●ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ●以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ・電源が入っていないとき
  - ・日付時刻を設定していないとき
  - ・通話中
  - ・圏外にいるとき
  - ・PIN1コード入力中
  - ・PIN1コードロック中
  - ・オールロック中
  - ・PIMロック中
  - ・セルフモード設定中
  - ・他の機能が動作中のとき
  - ・FOMAカードを挿入していないとき
  - ・パソコンなどの外部機器と接続中のとき
- ●ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ●ソフトウェア更新中は、他機能を利用することはできません。（ダウンロード中は音声電話を受けることができます。）
- ●ソフトウェア更新の際にはサーバー（当社のサイト）へSSL通信を行います。SSL証明書を有効にしておく必要があります。（お買い上げ時：有効　設定方法についてはアプリケーション編P.76参照。）
- ●ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをお奨めします。
  ソフトウェアのダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- ●ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
  更新に失敗すると「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。
  その場合には、ドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- ●「お知らせアイコン」はソフトウェア更新の再起動時に消えます。（不在着信などのデータは消えません。）
- ●留守番電話サービスセンターに伝言メッセージがあることを示すアイコン（P.33参照）やｉモードセンターにｉモードメール・メッセージ（R/F）が残っていることを示すアイコン（アプリケーション編P.13参照）はソフトウェア更新の再起動時に消えます。（センターのデータは消えません。）また、メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届いても、ソフトウェア更新の再起動時にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
- ●お客様の確認操作なしでソフトウェア更新が終了すると、待受画面に「更新」（ソフトウェア更新完了）の「お知らせアイコン」が表示されます。ご確認いただきたい内容がある場合には「更新」（ソフトウェア更新　説明あり）が表示されます。「更新」を選択し、端末暗証番号を入力すると、更新結果の内容が表示されます。
- ●ソフトウェア更新は、携帯電話に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータ等のデータを残したまま行うことができますが、お客様の携帯電話の状態（故障・破損・水濡れ等）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。

1 メニュー▶各種設定▶その他▶ソフトウェア更新▶端末暗証番号を入力▶◎

●端末暗証番号についてはP.198参照。
●電池アイコンとアンテナアイコンが表示されていることを確認してください。

2 OK▶OK

注意事項を確認し、ソフトウェア更新が必要かチェックします。
●中止する場合は「Cancel」を選択し、を押します。

3 YES

このとき、携帯電話情報（FOMA端末の機種や製造番号など）をサーバーに送信します。
なお、当社に送信されたお客様の携帯電話情報を第3者に公表・転用することはありません。
●既にソフトウェア更新済みの場合は、「更新は必要ありませんこのままご利用ください」と表示されます。
◎を押して操作を終了します。そのままご利用ください。
更新が必要な場合には「更新が必要です」と表示されます。
このとき、「今すぐ更新」するか「予約」するかを選択することができます。
●中止する場合は「NO」を選択し、◎を押します。

＜ソフトウェア更新画面＞

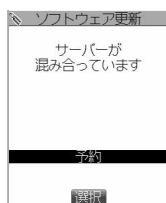
すぐにソフトウェアを更新する（即時更新）

1 ソフトウェア更新画面を表示▶今すぐ更新▶OK

「通信中」と表示され、しばらくするとダウンロードを開始します。

●ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。

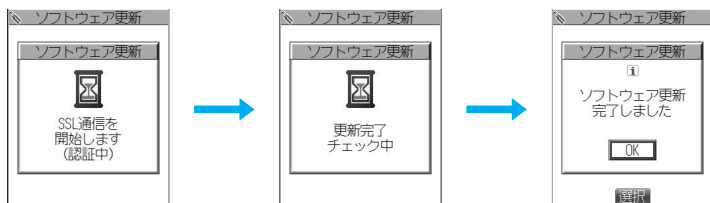
●ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどを選択しなくても更新処理を実行します。

「サーバーが混み合っています」と表示された場合、「予約」を選択し、◎を押すと予約画面が表示されます。

ダウンロードが終わるとソフトウェアを書き換えます。（◎を押すと、すぐに書き換えを開始します。）

書き換えが終わると、自動的に再起動します。

●ソフトウェア書き換え中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。また、ACアダプタなどを接続していても、一時的に充電を停止します。

2 更新完了画面を確認▶OK

待受画面に戻ります。

<更新完了画面>

日時を予約してソフトウェアを更新する（予約更新）

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバーが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバーと通信して設定しておくことができます。

1 ソフトウェア更新画面を表示▶予約

サーバーと通信を行い、希望日時を選ぶことができます。

●予約の画面では、サーバーの時刻が表示されます。

＜予約画面＞

2 希望日時を選択▶◎▶YES

選択後、サーバーと通信します。

●以下の操作でその他の日時を表示することができます。

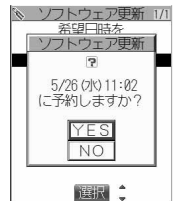
1.「その他の日時」を選択し、◎を押します。
　サーバーと通信をしたあと、希望日を選ぶことができます。

2. 日付を選択し、◎を押します。
　各時間帯の予約空き状況が表示されます。
　○：空きあり、△：空きわずか、×：空きなし

3. 時間帯を選択し、◎を押します。

再びサーバーと通信して予約時刻の候補を表示します。

予約完了画面が表示されます。

●◎を押して待受画面に戻ります。

予約した日時になったら

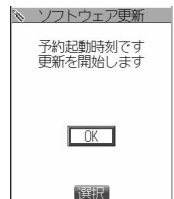
予約した日時になると更新を開始するメッセージが表示され、FOMA端末は自動的にソフトウェア更新を開始します。

●予約時刻前には、電池パックをフル充電し、電波の十分届くところでFOMA端末を待受画面にしておいてください。他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。

●通話中・オールロック中・PIMロック中は、更新を開始するメッセージが表示されず、ソフトウェア更新も起動しません。P.365手順1の操作を行うと起動できなかった理由が表示されます。

1 メッセージを確認

ソフトウェアのダウンロードと書き換えが始まります。（◎を押すと、すぐに書き換えを開始します。）

（以下の動作は「すぐにソフトウェアを更新する」と同様です。）

2 更新完了画面を確認▶OK

待受画面に戻ります。

お知らせ

●以下の場合、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。
・電話がかかっているとき　　・メールを受信しているとき

●同じ時刻にアラーム等が設定されていた場合は、アラーム等が優先され、ソフトウェア更新が起動されない場合があります。

次ページにつづく

予約を確認する

1 メニュー ▶ 各種設定 ▶ **その他 ▶ ソフトウェア更新 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶** ◉

予約している日時が表示されます。

●端末暗証番号についてはP.198参照。

2 **OK**

●操作を終了し、待受画面に戻ります。

●以下の操作で予約日時を変更することができます。

1.「変更」を選択し、◉を押します。

2.「YES」を選択し、◉を押します。

携帯電話情報（FOMA端末の機種や製造番号など）をサーバーに送信します。

3. 日付を選択し、◉を押します。

4. 時間帯を選択し、◉を押します。

予約可能な日時が表示されます。

「日時を予約してソフトウェアを更新する（予約更新）」（P.367参照）の手順2から操作を行って予約します。

●以下の操作で予約を取り消すことができます。

1.「取消」を選択し、◉を押します。

2.「YES」を選択し、◉を押します。

3.「YES」を選択し、◉を押します。

携帯電話情報（FOMA端末の機種や製造番号など）をサーバーに送信します。

取消完了の画面が表示されます。

◉を押して待受画面に戻ります。

ソフトウェアの更新を終了する

各画面で「NO」や「Cancel」を選択した場合は、操作終了の画面が表示されます。

「YES」を選択し、◉を押すと、ソフトウェア更新を終了して待受画面に戻ります。

●「NO」を選択し、◉を押すと前の画面に戻ります。

<操作終了画面>

お知らせ

●操作中に電池の残量が「▯」になった場合、ソフトウェアのダウンロードや書き換えは行われず、操作を終了します。

●操作中に音声電話を受けることはできますが、アラームなど全ての機能は動作しません。
また、ソフトウェア書き換え中は音声電話を受けることもできません。

主な仕様

品名	FOMA P900i
サイズ（H×W×D）	約104×50×24mm（折りたたみ時）
質量	約124g（電池パック装着時）
連続待受時間	静止時　：約500時間 移動時　：約350時間
連続通話時間	音声電話時　：約150分 テレビ電話時　：約90分
最大出力	0.25W
電池パック種別	専用リチウムイオン電池
電源電圧	3.7V
電池容量	840mAh
ACアダプタでの充電時間	約130分
DCアダプタでの充電時間	約130分
カメラ画素数	インカメラ　：有効画素数10万画素 （最大記録画素数10万画素） アウトカメラ：有効画素数128万画素 （最大記録画素数123万画素）
デジタルズーム	インカメラ　：最大約2.8倍 （テレビ電話時最大約2.0倍） アウトカメラ：最大約10倍 （テレビ電話時最大約6.6倍）

●連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
●連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合等）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
●ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくてもｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動させると通話（通信）・待受時間は短くなります。
●静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を折りたたみ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
●移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を折りたたみ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
●充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

索引

◆◇◆　サ　◆◇◆

◆◇◆　タ　◆◇◆

◆◇◆ ナ ◆◇◆

◆◇◆ ハ ◆◇◆

◆◇◆ マ ◆◇◆

◆◇◆ ヤ ◆◇◆

◆◇◆ ラ ◆◇◆

◆◇◆ ワ ◆◇◆

◆◇◆ 英数字 ◆◇◆

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際回収、リサイクルに出しましょう。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

・航空機内　・病院内

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

FOMA端末を使用しながら運転すると、事故の原因になります。

※運転中、電源を切りたくない場合は、ドライブモードを設定してください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

●マナーモード／スーパーサイレント／オリジナルマナー（P.138）

ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します（マナーモード・スーパーサイレント）。

マナーモードに伝言メモ機能の有無の設定やバイブレータ・着信音の設定の変更もできます（オリジナルマナー）。※ただし、シャッター音は消せません。

●ドライブモード（P.101）

電話をかけてきた相手に、運転中のため電話に出られないことを知らせるガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので安全に運転できます。

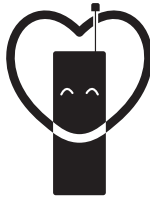
●バイブレータ（P.143）

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

●伝言メモ機能（P.103）

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。

※そのほかにも、留守番電話サービス（P.274）、転送でんわサービス（P.284）などのオプションサービスが利用できます。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◯公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道
株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ北陸
株式会社NTTドコモ中国
株式会社NTTドコモ九州
株式会社NTTドコモ東北
株式会社NTTドコモ東海
株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ四国

製造元　パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

環境保全のため、不要になった電池は
NTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル
協力店等にお持ちください。

R100

古紙配合率100％再生紙を
使用しています。

この取扱説明書は大豆油インキで
印刷しています。

'04.9（第6版）

3TR002221FAA
F0104F5084 - Ⓥ